

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行 (白糸線)	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を開催と公共交通マップ等情報提供による啓発、バス待ち環境の改善を事業として利便性利用率向上を目指した。	B	C	交通計画策定に伴う市民アンケートの結果等を活用し、バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を開催し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。	評価の指標は、路線別の収支率。 対象校区にバスの利用状況を説明し利用推進を図った点、利用者の待合環境の改善等に取り組まれていることを評価します。 目指すべき地域の交通体系の実現に向け、設定している目標の指標が適切か、目標値の水準が適切か等の検討が行われることを期待します。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行 (雷山線)	同路線は、曾根線[有田経由]と一部重複したバス路線を形成しているため、曾根線におけるオンデマンドバスの導入に伴うダイヤや路線見直しを検討し、利便性の向上につなげる。	A	B	同路線は、曾根線[有田経由]が一部重複したバス路線を形成しているため、曾根線におけるオンデマンドバスの利用状況を踏まえながら、日中のオンデマンド化も含めダイヤや路線などの見直しことにより、利便性の向上につなげる。		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行 (曾根線波多江経由)	同路線は、井原山線と一部重複したバス路線を形成しているため、曾根線におけるオンデマンドバスの実証運行を実施し、利便性の向上につなげる。	A	B	同路線は、井原山線が一部重複したバス路線を形成し、利便性向上を図るために、曾根線の平日日中の運行をオンデマンドバスの本格運行を実施。利用状況を踏まえながら、問題点の改善を図り、更なる利便性の向上につなげる。		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行 (曾根線有田経由)	同路線は、雷山線と一部重複したバス路線を形成しているため、曾根線におけるオンデマンドバスの実証運行を実施し、利便性の向上につなげる。	A	B	同路線は、井原山線が一部重複したバス路線を形成し、利便性向上を図るために、曾根線の平日日中の運行をオンデマンドバスの本格運行を実施。利用状況を踏まえながら、問題点の改善を図り、更なる利便性の向上につなげる。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行 (井原山線)	同路線は、曾根線[波多江経由]と一部重複したバス路線を形成しているため、曾根線におけるオンデマンドバスの導入に伴うダイヤや路線見直しを検討し、利便性の向上につなげる。	A	C	同路線は、曾根線[波多江経由]が一部重複したバス路線を形成しているため、曾根線におけるオンデマンドバスの利用状況を踏まえながら、日中のオンデマンド化も含めダイヤや路線などの見直しにより、利便性の向上につなげる。		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行 (川原線)	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を開催と公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指した。	B	C	交通計画策定に伴う市民アンケートの結果等を活用し、バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を開催し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行 (前原北原線)	沿線住民への情報提供や利用啓発を行う。また、交通渋滞による慢性的な遅延の解決に向けてダイヤ等の見直し及び一部路線廃止等を行う。	A	C	沿線住民への情報提供や利用啓発を行う。また、路線短縮に伴う利用状況を検証し、ダイヤの見直しなどを検討する。		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行 (九大線波多江経由)	公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指し、国際村構想の進捗等を踏まえ、九大線の輸送力強化を計画として位置づけた。	B	C	九大関係者や学生の定住等に伴う利用実態、および国際村構想に伴う利用予測等を考慮し、便数や路線の検討を行い、収支改善を目指す。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行 (九大線泊・油比経由)	公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指し、国際村構想の進捗等を踏まえ、九大線の輸送力強化を計画として位置づけた。	B	C	九大関係者や学生の定住等に伴う利用実態、および国際村構想に伴う利用予測等を考慮し、便数や路線の検討を行い、収支改善を目指す。		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行 (初深江線)	公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指した。	B	C	交通計画策定に伴う市民アンケートの結果等を活用し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行 (市街地循環線)	ルートの見直しを行うことにより、市中心部における回遊性を高め、各施設へのアクセス向上を図る。	B	C	交通計画策定に伴う市民アンケートの結果等を活用し、オンデマンドバス活用の可能性等を検討するとともに、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
朝倉市地域公共交通活性化協議会(交通会議)	ひまわりタクシー(4条) →あいのりタクシー 黒川線	○運行区間 黒川地区～久喜宮・志波地区経由～杷木地区	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A	<p>路線毎に沿線コミュニティ組織と運行事業者、市(行政)の三者が一体となって利用者推移を注視しながら、目標値達成のために、朝倉市地域公共交通網形成計画の施策でもある以下の取組(事業改善)を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行に関する認知度の向上及び住民意識の醸成。(出前講座等) ・多様な媒体を活用した広報活動(HP、市報等) ・災害の復旧状況を見極めながら、コースの再編 ・運行サービス水準の統一基準に基づき、運行便数等の見直し(便数、時間帯、運行日等) ・利用促進及び運行内容の改善に関する三者協議(地域、運行事業者、市)の場を必要に応じ設ける。 	<p>評価の指標は、路線毎の利用者数。 利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行っている点を評価します。 目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 新型コロナウイルス感染症の影響の部分、それ以外の部分の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。</p>	
朝倉市地域公共交通活性化協議会(交通会議)	ひまわりタクシー(4条) →あいのりタクシー 杷木東部線	○運行区間 松末地区～杷木地域中心部、杷木地区内	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	C	<p>路線毎に沿線コミュニティ組織と運行事業者、市(行政)の三者が一体となって利用者推移を注視しながら、目標値達成のために、朝倉市地域公共交通網形成計画の施策でもある以下の取組(事業改善)を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行に関する認知度の向上及び住民意識の醸成。(出前講座等) ・多様な媒体を活用した広報活動(HP、市報等) ・災害の復旧状況を見極めながら、コースの再編 ・運行サービス水準の統一基準に基づき、運行便数等の見直し(便数、時間帯、運行日等) ・利用促進及び運行内容の改善に関する三者協議(地域、運行事業者、市)の場を必要に応じ設ける。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
朝倉市地域公共交通活性化協議会(交通会議)	市(78条) →あいのりスクール バス高木地域(佐田 コース)	○運行区間 佐田地区～矢野竹経由 ～十文字	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B	<p>路線毎に沿線コミュニティ組織と運行事業者、市(行政)の三者が一体となって利用者推移を注視しながら、目標値達成のために、朝倉市地域公共交通網形成計画の施策でもある以下の取組(事業改善)を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行に関する認知度の向上及び住民意識の醸成。(出前講座等) ・多様な媒体を活用した広報活動(HP、市報等) ・災害の復旧状況を見極めながら、コースの再編 ・運行サービス水準の統一基準に基づき、運行便数等の見直し(便数、時間帯、運行日等) ・利用促進及び運行内容の改善に関する三者協議(地域、運行事業者、市)の場を必要に応じ設ける。 		
朝倉市地域公共交通活性化協議会(交通会議)	市(78条) →あいのりスクール バス高木地域(黒川 コース)	○運行区間 黒川地区～矢野竹経由 ～十文字	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A	<p>路線毎に沿線コミュニティ組織と運行事業者、市(行政)の三者が一体となって利用者推移を注視しながら、目標値達成のために、朝倉市地域公共交通網形成計画の施策でもある以下の取組(事業改善)を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行に関する認知度の向上及び住民意識の醸成。(出前講座等) ・多様な媒体を活用した広報活動(HP、市報等) ・災害の復旧状況を見極めながら、コースの再編 ・運行サービス水準の統一基準に基づき、運行便数等の見直し(便数、時間帯、運行日等) ・利用促進及び運行内容の改善に関する三者協議(地域、運行事業者、市)の場を必要に応じ設ける。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
朝倉市地域公共交通活性化協議会(交通会議)	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー 馬田線	○運行区間 馬田地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B	<p>路線毎に沿線コミュニティ組織と運行事業者、市(行政)の三者が一体となって利用者推移を注視しながら、目標値達成のために、朝倉市地域公共交通網形成計画の施策でもある以下の取組(事業改善)を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行に関する認知度の向上及び住民意識の醸成。(出前講座等) ・多様な媒体を活用した広報活動(HP、市報等) ・災害の復旧状況を見極めながら、コースの再編 ・運行サービス水準の統一基準に基づき、運行便数等の見直し(便数、時間帯、運行日等) ・利用促進及び運行内容の改善に関する三者協議(地域、運行事業者、市)の場を必要に応じ設ける。 		
朝倉市地域公共交通活性化協議会(交通会議)	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー 福城線	○運行区間 蟠城地区～福田地区～ 甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A	<p>路線毎に沿線コミュニティ組織と運行事業者、市(行政)の三者が一体となって利用者推移を注視しながら、目標値達成のために、朝倉市地域公共交通網形成計画の施策でもある以下の取組(事業改善)を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行に関する認知度の向上及び住民意識の醸成。(出前講座等) ・多様な媒体を活用した広報活動(HP、市報等) ・災害の復旧状況を見極めながら、コースの再編 ・運行サービス水準の統一基準に基づき、運行便数等の見直し(便数、時間帯、運行日等) ・利用促進及び運行内容の改善に関する三者協議(地域、運行事業者、市)の場を必要に応じ設ける。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
朝倉市地域公共交通活性化協議会(交通会議)	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー 矢野竹線	○運行区間 矢野竹～十文字～甘木 市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	C	<p>路線毎に沿線コミュニティ組織と運行事業者、市(行政)の三者が一体となって利用者推移を注視しながら、目標値達成のために、朝倉市地域公共交通網形成計画の施策でもある以下の取組(事業改善)を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行に関する認知度の向上及び住民意識の醸成。(出前講座等) ・多様な媒体を活用した広報活動(HP、市報等) ・災害の復旧状況を見極めながら、コースの再編 ・運行サービス水準の統一基準に基づき、運行便数等の見直し(便数、時間帯、運行日等) ・利用促進及び運行内容の改善に関する三者協議(地域、運行事業者、市)の場を必要に応じ設ける。 		
朝倉市地域公共交通活性化協議会(交通会議)	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー 美奈宜の杜線	○運行区間 矢野竹～美奈宜の杜地 区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	C	<p>路線毎に沿線コミュニティ組織と運行事業者、市(行政)の三者が一体となって利用者推移を注視しながら、目標値達成のために、朝倉市地域公共交通網形成計画の施策でもある以下の取組(事業改善)を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行に関する認知度の向上及び住民意識の醸成。(出前講座等) ・多様な媒体を活用した広報活動(HP、市報等) ・災害の復旧状況を見極めながら、コースの再編 ・運行サービス水準の統一基準に基づき、運行便数等の見直し(便数、時間帯、運行日等) ・利用促進及び運行内容の改善に関する三者協議(地域、運行事業者、市)の場を必要に応じ設ける。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
朝倉市地域公共交通活性化協議会(交通会議)	矢野タクシー(4条) →あいのりタクシー 長湫線	○運行区間 大福地区～金川地区～ 甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B	<p>路線毎に沿線コミュニティ組織と運行事業者、市(行政)の三者が一体となって利用者推移を注視しながら、目標値達成のために、朝倉市地域公共交通網形成計画の施策でもある以下の取組(事業改善)を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行に関する認知度の向上及び住民意識の醸成。(出前講座等) ・多様な媒体を活用した広報活動(HP、市報等) ・災害の復旧状況を見極めながら、コースの再編 ・運行サービス水準の統一基準に基づき、運行便数等の見直し(便数、時間帯、運行日等) ・利用促進及び運行内容の改善に関する三者協議(地域、運行事業者、市)の場を必要に応じ設ける。 		
朝倉市地域公共交通活性化協議会(交通会議)	矢野タクシー(4条) →あいのりタクシー 上秋月・安川線	○運行区間 上秋月地区～安川地区 ～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B	<p>路線毎に沿線コミュニティ組織と運行事業者、市(行政)の三者が一体となって利用者推移を注視しながら、目標値達成のために、朝倉市地域公共交通網形成計画の施策でもある以下の取組(事業改善)を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行に関する認知度の向上及び住民意識の醸成。(出前講座等) ・多様な媒体を活用した広報活動(HP、市報等) ・災害の復旧状況を見極めながら、コースの再編 ・運行サービス水準の統一基準に基づき、運行便数等の見直し(便数、時間帯、運行日等) ・利用促進及び運行内容の改善に関する三者協議(地域、運行事業者、市)の場を必要に応じ設ける。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
朝倉市地域公共交通活性化協議会(交通会議)	矢野タクシー(4条) →朝倉地域コミュニティバス	○運行区間 朝倉・宮野・大庭・福成 地区～朝倉地域中心部	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B	<p>路線毎に沿線コミュニティ組織と運行事業者、市(行政)の三者が一体となって利用者推移を注視しながら、目標値達成のために、朝倉市地域公共交通網形成計画の施策でもある以下の取組(事業改善)を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行に関する認知度の向上及び住民意識の醸成。(出前講座等) ・多様な媒体を活用した広報活動(HP、市報等) ・災害の復旧状況を見極めながら、コースの再編 ・運行サービス水準の統一基準に基づき、運行便数等の見直し(便数、時間帯、運行日等) ・利用促進及び運行内容の改善に関する三者協議(地域、運行事業者、市)の場を必要に応じ設ける。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地線(18番系統) 西鉄大牟田営業所～大牟田駅前～黒崎団地前	・大型商業施設等において、公共交通の利用促進を図るため、チラシとマスク等のノベルティグッズの配布を行った。 ・バスを身近に感じてもらう取組の一環として、小学校の低学年を対象にしたバスの乗り方教室を実施した。	B	C	新しい生活様式により公共交通の利用そのものが減少しているが、利用者の属性(高齢者、学生など)を踏まえた効果的な利用促進の実施、沿線企業や公営住宅への利用促進チラシの配布やノーマイカーデーの取組の依頼を行うとともに、モビリティマネジメントを含め利用に繋がる取り組みを検討・実施し、公共交通の利用を働きかけていく。	評価の指標は、路線毎の利用者数。 利用促進を図るため、チラシとマスク等のノベルティグッズの配布や小学校の低学年を対象にしたバスの乗り方教室に取り組んでいることを評価します。 目標値を大きく下回った要因を新型コロナウイルス感染症の影響のみとはせず、利用者の生活行動の分析やニーズの把握が行われることを期待します。	
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地線(18番系統) 大牟田駅前～新栄町～黒崎団地前	・大型商業施設等において、公共交通の利用促進を図るため、チラシとマスク等のノベルティグッズの配布を行った。 ・バスを身近に感じてもらう取組の一環として、小学校の低学年を対象にしたバスの乗り方教室を実施した。	B	C	新しい生活様式により公共交通の利用そのものが減少しているが、利用者の属性(高齢者、学生など)を踏まえた効果的な利用促進の実施、沿線企業や公営住宅への利用促進チラシの配布やノーマイカーデーの取組の依頼を行うとともに、モビリティマネジメントを含め利用に繋がる取り組みを検討・実施し、公共交通の利用を働きかけていく。	引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地線(18番系統) 新栄町～手鎌～黒崎団地前	・大型商業施設等において、公共交通の利用促進を図るため、チラシとマスク等のノベルティグッズの配布を行った。 ・バスを身近に感じてもらう取組の一環として、小学校の低学年を対象にしたバスの乗り方教室を実施した。	B	C	新しい生活様式により公共交通の利用そのものが減少しているが、利用者の属性(高齢者、学生など)を踏まえた効果的な利用促進の実施、沿線企業や公営住宅への利用促進チラシの配布やノーマイカーデーの取組の依頼を行うとともに、モビリティマネジメントを含め利用に繋がる取り組みを検討・実施し、公共交通の利用を働きかけていく。		
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地線(10番系統) 西鉄大牟田営業所～市立病院～普光寺	新規路線	B	C	新しい生活様式により公共交通の利用そのものが減少しているが、利用者の属性(高齢者、学生など)を踏まえた効果的な利用促進の実施、公営住宅への利用促進チラシの配布を行うとともに、モビリティマネジメントを含め利用に繋がる取り組みを検討・実施し、公共交通の利用を働きかけていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地線(10番系統) 西鉄大牟田営業所～大牟田駅～米の山	新規路線	B	C	新しい生活様式により公共交通の利用そのものが減少しているが、利用者の属性(高齢者、学生など)を踏まえた効果的な利用促進の実施、公営住宅への利用促進チラシの配布を行うとともに、モビリティマネジメントを含め利用に繋がる取り組みを検討・実施し、公共交通の利用を働きかけていく。		
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地線(10番系統) 大牟田駅～普光寺	新規路線	B	C	新しい生活様式により公共交通の利用そのものが減少しているが、利用者の属性(高齢者、学生など)を踏まえた効果的な利用促進の実施、公営住宅への利用促進チラシの配布を行うとともに、モビリティマネジメントを含め利用に繋がる取り組みを検討・実施し、公共交通の利用を働きかけていく。		
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地線(10番系統) 大牟田駅～米の山	新規路線	B	C	新しい生活様式により公共交通の利用そのものが減少しているが、利用者の属性(高齢者、学生など)を踏まえた効果的な利用促進の実施、公営住宅への利用促進チラシの配布を行うとともに、モビリティマネジメントを含め利用に繋がる取り組みを検討・実施し、公共交通の利用を働きかけていく。		
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地線(10番系統) 西鉄大牟田営業所～大牟田駅～普光寺	新規路線	B	C	新しい生活様式により公共交通の利用そのものが減少しているが、利用者の属性(高齢者、学生など)を踏まえた効果的な利用促進の実施、公営住宅への利用促進チラシの配布を行うとともに、モビリティマネジメントを含め利用に繋がる取り組みを検討・実施し、公共交通の利用を働きかけていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地線(16番系統) ゆめタウン大牟田～笹林～倉掛	新規路線	B	C	新しい生活様式により公共交通の利用そのものが減少しているが、利用者の属性(高齢者、学生など)を踏まえた効果的な利用促進の実施、沿線住宅への利用促進チラシの配布を行うとともに、モビリティマネジメントを含め利用に繋がる取り組みを検討・実施し、公共交通の利用を働きかけていく。		
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地線(16番系統) ゆめタウン大牟田～笹林～万田坑	新規路線	B	C	新しい生活様式により公共交通の利用そのものが減少しているが、利用者の属性(高齢者、学生など)を踏まえた効果的な利用促進の実施、沿線住宅への利用促進チラシの配布を行うとともに、モビリティマネジメントを含め利用に繋がる取り組みを検討・実施し、公共交通の利用を働きかけていく。		
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地線(16番系統) 大牟田駅～笹林～倉掛	新規路線	B	C	新しい生活様式により公共交通の利用そのものが減少しているが、利用者の属性(高齢者、学生など)を踏まえた効果的な利用促進の実施、沿線住宅への利用促進チラシの配布を行うとともに、モビリティマネジメントを含め利用に繋がる取り組みを検討・実施し、公共交通の利用を働きかけていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
柳川市地域公共交通協議会	柳川市 大和ひがし線	大和ひがし地域の運行	<ul style="list-style-type: none"> 市報や行政区へのチラシ配布を行い、利用促進を図った。 11月にコミバスにて無料乗車イベントを行い、利用の促進を図った。 随時アルコール消毒・換気、マスク着用の徹底等の感染防止対策を継続し、安心して利用いただける努めた。 	A	B	<p>新型コロナウイルスの影響により利用者が令和2年度から大幅に減少し、その影響が令和3年度にも継続した。</p> <p>今後は、コロナ禍が続くことを前提にし、広報紙や回覧版にて利用促進の周知など、コロナ禍でもできる取り組みを行っていく。</p> <p>また、随時アルコール消毒・換気、マスク着用の徹底等の感染防止対策を継続し、安心して乗ってもらえる環境づくりに努める。</p>	<p>評価の指標は、1便あたりの利用者数。</p> <p>利用促進を図るためチラシ配布や無料乗車イベントを行っている点、車内の新型コロナウイルス感染防止対策に努めている点を評価します。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。</p> <p>コロナウイルス感染症の影響の部分、それ以外の部分の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。</p>	
柳川市地域公共交通協議会	柳川市 大和みなみ線	大和みなみ地域の運行	<ul style="list-style-type: none"> 市報や行政区へのチラシ配布を行い、利用促進を図った。 11月にコミバスにて無料乗車イベントを行い、利用の促進を図った。 随時アルコール消毒・換気、マスク着用の徹底等の感染防止対策を継続し、安心して利用いただける努めた。 	A	B	<p>新型コロナウイルスの影響により利用者が令和2年度から大幅に減少し、その影響が令和3年度にも継続した。</p> <p>今後は、コロナ禍が続くことを前提にし、広報紙や回覧版にて利用促進の周知など、コロナ禍でもできる取り組みを行っていく。</p> <p>また、随時アルコール消毒・換気、マスク着用の徹底等の感染防止対策を継続し、安心して乗ってもらえる環境づくりに努める。</p>	<p>評価の指標は、1便あたりの利用者数。</p> <p>利用促進を図るためチラシ配布や無料乗車イベントを行っている点、車内の新型コロナウイルス感染防止対策に努めている点を評価します。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。</p> <p>コロナウイルス感染症の影響の部分、それ以外の部分の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。</p>	
柳川市地域公共交通協議会	柳川市 大和にし線	大和にし地域の運行	<ul style="list-style-type: none"> 市報や行政区へのチラシ配布を行い、利用促進を図った。 11月にコミバスにて無料乗車イベントを行い、利用の促進を図った。 随時アルコール消毒・換気、マスク着用の徹底等の感染防止対策を継続し、安心して利用いただける努めた。 	A	B	<p>新型コロナウイルスの影響により利用者が令和2年度から大幅に減少し、その影響が令和3年度にも継続した。</p> <p>今後は、コロナ禍が続くことを前提にし、広報紙や回覧版にて利用促進の周知など、コロナ禍でもできる取り組みを行っていく。</p> <p>また、随時アルコール消毒・換気、マスク着用の徹底等の感染防止対策を継続し、安心して乗ってもらえる環境づくりに努める。</p>	<p>評価の指標は、1便あたりの利用者数。</p> <p>利用促進を図るためチラシ配布や無料乗車イベントを行っている点、車内の新型コロナウイルス感染防止対策に努めている点を評価します。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。</p> <p>コロナウイルス感染症の影響の部分、それ以外の部分の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
柳川市地域公共交通協議 会	柳川市 三橋線	三橋地域の運行	<ul style="list-style-type: none"> 市報や行政区へのチラシ配布を行い、利用促進を図った。 11月にコミバスにて無料乗車イベントを行い、利用の促進を図った。 随時アルコール消毒・換気、マスク着用の徹底等の感染防止対策を継続し、安心して利用いただける努めた。 	A	B	<p>新型コロナウイルスの影響により利用者が令和2年度から大幅に減少し、その影響が令和3年度にも継続した。</p> <p>今後は、コロナ禍が続くことを前提にし、広報紙や回覧版にて利用促進の周知など、コロナ禍でもできる取り組みを行っていく。</p> <p>また、随時アルコール消毒・換気、マスク着用の徹底等の感染防止対策を継続し、安心して乗ってもらえる環境づくりに努める。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
久山町地域公共交通活性化協議会	<p>新宮タクシー(株)</p> <p>◎補助対象系統</p> <p><久原先行便> レスポアール～(久原循環)～レスポアール～(山田循環)～レスポアール</p> <p><猪野経由便> トリアス久山～猪野～篠栗駅</p>	<p><久原先行便> レスポアール～上久原～東久原～役場～下久原～レスポアール～上山田南～古賀橋トリアス前～下山田～大谷～草場～猪野～上山田南～レスポアールの運行</p> <p><猪野経由便> トリアス久山～下山田～猪野～山の神～久原療育園前～久山温泉前～大浦～篠栗駅前の運行</p>	<p><取組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画どおりの運行を実施し、路線の維持・存続を図るとともに、地域バランスを図るためにイコバスの系統別の運行本数の変更等を行い、利便性向上を行った(令和3年4月～)。 ・イコバス及び西鉄バス、JR九州バス、JR九州の、総合的な公共交通マップの改訂版を作成するとともに、乗継ぎ情報等も掲載し、公共交通の利用促進に努めた。 <変更した主な事業概要と検討手順> ・直行便上下合わせて10便のうち、8便を猪野複乗便に変更。(直行便2便は減便) ・猪野方面の運行間隔が空いている時間帯を中心に、直行便を猪野複乗便に振り替え(事業者と協議・調整しながら) <地域住民の意見反映> ・町役場への意見を随時受付。そのうち変更対応可能なものについて検討し、上記の通り実施。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・イコバス幹線系統と町内巡回の異なる利用ニーズへの対応を図るために、幹線系統のダイヤ調整や、町内巡回の運行ルートの変更等を進めることが求められる。 ・イコバス未運行地域からのイコバス運行の要望等も出ており、その対応を検討するとともに、町内に複数ある交通空白地域への対応についても、該当地域の意見集約や確実な利用を前提とした移動手段の提供など、新たな運行システムの導入を含め、検討を進める。 ・西鉄27B・77番系統、JR九州バス・JRとイコバスの一体的な町内外交通体系の整備を継続的に行う。 	<p>評価の指標は、乗降客数と利用者満足度。 公共交通マップの改訂を改定を行い公共交通の利用促進に努めている点、地域住民の意見を反映している点を評価します。 目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 今後も、新たに策定した地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鞍手町地域公共交通会議	MGタクシー株式会社	長谷線 (神田公民館～鞍手駅)	利用促進を図るために町内の公共施設、病院、銀行等にバスガイドの配布などを行った。 バス利用促進の啓発グッズを庁舎内に配置した。	A	A	もやいタクシーにおいては、町内の交通空白地域における重要な公共交通であるため、町内の主要な施設や広域交通の接続拠点へのアクセス性の向上などの利便性の向上を図っていく必要がある。	評価の指標は、路線毎の利用者数。 公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されていることを評価します。引き続き利用者のニーズを把握した上で、子ども、学生、高齢者など公共交通を利用して欲しい方に対してアプローチされることを期待します。	
鞍手町地域公共交通会議	MGタクシー株式会社	古月線 (古門栄町～くらじの郷)	利用促進を図るために町内の公共施設、病院、銀行等にバスガイドの配布などを行った。 バス利用促進の啓発グッズを庁舎内に配置した。	A	A	もやいタクシーにおいては、町内の交通空白地域における重要な公共交通であるため、町内の主要な施設や広域交通の接続拠点へのアクセス性の向上などの利便性の向上を図っていく必要がある。		
鞍手町地域公共交通会議	MGタクシー株式会社	泉水線 (永谷公民館～鞍手駅)	利用促進を図るために町内の公共施設、病院、銀行等にバスガイドの配布などを行った。 バス利用促進の啓発グッズを庁舎内に配置した。	A	A	もやいタクシーにおいては、町内の交通空白地域における重要な公共交通であるため、町内の主要な施設や広域交通の接続拠点へのアクセス性の向上などの利便性の向上を図っていく必要がある。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		評価結果
那珂川市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス二日市(株)	かわせみ南畑線	利用者からの要望・意見等を考慮しつつ、かわせみバスとJR博多南線が接続しやすいダイヤを目標とし、令和3年3月13日のJR博多南線ダイヤ改正に合わせて、同日にかわせみバスダイヤを改正した。	A	C	JR博多南線のダイヤ改正に合わせてかわせみバスのダイヤ改正を実施することで接続を確保したことによる利用者の増加に伴い、通勤かわせみは採算性において目標を達成することができたが、一方で、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用者の減少もあり、通勤かわせみの利用者数、及び南畑線において目標を達成することができなかった。今後、バスの感染症対策を発信し利用促進を図るなどコロナ禍に対応した取り組みを進める必要がある。	評価の指標は、路線毎の採算性及び利用者数。利用者からの要望・意見等を考慮しつつ接続しやすいダイヤとしている点を評価します。目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。新型コロナウイルス感染症の影響の部分、それ以外の部分の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。	
那珂川市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス二日市(株)	通勤かわせみ	利用者からの要望・意見等を考慮しつつ、かわせみバスとJR博多南線が接続しやすいダイヤを目標とし、令和3年3月13日のJR博多南線ダイヤ改正に合わせて、同日にかわせみバスダイヤを改正した。	A	B	JR博多南線のダイヤ改正に合わせてかわせみバスのダイヤ改正を実施することで接続を確保したことによる利用者の増加に伴い、通勤かわせみは採算性において目標を達成することができたが、一方で、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用者の減少もあり、通勤かわせみの利用者数、及び南畑線において目標を達成することができなかった。今後、バスの感染症対策を発信し利用促進を図るなどコロナ禍に対応した取り組みを進める必要がある。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
飯塚市地域公共 交通協議会	(有)Shonai観光 飯塚東地区	飯塚東地区内及び経営外科胃腸科医 院・ハローデイ柏の森店・上の谷バス停 への運行	利用ガイドの全戸配布・市報による利用促進の呼びかけ等の広 報活動を行うことで、住民に対する周知については一定の効果は 出ている。 利用者を含めた住民からの要望等については、電話や窓口での 聞き取りやまちづくり協議会、自治会会長会等の各種団体からの 意見を反映し、運行改善を行っている。	A	A	(ア)令和4年度版の利用ガイドを、高齢者等の利用者にわかりやすいように作 成し、市民への周知に努める。 (イ)年々、予約乗合タクシーの利用方法や有効性の認知が拡大し、今年度の 追加登録者数は昨年度よりも308人増えた。今後も引き続き市民への周知活 動の強化に取り組み、利用促進を図る。 (ウ)利用者ニーズ、民間公共交通とコミュニティ交通との役割分担を考慮した、 効果的・効率的で持続可能な公共交通体系の大規模な見直しに伴い、その相 乗効果により利用促進を図る。 (エ)回数券割引制度の見直しを検討し、利用促進を図る。 (オ)感染症対策を継続し、対応を周知して利用者に安心して利用してもらえる ようにする。	評価の指標は、利用者数。 公共交通の利用促進に取り組み れ、目標を達成されていることを 評価します。引き続き利用者の ニーズを把握した上で、子ども 、学生、高齢者など公共交通を利 用して欲しい方に対してアプロー チされることを期待します。	
	(有)Shonai観光 庄内地区	庄内地区内及び筑豊緑地・トライアル上 三緒店への運行						
	(有)Shonai観光 鎮西地区 (八木山地区以外)	鎮西地区(八木山地区以外)内及び飯塚 市立病院・せき橋センター・ミスターマック ス花瀬店への運行						
	(有)Shonai観光 筑穂地区	筑穂地区内及び済生会病院・青山医院・ JR桂川駅への運行						
	穂波タクシー(株) 穂波地区	穂波地区内及びJR筑前大分駅への運行						
	安全タクシー(有) 頼田・鯉田地区	頼田・鯉田地区内及び筑豊緑地への運 行						
	総合交通(株) 鎮西地区 (主に八木山地区)	鎮西地区(主に八木山地区)内及び飯塚 市立病院・せき橋センター・ミスターマッ クス飯塚花瀬店への運行						
	総合交通(株) 二瀬地区	二瀬地区内及びせき橋センター・イオン 種波店への運行						
安全タクシー(有) 幸袋地区	幸袋地区内及びJR鯉田駅・川食鯉田店・ ハローデイ九工大前店・頼田病院への運 行							

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
川崎町地域公共交通会議	川崎町	安宅コースの運行	人口減少に加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う3度の緊急事態宣言の発令により、外出の自粛やイベント等が中止になり、十分な利用促進活動が行えなかった。	A	A	感染症対策を徹底し、公共施設やイベント開催時等で時刻表やグッズを配布するとともに、より多くの住民にコミュニティバスを周知するために広報誌を活用し、利用者の増加に努める。また、停留所の時刻表看板の文字の大きさや、経年劣化による破損紛失等の改善要望があるため、全停留所の時刻表看板を更新し利便性向上を図る。	評価の指標は、路線毎の利用者数。感染症対策の徹底、また、利用促進に取り組まれている点を評価します。目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。今後、協議会において市町村等が主体となり、関係者との協議をこつこつと、地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることを期待します。
川崎町地域公共交通会議	川崎町	木城・荒平コースの運行	人口減少に加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う3度の緊急事態宣言の発令により、外出の自粛やイベント等が中止になり、十分な利用促進活動が行えなかった。	A	B	感染症対策を徹底し、公共施設やイベント開催時等で時刻表やグッズを配布するとともに、より多くの住民にコミュニティバスを周知するために広報誌を活用し、利用者の増加に努める。また、停留所の時刻表看板の文字の大きさや、経年劣化による破損紛失等の改善要望があるため、全停留所の時刻表看板を更新し利便性向上を図る。	
川崎町地域公共交通会議	川崎町	上真崎・永井コースの運行	人口減少に加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う3度の緊急事態宣言の発令により、外出の自粛やイベント等が中止になり、利用者が減少し十分な利用促進活動が行えなかったものの、通学での利用が増えたため、利用者の増加に繋がった。	A	A	中学生の通学手段としての利用が定着し、乗客数が大幅に増加したが、通学での利用は無償であるため、広報誌等を活用し一般利用者及び運賃収入の増加に努める。また、停留所の時刻表看板の文字の大きさや、経年劣化による破損紛失等の改善要望があるため、全停留所の時刻表看板を更新し利便性向上を図る。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
川崎町地域公共交通会議	川崎町	池尻・田原コースの運行	人口減少に加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う3度の緊急事態宣言の発令により、外出の自粛やイベント等が中止になり、十分な利用促進活動が行えなかった。	A	B	感染症対策を徹底し、公共施設やイベント開催時等で時刻表やグッズを配布するとともに、より多くの住民にコミュニティバスを周知するために広報誌を活用し、利用者の増加に努める。また、停留所の時刻表看板の文字の大きさや、経年劣化による破損紛失等の改善要望があるため、全停留所の時刻表看板を更新し利便性向上を図る。		
川崎町地域公共交通会議	川崎町	三井・大峰コースの運行	人口減少に加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う3度の緊急事態宣言の発令により、外出の自粛やイベント等が中止になり、十分な利用促進活動が行えなかった。	A	B	感染症対策を徹底し、公共施設やイベント開催時等で時刻表やグッズを配布するとともに、より多くの住民にコミュニティバスを周知するために広報誌を活用し、利用者の増加に努める。また、停留所の時刻表看板の文字の大きさや、経年劣化による破損紛失等の改善要望があるため、全停留所の時刻表看板を更新し利便性向上を図る。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岡垣町地域公共交通協議会	(株)西部遠賀交通 ○フィーダー対象 [4路線20系統運行] 糠塚・元松原循環線 [7系統] 海老津駅南・龍王団地線 [8系統] 高陽団地循環線 ※内1系統みなし運行 [5系統] 上畑・上高倉・戸切線 [1系統] ○フィーダー対象外 [1路線8系統運行] 波津線波津系統 [6系統] 波津線松ヶ台循環 [2系統]	町内を南北に走る西鉄バス波津線を支える、6路線28系統のコミュニティバスを(株)西部遠賀交通が2台のマイクロバス(定員27人)と5台のミニバス(定員13人)で運行している。	【利便性の向上】 ①海老津駅との乗り継ぎを考慮した運行ダイヤの設定 ②時刻表に、乗り継ぎ可能な便を記載し、利便性の向上を図った。 ③バスの行先表示を変更し、利便性の向上を図った 【利用促進】 ①住民向け利用促進講座の開催と講座受講者に対する無料乗車券の配布	計画通り事業は適切に実施された。	【目標】 岡垣町地域公共交通確保計画を策定した。H27事業年度と同等の利用者数確保(113,000人) 【達成状況】 H29事業年度…105,028人 H30事業年度…93,354人 R1事業年度…113,332人 R2事業年度…84,906人 R3事業年度…80,726人 R3もR2に引き続きコロナウイルス感染症の影響を受け利用者数の低迷が続いた。 目標とする数値を達成することはできなかったが、コロナウイルスの新しい生活様式に対応し、安全・安心な公共交通空間を提供する為に創意工夫を図った	岡垣町地域公共交通計画を基に利用量に見合った、持続可能な運行計画を策定する。	評価の指標は、網形成計画を策定したH27事業年度の利用者数。利便性の向上、利用促進に取り組まれている点を評価します。目標値を大きく下回った要因を新型コロナウイルス感染症の影響のみとはせず、系統ごとに利用者の生活行動の分析やニーズの把握が行われることを期待します。今後も、策定した地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
須恵町地域公共交通協議会	須恵町	<p>■コミュニティバス事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐谷～上須恵線 ・乙植木～須恵線 	<p>【R2評価結果】 With/Afterコロナを見据えた対策が検討されることを期待します。今後、地域公共交通計画を策定されることを期待します。</p> <p>【R3目標設定及び対応策】 (目標) 乗降者数前年度100%を確保する (対応策) ①町HPや、広報等を活用した利用促進 ②料金免除証明書発行推進 ③バス停情報等オープンデータ化 ④大学との連携事業 ◆利用者動向モニタリング実施 ◆バス位置情報発信 ⑤小学校区バスルート検討</p>	A	C	<p>①令和3年10月よりコミュニティバスを2台追加し、路線を校区単位に改正を実施する。路線数や便数の増加により、町民の利便性向上、利用者数増加を狙う。 ②全路線の発着地である福祉センターに大型ビジョンを設置し、バス発着情報を発信する他、GIS機能による車内案内の自動化を促進し、運転手業務の簡素化を目指す。 ③地域公共交通計画案を作成。令和4年1月より運輸局との事前協議を進めていく。事前協議後、公共交通協議会に諮り、審議いただく予定である。</p>	<p>評価の指標は、路線毎の利用者数の前年比。利用促進やオープンデータ等に取り組みられている点を評価します。 目標値を大きく下回った要因を新型コロナウイルス感染症の影響のみとはせず、利用者の生活行動の分析やニーズの把握が行われることを期待します。 今後も、新たに策定する地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>	

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)**

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	大丸タクシー(株) 八女エリア	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や広報による利用促進に努めた。	A	B	幹線系路線バスとの乗継ぎ利便性の向上や、お試し乗車券の配布等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンや老人クラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行う。	<p>評価の指標は、路線毎の利用者数。 地域説明会の開催や広報による利用促進に取り組んでいる点を評価します。 自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>	
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	大丸タクシー(株) 迎春エリア	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や広報による利用促進に努めた。	A	B	幹線系路線バスとの乗継ぎ利便性の向上や、お試し乗車券の配布等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンや老人クラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行う。		
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	大丸タクシー(株) 堀川バス(株) 白木エリア	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や広報による利用促進に努めた。	A	A	幹線系路線バスとの乗継ぎ利便性の向上や、お試し乗車券の配布等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンや老人クラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行う。		
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	堀川バス(株) 迎春エリア(堀川系統)	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や広報による利用促進に努めた。	A	B	幹線系路線バスとの乗継ぎ利便性の向上や、お試し乗車券の配布等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンや老人クラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	(有)川島タクシー 堀川バス(株) 矢部エリア	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や広報による利用促進に努めた。また、利便性向上のため、7月5日から1台増車し、これまで物理的に配車が難しかった箇所も利用が可能になった。	A	B	幹線系路線バスとの乗継ぎ利便性の向上や、お試し乗車券の配布等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンや老人クラブ等での利用説明会を実施し、周知活動を行う。		
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	(有)八女観光バス 上陽エリア	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や広報による利用促進に努めた。また、利便性向上のため、7月5日から1台増車し、これまで物理的に配車が難しかった箇所も利用が可能になった。	A	B	幹線系路線バスとの乗継ぎ利便性の向上や、お試し乗車券の配布等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンや老人クラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行う。		
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	堀川バス(株) (有)川島タクシー (株)くろき (有)八女観光バス 旧黒木町エリア	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や広報による利用促進に努めた。	A	A	幹線系路線バスとの乗継ぎ利便性の向上や、お試し乗車券の配布等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンや老人クラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行う。		
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	星野タクシー(有) 星野エリア	利用状況は近年横ばい、または減少の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。前回評価を踏まえ、地域説明会の開催や広報による利用促進に努めた。また、利便性向上のため、7月5日から1台増車し、これまで物理的に配車が難しかった箇所も利用が可能になった。	A	A	幹線系路線バスとの乗継ぎ利便性の向上や、お試し乗車券の配布等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンや老人クラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	坂谷・田川病院線A系統 坂谷～田川病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	c	利用者の利便性向上及び新規利用者獲得のため、鉄道・バスとのスムーズな接続を考慮したダイヤ編成及び運行ルートの見直しを行う。チラシ、広報紙による周知など利用促進、時刻表の配布を行う。	<p>評価の指標は、路線毎の輸送人員及び運賃等収入。利便性を考慮したダイヤ編成、広報紙等による利用促進に取り組まれている点を評価します。目標の多くが未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響の部分、それ以外の部分の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。</p>	
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	大浦・弓削田線A系統 上ノ山団地～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	c	コミュニティバス利用が定着するように鉄道・バスとの接続強化。輸送人員が多い路線であるため、市民ニーズに沿った運行内容の見直し・再編を行う。新規利用者獲得のためチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	大浦・弓削田線B系統 上ノ山団地～後藤寺前駅の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	c	コミュニティバス利用が定着するように鉄道・バスとの接続強化。輸送人員が多い路線であるため、市民ニーズに沿った運行内容の見直し・再編を行う。新規利用者獲得のためチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	大浦・弓削田線C系統 後藤寺駅前～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	c	コミュニティバス利用が定着するように鉄道・バスとの接続強化。輸送人員が多い路線であるため、市民ニーズに沿った運行内容の見直し・再編を行う。新規利用者獲得のためチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	伊加利・松原線A系統 山賊鍋～伊田駅前の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	c	路線の見直しを行うとともに、新規利用者の利用定着や新たな利用者獲得に向け、運行しているバスの周知やチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	伊加利・松原線B系統 山賊鍋～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	c	路線の見直しを行うとともに、新規利用者の利用定着や新たな利用者獲得に向け、運行しているバスの周知やチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	伊加利・松原線C系統 伊田駅前～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	c	路線の見直しを行うとともに、新規利用者の利用定着や新たな利用者獲得に向け、運行しているバスの周知やチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	鎮西・金川線A系統 山賊鍋～田川市立病院 の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	c	路線の見直しを行うとともに、新規利用者の利用定着や新たな利用者獲得に向け、運行しているバスの周知やチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	鎮西・金川線B系統 山賊鍋～伊田駅前の運 行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	c	路線の見直しを行うとともに、新規利用者の利用定着や新たな利用者獲得に向け、運行しているバスの周知やチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	鎮西・金川線C系統 伊田駅前～田川市立病 院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	c	路線の見直しを行うとともに、新規利用者の利用定着や新たな利用者獲得に向け、運行しているバスの周知やチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	白鳥工業団地線A系統 後藤寺駅前～伊田駅 前の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	通学利用者の利便性向上のため、通学時間に合わせた運行ダイヤの見直しや路線の再編を行い、新たな利用者獲得に向けたチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町	<ul style="list-style-type: none"> ・遠賀町コミュニティバス 田園・松の本快速線(1)時計回り(遠賀川駅(北口)～松の本～遠賀川駅(北口))の運行 ・遠賀町コミュニティバス 田園・松の本快速線(2)反時計回り(遠賀川駅(北口)～松の本～遠賀川駅(北口))の運行 ・車両の老朽化に伴い、車両減価償却費等国庫補助金を利用し、ノンステップバス1台を購入(全路線で利用) 	町の広報紙に新車購入に関する記事の掲載だけでなく、バスのお得情報や新型コロナウイルス対策の取り組みも掲載した。また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、利用促進の取り組みを行った。	A	B	<p>前年度に比べ、利用者が1,189人減少している。新型コロナウイルスの影響に加え、各団地内の高齢化により、駅への通勤・通学目的の利用者が減少傾向にあることが原因と考えられる。そのため、新規利用者の確保のためにも広報紙による利用促進をはじめ、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら体験乗車や出前講座の募集を実施するなど、引き続き遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。</p>	<p>評価の指標は、路線毎の利用者数。利用促進のため様々な取り組みをされている点を評価します。目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町	<ul style="list-style-type: none"> ・遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木快速線(1)反時計回り(遠賀川駅南口～運角～遠賀川駅南口)の運行 ・遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木快速線(2)時計回り(遠賀川駅南口～運角～遠賀川駅南口)の運行 ・車両の老朽化に伴い、車両減価償却費等国庫補助金を利用し、ノンステップバス1台を購入(全路線で利用) 	町の広報紙に新車購入に関する記事の掲載だけでなく、バスのお得情報や新型コロナウイルス対策の取り組みも掲載した。また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、利用促進の取り組みを行った。	A	B	前年度に比べ、利用者が743人減少している。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発令により、通勤・通学等の機会が減少したことが影響していると考えられる。そのため、新規利用者の確保のためにも広報紙による利用促進をはじめ、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら体験乗車や出前講座の募集を実施するなど、引き続き遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町	<ul style="list-style-type: none"> ・遠賀町コミュニティバス 田園・松の本線(1)時計回り(遠賀川駅(北口)～松の本～遠賀川駅(北口))の運行 ・遠賀町コミュニティバス 田園・松の本線(2)反時計回り(遠賀川駅(北口)～松の本～遠賀川駅(北口))の運行 ・車両の老朽化に伴い、車両減価償却費等国庫補助金を利用し、ノンステップバス1台を購入(全路線で利用) 	町の広報紙に新車購入に関する記事の掲載だけでなく、バスのお得情報や新型コロナウイルス対策の取り組みも掲載した。また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、利用促進の取り組みを行った。	A	B	<p>前年度に比べ、利用者が1,653人減少している。</p> <p>新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発令により、各団地からの駅の利用者や買い物をはじめとした外出を控えたこと、バス停付近の病院が閉院になったことが、大きな原因と考えられる。</p> <p>そのため、新規利用者の確保のためにも広報紙による利用促進をはじめ、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら体験乗車や出前講座の募集を実施するなど、引き続き遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町	<ul style="list-style-type: none"> ・遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木線(1)反時計回り(遠賀川駅(北口)～遠賀高校～遠賀川駅(北口))の運行 ・遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木線(2)時計回り(遠賀川駅(北口)～遠賀高校～遠賀川駅(北口))の運行 ・遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木線(3)反時計回り(遠賀川駅(北口)～ふれあいの里～遠賀川駅(北口))の運行 ・遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木線(4)時計回り(遠賀川駅(北口)～ふれあいの里～遠賀川駅(北口))の運行 ・車両の老朽化に伴い、車両減価償却費等国庫補助金を利用し、ノンステップバス1台を購入(全路線で利用) 	<p>町の広報紙に新車購入に関する記事の掲載だけでなく、バスのお得情報や新型コロナウイルス対策の取り組みも掲載した。また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、利用促進の取り組みを行った。</p>	A	A	<p>前年度に比べ、利用者が7人増加している。また、遠賀川駅への利用者が減少しているのに対し、町内の商業施設への利用者が増えていることから、JRで町外に出かけていた人が町内で買い物するようになった可能性がある。スクールバスが運行している関係で、学生の大幅な利用促進は難しいが、増加傾向にある買い物目的の利用者をさらに増加させるためにも、広報紙による利用促進をはじめ、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら体験乗車や出前講座の募集を実施するなど、引き続き遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町	<ul style="list-style-type: none"> ・遠賀町コミュニティバス 島津・尾崎線(1)反時計回り(遠賀川駅(北口)～尾崎～遠賀川駅(北口))の運行 ・遠賀町コミュニティバス 島津・尾崎線(2)時計回り(遠賀川駅(北口)～尾崎～遠賀川駅(北口))の運行 ・車両の老朽化に伴い、車両減価償却費等国庫補助金を利用し、ノンステップバス1台を購入(全路線で利用) 	町の広報紙に新車購入に関する記事の掲載だけでなく、バスのお得情報や新型コロナウイルス対策の取り組みも掲載した。また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、利用促進の取り組みを行った。	A	B	前年度に比べ、利用者が750人減少している。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発令により、買い物や通勤目的の外出を控えたことが、大きな原因と考えられる。そのため、新規利用者の確保のためにも広報紙による利用促進をはじめ、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら体験乗車や出前講座の募集を実施するなど、引き続き遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町	<ul style="list-style-type: none"> ・遠賀町コミュニティバス 老良・広渡線(1)時計回り (遠賀川駅(北口)～ふれあ いの里～遠賀川駅(北口)) の運行 ・遠賀町コミュニティバス 老良・広渡線(2)反時計回 り(遠賀川駅(北口)～ふれ あいの里～遠賀川駅(北 口))の運行 ・車両の老朽化に伴い、車 両減価償却費等国庫補助 金を利用し、ノンステップバ ス1台を購入(全路線で利 用) 	<p>町の広報紙に新車購入に関する記事の掲載だけでなく、バスのお得情報や新型コロナウイルス対策の取り組みも掲載した。また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、利用促進の取り組みを行った。</p>	A	A	<p>前年度に比べ、利用者が193人減少している。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発令により、駅や商業施設などの利用を控えたことが原因と考えられる。そのため、広報紙による利用促進をはじめ、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら体験乗車や出前講座の募集を実施するなど、引き続き遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
芦屋町地域公共交通会議	芦屋町地域公共交通会議	芦屋タウンバス 中央病院・遠賀川駅線	新型コロナウイルスにより減少した利用者を回復するため、クーポン付き乗車券の販売を行ったほか、ベンチや上屋を設置する等、バス停環境の整備を行った	A	B	芦屋町地域公共交通計画に基づき、減少した利用者の回復を図る。	評価の指標は、路線毎の利用者数。利用促進、待合環境整備に取り組まれている点を評価します。目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。	
芦屋町地域公共交通会議	芦屋町地域公共交通会議	芦屋タウンバス はまゆう・遠賀川駅線	新型コロナウイルスにより減少した利用者を回復するため、クーポン付き乗車券の販売を行ったほか、ベンチや上屋を設置する等、バス停環境の整備を行った	A	B	芦屋町地域公共交通計画に基づき、減少した利用者の回復を図る。	今後も、地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広川町地域公共交通協議会	(有)蒲池自動車・堀川バス(株)	ふれあいタクシー(町内全域の運行)	自治会や社会福祉協議会等が主催する会合・健康教室に参加し、意見・要望を聴取した。要望のあった区域外乗り入れについては、他市関係者との協議継続と回答した。	A	B	利用状況の把握、利用者の意見聴取を行い、利用促進に向けた取組を実施する。	評価の指標は、路線毎の利用者数。 地域の会合等に積極的に参画し意見聴取を行っている点を評価します。 目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 今後、協議会において市町村等が主体となり、関係者との協議を経つつ、地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
直方市地域公共交通会議	MGタクシー株式会社	上頓野線(直方駅～会下団地～竜王峽)の運行	・市のホームページ及び窓口にて時刻表及び路線図を配架するほか、全戸配布の市報に折り込みを行った。また、市の広報誌に公共交通の特集を掲載し、公共交通の現状と問題点について周知を図った。・令和2年10月に実施したダイヤ変更により買い物利用の利便性を改善した。目標値を下回っているが、令和2年度実績は0.3名上がっていることから、利用者増を引き続き図る。	A	B	・トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、地域と協議を行い、効率的なルートを選定を行う。また、住民が公共交通を自発的に考える機会の創出を行う。・利用者増加のため、地域と協議を行い、買い物目的でより利用しやすくなるよう令和2年10月にダイヤの見直しを実施したため新規利用者増を図る。	評価指標は1運行(1往復)平均の利用者数。 目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 引き続き利用者のニーズを把握した上で、子ども、学生、高齢者など公共交通を利用して欲しい方に対してアプローチされることを期待します。	
直方市地域公共交通会議	MGタクシー株式会社	武谷線(直方駅～ハローデイ前～ゴルフ場)の運行	・市のホームページ及び窓口にて時刻表及び路線図を配架するほか、全戸配布の市報に折り込みを行った。また、市の広報誌に公共交通の特集を掲載し、公共交通の現状と問題点について周知を図った。・平成30年10月にスーパーを経由するルートへ路線の変更を実施した結果、目標値を上回っているため、引き続き路線の確保・維持を図る。	A	A	・トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、地域と協議を行い、効率的なルートを選定を行う。また、住民が公共交通を自発的に考える機会の創出を行う。・地域と協議を行い、令和3年10月一部のバス停位置を変更したことから、さらなる利用者増、利便性の向上を目指す。		
直方市地域公共交通会議	筑豊タクシー株式会社	鴨生田団地線(直方駅～鴨生田団地～サンリブのおがた店)の運行	・市のホームページ及び窓口にて時刻表及び路線図を配架するほか、全戸配布の市報に折り込みを行った。また、市の広報誌に公共交通の特集を掲載し、公共交通の現状と問題点について周知を図った。・令和2年10月西鉄バスの路線廃止に伴い、代替交通として路線変更を実施した結果、利用者は増加しているため、引き続き路線の確保・維持を図る。	A	A	・トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、地域と協議を行い、効率的なルートを選定を行う。また、住民が公共交通を自発的に考える機会の創出を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
直方市地域公共交通会議	直方タクシー有限会社	植木線(直方駅～下新入～下町公民館)の運行	・市のホームページ及び窓口時刻表及び路線図を配架するほか、全戸配布の市報に折り込みを行った。また、市の広報誌に公共交通の特集を掲載し、公共交通の現状と問題点について周知を図った。・平成29年10月にスーパーを経由するルートへ路線の変更を実施した結果、利用者は増加しているため、引き続き路線の確保・維持を図る。	A	B	・トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、地域と協議を行い、効率的なルートの選定を行う。また、住民が公共交通を自発的に考える機会の創出を行う。・令和3年10月に路線を延長し、バス停を追加したことから、さらなる利用者増、利便性の向上を目指す。		
直方市地域公共交通会議	MGタクシー株式会社	感田線(直方駅～東和苑北～行常集会所)の運行	・市のホームページ及び窓口時刻表及び路線図を配架するほか、全戸配布の市報に折り込み周知を行った。また、市の広報誌に公共交通の特集を掲載し、公共交通の現状と問題点について周知を図った。・令和2年4月から変更した路線については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用増加の状況が判断しにくいいため、今後も引き続き周知を図るとともに、路線の確保・維持に努める。	A	A	・トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、地域と協議を行い、効率的なルートの選定を行う。また、住民が公共交通を自発的に考える機会の創出を行う。		
直方市地域公共交通会議	直方タクシー有限会社	赤地新入線(緑光苑～直方駅～サンリブのおがた店)の運行	・市のホームページ及び窓口時刻表及び路線図を配架するほか、全戸配布の市報に折り込み周知を行った。また、市の広報誌に公共交通の特集を掲載し、公共交通の現状と問題点について周知を図った。・新規路線であるため対象地区への周知が行き届いていない可能性も高い。	A	B	・トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、地域と協議を行い、効率的なルートの選定を行う。また、住民が公共交通を自発的に考える機会の創出を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
久留米市地域公共交通会議	久留米市地域公共交通会議	北野地域よりみちバス運行 ・A日程(月・水・金):17便 ・B日程(火・木・土):17便	新型コロナウイルス感染拡大により利用者が減少傾向にあって、地域住民の生活や経済の安定確保に不可欠な地域公共交通の確保・維持のため、十分な感染拡大防止策を講じながら、生活支援交通の運行継続に努めた。	B	A	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも、目標を達成したが、現在も利用者は感染拡大前まで回復していないため、今後も地域の意見・要望を反映した運行ルート・ダイヤ等の改善を行い、利用促進を図る。	評価の指標は、日利用者数、公共交通満足度。十分な感染拡大防止策を講じながら、生活支援交通の運行継続に努められている点を評価します。 目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。	
久留米市地域公共交通会議	久留米市地域公共交通会議	城島地域よりみちバス運行 ・A日程(月・水・土):17便 ・B日程(火・木・金):16便	新型コロナウイルス感染拡大により利用者が減少傾向にあって、地域住民の生活や経済の安定確保に不可欠な地域公共交通の確保・維持のため、十分な感染拡大防止策を講じながら、生活支援交通の運行継続に努めた。	B	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたこともあり、目標1については前年度を下回り、達成できなかった。本地域では定期券利用が少ないことから、今後は地域の意見・要望を反映した運行ルート・ダイヤ等の改善や定期券利用促進策を検討し、利用者増を図る。	今後も、2年8月に策定した地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
中間市地域公共交通会議	ひかり第一交通株式会社 産業タクシー株式会社	太賀・朝霧系統	令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大が著しく、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により外出自粛の要請が続き、新規利用者獲得や利用促進に向けた取組が困難な状況だった。	A	C	令和3年10月1日付けで市立病院の廃院等に伴う路線の一部廃止を実施している。これにより、運行経費の補填額が減少することから、運行事業者の事業実施に係る負担を軽減するため、タイヤの見直し等を検討する。また、市立病院の廃院や大型店舗の出退店により利用者の変動が見込まれるため、利用状況の動向を注視し、運行計画の見直しを検討する。	評価の指標は、路線毎の利用者数及び収支率。新型コロナウイルス感染症の影響の部分、それ以外の部分の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。今後、協議会において市町村等が主体となり、関係者との協議を経つつ、地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることを期待します。	
中間市地域公共交通会議	有限会社ことぶきタクシー	通谷・桜台系統	運行改善の取組として、令和2年10月1日付けで運行ルートの見直しを実施した。令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大が著しく、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により外出自粛の要請が続き、新規利用者獲得や利用促進に向けた取組が困難な状況だった。	A	B	令和3年10月1日付けで市立病院の廃院等に伴う路線の一部廃止を実施している。これにより、運行経費の補填額が減少することから、運行事業者の事業実施に係る負担を軽減するため、タイヤの見直し等を検討する。また、市立病院の廃院や大型店舗の出退店により利用者の変動が見込まれるため、利用状況の動向を注視し、運行計画の見直しを検討する。		
中間市地域公共交通会議	有限会社ことぶきタクシー	垣生・下大隈系統	令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大が著しく、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により外出自粛の要請が続き、新規利用者獲得や利用促進に向けた取組が困難な状況だった。	A	C	運行が開始されて6年目となるが、タイヤの大幅な変更などは行われていないため、これまでの利用状況を分析し、新規利用者を獲得するため運行計画の見直しを検討する。なお、市立病院の廃院等に伴って令和3年10月1日付けで路線の一部廃止を実施している。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
中間市地域公共交通会議	ひかり第一交通株式会社	砂山・底井野系統	令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大が著しく、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により外出自粛の要請が続き、新規利用者獲得や利用促進に向けた取組が困難な状況だった。	A	C	運行が開始されて6年目となるが、ダイヤの大幅な変更などは行われていないため、これまでの利用状況を分析し、新規利用者を獲得するため運行計画の見直しを検討する。 なお、市立病院の廃院等に伴って令和3年10月1日付けで路線の一部廃止を実施している。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 清水・上庄線	瀬高町の水上～清水～上庄～本郷地域を運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。	A	B	・新型コロナウイルスの影響で「無料バスの日」など一部の利用促進の取り組みができなかった。 ・新型コロナウイルスの影響で昨年度より利用者が落ち込んでいる。 ・新型コロナウイルスの感染状況に留意しつつ、コミュニティバスに関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。	評価指標は評価の指標は、路線毎の1便あたりの利用者数。様々な利用促進に組み込まれている点の評価します。新型コロナウイルス感染症の影響の部分、それ以外の部分の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。また、地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 瀬高・高田線 (太神・岩田経由)	瀬高町～高田町を太神・岩田地域を経由して運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・令和3年4月1日より運行ルートの一部見直しを実施した。	A	C	・新型コロナウイルスの影響で「無料バスの日」など一部の利用促進の取り組みができなかった。 ・新型コロナウイルスの影響で昨年度より利用者が落ち込んでいる。 ・新型コロナウイルスの感染状況に留意しつつ、コミュニティバスに関する周知や広報に取り組み、利用促進に努める。 ・令和4年4月1日より運行ルートの見直しを行う。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 高田・瀬高線 (江浦・浜田・大江経由)	高田町～瀬高町を江浦・浜田・大江地域を経由して運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・令和3年4月1日より運行ルートの一部見直しを実施した。	A	A	・新型コロナウイルスの影響で「無料バスの日」など一部の利用促進の取り組みができなかった。 ・今後は新型コロナウイルスの感染状況に留意しつつ、現在の利用状況を維持できるよう、コミュニティバスに関する周知や広報に取り組み、利用促進に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 高田・瀬高線 (江浦・浜田・大江経由)	高田町～瀬高町を江浦・浜田・大江地域を經由して運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・令和3年4月1日より運行ルートの一部見直しを実施した。	A	B	・新型コロナウイルスの影響で予定していた「無料バスの日」の利用促進の取り組みができなかった。 ・目標値には達していないが、昨年度より利用者は増加している。 ・今後は新型コロナウイルスの感染状況に留意しつつ、コミュニティバスに関する周知や広報に取り組み利用促進に努め、目標達成を目指す。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 高田・瀬高線 (国道209号経由)	高田町～瀬高町を国道209号を經由して運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。	A	B	・新型コロナウイルスの影響で「無料バスの日」など一部の利用促進の取り組みができなかった。 ・目標には達しなかったが、昨年度より利用者は増えている。 ・今後は新型コロナウイルスの感染状況に留意しつつ、コミュニティバスに関する周知や広報に取り組み利用促進に努め、目標達成を目指す。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 高田・瀬高線 (国道209号経由)	新船小屋からJR瀬高駅間を運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。	A	C	・新型コロナウイルスの影響で予定していた「無料バスの日」の利用促進の取り組みができなかった。 ・新船小屋からJR瀬高駅間を山川・瀬高線③に接続するための回送的な運行のため、利用者が限られている。 ・新型コロナウイルスの感染状況に留意しつつ、コミュニティバスに関する周知や広報に取り組み、利用促進に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 山川・瀬高線①	山川町の真弓公民館～瀬高町の市立図書館を国道443号線を経由して運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・利用状況の把握及び分析を実施し、令和3年4月1日よりバス停の新規設置及びダイヤの一部見直しを実施した。	A	B	・新型コロナウイルスの影響で予定していた「無料バスの日」の利用促進の取り組みができなかった。 ・目標には届かなかったが、昨年度より利用者は増えている。 ・新型コロナウイルスの感染状況に留意しつつ、コミュニティバスに関する周知や広報に取り組み利用促進に努め、目標達成を目指す。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 山川・瀬高線②	山川町のバイオマスセンター～瀬高町の市立図書館を国道443号線を経由して運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。	A	A	・新型コロナウイルスの影響で「無料バスの日」など一部の利用促進の取り組みができなかった。 ・バイオマスセンター、山川市民センターでの停車を追加したことで利用者が増えている。 ・新型コロナウイルスの感染状況に留意しつつ、現在の利用状況を維持できるように引き続きコミュニティバスに関する周知や広報に取り組み、利用促進に努める。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 山川・瀬高線③	瀬高町のJR瀬高駅～山川町の真弓公民館を国道443号線を経由して運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・利用状況の把握及び分析を実施し、令和3年4月1日よりバス停の新規設置及びダイヤの一部見直しを実施した。	A	C	・新型コロナウイルスの影響で「無料バスの日」など一部の利用促進の取り組みができなかった。 ・新型コロナウイルスの影響で昨年度より利用者が落ち込んでいる。新型コロナウイルスの感染状況に留意しつつ、コミュニティバスに関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 高田南部・西部線 (循環)	高田町のあたご苑～高田町の西鉄開駅を循環して運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。	A	B	・新型コロナウイルスの影響で「無料バスの日」など一部の利用促進の取り組みができなかった。 ・新型コロナウイルスの影響で昨年度より利用者が落ち込んでいる。 ・新型コロナウイルスの感染状況に留意しつつ、コミュニティバスに関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 山川・高田線 (亀谷・竹飯経由)	高田町の南部及び西部地域をJR渡瀬駅からあたご苑、西竹飯を経由して山川げんきかんまで運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・令和3年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施した。	A	C	・新型コロナウイルスの影響で「無料バスの日」など一部の利用促進の取り組みができなかった。 ・新型コロナウイルスの影響で昨年度より利用者が落ち込んでいる。 ・新型コロナウイルスの感染状況に留意しつつ、コミュニティバスに関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 山川・高田線 (田浦・田尻経由)	高田町の南部及び西部地域をJR渡瀬駅からあたご苑を経由して山川げんきかんまで運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。	A	C	・新型コロナウイルスの影響で「無料バスの日」など一部の利用促進の取り組みができなかった。 ・新型コロナウイルスの影響で昨年度より利用者が落ち込んでいる。 ・新型コロナウイルスの感染状況に留意しつつ、コミュニティバスに関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 山川・高田線 (田浦・田尻経由)	高田町の南部及び西部 地域を山川げんきかん からあたご苑を経由しヨ コクラ病院前まで運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。	A	B	・新型コロナウイルスの影響で「無料バスの日」など一部の利用促進の取り組みができなかった。 ・目標には届かなかったが、昨年度より利用者は増えている。 ・新型コロナウイルスの感染状況に留意しつつ、コミュニティバスに関する周知や広報に取り組み利用促進に努め、目標達成を目指す。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宮若市地域公共交通会議	株式会社松川タクシー MGタクシー株式会社	宮田・小竹線	市ホームページでの周知やバス利用促進の啓発物品の配布等を行い、新規利用者の拡大を目指した。	A	C	目標年間利用者数2,448人に対し実績は1,050人と下回り、目標値の42.9%という結果となった。収支率についても、年間目標数16%に対して、5.5%と下回り、目標値の34.6%という結果になった。 令和2年10月に商業地域を走る桃山線と統合したこと、利用者が分散したこと、新規利用者が少ないこと、磯光工業団地への通勤利用者が少ないことが主たる要因と考えられる。	評価の指標は、年間利用者数。新規利用者拡大のための取り組みをされている点を評価します。 目標値を大きく下回っていることから、利用者のニーズの把握に努め、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
嘉麻市地域公共交通会議	嘉穂観光株式会社	稲築桂川線(市役所・稲築病院経由)	利用者数の偏りや、市民からの要望等を精査し、早朝や夜間などの特定の時間に乗降りがないバス停を経由しない系統に部分的に修正するなど、効率的な運行を目的とした全体的なダイヤの見直しを実施した。また、改定に伴い、利用者への周知として、嘉麻市総合時刻表の全戸配布や市内外主要施設への設置、広報誌への定期掲載、また、市内在住の学生に向けた通学定期券の補助制度を継続して実施し、バスの利用呼びかけを行った。	A	B	令和2年度4月の全体的な路線の見直し後も、適宜利用者からの要望や意見を精査し、ダイヤや路線の見直しを実施してきました。今回は、目標としていた収支率に5.5%及びみせんでしたが、昨年度と比較すると2.3%上昇しており、利用者数も増加傾向にあります。今後はより効率的な運行を目指すために、意見や要望の検証をしながら適宜見直しをかけていくとともに、市バス自体の周知や利用者育成にも視野を向け、利用しやすい、わかりやすい市バスを目指した事業等を実施予定です。	評価の指標は、路線別の収支率。様々な利用促進に取り組まれている点を評価します。自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
嘉麻市地域公共交通会議	嘉穂観光株式会社	稲築桂川線(東岩崎・嘉穂総合高校経由)	利用者数の偏りや、市民からの要望等を精査し、早朝や夜間などの特定の時間に乗降りがないバス停を経由しない系統に部分的に修正するなど、効率的な運行を目的とした全体的なダイヤの見直しを実施した。また、改定に伴い、利用者への周知として、嘉麻市総合時刻表の全戸配布や市内外主要施設への設置、広報誌への定期掲載、また、市内在住の学生に向けた通学定期券の補助制度を継続して実施し、バスの利用呼びかけを行った。	A	B	令和2年度4月の全体的な路線の見直し後も、適宜利用者からの要望や意見を精査し、ダイヤや路線の見直しを実施してきました。今回は、目標としていた収支率に5.5%及びみせんでしたが、昨年度と比較すると2.3%上昇しており、利用者数も増加傾向にあります。今後はより効率的な運行を目指すために、意見や要望の検証をしながら適宜見直しをかけていくとともに、市バス自体の周知や利用者育成にも視野を向け、利用しやすい、わかりやすい市バスを目指した事業等を実施予定です。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
嘉麻市地域公共交通会議	嘉穂観光株式会社	稲築桂川線(なつきが丘・嘉麻市役所・稲築病院経由)R2.10～R3.9	利用者数の偏りや、市民からの要望等を精査し、早朝や夜間などの特定の時間に乗降りがないバス停を経由しない系統に部分的に修正するなど、効率的な運行を目的とした全体的なダイヤの見直しを実施した。また、改定に伴い、利用者への周知として、嘉麻市総合時刻表の全戸配布や市内外主要施設への設置、広報誌への定期掲載、また、市内在住の学生に向けた通学定期券の補助制度を継続して実施し、バスの利用呼びかけを行った。	A	B	令和2年度4月の全体的な路線の見直し後も、適宜利用者からの要望や意見を精査し、ダイヤや路線の見直しを実施してきました。今回は、目標としていた収支率に5.5%及びみせんでしたが、昨年度と比較すると2.3%上昇しており、利用者数も増加傾向にあります。今後はより効率的な運行を目指すために、意見や要望の検証をしながら適宜見直しをかけていくとともに、市バス自体の周知や利用者育成にも視野を向け、利用しやすい、わかりやすい市バスを目指した事業等を実施予定です。		
嘉麻市地域公共交通会議	嘉穂観光株式会社	稲築桂川線(嘉麻市役所経由)R2.10～R3.9	利用者数の偏りや、市民からの要望等を精査し、早朝や夜間などの特定の時間に乗降りがないバス停を経由しない系統に部分的に修正するなど、効率的な運行を目的とした全体的なダイヤの見直しを実施した。また、改定に伴い、利用者への周知として、嘉麻市総合時刻表の全戸配布や市内外主要施設への設置、広報誌への定期掲載、また、市内在住の学生に向けた通学定期券の補助制度を継続して実施し、バスの利用呼びかけを行った。	A	B	令和2年度4月の全体的な路線の見直し後も、適宜利用者からの要望や意見を精査し、ダイヤや路線の見直しを実施してきました。今回は、目標としていた収支率に5.5%及びみせんでしたが、昨年度と比較すると2.3%上昇しており、利用者数も増加傾向にあります。今後はより効率的な運行を目指すために、意見や要望の検証をしながら適宜見直しをかけていくとともに、市バス自体の周知や利用者育成にも視野を向け、利用しやすい、わかりやすい市バスを目指した事業等を実施予定です。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
嘉麻市地域公共交通会議	株式会社ひまわり観光	市内循環線(東回り:山田経由)	稲築桂川線同様に、市民からの要望を基に、早朝などの特定の時間に乗降りがないバス停を経由しない系統に部分的に修正したり、利用が多い通学に使える早朝の便の増便などを含めた、効率的な運行を目的とした全体的なダイヤの見直しを実施した。また、稲築桂川線と同様の広報活動を実施し、路線の周知に努めた。	A	B	稲築桂川線同様に、令和2年に大幅な見直しをかけ、その後も継続して利用者の要望や意見を検証し適宜見直しを実施してきました。今後も更なる利便性向上、効率的な運行のため、適宜路線ダイヤの見直しを実施しながら、市バス自体の周知や利用者育成にも視野を向け、利用しやすい、わかりやすい市バスを目指した事業等を実施予定です。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
佐賀市地域公共交通会議	佐賀市	三瀬地区におけるコミュニティバスの運行 ※令和3年3月31日廃止	新高校1年生向けの保護者説明会において、通学手段として村外系統の利用を呼びかけるとともに、「コミュニティバスだより」を発行することで、潜在的な利用者確保に向けた取り組みを行った。	A	B	引き続き、新高校1年生向けの保護者説明会において、通学手段として村外系統の利用を呼びかけるとともに、三瀬地区コミュニティバスだよりを全戸配布し、安心して乗車してもらえるよう感染症対策をアピールするなど、利用者数の増加・回復を図る。	評価の指標は路線毎の年間利用者数。 目標の一部が未達成であるものの 新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 また、検討会だよりによる協議内容も含めた住民への周知等、利用促進とともに利用者の要望を運行に反映している点についても評価します。 今後も、継続して地域における協議により随時見直しを行い、高齢化、人口減少等への柔軟な対応を考慮した、より効率的で利便性の高い運行が行われることを期待します。	
佐賀市地域公共交通会議	有限会社 松原タクシー	・大和町松梅地区デマンドタクシーの運行 ・富士町コミュニティバスの運行 ・三瀬地区コミュニティバスの運行(令和3年4月1日運行開始)	(松梅)利用者数の増加を図るべく、自治会を通じて「べんりカー松梅号だより」を全戸配布し、利用を呼びかけた。 (富士)「富士町公共交通検討会議」において、利用者アンケート結果や利用実績に基づいた改善案を協議し、利用の少ない便の効率化(デマンド化等)を図った。さらに、利用者からの要望が多かった予約受付時間の延長を行い、利便性を向上させた。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛けた。 (三瀬)新規運行開始	A	B	(松梅)松梅地区デマンドタクシーだよりを全戸配布し、安心して乗車してもらえるよう、感染症対策をアピールするなど、利用者数の回復を図る。 (富士)引き続き「富士町公共交通検討会議」において、利用者アンケート結果や利用実績に基づいた改善案を協議する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。 (三瀬)引き続き、新高校1年生向けの保護者説明会において、通学手段として村外系統の利用を呼びかけるとともに、三瀬地区コミュニティバスだよりを全戸配布し、安心して乗車してもらえるよう感染症対策をアピールするなど、利用者数の増加・回復を図る。		
佐賀市地域公共交通会議	株式会社佐賀タクシー	・富士町コミュニティバスの運行	「富士町公共交通検討会議」において、利用者アンケート結果や利用実績に基づいた改善案を協議し、要望のあった相尾・川頭地区の通学に対応できるようなダイヤ改正を行うとともに、予約受付時間の延長を行うことで、学生の利用増加を図った。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛けた。	A	A	引き続き「富士町公共交通検討会議」において、利用者アンケート結果や利用実績に基づいた改善案を協議する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
佐賀市地域公共交通会議	中央タクシー株式会社	・富士町コミュニティバスの運行	「富士町公共交通検討会議」において、利用者アンケート結果や利用実績に基づいた改善案を協議し、要望のあった早朝時間帯の古湯行きを設定し、通学時間帯の運行時刻を見直すダイヤ改正を行った。また、予約受付時間の延長を行い利便性を向上させた。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛けた。	A	B	引き続き「富士町公共交通検討会議」において、利用者アンケート結果や利用実績に基づいた改善案を協議する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。		
佐賀市地域公共交通会議	ロイヤル観光株式会社	・富士町コミュニティバスの運行	「富士町公共交通検討会議」において、利用者アンケート結果や利用実績に基づいた改善案を協議し、要望のあった須田地区へ新たに乗り入れるダイヤ改正を行うことで、学生の利用増加を図った。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛けた。	A	B	引き続き「富士町公共交通検討会議」において、利用者アンケート結果や利用実績に基づいた改善案を協議する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	波戸岬 【呼子～名護屋浜・名護屋城～波戸岬国民宿舎】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。	評価の指標は路線毎の収支率と輸送人員。目標を達成できていない系統が多いですが、バスロケーションシステム導入や乗り方教室の開催等利便性向上となる取組、コロナ禍で車内の密度を下げるための運行回数維持したことは評価できると考えます。引き続き、利用状況の把握・分析と住民の意見等を聞きながら見直しを行い、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	加部島 【呼子～加部島杉村】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	呼子台場 【呼子～呼子台場みなと プラザ】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	呼子・名護屋浜 (小友・名護屋浜) 【呼子～小友・名護屋浜 ～呼子】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	呼子・加部島 【呼子～加部島杉村～呼子】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	呼子・波戸岬 【呼子～名護屋城址～波戸岬国民宿舎】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	星賀 【入野～星賀】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	納所 【入野～納所】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	高串 【入野～高串】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	京泊・納所(ジャンボ) (火・木・土) 【京泊～納所・入野～高串福祉センター前】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	瓜ヶ坂・高串(ジャンボ) (火・木・土) 【入野～高串福祉センター前～黒崎】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	駄竹・星賀(ジャンボ) (月・水・金) 【駄竹～星賀～入野】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	市内東 【唐津駅～シーサイド前～唐津駅】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	市内西 【大手口～りふれ・済生会病院前～唐津駅】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	市内南 【大手口～唐津赤十字 病院前～唐津駅】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	市内南 (赤十字病院線) 【大手口～唐津駅・アル ピノ～唐津赤十字病院】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	イオン 【大手口～用尺南～イオン前】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	市内 (大手口～大島液化ガス) 【大手口～まいづるCARROT店～大島液化ガス】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	市内(大島液化ガス～用尺南～市民グラウンド) 【大島液化ガス～用尺南～市民グラウンド】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	市内(大島液化ガス～百人町～市民グラウンド) 【市民グラウンド～百人町～大島液化ガス】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	市内(大島液化ガス～唐津東中高前) 【大島液化ガス～大手口～唐津東中高前】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	市内(唐津フェリーターミナル～大手口) 【唐津フェリーターミナル～西唐津駅前～大手口】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	志気(市民病院きたはた～志気) 【市民病院きたはた～志気】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	成瀬(市民病院きたはた～成瀬) 【市民病院きたはた～成瀬上】	利便向上策として佐賀県内一般路線へのバスロケーションシステム導入や小学生向けにバスの乗り方教室を開催した。また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減の中、車内密度を下げるために運行本数を削減することなく運行した。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、少子高齢化に伴うバス利用の減少はこれからも喫緊の課題であり、現在策定中である唐津地域公共交通計画の中で持続可能な交通体系の構築を目指していく。また、バスの乗り方教室の開催やバスロケーションシステムの周知活動、通学定期券のWEB化などの利用促進策に併せ、省燃費運転による燃料費削減、自家修繕による修繕費の削減など企業努力による経費削減も引き続き徹底していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鳥栖市地域公共交通会議	西鉄バス佐賀株	弥生が丘循環	利用促進のため、令和3年3月に改良版のバスマップを作製・配布し、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	B	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しながら、引き続き利用促進に向けた、沿線住民等への運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)を行っていく必要がある。	評価の指標は路線毎の利用者数。ほとんどの系統で目標未達成の結果となっていますが、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。また、住民の意見を要望を反映し、次年度のルートやダイヤの改善に繋げる取組を行っていることを評価します。	
鳥栖市地域公共交通会議	株鳥栖構内タクシー	鳥栖地区循環線	令和3年4月にルートを変更し、主要目的地への速達性を向上させた。 利用促進のため、令和3年3月に改良版のバスマップを作製・配布し、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。 また、令和3年5月には主要商業施設に時刻表を掲載した。	B	C		利用者数が減少した要因が把握できていない系統もあるため減少した要因についての検証を進めるとともに、引き続き住民の意見等を聞きながら、利用状況の把握・分析を行い、わかりやすいバスマップの配布等、効果的な利用促進が実施され、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
鳥栖市地域公共交通会議	株鳥栖構内タクシー	田代地区循環	令和3年4月にルートを変更し、主要目的地への速達性を向上させた。 利用促進のため、令和3年3月に改良版のバスマップを作製・配布し、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。 また、令和3年5月には主要商業施設に時刻表を掲載した。	B	B			
鳥栖市地域公共交通会議	久留米西鉄タクシー株	基里地区循環	利用促進のため、令和3年3月に改良版のバスマップを作製・配布し、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。 また、令和3年5月には主要商業施設に時刻表を掲載した。	B	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しながら、引き続き利用促進に向けた、沿線住民等への運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)を行っていく必要がある。また、令和4年3月末には運行ルートの変更から一年が経過するため、地域の方々や利用者から現状のルートに対するご意見をいただき、更に使いやすいルートを検討していく必要がある。 鳥栖地区循環線と基里地区循環線は利用者が減少傾向にあるため、特に細かい聞き取りが必要。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鳥栖市地域公共交通会議	久留米西鉄タクシー 株	旭地区循環	令和3年4月にルートを変更し、要望があった商業施設へアクセスできるようにした。 利用促進のため、令和3年3月に改良版のバスマップを作製・配布し、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。 また、令和3年5月には主要商業施設に時刻表を掲載した。	B	A			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
多久市地域公共交通会議	多久市	東多久立山線 「東多久～立山」間の運 行 (多久市自家用有償運 送)	利便性向上のための取り組みのひとつとして、経路検索サイトへの情報掲載の手続きを行った。 ※2022年1月7日、経路検索サイトへふれあいバスの情報を公開した。	A	B	新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響で、目標利用者数まで到達できなかった。 今後もHPへの情報の掲載やダイヤ・路線等の改正などを状況に応じて随時行い、利用者にとって便利なバスを目指す。	評価の指標は路線毎の1日あたりの平均利用者数。 経路検索サイトへの掲載を行い利便性向上に取り組まれていることを評価します。 新型コロナウイルスによる影響をうけつつも、目標を達成している系統もあるため、増加要因を分析し、改善に繋げていくことを期待します。 今後も更なる利用者利便の増進と持続可能な旅客運送サービス提供が確保されることを期待します。	
多久市地域公共交通会議	多久市	西多久納所線 「西多久～納所」間の運 行 車両減価償却費等国庫 補助金 (多久市自家用有償運 送)	利便性向上のための取り組みのひとつとして、経路検索サイトへの情報掲載の手続きを行った。 ※2022年1月7日、経路検索サイトへふれあいバスの情報を公開した。	A	B	新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響で、目標利用者数まで到達できなかった。 今後もHP等への情報の掲載やダイヤ・路線等の改正などを状況に応じて随時行い、利用者にとって便利なバスを目指す。		
多久市地域公共交通会議	多久市	南多久岸川線 「岸川～南多久」間の運 行 車両減価償却費等国庫 補助金 (多久市自家用有償運 送)	利便性向上のための取り組みのひとつとして、経路検索サイトへの情報掲載の手続きを行った。 ※2022年1月7日、経路検索サイトへふれあいバスの情報を公開した。	A	A	新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響を受けつつも、目標の利用者数に到達することができた。 今後もHPへの情報の掲載やダイヤ・路線等の改正などを状況に応じて随時行い、利用者にとって便利なバスを目指す。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
伊万里市民と考える地域交通会議	西肥自動車株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ●バス名 いまりんバス郊外線 ●系統名 ①牧島～立花線 ②脇田～古賀線 ③屋敷野～南ヶ丘線 ※各線(コース)週2日、1日4回(循環)運行 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス車両更新(補助対象外系統使用車両)に係るお披露目会を通じて、当該系統使用車両や自家用有償旅客運送事業による使用車両の展示、また、来場者の小学生等を対象としたバスの乗り方教室を行うなど、公共交通に対する認知向上に取り組んだ。 	A	C	<ul style="list-style-type: none"> ・①～③いずれの系統も市街地と住宅地を結ぶ路線であることから、今後も運行経路等の周知による利用促進を継続する。 	<p>評価の指標は1便あたりの利用人数。 コミュニティバスのお披露目会、バスの乗り方教室等の認知向上に対する取組、運行区域を2分割運行隔日運行とする運行便数の充実の取組、区長会等の際のバス利用の呼びかけ等、適宜、見直しや利用促進の取組を行っていることを評価します。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスの提供に繋がることを期待します。</p>	
伊万里市民と考える地域交通会議	特定非営利活動法人 まちづくり波多津	<ul style="list-style-type: none"> ●バス名 波多津ふれあい号 ●系統名 ①波多津循環線A ②波多津循環線B ③波多津循環線C ※月～土、1日3回運行 ④波多津小学校下校便 ※登校日、1日1回運行 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス車両更新(補助対象外系統使用車両)に係るお披露目会を通じて、当該系統使用車両や自家用有償旅客運送事業による使用車両の展示、また、来場者の小学生等を対象としたバスの乗り方教室を行うなど、公共交通に対する認知向上に取り組んだ。 ・R3.10から、運行区域を2分割隔日運行とし、運行便数を充実させることで利便性向上に取り組んだ。 	A	C	<ul style="list-style-type: none"> ・R3.10から、運行区域を2分割隔日運行とし、運行便数を充実させることで利便性向上を図っていることから、利便性向上に係るPRを通じて積極利用を呼び掛けていく。 		
伊万里市民と考える地域交通会議	大川町コミュニティ運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ●バス名 コミュニティすこやかバス ●系統名 ①大川循環線 ※月～金、1日3回運行 ②大川循環線(短縮) ※月～金、1日1回運行 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス車両更新(補助対象外系統使用車両)に係るお披露目会を通じて、当該系統使用車両や自家用有償旅客運送事業による使用車両の展示、また、来場者の小学生等を対象としたバスの乗り方教室を行うなど、公共交通に対する認知向上に取り組んだ。 	A	C	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙等における特集記事掲載などを通じて、一層の周知・利用促進を行う。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
伊万里市民と考える地域交通会議	黒川町まちづくり運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ●バス名 町内巡回バスくろがわ号 ●系統名 ①黒川循環線A ※月～金、1日3回運行 ②黒川循環線B ※月～金、1日1回運行 ②黒川循環線B(逆回り) ※月～金、1日1回運行 	・コミュニティバス車両更新(補助対象外系統使用車両)に係るお披露目会を通じて、当該系統使用車両や自家用有償旅客運送事業による使用車両の展示、また、来場者の小学生等を対象としたバスの乗り方教室を行うなど、公共交通に対する認知向上に取り組んだ。	A	B	・広報紙等における特集記事掲載などを通じて、一層の周知・利用促進を行う。		
伊万里市民と考える地域交通会議	西肥亀の井タクシー株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ●名称 松浦町デマンドタクシー ●系統名 ①市街地 1日6便 ②桃川駅前便 1日4便 ③金石原駅 1日5便 ※運行日: 月・水・金 ※運行形態: 予約制乗合タクシー 	区長会を通じて運行実績の報告を行うなどして、地区単位や老人会等での利用呼びかけを依頼した。	A	C	・区長会等への利用実績報告を通じ、地区住民への周知を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
伊万里市民と考える地域交通会議	西肥亀の井タクシー株式会社	●名称 二里町デマンドタクシー ●系統名 ①伊万里駅 1日5便 ②協立病院 1日2便 ③金武乗継 1日5便 ※運行日:月・水・金 ※運行形態:予約制乗合タクシー	区長会を通じて運行実績の報告を行うなどして、地区単位や老人会等での利用呼びかけを依頼した。	A	C	区長会等への利用実績報告を通じ、地区住民への周知を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿島市地域公共交通活性化協議会	祐徳自動車(株): 市内循環バス	市内循環バスの運行(市内循環バスは人口密度が高く、高齢者が多い市内中心部において、住宅地と商業施設、病院、公共施設を循環する路線)	令和3年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、地区回覧、市報、市HPなどを通じて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。また、交通計画策定に伴い、市民アンケートや循環バスへの乗り込み調査など各種調査を実施、利用状況等の確認を行った。	A	A	利用者のニーズ等を適切に把握し、運行内容の見直しについて必要に応じ実施していく。また、他路線との乗継PRや学生・高齢者・障がい者・運転免許証自主返納者を対象とする無料運行イベント等を継続的に実施することで、新たな利用者の発掘を行い、更なる利用者増加に繋げる。	評価の指標は、定時定路線型は1便あたりの利用人数、デマンド型は稼働率。市報やホームページによる周知や無料運行イベントの実施等、認知度向上と利用促進策に取り組まれ、利用者の増加に繋がっていることを評価します。目標未達成であったデマンド運行系統については、引き続き利用促進のための周知を図り、地域の意見を聞きながら、予約方法の周知や運行内容の見直し等を含め検討願います。今後も更なる利用者利便の増進と持続可能な旅客運送サービス提供が確保されることを期待します。	
鹿島市地域公共交通活性化協議会	(有)再耕庵タクシー: 高津原のりあいタクシー	高津原のりあいタクシーの運行(高津原のりあいタクシーは人口密度が高く、高齢者が多い市内中心部において、城内・高津原地区と商業施設、病院、公共施設を結ぶ路線)	令和3年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、地区回覧、市報、市ホームページなどにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。また、交通計画策定に伴い、市民アンケートや高津原のりあいタクシー停留所での聞き取り調査など各種調査を実施、利用状況等の確認を行った。	A	A	利用者のニーズ等を適切に把握し、運行内容の見直しについて必要に応じ実施していく。また、他路線との乗継PRや学生・高齢者・障がい者・運転免許証自主返納者を対象とする無料運行イベント等を継続的に実施することで、新たな利用者の発掘を行い、更なる利用者増加に繋げる。		
鹿島市地域公共交通活性化協議会	(有)再耕庵タクシー: 予約型のりあいタクシー	予約型のりあいタクシー(能古見線)の運行(効率的・効果的な運行を目指し、廃止路線代替バスから予約型のりあいタクシーへ)	令和3年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、地区回覧、市報、市ホームページにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。無料運行イベントに合わせ、予約型のりあいタクシー登録者へ運行内容をまとめたパンフレットやイベントチラシのDMを郵送し、再周知を図った。	A	B	これまでの運行実績や地域公共交通計画策定に伴う調査事業により課題の洗い出しを実施。次年度以降、運行内容の見直しや利用促進に係る取組みを行う。合わせて、他路線との乗継PRや無料運行イベント等を実施することで新たな登録者を発掘するため周知活動の強化を行い、利用者増に繋げる。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿島市地域公共交通活性化協議会	(有)再耕庵タクシー: 予約型のりあいタクシー	予約型のりあいタクシー(北鹿島線)の運行(効率的・効果的な運行を目指し、廃止路線代替バスから予約型のりあいタクシーへ)	令和3年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、地区回覧、市報、市ホームページにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。無料運行イベントに合わせ、予約型のりあいタクシー登録者へ運行内容をまとめたパンフレットやイベントチラシのDMを郵送し、再周知を図った。	A	B	これまでの運行実績や地域公共交通計画策定に伴う調査事業により課題の洗い出しを実施。次年度以降、運行内容の見直しや利用促進に係る取組みを行う。合わせて、他路線との乗継PRや無料運行イベント等を実施することで新たな登録者を発掘するため周知活動の強化を行い、利用者増に繋げる。		
鹿島市地域公共交通活性化協議会	(有)再耕庵タクシー: 予約型のりあいタクシー	予約型のりあいタクシー(古枝線)の運行(効率的・効果的な運行を目指し、廃止路線代替バスから予約型のりあいタクシーへ)	令和3年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、地区回覧、市報、市ホームページにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。無料運行イベントに合わせ、予約型のりあいタクシー登録者へ運行内容をまとめたパンフレットやイベントチラシのDMを郵送し、再周知を図った。	A	B	これまでの運行実績や地域公共交通計画策定に伴う調査事業により課題の洗い出しを実施。次年度以降、運行内容の見直しや利用促進に係る取組みを行う。合わせて、他路線との乗継PRや無料運行イベント等を実施することで新たな登録者を発掘するため周知活動の強化を行い、利用者増に繋げる。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 晴田線 (小城市巡回バス)	小城市の晴田地区内における巡回バスの運行	(1)運転免許証自主返納者に対する巡回バスの運賃割引制度を引き続き行った。	A	A	評価の指標は1便あたりの利用者数。運転免許証自主返納者割引制度の継続実施、老朽化したバス停の更新等、利用促進に取り組まれていることを評価します。目標の達成状況については、系統毎に結果がはっきりしているため、要因分析結果を踏まえ、利便性向上となる取組策を検討願います。また、改善点に記載のとおり、乗り込み調査時に取り組まれた利用者ニーズやアンケート調査で把握した内容について分析を行うことにより、利用者利便の増進と持続可能な地域公共交通の維持・確保が行われることを期待します。	
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 岩松線 (小城市巡回バス)	小城市の岩松地区内における巡回バスの運行	(2)老朽化したバス停の更新、バス停時刻表の更新を行った。 (3)乗り込み調査、アンケート調査を実施し利用者ニーズや意見等の拾い上げを行った。 上記の活動により、更なる利用促進と新たな需要の掘り起こしに取り組んだ。	A	C		
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 三里線 (小城市巡回バス)	小城市の三里地区内における巡回バスの運行		A	C		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 北回りコース (三日月町巡回バス)	三日月町の北部地区及び小城市の一部における巡回バスの運行	(1)運転免許証自主返納者に対する巡回バスの運賃割引制度を引き続き行った。 (2)老朽化したバス停の更新、バス停時刻表の更新、元々時刻表がないバス停には地区に相談し新たに掲示した。	A	C	<p>目標達成できなかった要因としては新型コロナウイルスの影響により外出頻度が減ったこと、またバスの利用を控えられたことで利用者が減少したことが考えられる。</p> <p>乗り込み調査や市民へのアンケート調査により運行本数、運行時間帯、バス停の環境整備、鉄道等との接続(乗継)、運行情報の提供について改善すべきとの意見がある。現在作成中の地域公共交通計画に沿って検討・協議を行い、利用しやすい時刻の見直しや利用が少ない路線についてはデマンドタクシー導入など利便性の向上に努める。また、計画的なバス停環境の整備や市報・ホームページ等での周知、運転免許自主返納者への割引制度継続等を行い利用促進を図っていく。</p>		
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 南回りコース (三日月町巡回バス)	三日月町の南部地区における巡回バスの運行	(3)乗り込み調査、アンケート調査を実施し利用者ニーズや意見等の拾い上げを行った。 上記の活動により、更なる利用促進と新たな需要の掘り起こしに取り組んだ。	A	C			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 勝・栴檀瀬線 (牛津町巡回バス)	牛津町の勝・栴檀瀬地区における巡回バスの運行	(1)運転免許証自主返納者に対する巡回バスの運賃割引制度を引き続き行った。	A	C			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 砥川線 (牛津町巡回バス)	牛津町の砥川地区における巡回バスの運行	(2)バス停の時刻表について老朽化しているものを更新した。 (3)乗り込み調査、アンケート調査を実施し利用者ニーズや意見等の拾い上げを行った。	A	C			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 天満町・芦刈町線 (牛津町巡回バス)	牛津町为天満町地区及び芦刈町の一部(北部)における巡回バスの運行	上記の活動により、更なる利用促進と新たな需要の掘り起こしに取り組んだ。	A	C			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 広域線 (広域循環バス)	市内の主要公共施設等を回る循環バスの運行		A	C			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城タクシー(株) あしま〜る線 (芦刈町乗合タクシー)	芦刈町の南部地区における乗合タクシーの運行	(1)運転免許証自主返納者に対する巡回バスの運賃割引制度を引き続き行った。 (2)バス停の時刻表について老朽化しているものを更新した。	A	A			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城タクシー(株) やまびこ線 (小城やまびこタクシー)	小城町巡回バスの運行エリアではない中山間地区における乗合タクシーの運行	(3)乗り込み調査、アンケート調査を実施し利用者ニーズや意見等の拾い上げを行った。 上記の活動により、更なる利用促進と新たな需要の掘り起こしに取り組んだ。	A	A			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城タクシー(株) 江里山・石体線 (小城やまびこタクシー)	小城町巡回バスの運行エリアではない中山間地区における乗合タクシーの運行		A	A			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
嬉野市地域公共交通活性化協議会	温泉タクシー株式会社 春日線・大野原線	(春日線) 大野～嬉野医療センター (大野原線) 平重～体育館前	市ホームページに時刻表等を掲載し、市民や観光客向けに引き続きPRを行った。また、経路検索サイトへ春日線・大野原線ともに継続して行っていることや、更にGTFSを用いてオープンデータ化を果たし、Google Mapで時刻や経路が検索できるようになり、利便性の向上と利用促進を図った。他にはバス停位置の見直しにも取り組み、利用者のバス待ちや降車後の安全性確保にも努めた。「春日線」については利用者が40人増加し、「大野原線」については142人減少した。	A	C	(春日線) R3年度の利用者状況はR2年度比でやや増加したが、収支状況は運行費用の上昇により悪化した。利用状況改善の要因として、総合病院移転に伴う路線再編によって利便性が向上したためと分析する。 (大野原線) 収支状況は利用者減と運行費用の増加により悪化した。高齢化に伴う特定利用者の需要がなくなったことが要因と分析する。 (全体) 沿線住民や地元の地域コミュニティに対し利用促進を図ると同時に、広報誌や市ホームページを通じて、より積極的に市民や観光客等へ情報発信を行っていく。目下、地域公共交通計画の策定を進めており、まちづくりと一体となった持続可能で財政面にも配慮した地域公共交通のあり方を検討する。	評価の指標は路線別1人あたりの運行コスト及び利用者数。経路検索サイト掲載やGTFSを用いたオープンデータ化等、地域住民及び観光客向けの情報提供改善の取組を評価します。また、目標値を下回っていることから、総合病院移転に伴う路線の再編等、地域の状況や利用者のニーズを踏まえた利便性向上となる取組をお願いします。引き続き、観光客を含めた地域住民の利便性向上となる交通体系の整備、まちづくりとしっかりと連携した持続可能な旅客運送サービスの提供が行われることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
神崎市地域公共交通活性化協議会	1 補助対象事業者 (有)ジョイックス交通 2 運行系統 神埼コース(右回 り)	(1)神埼コース 神埼駅を起終点とし協和 町等を経由する 54.0km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や 定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとし て事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション 等を実施した。	A	B	既存バス路線の維持・確保を図ることはできたものの、巡回バス全 体の1運行当たりの利用者数について目標を達成できなかった。 上記を踏まえ、利用促進に向けた情報発信等に引き続き努めるとと もに、これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行 い、運行形態の再編に取り組むこととしたい。	評価の指標は1運行あたりの利 用人数。 市のホームページや市報等に おける広報活動や乗車回数券販 売増加の取組等、認知度向上、 利用促進に取り組まれているこ とを評価します。 引き続き、協議会が設定する今 後の改善点が着実に解決される ことにより、持続可能な旅客運 送サービスの提供が確保される ことを期待します。	
神崎市地域公共交通活性化協議会	1 補助対象事業者 (有)ジョイックス交通 2 運行系統 神埼コース(左回 り)	(1)千代田コース 神埼駅を起終点とし仲田 町バス停等を経由する 38.3km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や 定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとし て事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション 等を実施した。	A	B	既存バス路線の維持・確保を図ることはできたものの、巡回バス全 体の1運行当たりの利用者数について目標を達成できなかった。 上記を踏まえ、利用促進に向けた情報発信等に引き続き努めるとと もに、これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行 い、運行形態の再編に取り組むこととしたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
神埼市地域公共交通活性化協議会	1 補助対象事業者 (有)ジョイックス交通 2 運行系統 迎島～神埼駅	(1)迎島～神埼駅 迎島～神埼駅を起終点 とし詫田バス停等を経由 する 20.4km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	B	既存バス路線の維持・確保を図ることはできたものの、巡回バス全体の1運行当たりの利用者数について目標を達成できなかった。 上記を踏まえ、利用促進に向けた情報発信等に引き続き努めるとともに、これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、運行形態の再編に取り組むこととしたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
吉野ヶ里町地域公共交通 活性化協議会	吉野ヶ里観光タク シー有限 会社	<p>系統名:循環線 運行区間:吉野ヶ里町全 域 運行形態:事前登録制、 予約制、乗合により、自 宅と指定施設間を運行 する、デマンド型乗合タ クシー。8時台～16時台 の1時間に1便(最大1日 9便)、予約のあった場合 のみ運行。 運行日:平日 運休日:土日祝日、年末 年始 (12月29日～1月3日)</p>	<p>【前回目標】 交通結節点(東目達原バス停)、JR吉野ヶ里公園駅及び広域路 線バス停付近での乗降客数令和2年度:6.8人/日以上 (平成29年9月から令和元年5月までの平均乗降客数6.5人/日の 105%) 【実績値】 7.3人/日 【要因】 令和2年4月より運転免許証返納者への手数料補助を行い、申請 の際にデマンドタクシーの登録申請も同時に行ったため 利用者の増加につながったと推測される。 【反映】 運転免許証返納者への手数料補助を継続し、利用者のニーズで ある、区域拡張への取り組みを検討するなど利用者利便の増進 にも継続的に取り組んだ。</p>		B	<p>新型コロナウイルスの影響により、令和3年度は大幅に乗降客数が 減ったが、区域拡張などの変更を行ったことで、利用者数は増加傾向 にある。今後も広報、周知に取り組み、利用者増を図る。</p>	<p>評価の指標は交通結節点等にお ける乗降者数。 運転免許証返納時にデマンドタ クシーの登録を行うなど、利用 者の増加に繋げる取組を評価し ます。 引き続き、利用者のニーズ、利 用実態を把握し、広報、周知に 取り組み、利用者利便の増進と 持続可能な地域公共交通の維 持・確保が行われることを期待し ます。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
基山町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀㈱	基山駅～けやき台～高島団地～老人憩の家～基山駅系統(4便)	<p>令和2年度の目標値は、1日の平均利用者数を88人/日としていたが、実績値としては1日の平均利用者数は81人/日であり目標を達成することは出来なかったため評価はB(事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった)とした。特に、令和2年3月以降は、新型コロナウイルス感染症による影響により乗降客数が大幅に減少したため、目標の乗降客数は達成できなかった。</p> <p>当該事業の評価期間においては、新型コロナウイルスの影響を考慮し、令和3年度は計画を立てた際の近辺利用者数の実績値(平成31年度の実績値91人/日)を目標値として定め、令和4年度以降は前年度目標値の5%増を目標として、下記のとおり利用者の目標値を定めて事業を実施した。</p> <p>【目標1 乗降客数】 1日の平均利用者数 令和3年度 91人/日(前年度同様値) 令和4年度 95人/日 令和5年度 100人/日</p>	A	B	<p>1号車は、大きな住宅地(けやき台や高島団地)を通る路線を運行しており、通勤利用者の新型コロナウイルス感染症による影響からの通勤形態・勤務形態等が変更され、利用者が減少していることが考えられる。反対に2号車については、生活に必須な買い物、通院等の利用が多く減少率が少なくなっており、一定数の需要があるよううかがえる。</p> <p>今後もしばらくは、新型コロナウイルス感染症による影響が続き、乗降客数についてもこれまでと同じような傾向が予想されるが、引き続き感染症対策等を講じながら、利用促進のためのPR等に努めたい。また、令和4年1月にモビリティ実証実験も行われ、今後多くの住民利用者の意見を反映・検討していく機会が増える。利用者から意見の多い、ルートや時刻表の見直しを引続き行うことで安定した利用者の確保に努め、運転免許返納者へも利用促進を行っていく。</p>	<p>評価の指標はコミュニティバス全体の1日平均利用者数。きやまコミバス便利帳の全戸配布、イベントでのPR、コミュニティバス有料広告掲出事業、運転免許返納者の運賃無料化、フリーバス販売の開始、無料お試し乗車券の配布等で広報・HPでのPR等、利用促進と認知度向上に繋がる取組を行っていることを評価します。また、アンケート等により利用者の意見を聞き、運行ルートや時刻等について定期的に見直しに取り組んでいることを評価します。</p> <p>引き続き地域住民の意見を聞きながら見直しの検討を行い、利用者利便の増進と持続可能な地域公共交通の維持・確保が行われることを期待します。</p>	
基山町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀㈱	基山駅～けやき台～高島団地～基山駅系統(1、2便)						
基山町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀㈱	基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～老人憩の家～基山駅系統(3便)						
基山町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀㈱	基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～老人憩の家～基山駅系統(6、8便)						
基山町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀㈱	基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～老人憩の家～基山駅系統(7、9、10便)						
基山町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀㈱	基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～基山駅系統(5便)						
基山町地域公共交通活性化協議会	㈱基山タクシー	月水金1便(園部通学～長野～宮浦～中心部～本桜～園部～中心部)						
基山町地域公共交通活性化協議会	㈱基山タクシー	月水金2便(宮浦～園部～中心部～本桜～長野～中心部)						
基山町地域公共交通活性化協議会	㈱基山タクシー	月水金3便(宮浦～長野～中心部～本桜～園部)						
基山町地域公共交通活性化協議会	㈱基山タクシー	月水金4便(中心部～本桜～長野～中心部～宮浦～園部)						
基山町地域公共交通活性化協議会	㈱基山タクシー	火木土1便(園部通学～長野～宮浦～中心部～園部～本桜～中心部)						

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	火木土2便(長野～本桜 ～中心部～園部～宮浦 ～中心部)						
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	火木土3便(長野～園部 ～中心部～本桜～宮 浦)						
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	火木土4便(中心部～本 桜～園部～中心部～宮 浦～長野)						

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
みやき町地域公共交通確保維持改善協議会	株式会社 鳥栖構内タクシー	<p><みやき中央線> 大島病院～斎藤整形外科の運行</p> <p><三根東線> 斎藤整形外科～土井外公民館～坂口公民館～斎藤整形外科の循環運行</p> <p><中原線> 大島病院～板部～香田～大島病院の循環運行</p> <p><三根西線> 斎藤整形外科～三根庁舎前～梅野医院前～斎藤整形外科の運行</p> <p><北茂安線> 大島病院～豆津～みやき庁舎～大島病院の循環運行</p>	町内の公共施設等に、路線図及び時刻表を配布し、周知を図った。	A	B	<p>町の主要施設を結ぶみやき中央線が最も利用者数が多いため、今後も中央線をメインとした形態で利用者の増加を図っていききたい。</p> <p>また、三根東線、中原線については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中で、前年度と比較し、利用者が増加となっているため、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、継続して利用周知を図っていききたい。</p> <p>三根西線については、1日の平均利用者数が2人を割り込んでいるため、集中的な対策が求められる路線ということが判明したため、今後特に利用周知を図っていききたい。</p> <p>北茂安線については、4月から利用者の増加傾向にあるため、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、継続して利用周知を図っていききたい。</p> <p>現在、コミュニティバスを運行して9年が経過しているため、利用者や住民の意見等をもとに、再編等も視野に入れて、検討していく。</p>	<p>評価の指標は1日平均利用者数。</p> <p>全体的には新型コロナウイルスの影響により利用者が減少しているが、前年度より増加している系統もあるため、その増加要因の分析を踏まえ、今後の利用促進策に繋げる検討をお願いします。</p> <p>協議会における評価結果の今後の改善点に記載されているとおり、運行から長期間経過しているため、利用者ニーズや意見等を踏まえた見直しの検討を行い、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより利用者利便の増進と持続可能な地域公共交通の維持・確保が行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
有田町地域公共交通会議	(有)有田タクシー 西肥亀の井タクシー 株	有田町曲川・大山地区にお ける区域運行 登録者住宅～有田町役場 等間を1日6便運行	制度定着に向けて広報、周知に取り組み、利用促進を図った。	B	B	乗車時の感染予防対策に取り組むとともに、目標年間利用者数の見直しの検討または、ほかの目標値の検討が必要。	評価の指標は年間利用者数。年間利用者数が目標より下回っていますが、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。また、目指すべき地域の交通体系の実現に向け、改善点にも記載のとおり、設定している目標値の指標が適切か、目標値の水準が適切か等の検討が行われることを期待します。今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実勢されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
太良町地域公共交通活性化協議会	株式会社再耕庵タクシー	多良地区:伊福・片峰線 曜日運行(月、水、金) 1日4便(2回)	— (令和3年4月1日より運行開始)	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者の少ないバス停の位置を高齢者住民の多い方に移動を検討 ●利用者の多いバス停にベンチを設置を検討 	<p>評価の指標は1回あたり輸送人数。 年度前半に実証実験を行い、その結果を基にバス位置と運行時刻の微調整を行い、本格運行後もアンケート調査を行うなど利便性向上、利用者のニーズを把握する取組が行われていることを評価します。 また、時刻表の全戸配布等の認知度向上に取り組まれていることも評価します。 引き続き、利用状況の把握・分析を行うとともに、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。</p>	
太良町地域公共交通活性化協議会	株式会社再耕庵タクシー	多良地区:中山線 曜日運行(月、水、金) 1日4便(2回)	— (令和3年4月1日より運行開始)	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者の少ないバス停の位置を高齢者住民の多い方に移動を検討 ●利用者の多いバス停にベンチを設置を検討 		
太良町地域公共交通活性化協議会	株式会社再耕庵タクシー	多良地区:端月・川北線 曜日運行(月、水、金) 1日4便(2回)	— (令和3年4月1日より運行開始)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者の少ないバス停の位置を高齢者住民の多い方に移動を検討 ●利用者の多いバス停にベンチを設置を検討 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
太良町地域公共交通活性化協議会	株式会社再耕庵タクシー	多良地区:中尾線 曜日運行(月、水、金) 1日4便(2回)	— (令和3年4月1日より運行開始)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者の少ないバス停の位置を高齢者住民の多い方に移動を検討 ●利用者の多いバス停にベンチを設置を検討 ●路線バスとの乗換では、コミュニティバス料金を無料化 ●福祉施設しおさい館利用者の要望により、しおさい館出発時刻を、買い物時間を確保するため25分程度変更 		
太良町地域公共交通活性化協議会	株式会社再耕庵タクシー	大浦地区:広谷・多良線 曜日運行(火、木、土) 1日2便(1回)	— (令和3年4月1日より運行開始)	A	C	<ul style="list-style-type: none"> ●しおさい館の運営方法改善とともに、バス利便性の周知のために試乗会を実施する。 ●利用者の少ないバス停の位置を高齢者住民の多い方に移動を検討 ●利用者の多いバス停にベンチを設置を検討 		
太良町地域公共交通活性化協議会	株式会社再耕庵タクシー	大浦地区:広谷線 曜日運行(火、木、土) 1日5便(2.5回)	— (令和3年4月1日より運行開始)	A	C	<ul style="list-style-type: none"> ●1日5便を4便に減らして2往復とし、大浦駅周辺で1時間半程度の買い物、通院等の時間を確保する。 ●利用者の少ないバス停の位置を高齢者住民の多い方に移動を検討 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
太良町地域公共交通活性化協議会	株式会社再耕庵タクシー	大浦地区:道越・多良線 曜日運行(火、木、土) 1日2便(1回)	— (令和3年4月1日より運行開始)	A	C	<ul style="list-style-type: none"> ●しおさい館の運営方法改善とともに、バス利便性の周知のために試乗会を実施する。 ●利用者の少ないバス停の位置を高齢者住民の多い方に移動を検討 ●利用者の多いバス停にベンチを設置を検討 		
太良町地域公共交通活性化協議会	株式会社再耕庵タクシー	大浦地区:道越巡回線 曜日運行(火、木、土) 1日5便(5回)	— (令和3年4月1日より運行開始)	A	C	<ul style="list-style-type: none"> ●1日5便を4便に減らして2往復とし、大浦駅周辺で1時間半程度の買い物、通院等の時間を確保する。 ●利用者の少ないバス停の位置を高齢者住民の多い方に移動を検討 		
太良町地域公共交通活性化協議会	株式会社再耕庵タクシー	大浦地区:今里・多良線 曜日運行(火、木、土) 1日2便(1回)	— (令和3年4月1日より運行開始)	A	C	<ul style="list-style-type: none"> ●しおさい館の運営方法改善とともに、バス利便性の周知のために試乗会を実施する。 ●利用者の少ないバス停の位置を高齢者住民の多い方に移動を検討 ●利用者の多いバス停にベンチを設置を検討 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
太良町地域公共交通活性化協議会	株式会社再耕庵タクシー	大浦地区・今里線 曜日運行(火、木、土) 1日5便(2.5回)	— (令和3年4月1日より運行開始)	A	C	<ul style="list-style-type: none"> ●1日5便を4便に減らして2往復とし、大浦駅周辺で1時間半程度の買い物、通院等の時間を確保する。 ●利用者の少ないバス停の位置を高齢者住民の多い方に移動を検討 		

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)**

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎市公共交通活性化協議会	株式会社 琴海タクシー	西海町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。	評価の指標は、1便当たりの利用者数。 自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 今後も令和3年9月に策定した地域公共交通計画に基づき、まちづくりと連携した持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
長崎市公共交通活性化協議会	株式会社 琴海タクシー	琴海村松町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。		
長崎市公共交通活性化協議会	株式会社 琴海タクシー	琴海戸根町・琴海戸根原町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	A	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指す		
長崎市公共交通活性化協議会	株式会社 琴海タクシー	長浦町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。		
長崎市公共交通活性化協議会	株式会社 琴海タクシー	琴海形上町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。		
長崎市公共交通活性化協議会	株式会社 琴海タクシー	琴海尾戸町・琴海大平町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	A	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指す		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
佐世保市地域公共交通会議	西肥自動車株式会社	岩下洞穴・瀬戸越団地線	地元住民代表・行政・交通事業者による「交通対策協議会」において、サービス面の見直しなど利便性向上に向けた検討会議を1回行った。 自治会の会議等で周知するなど、沿線町内会を通じたPR活動や専用回数券の継続利用などで、利用者の維持に努めた。	A	B	更なる利便性向上のため、「交通対策協議会」では乗車人員データをもとに利用者ニーズを把握し、路線、ダイヤの見直し等を分析・検討する。 PR活動を行い、利用促進に向けた取り組みを行う。	評価の指標は、1回あたりの平均乗客数。 地元住民代表等による交通対策協議会を定期的に開催し、まめバスの利用状況等の情報共有、改善策を協議されるなど利用促進に取り組み、目標にわずかに下回ったが、コロナ禍の中であることを踏まえ、高く評価します。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、まちづくりと連携した持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
島原市地域公共交通会議	島原鉄道株式会社	本市北部に位置する有明地区を唯一運行している「水分畜産線」の維持・確保を図る	<p>新型コロナの感染拡大の影響により交通事業者にとっては非常に厳しい状況が続いており、島原鉄道におかれても、未だ経営の回復には至っていない。</p> <p>本市においては、昨年に引き続き、本系統を含め、公共交通の利用促進策として市内全ての交通機関で利用できる、プレミアム乗車券を販売を実施、広報紙での周知やSNSを活用した情報発信を行った。</p> <p>令和3年5月には島原鉄道(株)から水分畜産線も含め、市内バス路線の大幅な廃止が公表されたところであり、路線バスからコミュニティバスへスムーズに移行ができるよう、乗込調査や周知を行った。</p>	B	B	<p>令和3年5月に島原鉄道(株)から、島原市内バス路線の大幅な廃止が公表され、水分畜産線も含め、令和3年9月末をもって路線廃止となった。</p> <p>R3年度をもって本系統のフィーダー申請は終了するが、今後も引き続き住民の移動手段を確保するため、路線バスからコミュニティバスへの移行を進めるとともに、利便性の向上に努めていく。</p>	<p>評価の指標は、平均乗車密度。目標が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。また、令和3年9月末で路線廃止となっていることから、住民の移動手段が失われることがないよう市全体の交通網とともに持続可能な交通ネットワークが持たれることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統 (乗合バス型運行) 富の原・協和町線 (野岳入口)	事業評価結果を 反映することができた。	A	B	新型コロナウイルス感染症の感染予防に取り組むとともに利用者の動向に合わせたダイヤ設定を行い、利便性向上に努める。	評価の指標は、平均乗車密度。「免許返納者バス」、「夏休みこども定期券」、「おでかけMAP」や市内イベントにバス車両を持ち込む等の利用促進事業を実施したことを評価します。今後も令和2年3月に策定した利便増進計画(旧地域公共交通再編実施計画)に基づき、持続可能な旅客運送サービスが確保維持されることを期待します。	
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統 (乗合バス型運行) 富の原・協和町線 (黒丸入口)	事業評価結果を 反映することができた。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響に関わらず一定の利用があるということは利用者にとって生活における重要な路線と考える。今後も住民の移動手段の確保維持に努める。		
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統 (乗合バス型運行) 南部循環線	事業評価結果を 反映することができた。	A	B	新型コロナウイルス感染症の感染予防に取り組むとともに利用者の動向に合わせたダイヤ設定を行い、利便性向上に努める。		
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統 (乗合バス型運行) 小路口・諏訪線	事業評価結果を 反映することができた。	A	B	新型コロナウイルス感染症の感染予防に取り組むとともに利用者の動向に合わせたダイヤ設定を行い、利便性向上に努める。 また、今後は西九州新幹線開業にあわせて新大村駅への接続も検討することとしたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
松浦市地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	路線バスの運行 (鷹島(阿翁浦線))	協議会や分科会等を通じて運行事業者や地域住民と情報交換を行っている。その他利用促進策に係る個別のKPIについては、事業実施段階において協議会において検討する。	A	B	今回の収支率の低下については、新型コロナウイルスの影響によるところが大きい。定期的に利用状況を分析する。さらに、路線バスの効率化を図るため、乗合タクシー等への転換を検討する。	評価の指標は、路線毎の収支率。 目標が一部未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。	
松浦市地域公共交通活性化協議会	鷹島タクシー	乗合タクシーの運行 (阿翁浦線)	網形成計画において、鷹島タクシーの利用者数については、計画の最終年度である令和3年度の目標値を12,700人と設定している。利用促進策に係る個別のKPIについては、事業実施段階に協議会において検討する。	A	B	今回の収支率の低下については、新型コロナウイルスの影響によるところが大きい。年々、利用人員が減少傾向にあるため、利用状況を分析し、利用促進策を強化する必要がある。	今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。	
松浦市地域公共交通活性化協議会	鷹島タクシー	乗合タクシーの運行 (殿の浦線)	網形成計画において、鷹島タクシーの利用者数については、計画の最終年度である令和3年度の目標値を12,700人と設定している。利用促進策に係る個別のKPIについては、事業実施段階に協議会において検討する。	A	B	今回の収支率の低下については、新型コロナウイルスの影響によるところが大きい。年々、利用人員が減少傾向にあるため、利用状況を分析し、利用促進策を強化する必要がある。		
松浦市地域公共交通活性化協議会	鷹島タクシー	乗合タクシーの運行 (船唐津線)	網形成計画において、鷹島タクシーの利用者数については、計画の最終年度である令和3年度の目標値を12,700人と設定している。利用促進策に係る個別のKPIについては、事業実施段階に協議会において検討する。	A	B	今回の収支率の低下については、新型コロナウイルスの影響によるところが大きい。年々、利用人員が減少傾向にあるため、利用状況を分析し、利用促進策を強化する必要がある。		

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)**

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
対馬市地域公共交通活性化協議会	●事業者名 対馬交通㈱ ◎系統名 竹敷線	対馬病院～竹敷間路線 バスの運行	75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指した。	A	C	再編実施計画期間終了により本計画をもって対象路線から外れるが、今後も対馬市が実施する75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等のさらなる周知を図り高齢者等の新たな利用者の増加を目指す。	評価の指標は、収支率、1便あたりの利用者数。 75歳以上への公共交通利用券配布や免許返納者への優遇制度等の利用促進を図っていることを評価します。 また、目標値を下回っていることから、利用者のニーズの把握に努め、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	
対馬市地域公共交通活性化協議会	●事業者名 厳原タクシー(有) (有)北厳原タクシー ホテル対馬㈱ ◎系統名 椎根・厳原線	椎根～厳原間予約制乗 合タクシーの運行	75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指した。	A	C	対馬市が実施する75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等のさらなる周知を図り新たな利用者の増加を目指す。		
対馬市地域公共交通活性化協議会	●事業者名 上県タクシー(株) ◎系統名 比田勝・五根緒線	比田勝～五根緒間予約 制乗合タクシーの運行	75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指した。	A	C	再編実施計画期間終了により本計画をもって対象路線から外れるが、今後も対馬市が実施する75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等のさらなる周知を図り新たな利用者の増加を目指す。		
対馬市地域公共交通活性化協議会	●事業者名 (株)美津島タクシー ◎系統名 雞知・緒方線	雞知～緒方間予約制乗 合タクシーの運行	地域からの要望に応じ、運行時刻の変更を行った。75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指した。	A	C	対馬市が実施する75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等のさらなる周知を図り新たな利用者の増加を目指す。		
対馬市地域公共交通活性化協議会	●事業者名 対馬市 ◎系統名 田ノ浜・櫻滝線	田ノ浜～櫻滝間コミュニ ティバスの運行	75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指した。計画期間終盤に、定時運行から時間帯の運行へ変更し利用者の利便性向上を図った。	A	C	対馬市が実施する75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等のさらなる周知を図り新たな利用者の増加を目指す。		
対馬市地域公共交通活性化協議会	●事業者名 対馬市 ◎系統名 田ノ浜・佐賀線	田ノ浜～佐賀間コミュニ ティバスの運行	75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指した。	A	A	対馬市が実施する75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等のさらなる周知を図り新たな利用者の増加を目指す。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
五島市地域公共交通活性化再生協議会	丸濱産業有限会社 奈留交通有限会社	五島市奈留島内5系統 運行	奈留島地区生活交通検討委員会と連携し、利用者がなかった路線の廃止を含めた見直し及び利用促進活動に取り組む。	A	B	利用促進活動に取り組み、路線の維持存続に努める。	評価の指標は、奈留島地区は年間運行回数、それ以外の地区は年間利用者数。広報紙やホームページでの利用促進の取組、路線見直し等の利便性向上となる取組を評価します。今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。	
五島市地域公共交通活性化再生協議会	松本 勝久(久賀タクシー)	五島市久賀島内17系統 運行	運行事業者が利用者への改善の要望などを聞き取り、渡船待合所に配布用の時刻表及び運行ルートパンフレットを置き利用促進を図った。	A	B	利用者数拡大を目指し、運行事業者や地域町内会と連携し利用促進や路線の見直しに取り組む。		
五島市地域公共交通活性化再生協議会	五島自動車株式会社	五島市福江島内1系統 運行 (福江～樫之浦～観音平線)	市役所奥浦出張所に運行ルート及び時刻表を配置し、更なる利用促進に取り組んだ。	A	B	車内及び市役所奥浦出張所など主要な施設に運行ルート及び時刻表のパンフレットを配置し、更なる利用促進に取り組む。		
五島市地域公共交通活性化再生協議会	五島自動車株式会社	五島市福江島内1系統 運行 (空港線)	五島つばき空港や福江港ターミナルに時刻表を掲示するとともに運行事業者のホームページで周知を図った。	A	B	五島つばき空港や福江港ターミナルに時刻表を掲示するとともに運行事業者のホームページで周知を図る。		
五島市地域公共交通活性化再生協議会	丸濱産業有限会社	五島市奈留島内1系統 運行 (汐池線)	奈留島地区生活交通検討委員会と連携し、適切な目標設定及び利用促進活動に取り組んだ。	A	C	利用促進活動に取り組み、路線の維持存続に努める。		
五島市地域公共交通活性化再生協議会	五島タクシー株式会社	五島市富江地区1系統 運行 (区域運行)	—	A	C	広報紙や戸別訪問を行い周知を図るとともに、利用者アンケートを行い、地域住民の移動に関するニーズや利用満足度等の把握し、よりよい運行形態となるよう努める。		
五島市地域公共交通活性化再生協議会	株式会社大波止タクシー 有限会社西海タクシー	五島市中心市街地周辺 3系統運行 (大津・小田・木場方面)	広報紙等で周知徹底を図るとともに、さらなる利便性の向上を図るため路線の見直しを検討した結果、R3.9月末に当系統を廃止し、R3.10月から新たに区域運行の予約制乗合タクシーを導入した。	A	B	広報紙等で周知徹底を図るとともに、さらなる利便性の向上を図るため路線の見直しを検討した結果、R3.9月末に当系統を廃止し、R3.10月から新たに区域運行の予約制乗合タクシーを導入した。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 ①浜串～有川線	有川～浜串間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情把握により、利用促進に努める。	評価の指標は、1往復あたりの利用者数。	
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 ②浜串～有川線	有川～浜串間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。	自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。	
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 ③江の浜線1	江の浜～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。	今後も利用状況の把握・分析を行うとともに、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 ⑤江の浜線3	江の浜～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 ⑥江の浜線4	江の浜～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 ⑦神之浦線1	神之浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情把握により、利用促進に努める。		
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 ⑧神之浦線2	神之浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 ⑨神之浦線3	神之浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 ⑩神之浦線4	神之浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
平戸市愛のり交通活性化委員会	平戸市	令和2年10月1日より実施した市内公共交通再編に伴い、既存幹線の再編によるフィーダー系統の整備を行い、平戸市中南部地区住民の交通利便性向上を図ることを目的に、市ふれあいバス(紐差-宮の浦線)の運行を開始する。	計画初年度であることから、前回の事業評価反映は来年度以降となる。	A	B	①市内高校や病院などと協議し、より利便性の高いダイヤの検討を行う。 ②市内公共交通マップを作成し、地域住民や観光客等に対し質の高い交通サービスを実施する。	評価の指標は、収支率、年間利用者数 目標が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の影響の中であることが踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 また、地域住民からの要望を踏まえ、ダイヤの変更を実施し、利便性向上を図ったことを評価します。 今後も利用状況の把握・分析を行うとともに、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
天草市地域公共交通連携協議会	産交バス株式会社	本渡市街地循環線(のってみゆうかー)の運行	地域の高齢者団体が、「公共交通deあまくさプチたび」で提案する路線バスコースでの旅行を実施された。	A	B	コロナ禍における「おでかけ促進事業」や「公共交通乗り方教室」等の利用促進の取組みの継続的实施。	評価の指標は、年間利用者数及び1便あたりの利用者数。「おでかけ促進事業(プチたび)」の普及や小学生を対象とした「公共交通乗り方教室」を開催して利用促進に取り組まれていることを評価しますので、対象者を拡大することにより、新たな需要の掘り起こしに取り組まれることを期待します。自己評価については、目標の達成には至っていないものの、新型コロナウイルス感染症の影響がある中、利用者の減少幅が縮小していることから一定の評価ができるものと考えます。	
天草市地域公共交通連携協議会	株式会社明有明 株TaKuRoo 株パールタクシー 天草タクシー(株) 株本渡港運送店 株大門港タクシー 株絆	有明町楠南線(天草市乗合タクシー)の運行	利用ニーズを把握し、利用増に繋げるため、利用登録者アンケート及びヒアリングを実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大による温泉施設の短縮営業や外出自粛の影響による利用控えがあることが分かったため、収束状況を見極めたうえ、利便性向上に繋がる対応策、並びに実施時期等を継続検討していく。	A	B	コロナ禍及びアフターコロナにおける最適な運行ダイヤ等への見直し。	引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス㈱	・ゆるっとバス白水ルート (白川水源入口・温泉センターウイキス経由) 高森駅前～立野駅 (R2.10.1～R3.9.30)	利用者からの要望、意見等を随時受け、ニーズの把握を行うとともに、平成28年熊本地震で被災した道路や公共交通の復旧状況にあわせた運行ルートやダイヤ見直しを適宜行い、公共交通の確保に努めた。	A	C	震災からのインフラ復旧や利用者ニーズに合わせて、柔軟に運行ルートやダイヤの見直しを行い、他の交通モードとの接続強化に努めるとともに利用者の促進を図り、より効果的で利便性の高い公共交通体系の構築に取り組む。 また、年間利用者に係る目標設定については、今回の実績を踏まえ、より適切な目標設定を行う。	評価の指標は、年間利用者数。運転手を通じて利用者のニーズを随時把握して、停留所の新設や移設、ダイヤの設定に取り組まれた点を評価します。自己評価については、目標未達成の要因をJR肥後大津駅までの臨時路線廃止や新型コロナウイルス感染症の影響と分析されていることから、当該要因を踏まえた今後の対策を検討されることを期待します。また、今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス㈱	・ゆるっとバス白水ルート (白川水源入口経由) 高森駅前～立野駅 (R2.10.1～R3.9.30)	利用者からの要望、意見等を随時受け、ニーズの把握を行うとともに、平成28年熊本地震で被災した道路や公共交通の復旧状況にあわせた運行ルートやダイヤ見直しを適宜行い、公共交通の確保に努めた。	A	C	震災からのインフラ復旧や利用者ニーズに合わせて、柔軟に運行ルートやダイヤの見直しを行い、他の交通モードとの接続強化に努めるとともに利用者の促進を図り、より効果的で利便性の高い公共交通体系の構築に取り組む。 また、年間利用者に係る目標設定については、今回の実績を踏まえ、より適切な目標設定を行う。		
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス㈱	・ゆるっとバス久木野ルート (あそ望の郷・温泉センターウイキス経由) 高森駅前～立野駅 (R2.10.1～R3.9.30)	利用者からの要望、意見等を随時受け、ニーズの把握を行うとともに、平成28年熊本地震で被災した道路や公共交通の復旧状況にあわせた運行ルートやダイヤ見直しを適宜行い、公共交通の確保に努めた。	A	C	震災からのインフラ復旧や利用者ニーズに合わせて、柔軟に運行ルートやダイヤの見直しを行い、他の交通モードとの接続強化に努めるとともに利用者の促進を図り、より効果的で利便性の高い公共交通体系の構築に取り組む。 また、年間利用者に係る目標設定については、今回の実績を踏まえ、より適切な目標設定を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス㈱	・ゆるっとバス久木野ルート (あそ望の郷経由) 高森駅前～立野駅 (R2.10.1～R3.9.30)	利用者からの要望、意見等を随時受け、ニーズの把握を行うとともに、平成28年熊本地震で被災した道路や公共交通の復旧状況にあわせた運行ルートやダイヤ見直しを適宜行い、公共交通の確保に努めた。	A	C	震災からのインフラ復旧や利用者ニーズに合わせて、柔軟に運行ルートやダイヤの見直しを行い、他の交通モードとの接続強化に努めるとともに利用者の促進を図り、より効果的で利便性の高い公共交通体系の構築に取り組む。 また、年間利用者に係る目標設定については、今回の実績を踏まえ、より適切な目標設定を行う。		
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス㈱	・ゆるっとバス立野循環(温泉センターウイナス・阿蘇ファームランド 経由) 立野駅～立野駅 (R2.10.1～R3.9.30)	利用者からの要望、意見等を随時受け、ニーズの把握を行うとともに、平成28年熊本地震で被災した道路や公共交通の復旧状況にあわせた運行ルートやダイヤ見直しを適宜行い、公共交通の確保に努めた。	A	C	震災からのインフラ復旧や利用者ニーズに合わせて、柔軟に運行ルートやダイヤの見直しを行い、他の交通モードとの接続強化に努めるとともに利用者の促進を図り、より効果的で利便性の高い公共交通体系の構築に取り組む。 また、年間利用者に係る目標設定については、今回の実績を踏まえ、より適切な目標設定を行う。		
南阿蘇村公共交通連携協議会	南阿蘇観光タクシー 南高森駅前タクシー (共同運行)	・地獄・垂玉線(下田城ふれあい温泉駅～地獄・垂玉温泉間) ・予約制 ・熊本地震の影響により運行休止中(R2.10.1～R3.9.30)	平成28年熊本地震以降、南阿蘇鉄道が復旧中のため運行休止となっている。	-	-	南阿蘇鉄道全線復旧に合わせた乗合タクシーの運行について検討を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
水俣市地域公共交通会議	産交バス株式会社	水俣駅・葛彩館線 水俣駅前～水俣市役所・ 渡野～葛彩館	みなくるバスの利用を促進するため、水俣市内在住の75歳以上の高齢者及び障がいがある一部の方に対し、回数券方式による無償化を実施。	A	C	時間帯によっては利用者が少ない便もあり、利用者のニーズと運行内容にミスマッチが生じているため、第2期水俣市地域公共交通網形成計画に基づき、モビリティマネジメント等利用促進を図っていく。	評価の指標は、年間利用者数の減少率の抑制。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からモビリティマネジメントの取組が実施できていますが、路線の見直しや高齢者と障がいのある住民に対する無償化を実施されたことは評価します。	
水俣市地域公共交通会議	産交バス株式会社	水俣駅・大川線 水俣駅前～深川・ 愛林館前～大川	みなくるバスの利用を促進するため、水俣市内在住の75歳以上の高齢者及び障がいがある一部の方に対し、回数券方式による無償化を実施。	A	C	時間帯によっては利用者が少ない便もあり、利用者のニーズと運行内容にミスマッチが生じているため、第2期水俣市地域公共交通網形成計画に基づき、モビリティマネジメント等利用促進を図っていく。	目標達成に至らなかった要因を「利用者ニーズと運行内容のミスマッチ」と分析していますが、見直しをされた路線も含めて、継続的に利用者ニーズを詳細に把握するとともに、目指すべき地域の交通体系の実現に向けて、設定している目標値の水準が適切であるかを検討されることを期待します。	
水俣市地域公共交通会議	産交バス株式会社	流合橋経由招川内・茂道線 招川内～流合橋・ 水俣駅前～茂道漁港	みなくるバスの利用を促進するため、水俣市内在住の75歳以上の高齢者及び障がいがある一部の方に対し、回数券方式による無償化を実施。	A	C	時間帯によっては利用者が少ない便もあり、利用者のニーズと運行内容にミスマッチが生じているため、第2期水俣市地域公共交通網形成計画に基づき、モビリティマネジメント等利用促進を図っていく。	協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用され、利用者ニーズの把握と利用促進策の継続により、利便性と効率性のバランスがとれた持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
水俣市地域公共交通会議	産交バス株式会社	頭石経由招川内・茂道線 招川内～頭石・ 水俣駅前～茂道漁港	みなくるバスの利用を促進するため、水俣市内在住の75歳以上の高齢者及び障がいがある一部の方に対し、回数券方式による無償化を実施。	A	C	時間帯によっては利用者が少ない便もあり、利用者のニーズと運行内容にミスマッチが生じているため、第2期水俣市地域公共交通網形成計画に基づき、モビリティマネジメント等利用促進を図っていく。		
水俣市地域公共交通会議	産交バス株式会社	木臼野経由 水俣市役所・水俣駅線 水俣市役所～梅戸・ 木臼野～水俣駅前	みなくるバスの利用を促進するため、水俣市内在住の75歳以上の高齢者及び障がいがある一部の方に対し、回数券方式による無償化を実施。	A	C	時間帯によっては利用者が少ない便もあり、利用者のニーズと運行内容にミスマッチが生じているため、第2期水俣市地域公共交通網形成計画に基づき、モビリティマネジメント等利用促進を図っていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
水俣市地域公共交通会議	産交バス株式会社	水俣市役所・木臼野線 水俣市役所～梅戸・茂 川～木臼野上	みなくるバスの利用を促進するため、水俣市内在住の75歳以上の高齢者及び障がいがある一部の方に対し、回数券方式による無償化を実施。	A	C	時間帯によっては利用者が少ない便もあり、利用者のニーズと運行内容にミスマッチが生じているため、第2期水俣市地域公共交通網形成計画に基づき、モビリティマネジメント等利用促進を図っていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会	(有)ながすタクシー	長洲町予約型乗合タクシー(きんぎょタクシー)の運行(長洲町内全域及び荒尾市・玉名市の特定施設)	公共交通マップや運転免許返納者への無料乗車券交付制度を活用し、利用促進を図った。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数が減少しているが、感染症対策等に努め、引き続き利用実態を把握しながら、効率的な輸送サービスを検討していく。	<p>評価の指標は、年間利用者数及び財政負担の維持・抑制。公共交通マップを活用して利用方法や利便性の周知に取り組まれていることを評価しますので、当該取組が利用者増にどの程度貢献しているかを含めて、継続的に取り組まれることを期待します。</p> <p>自己評価については、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえると一定の評価ができると考えますが、新型コロナウイルス感染症の影響とその他の影響を可能な限り分析することで対応策に繋げていくことをご検討ください。</p> <p>協議会が日々の公共交通の利用状況や取組の進捗情報を共有する場として活用され、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
益城町地域公共交通会議	福田地区デマンド型 乗合タクシー 熊交観光タクシー (株) (有)光洋タクシー	福田地区～木山産交営業所、木山上町・木山農協前・惣領バス停付近の予約型運行(1日6便、日曜祝日年末年始は運休)	「益城町地域公共交通計画」を策定するにあたり、利用者のアンケート調査を実施した。結果を踏まえ、計画における施策として「サービスの高度化、展開」を挙げた。広報活動については、広報誌での周知を行ったが、説明会等については新型コロナウイルスの影響で開催できなかった。	A	B	「益城町地域公共交通計画」の施策であるサービスの高度化、展開について検討する。併せて、地域への説明会等の広報活動を通して事業の周知を行う。広報においては、主な利用者層である高齢者にわかりやすいものを意識する。	評価指標は、月平均の利用者数。新型コロナウイルス感染症の影響によるものと分析していますが、乗合路線バスが目標と実績の乖離が大きいことから、新型コロナウイルス感染症の影響以外の影響分析や、目標値の適切性の検討を行われることを期待します。新型コロナウイルス感染症の終息後も従前の状況に戻らないことを想定しながら、持続可能な運送サービスが提供されることを期待します。	
益城町地域公共交通会議	木山・広安循環線 (左回り・右回り) 産交バス(株)	木山産交～益城病院前～古閑南～木山産交(1日15便、年末年始は特別ダイヤ)	「益城町地域公共交通計画」を策定するにあたり、アンケート調査、バスの乗込調査を実施した。利用者からは必要という声がある一方、路線自体の認知度は3割程度と低かった。	A	C	計画策定時の調査で明らかになった課題を踏まえ、路線自体の広報活動を進めるとともに、運行内容の変更等について検討する。また、今回の輸送実績を踏まえ、目標値についても再検討する。再編については、都市計画事業の進捗を見ながら進める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宇土市地域公共交通会議	(有)中川タクシー	ミニバス網津緑川線の運行	新型コロナウイルス感染症対応として、車内の換気や消毒等を行い、清潔な車内環境づくりに努めた。	A	C	本系統は福祉バスと一部路線が重複しており、曜日ごとの利用者の偏りはこのことも影響していると分析している。そのため、今後策定予定の地域公共交通計画に従い、様々な輸送資源を活用した交通体系を検討していく。	評価指標は、1日当たりの利用者数。運賃無料運行による利用促進の実施や停留所標識の整備に取り組みましたことを評価します。自己評価については、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえると一定の評価ができると考えますので、新型コロナウイルス感染症による影響とそれ以外の影響を可能な限り分析してアフターコロナも見据えた対策を系統毎にきめ細やかに講じられることを期待します。協議会が、日々の公共交通の利用状況や取組の進捗状況を関係者間で共有・認識してもらうための場として活用されることを期待します。	
宇土市地域公共交通会議	(有)西田タクシー	ミニバス宇土北部線の運行	新型コロナウイルス感染症対応として、車内の換気や消毒等を行い、清潔な車内環境づくりに努めた。路線バス(走潟線)廃止に伴う代替ルートを検討を行った。	A	B	本系統は運行エリアが広く、ルートによっては需要の掘り起こしが可能と思われるため、住民ニーズを把握し、利便性向上に努める。		
宇土市地域公共交通会議	宇城タクシー(有)	ミニバス森線の運行	新型コロナウイルス感染症対応として、車内の換気や消毒等を行い、清潔な車内環境づくりに努めた。	A	C	本系統は運行エリアが市街地に近く需要の掘り起こしが難しい系統である。そのため、今後策定予定の地域公共交通計画に従い、様々な輸送資源を活用した交通体系を検討していく。		
宇土市地域公共交通会議	宇城タクシー(有)	ミニバス花園北部線の運行	新型コロナウイルス感染症対応として、車内の換気や消毒等を行い、清潔な車内環境づくりに努めた。	A	C	本系統は運行エリアが広く、ルートによっては需要の掘り起こしが可能と思われるため、地域公共交通計画策定の策定と並行し、住民ニーズの把握と、利便性向上に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宇土市地域公共交通会議	宇城タクシー(有)	ミニバス花園南部線の 運行	・新型コロナウイルス感染症対応として、車内の換気や消毒等を行い、清潔な車内環境づくりに努めた。	A	B	本系統は運行エリアが広く、ルートによっては需要の掘り起こしが可能と思われるため、地域公共交通計画策定の策定と並行し、住民ニーズの把握と、利便性向上に努める。		
宇土市地域公共交通会議	産交バス(株)	コミュニティバスの運行	新型コロナウイルス感染症による利用者減少対策及びワクチン接種移動支援として、令和3年5月17日から9月30日までの間、運賃無料運行を実施した。	A	B	本系統は市街地を循環する系統であり、市街地の拠点間の移動を目的としているため、路線バスやJR、ミニバス等の他の交通機関との接続性の向上を検討していく。 また今後策定予定の地域公共交通計画に従い、様々な輸送資源を活用した交通体系を検討していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
阿蘇市地域公共交通会議	(株)TaKuRoo (有)阿蘇エースタク シー	乗合タクシー内牧赤水線	地域住民の利便性の向上及び制度周知のため利用ガイドを配布した。	A	A	事業は適切に実施されており、かつ目標・効果も達成できている。今後も地域住民のための移動手段として利便性の向上を図り、更なる利用者数の増を目指す。	評価の指標は、月間利用者数。利便性向上と制度の周知のため、利用ガイドを配布し啓発を行った取組を評価します。当該取組により、事業の目標を達成できている点を評価しますので、乗合率向上を含めた更なる利用者増加のため、継続的に利用状況の分析と利用促進策を実施してください。今後、協議会において市町村が主体となり、関係者との協議を経つつ、地域の公共交通のマスタープランである地域公共交通計画を策定されるとともに、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
合志市地域公共交通協議会	熊本電気鉄道株式会社(株)	レターバス(北ルート1便目、8便目)	乗降カウントシステムにより、利用状況の把握・分析を行った。利用促進の取り組みとして、マイ時刻表による乗り換え案内を実施した。 また、運転免許自主返納者への特典として無料乗車券を配布し、新規利用者の掘り起こしを行った。	A	C	目標値に対し、結果は下回っている。再編後の路線について、利用者増加のため、引き続き公共交通利便性の向上と周知啓発を図る。 また、運行単価の増およびコロナ禍により利用者の減少のため運賃収入の減により運行委託料が増加傾向にある。そのため、運賃見直しの検討やコロナ対策等を行い、今後の持続可能な公共交通を目指す。	評価の指標は、①市内外の移動での円滑な乗り継ぎに関する市民満足度、②年間利用者数、③公共交通機関利用者の割合、④市民1人当たりの運行委託料。 マイ時刻表による乗換案内や運転免許返納者への無料乗車券配付による新規利用者の掘り起こしに取り組まれていることを評価します。 目標を達成することができなかった要因は主に新型コロナウイルス感染症の影響としますので、アフターコロナも見据えた対策を検討されることを期待します。 今後も利用状況の把握・分析を行うとともに、現在の取組を継続的に実施することにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
荒尾市地域公共交通活性化協議会	(有)荒尾タクシー、 平和タクシー(有)、 (有)有明タクシー	荒尾市予約型乗合タクシー(平井地区)の運行	アクティブシニアを対象とし、対象者の行動パターンに合った公共交通利用プランの提案等を行う「モビリティマネジメント」を実施し、利用促進を図った。また、広報紙や市のホームページ等により情報発信を行った。	A	C	引き続き、情報発信を行いつつ、モビリティマネジメントの対象者や手法について再検討し、効果的な利用促進策を実施する。また、おもやいタクシーとの相互利用を推進することで利用促進を図る。	評価の指標は、利便性に関する満足度及び年間利用者数。利用促進の取組として、対象者の行動パターンに合わせた利用プランの提案等を行うモビリティマネジメントの取組やおもやいタクシー運行による公共交通の相互利用促進の取組を評価します。 新型コロナウイルス感染症の影響により目標を下回ったと分析されていますので、アフターコロナを見据えた対策が検討されることを期待します。 今後も利用状況の把握・分析を行うことにより効率的な利用促進が実施されるとともに、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
荒尾市地域公共交通活性化協議会	(有)荒尾タクシー、 平和タクシー(有)、 (有)有明タクシー	荒尾市予約型乗合タクシー(府本地区)の運行	アクティブシニアを対象とし、対象者の行動パターンに合った公共交通利用プランの提案等を行う「モビリティマネジメント」を実施し、利用促進を図った。また、広報紙や市のホームページ等により情報発信を行った。	A	C	引き続き、情報発信を行いつつ、モビリティマネジメントの対象者や手法について再検討し、効果的な利用促進策を実施する。また、おもやいタクシーとの相互利用を推進することで利用促進を図る。		
荒尾市地域公共交通活性化協議会	産交バス(株)	住吉線の運行	アクティブシニアを対象とし、対象者の行動パターンに合った公共交通利用プランの提案等を行う「モビリティマネジメント」を実施し、利用促進を図った。また、令和3年度中のバス乗り方教室(保育園児向け)実施に向けて、関係者と協議を行った。	A	C	引き続き、情報発信を行いつつ、モビリティマネジメントの対象者や手法について再検討し、効果的な利用促進策を実施する。また、おもやいタクシーとの相互利用を推進することで利用促進を図る。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
荒尾市地域公共交通活性化協議会	産交バス(株)	倉掛線の運行	アクティブシニアを対象とし、対象者の行動パターンに合った公共交通利用プランの提案等を行う「モビリティマネジメント」を実施し、利用促進を図った。また、令和3年度中のバス乗り方教室(保育園児向け)実施に向けて、関係者と協議を行った。	A	C	引き続き、情報発信を行いつつ、モビリティマネジメントの対象者や手法について再検討し、効果的な利用促進策を実施する。また、おもいやりタクシーとの相互利用を推進することで利用促進を図る。		
荒尾市地域公共交通活性化協議会	産交バス(株)	八幡台線の運行	アクティブシニアを対象とし、対象者の行動パターンに合った公共交通利用プランの提案等を行う「モビリティマネジメント」を実施し、利用促進を図った。また、令和3年度中のバス乗り方教室(保育園児向け)実施に向けて、関係者と協議を行った。	A	C	引き続き、情報発信を行いつつ、モビリティマネジメントの対象者や手法について再検討し、効果的な利用促進策を実施する。また、おもいやりタクシーとの相互利用を推進することで利用促進を図る。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
玉名市地域公共交通会議	有限会社岱洋タクシー 玉名タクシー有限会社 有限会社高瀬合同タクシー 有限会社アトム	(1)滑石・岱明地域 (2)大浜・横島地域 ※いずれも予約制乗合タクシー	公共交通マップや広報等で情報提供の充実を図るとともに、利用者ニーズを反映して運行区域の拡充を行った。	A	B	新しい生活様式により公共交通の利用そのものが減っているが、利用者のニーズの把握や運行時間・特定乗降場所の見直しなどの検討を行う。 なお、利用者が安心して乗車できるよう、R3.3月にタクシー事業者による感染症対策の取り組みへの補助を市が実施した。	評価の指標は、年間輸送人員。公共交通マップ等情報提供による利用促進策の実施や、主な利用者との意見交換を通して利用者ニーズを把握し必要な見直しを行った取組を評価します。 自己評価については、新型コロナウイルス感染症の影響を挙げられていますが、可能な限り新型コロナウイルス感染症の影響とそれ以外の影響の分析を行うことで、アフターコロナを見据えた対策を検討されることを期待します。	
玉名市地域公共交通会議	産交バス株式会社	(3)九州看護福祉大学經由玉名駅・新玉名駅線 (4)玉名市街地循環線	公共交通マップや広報等で情報提供の充実を図るとともに、補助対象事業者及び当該対象事業の主な利用者である九州看護福祉大学と定期的に意見交換を実施し、必要な変更を行った。	A	B	新しい生活様式により公共交通の利用そのものが減っているが、公共交通を維持・確保していくために、利用者の増加に繋がるよう通勤・通学に利用しやすい運行時間帯への見直しや住民等への周知などを検討をする。	今後、協議会において貴市が主体となり、関係者との協議を経つつ、地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることで、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
津奈木町地域公共交通会議	むつみ交通株式会社	津奈木町内全域及び水俣市内の特定施設間を運行	<ul style="list-style-type: none"> 回数券の発行 町内行き回数券3,000円(300円券11枚綴り)、町外行き回数券8,000円(800円券・11枚綴り)の販売を引き続き行い、利用促進及び利便性の向上を図った。 無料町外行き乗車券の配布 町外行き回数券を購入した場合に、さらに3回分の無料町外行き乗車券を配布するキャンペーンを期間限定で実施した。 免許書自主返納者特典事業 免許証の自主返納者へ、町内行きの回数券と町外行き回数券を1セットずつ配布することで、新規利用者の獲得と利用促進を図った。 広報活動 つなぎタクシーの利用方法等について町広報誌に年2回掲載するとともに、リニューアルしたパンフレットの全戸配布や乗降場所を記した地図を地区回覧し、住民へのつなぎタクシーの周知強化と利用促進を図った。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 運転免許証の自主返納者に対する特典事業を引き続き実施するとともに、新たな特典事業を展開し、新規利用者の掘り起こしを行う。 利用方法等の制度周知の強化を図り新規利用者の増加を図る。 路線バス及び鉄道との結節(乗継)を維持し、相互の利用者数の増加、利便性の向上を図る。 アンケート結果をもとに、現在の停留所や便の時間帯変更など運行内容の見直しを検討する。 	<p>評価の指標は、公共交通カバー率とつなぎタクシーの1日当たり利用者数。 回数券発行、無料町外行き乗車券配布、運転免許証返納者への特典事業等の取組について評価します。 目標達成できなかったつなぎタクシーの1日当たり利用者については、その要因を分析し、効果的・効果的な対策を検討されることを期待します。 協議会が、日々の公共交通の利用状況や取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場となるとともに、今後、当該協議会において貴町が主体となり、関係者との協議を経つつ、地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
八代市地域公共交通会議	八代市地域公共交通会議	東町線(区域)の運行	<p>○利用方法、運転免許返納者割引事業等についての周知・情報提供に関する取組を実施した。</p> <p>○沿線地域へのヒアリング結果をもとに運行内容の見直しを行い、新規利用者の開拓及び利便性の向上を図った。また、運行ダイヤ・運行範囲等の見直しについて、利用者の声に対し柔軟に対応を行った。</p> <p>【見直しの概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行時刻の変更(東町線) ・停留所の新設(産島線) ・停留所の新設及びルート変更(平和町線) ・運行範囲の拡大及び停留所新設(日奈久～坂本線) <p>新規路線の運行(鏡町線)</p> <p>○運行内容の見直しに合わせ、公共交通マップ及び総合時刻表の更新を行い、HP上に公開するなど広く情報提供を行っている。また、見直しを行った地域には個別に公共交通だよりを配布し、変更内容や利用方法等の周知を図った。</p> <p>○鏡町線において利用促進の取組の一環として、地域の方々と共に路線の愛称募集事業を行った。</p>	A	C	<p>○沿線地域や関係団体と連携し、利用実態に合わせた利用促進の取組を実施する。</p> <p>○利用方法、運転免許返納者割引事業等についての周知・情報提供に関する取組を引き続き実施し、利用者の増加へつなげていく。</p> <p>○利用者からの要望や利用状況を踏まえた運行内容の見直しを行う。</p> <p>○運行内容の見直しに合わせ、公共交通マップ及び総合時刻表の更新を行い、丁寧に情報提供を行う。</p>	<p>評価指標は、系統ごとの年間利用者数。</p> <p>利用促進の取組として路線の愛称募集事業の実施を評価します。</p> <p>自己評価として、新型コロナウイルス感染症の影響や令和2年7月豪雨の影響を目標未達成の要因と分析していますが、アフターコロナや災害復興後を見据えて、複雑に絡み合う要因を可能な限り分析して効果的な対策を検討・実施されることを期待します。</p> <p>引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
八代市地域公共交通会議	八代市地域公共交通会議	産島線(区域)の運行	<p>○利用方法、運転免許返納者割引事業等についての周知・情報提供に関する取組を実施した。</p> <p>○沿線地域へのヒアリング結果をもとに運行内容の見直しを行い、新規利用者の開拓及び利便性の向上を図った。また、運行ダイヤ・運行範囲等の見直しについて、利用者の声に対し柔軟に対応を行った。</p> <p>【見直しの概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行時刻の変更(東町線) ・停留所の新設(産島線) ・停留所の新設及びルート変更(平和町線) ・運行範囲の拡大及び停留所新設(日奈久～坂本線) <p>新規路線の運行(鏡町線)</p> <p>○運行内容の見直しに合わせ、公共交通マップ及び総合時刻表の更新を行い、HP上に公開するなど広く情報提供を行っている。また、見直しを行った地域には個別に公共交通だよりを配布し、変更内容や利用方法等の周知を図った。</p> <p>○鏡町線において利用促進の取組の一環として、地域の方々と共に路線の愛称募集事業を行った。</p>	A	B	<p>○沿線地域や関係団体と連携し、利用実態に合わせた利用促進の取組を実施する。</p> <p>○利用方法、運転免許返納者割引事業等についての周知・情報提供に関する取組を引き続き実施し、利用者の増加へつなげていく。</p> <p>○利用者からの要望や利用状況を踏まえた運行内容の見直しを行う。</p> <p>○運行内容の見直しに合わせ、公共交通マップ及び総合時刻表の更新を行い、丁寧に情報提供を行う。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
八代市地域公共交通会議	八代市地域公共交通会議	平和町線(右廻り)(路線定期)の運行	<p>○利用方法、運転免許返納者割引事業等についての周知・情報提供に関する取組を実施した。</p> <p>○沿線地域へのヒアリング結果をもとに運行内容の見直しを行い、新規利用者の開拓及び利便性の向上を図った。また、運行ダイヤ・運行範囲等の見直しについて、利用者の声に対し柔軟に対応を行った。</p> <p>【見直しの概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行時刻の変更(東町線) ・停留所の新設(産島線) ・停留所の新設及びルート変更(平和町線) ・運行範囲の拡大及び停留所新設(日奈久～坂本線) <p>新規路線の運行(鏡町線)</p> <p>○運行内容の見直しに合わせ、公共交通マップ及び総合時刻表の更新を行い、HP上に公開するなど広く情報提供を行っている。また、見直しを行った地域には個別に公共交通だよりを配布し、変更内容や利用方法等の周知を図った。</p> <p>○鏡町線において利用促進の取組の一環として、地域の方々と共に路線の愛称募集事業を行った。</p>	A	C	<p>○沿線地域や関係団体と連携し、利用実態に合わせた利用促進の取組を実施する。</p> <p>○利用方法、運転免許返納者割引事業等についての周知・情報提供に関する取組を引き続き実施し、利用者の増加へつなげていく。</p> <p>○利用者からの要望や利用状況を踏まえた運行内容の見直しを行う。</p> <p>○運行内容の見直しに合わせ、公共交通マップ及び総合時刻表の更新を行い、丁寧に情報提供を行う。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
八代市地域公共交通会議	八代市地域公共交通会議	平和町線(左廻り)(路線定期)の運行	<p>○利用方法、運転免許返納者割引事業等についての周知・情報提供に関する取組を実施した。</p> <p>○沿線地域へのヒアリング結果をもとに運行内容の見直しを行い、新規利用者の開拓及び利便性の向上を図った。また、運行ダイヤ・運行範囲等の見直しについて、利用者の声に対し柔軟に対応を行った。 【見直しの概要】 ・運行時刻の変更(東町線) ・停留所の新設(産島線) ・停留所の新設及びルート変更(平和町線) ・運行範囲の拡大及び停留所新設(日奈久～坂本線) 新規路線の運行(鏡町線)</p> <p>○運行内容の見直しに合わせ、公共交通マップ及び総合時刻表の更新を行い、HP上に公開するなど広く情報提供を行っている。また、見直しを行った地域には個別に公共交通だよりを配布し、変更内容や利用方法等の周知を図った。</p> <p>○鏡町線において利用促進の取組の一環として、地域の方々と共に路線の愛称募集事業を行った。</p>	A	C	<p>○沿線地域や関係団体と連携し、利用実態に合わせた利用促進の取組を実施する。</p> <p>○利用方法、運転免許返納者割引事業等についての周知・情報提供に関する取組を引き続き実施し、利用者の増加へつなげていく。</p> <p>○利用者からの要望や利用状況を踏まえた運行内容の見直しを行う。</p> <p>○運行内容の見直しに合わせ、公共交通マップ及び総合時刻表の更新を行い、丁寧に情報提供を行う。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
八代市地域公共交通会議	八代市地域公共交通会議	日奈久～坂本線(区域)の運行	<p>○利用方法、運転免許返納者割引事業等についての周知・情報提供に関する取組を実施した。</p> <p>○沿線地域へのヒアリング結果をもとに運行内容の見直しを行い、新規利用者の開拓及び利便性の向上を図った。また、運行ダイヤ・運行範囲等の見直しについて、利用者の声に対し柔軟に対応を行った。</p> <p>【見直しの概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行時刻の変更(東町線) ・停留所の新設(産島線) ・停留所の新設及びルート変更(平和町線) ・運行範囲の拡大及び停留所新設(日奈久～坂本線) <p>新規路線の運行(鏡町線)</p> <p>○運行内容の見直しに合わせ、公共交通マップ及び総合時刻表の更新を行い、HP上に公開するなど広く情報提供を行っている。また、見直しを行った地域には個別に公共交通だよりを配布し、変更内容や利用方法等の周知を図った。</p> <p>○鏡町線において利用促進の取組の一環として、地域の方々と共に路線の愛称募集事業を行った。</p>	A	C	<p>○沿線地域や関係団体と連携し、利用実態に合わせた利用促進の取組を実施する。</p> <p>○利用方法、運転免許返納者割引事業等についての周知・情報提供に関する取組を引き続き実施し、利用者の増加へつなげていく。</p> <p>○利用者からの要望や利用状況を踏まえた運行内容の見直しを行う。</p> <p>○運行内容の見直しに合わせ、公共交通マップ及び総合時刻表の更新を行い、丁寧に情報提供を行う。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
八代市地域公共交通会議	八代市地域公共交通会議	鏡町線(区域)の運行	<p>○利用方法、運転免許返納者割引事業等についての周知・情報提供に関する取組を実施した。</p> <p>○沿線地域へのヒアリング結果をもとに運行内容の見直しを行い、新規利用者の開拓及び利便性の向上を図った。また、運行ダイヤ・運行範囲等の見直しについて、利用者の声に対し柔軟に対応を行った。</p> <p>【見直しの概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行時刻の変更(東町線) ・停留所の新設(産島線) ・停留所の新設及びルート変更(平和町線) ・運行範囲の拡大及び停留所新設(日奈久～坂本線) <p>新規路線の運行(鏡町線)</p> <p>○運行内容の見直しに合わせ、公共交通マップ及び総合時刻表の更新を行い、HP上に公開するなど広く情報提供を行っている。また、見直しを行った地域には個別に公共交通だよりを配布し、変更内容や利用方法等の周知を図った。</p> <p>○鏡町線において利用促進の取組の一環として、地域の方々と共に路線の愛称募集事業を行った。</p>	A	C	<p>○沿線地域や関係団体と連携し、利用実態に合わせた利用促進の取組を実施する。</p> <p>○利用方法、運転免許返納者割引事業等についての周知・情報提供に関する取組を引き続き実施し、利用者の増加へつなげていく。</p> <p>○利用者からの要望や利用状況を踏まえた運行内容の見直しを行う。</p> <p>○運行内容の見直しに合わせ、公共交通マップ及び総合時刻表の更新を行い、丁寧に情報提供を行う。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
和水町地域公共交通会議	有限会社高瀬合同タクシー	菊水線	<ul style="list-style-type: none"> ・区域乗継料金の割引を実施し、利用促進及び利便性の向上を図った。 ・町民生委員児童委員協議会の定例会開催時に、出前講座を実施し、周知を行った。 ・利用者ニーズ・利用実態を把握するため、R3.8に利用者に聴き取り調査を実施した。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用実態・ニーズを把握し、利用者の増加に繋がるよう運行内容の見直しを行う。 	<p>評価指標は、おでかけ交通の登録者数と年間利用件数。区域乗継料金割引や出前講座の実施により、利用促進・利便性の向上等を図る取組を評価します。</p> <p>達成できなかった目標の要因を新型コロナウイルス感染症の影響とその他の影響に可能な限り細かく分析し、アフターコロナを見据えた効果的な対策を検討されることを期待します。</p>	
和水町地域公共交通会議	有限会社三加和タクシー	三加和線	<ul style="list-style-type: none"> ・区域乗継料金の割引を実施し、利用促進及び利便性の向上を図った。 ・町民生委員児童委員協議会の定例会開催時に、出前講座を実施し、周知を行った。 ・利用者ニーズ・利用実態を把握するため、R3.8に利用者に聴き取り調査を実施した。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用実態・ニーズを把握し、利用者の増加に繋がるよう運行内容の見直しを行う。 	<p>協議会のWeb開催の検討など、コロナ禍においても地域において適切に合意形成が図られることで、今後の改善点が着実に解決されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山江村地域公共交通会議	山江村	乗合タクシーまるおか号 (山田線・万江線・山江 線)	広報、ケーブルテレビ、ホームページにおいて、まるおか号の利用方法、割引制度等の情報発信を行った。	A	B	山江村においては、高齢者の利用が多く、子どもや観光客の利用が少ない現状である。利用者アンケート等の実施により、利用者の満足度や課題を把握したうえで、さらに効率的で利便性が高い公共交通体系を構築する必要がある。 また、新型コロナウイルス感染症対策を行い、安心してまるおか号を利用していただくよう広報等で情報発信を行っていく。	評価の指標は、年間利用者数と利用者満足度。 様々な媒体を用いて情報発信の取組を評価します。 少子高齢化、新型コロナウイルス感染症、令和2年7月豪雨と複数の要因を挙げているので、可能な限りそれぞれの影響を詳細に分析しながら、効果的な対策を検討されることを期待します。 協議会が、日々の公共交通の利用状況や取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されとともに、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
人吉・球磨地域公共交通活性化協議会	産交バス(株)、つばめ タクシー(株)、むつみ 交通(株)	系統名:人吉・湯前線 運行区間:JR人吉駅前 ロータリー～湯前駅前 ロータリー キロ程:往30.1Km、復 30.1Km	対象なし	A	A	引き続きま川鉄道の代替輸送手段として、地域の日常生活に必要不可欠な本事業を継続していく。 また、令和3年11月のくま川鉄道部分運行に伴う残りの区間においても事業を継続して実施し、接続ダイヤ調整や乗換情報等の充実により、利用者増や利便性向上に向けて多角的に進める必要がある。	評価の指標は、1日平均利用者数。 路線バスや乗合タクシー当の一元的な公共交通マップ作成の取組を評価します。 令和2年7月豪雨で不通となったくま川鉄道の運行休止区間の代替輸送として、沿線住民の生活交通手段の確保に寄与し、目標を達成されたことを評価します。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 黒沢・岸河内線	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	B	令和3年10月からの再編により、大手前まで延伸し、利便性を高める。 市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 また、引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。	・評価の指標は、全路線の1便あたりの平均利用率。 ・平成30年10月の大分県南部圏地域公共交通再編実施計画に基づき路線再編や利便増進に取り組みられていることを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。	
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 大入島線	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	B	令和3年10月からの再編により、葛港から大手前までの乗継便を増やすことで利便性を高める。 また、市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 マイ時刻表を引き続き作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。	・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 床木線1	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	C	令和3年10月からの再編により、弥生地域の定時定路線をデマンド方式とし、利用利便を高める。 市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 また、マイ時刻表を引き続き作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 大間線	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	C	令和3年10月からの再編により、弥生地域の定時定路線をデマンド方式とし、利用利便を高める。 また、市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 マイ時刻表を引き続き作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 直川線	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	B	令和3年10月からの再編により、直川地域の定時定路線をデマンド方式とし、利用利便を高める。 また、市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 マイ時刻表を引き続き作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 久保線	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	B	令和3年10月からの再編により、弥生地域の定時定路線をデマンド方式とし、利用利便を高める。 また、市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 マイ時刻表を引き続き作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
佐伯市地域公共交通確保 維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 山梨子・切畑線1	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	C	令和3年10月からの再編により、弥生地域の定時定路線をデマンド方式とし、利用利便を高める。 また、市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 マイ時刻表を引き続き作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
佐伯市地域公共交通確保 維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 山梨子・切畑線2	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	C	令和3年10月からの再編により、弥生地域の定時定路線をデマンド方式とし、利用利便を高める。 また、市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 マイ時刻表を引き続き作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
佐伯市地域公共交通確保 維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 本匠線	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	A	令和3年10月から幹線部分の運行を民間路線バスをコミュニティ化して運行を行い、地域内はデマンド運行を行うことにより、さらに利用利便を向上させる。 また、市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 マイ時刻表を引き続き作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 下直見線	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	C	令和3年10月からの再編により、直川地域の定時定路線をデマンド方式とし、利用利便を高める。 また、市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 マイ時刻表を引き続き作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。	
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 鶴見線1	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	A	令和3年10月から幹線部分の運行を民間路線バスをコミュニティ化して運行を行う。本路線もこれに接続し、利用利便を向上させる。 また、市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 マイ時刻表を引き続き作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。	
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 鶴見線2	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	A	令和3年10月から幹線部分の運行を民間路線バスをコミュニティ化して運行を行う。本路線もこれに接続し、利用利便を向上させる。 また、市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 マイ時刻表を引き続き作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。	
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 野崎線	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	C	年間を通して利用実績がなかったため、令和3年10月から路線を廃止する。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 米水津線	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	B	令和3年10月から幹線部分の運行を民間路線バスをコミュニティ化して運行を行う。本路線もこれに接続し、一部を隣接地区の診療所まで運行し、利用利便を向上させる。 また、市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 マイ時刻表を引き続き作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 仲川原線	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	A	令和3年10月から幹線部分の運行を民間路線バスをコミュニティ化して運行を行う。本路線もこれに接続し、利用利便を向上させる。 また、市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 マイ時刻表を引き続き作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。 ※波当津線と統合し、ダイヤの調整を行う。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 波当津線1	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	B	令和3年10月から幹線部分の運行を民間路線バスをコミュニティ化して運行を行う。本路線もこれに接続し、利用利便を向上させる。 また、市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 マイ時刻表を引き続き作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。 ※仲川原線と統合し、ダイヤの調整を行う。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 波当津線2	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	B	令和3年10月から幹線部分の運行を民間路線バスをコミュニティ化して運行を行う。本路線もこれに接続し、利用利便を向上させる。 また、市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 マイ時刻表を引き続き作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。 ※仲川原線と統合し、ダイヤの調整を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 宇目・直川線1	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	C	令和3年10月から幹線部分の運行を民間路線バスをコミュニティ化して運行を行う。本路線も見直しを行い、市中心部から宇目地区まで延伸し、利用利便を向上させる。 また、市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 マイ時刻表を引き続き作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。 ※旧大分バス直川線と統合し、ダイヤの調整を行う。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 宇目・直川線2	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	C	令和3年10月から幹線部分の運行を民間路線バスをコミュニティ化して運行を行う。本路線も見直しを行い、市中心部から宇目地区まで延伸し、利用利便を向上させる。 また、市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 マイ時刻表を引き続き作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。 ※旧大分バス直川線と統合し、ダイヤの調整を行う。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 宇目・直川線3	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	C	令和3年10月から幹線部分の運行を民間路線バスをコミュニティ化して運行を行う。本路線も見直しを行い、市中心部から宇目地区まで延伸し、利用利便を向上させる。 また、市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 マイ時刻表を引き続き作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。 ※旧大分バス直川線と統合し、ダイヤの調整を行う。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 宇目・直川線4	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	C	令和3年10月から幹線部分の運行を民間路線バスをコミュニティ化して運行を行う。本路線も見直しを行い、市中心部から宇目地区まで延伸し、利用利便を向上させる。 また、市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 マイ時刻表を引き続き作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。 ※旧大分バス直川線と統合し、ダイヤの調整を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 宇目・直川線5	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	B	令和3年10月から幹線部分の運行を民間路線バスをコミュニティ化して運行を行う。本路線も見直しを行い、市中心部から宇目地区まで延伸し、利用利便を向上させる。 また、市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 マイ時刻表を引き続き作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。 ※旧大分バス直川線と統合し、ダイヤの調整を行う。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 宇目デマンド線	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	C	令和3年10月から幹線部分の運行を民間路線バスをコミュニティ化して運行を行う。本路線もこれに接続し、利用利便を向上させる。 また、市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 マイ時刻表を引き続き作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 旧定時定路線	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	C	令和3年10月から幹線部分の運行を民間路線バスをコミュニティ化して運行を行う。本路線もこれに接続し、利用利便を向上させる。 また、市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 マイ時刻表を引き続き作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 床木線2	・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	C	令和3年10月からの再編により、弥生地域の定時定路線をデマンド方式とし、利用利便を高める。 また、市のホームページや市報を活用し、啓発活動を行い、利用促進に努める。 マイ時刻表を引き続き作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
九重町地域交通協議会	事業者名:九重町 運行系統名:小平谷 線	小平谷～豊後中村駅～ 九重町役場の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	A	今後も継続して運行状況の分析や住民ニーズの把握を行うとともに利用促進の取り組みを実施していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、系統ごとの乗車人数 ・平成30年10月の九重町地域公共交通再編実施計画に基づき路線再編や利便増進に取り組まれていることを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
九重町地域交通協議会	事業者名:九重町 運行系統名:寺床線	寺床～豊後中村駅～九 重町役場の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	B	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケットなどのお得な情報と、車内の感染症対策等のPRを実施していく。		
九重町地域交通協議会	事業者名:九重町 運行系統名:うるが 線	うるが～引治駅～川西 の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	C	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケット、車内の感染症対策などの情報と合わせてPRを実施していく。特に地元の方の利用が増えるような取り組みとして、アンケート調査を実施しダイヤ改正等について検討を行う。		
九重町地域交通協議会	事業者名:九重町 運行系統名:栗原小 園線	猪牟田～九重町役場～ 川西の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	C	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケットなどのお得な情報と、車内の感染症対策等のPRを実施していく。 また、デマンドの利用方法の説明会等実施していく。		
九重町地域交通協議会	事業者名:九重町 運行系統名:龍門野 倉線	野倉～恵良駅の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	A	今後も継続して運行状況の分析や住民ニーズの把握を行うとともに利用促進の取り組みを実施していく。		
九重町地域交通協議会	事業者名:九重町 運行系統名:龍門線	野倉～恵良駅～九重町 役場の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	B	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケットなどのお得な情報と、車内の感染症対策等のPRを実施していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
九重町地域交通協議会	事業者名：九重町 運行系統名：鹿伏桐 木線	豊後中村駅～鹿伏～豊 後中村駅の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	B	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケットなどのお得な情報と、車内の感染症対策等のPRを実施していく。		
九重町地域交通協議会	事業者名：九重町 運行系統名：九重縦 断線	塚脇～恵良駅～飯田交 流センターの運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	C	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケット、車内の感染症対策などの情報と合わせてPRを実施していく。特に地元の方の利用が増えるような取り組みとして、アンケート調査を実施しダイヤ改正等について検討を行う。		
九重町地域交通協議会	事業者名：九重町 運行系統名：九重縦 断線	飯田交流センター～豊 後中村駅～九重ICの運 行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	B	引き続き乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケット、車内の感染症対策などの情報と合わせてPRを実施していく。特に地元の方の利用が増えるような取り組みを行う。		
九重町地域交通協議会	事業者名：九重町 運行系統名：九重縦 断線	牧ノ戸峠～豊後中村駅 ～九重ICの運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	C	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケット、車内の感染症対策などの情報と合わせてPRを実施していく。特に地元の方の利用が増えるような取り組みとして、アンケート調査を実施しダイヤ改正等について検討を行う。		
九重町地域交通協議会	事業者名：九重町 運行系統名：九重縦 断線	牧ノ戸峠～豊後中村駅 ～九重ICの運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	C	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケット、車内の感染症対策などの情報と合わせてPRを実施していく。特に地元の方の利用が増えるような取り組みとして、アンケート調査を実施しダイヤ改正等について検討を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
九重町地域交通協議会	事業者名: 九重町 運行系統名: 九重縦 断線	九重登山口花山酔～豊 後中村駅～塚脇の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	A	引き続き乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケットなどのお得な情報や車内の感染症対策のPRを実施していく。特に地元の方の利用が増えるような取り組みを行う。		
九重町地域交通協議会	事業者名: 九重町 運行系統名: 九重縦 断線	九重登山口みやま～豊 後中村駅～塚脇の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	A	引き続き乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケットなどのお得な情報や車内の感染症対策のPRを実施していく。特に地元の方の利用が増えるような取り組みを行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
津久見市地域公共交通活性化協議会	津久見タクシー(株) 光タクシー(株)	中央病院～津久見駅線の運行	年末年始の運行ダイヤについて全戸回覧を行い、バス停に掲示するなど運行に関しての周知を行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響により体験試乗会等、地域の方から直接意見を聴く機会を持つことができなかった。	A	B	今後の状況を注視し、新型コロナウイルス感染症の影響により開催出来なかった体験試乗会等を行いながら、地域の声を聴く。加えて、乗降傾向等を把握し、引き続き、利用促進の取組みを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、1日平均利用者数、年間利用者数。 ・平成30年10月の大分県南部圏地域公共交通再編実施計画に基づき路線再編や利便増進に取り組みられていることを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
津久見市地域公共交通活性化協議会	津久見タクシー(株)	落の浦～大浜線 落の浦～蒲戸線の運行	年末年始の運行ダイヤについて全戸回覧を行い、バス停に掲示するなど運行に関しての周知を行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者の声を聞く機会をもつことができなかった。	A	B	令和3年10月から佐伯市路線バスの見直しにより接続する停留所が変更したこともあることから、引き続き、地域の方々の声を十分に聴き、より効率的な運送サービスを検討していく。		
津久見市地域公共交通活性化協議会	津久見タクシー(株) 光タクシー(株)	畑～津久見駅線の運行	年末年始の運行ダイヤについて全戸回覧を行い、バス停に掲示するなど運行に関しての周知を行った。	A	B	運行日等について周知するとともに、利用者の声を十分に聴き、より効率的な運送サービスを検討していく。		
津久見市地域公共交通活性化協議会	臼津交通(株)	路線バス17系統の運行	利用者や事業者の声を聴き、わかりやすい時刻表の作成に努めた。	A	B	路線バスの乗降者の状況を乗降調査等を通じて把握する。乗り合いタクシーや鉄道との接続など利用方法を提示することで、より効果的な情報提供により、利用促進に取り組む。時刻表作成については、今後もわかりやすい時刻表の作成に努めていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) ひたはしり号 Aコー ス	日田～玉川～中ノ島～ 竹田新町～日田の循環 コースを運行	<p>日田市が日田バスに委託して市内中心部を循環運行するコミュニティバスひたはしり号は、近年、運行エリアに近い地域住民からコースの延伸を希望する声が多いため、利用者数の増及び利便性のさらなる向上を目指して、令和3年度、運行内容の見直し検討を開始。現在、令和4年秋以降のダイヤ改正を目的に、日田バスと協議を進めている。</p> <p>なお、例年9月20日の「バスの日」に合わせ、公共交通利用促進の目的で日田バスと共催により日田バスターミナルで実施している1日バス無料乗車体験等のイベントについては、コロナの影響により2年連続で開催できなかった。</p>	A	B	<p>コミュニティバスひたはしり号は、H28.6の運賃100円開始以降認知度が高まり、さらにH30.7.11にダイヤ改正及びコース延伸を行った結果、利用者数は下記のとおり、底上げとなった。</p> <p>【H27】71,868人【H28】76,181人【H29】88,235人【H30】83,489人【R1】85,499人</p> <p>しかしR2年度以降はコロナの影響で大きく減少している。</p> <p>【R2】71,075人【R3】68,469人</p> <p>R3年度の利用者数はコロナ前のR1年度と比較して8割程度となっているが、その中においても、ひたはしり号Dコースのように利用者数がコロナ前と比較して大きく減少していない系統もあることから、今後、地域からの乗入要望や利用者の需要を日田バスと連携して把握の上、R4秋以降を目的に再編(ルート変更、ダイヤ改正)を行い、利用者の増及び利便性のさらなる向上を図っていく。</p>	<p>・評価の指標は、年間利用者数、対R1年比。</p> <p>・例年実施されている、地域座談会の開催、「バスの日」に合わせたひたはしり号の1日無料乗車体験については、新型コロナウイルス感染症拡大により実施に至っておられませんが、今後も同様に利用促進に取り組みされることを期待します。</p> <p>・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。</p> <p>・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。</p>	
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) ひたはしり号 Bコー ス	日田～城内団地～市役 所前～日田の循環コー スを運行	<p>日田市が日田バスに委託して市内中心部を循環運行するコミュニティバスひたはしり号は、近年、運行エリアに近い地域住民からコースの延伸を希望する声が多いため、利用者数の増及び利便性のさらなる向上を目指して、令和3年度、運行内容の見直し検討を開始。現在、令和4年秋以降のダイヤ改正を目的に、日田バスと協議を進めている。</p> <p>なお、例年9月20日の「バスの日」に合わせ、公共交通利用促進の目的で日田バスと共催により日田バスターミナルで実施している1日バス無料乗車体験等のイベントについては、コロナの影響により2年連続で開催できなかった。</p>	A	B	<p>コミュニティバスひたはしり号は、H28.6の運賃100円開始以降認知度が高まり、さらにH30.7.11にダイヤ改正及びコース延伸を行った結果、利用者数は下記のとおり、底上げとなった。</p> <p>【H27】71,868人【H28】76,181人【H29】88,235人【H30】83,489人【R1】85,499人</p> <p>しかしR2年度以降はコロナの影響で大きく減少している。</p> <p>【R2】71,075人【R3】68,469人</p> <p>R3年度の利用者数はコロナ前のR1年度と比較して8割程度となっているが、その中においても、ひたはしり号Dコースのように利用者数がコロナ前と比較して大きく減少していない系統もあることから、今後、地域からの乗入要望や利用者の需要を日田バスと連携して把握の上、R4秋以降を目的に再編(ルート変更、ダイヤ改正)を行い、利用者の増及び利便性のさらなる向上を図っていく。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) ひたはしり号 Cコース	日田～玉川～石井～誠和町～日田の循環コースを運行	日田市が日田バスに委託して市内中心部を循環運行するコミュニティバスひたはしり号は、近年、運行エリアに近い地域住民からコースの延伸を希望する声が多いため、利用者数の増及び利便性のさらなる向上を目指して、令和3年度、運行内容の見直し検討を開始。現在、令和4年秋以降のダイヤ改正を目的に、日田バスと協議を進めている。 なお、例年9月20日の「バスの日」に合わせ、公共交通利用促進の目的で日田バスと共催により日田バスターミナルで実施している1日バス無料乗車体験等のイベントについては、コロナの影響により2年連続で開催できなかった。	A	B	コミュニティバスひたはしり号は、H28.6の運賃100円開始以降認知度が高まり、さらにH30.7.1にダイヤ改正及びコース延伸を行った結果、利用者数は下記のとおり、底上げとなった。 【H27】71,868人【H28】76,181人【H29】88,235人【H30】83,489人【R1】85,499人 しかしR2年度以降はコロナの影響で大きく減少している。 【R2】71,075人【R3】68,469人 R3年度の利用者数はコロナ前のR1年度と比較して8割程度となっているが、その中においても、ひたはしり号Dコースのように利用者数がコロナ前と比較して大きく減少していない系統もあることから、今後、地域からの乗入要望や利用者の需要を日田バスと連携して把握の上、R4秋以降を目的に再編(ルート変更、ダイヤ改正)を行い、利用者の増及び利便性のさらなる向上を図っていく。		
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) ひたはしり号 Dコース	日田～豆田町～朝日町～清岸寺町～城町～日田の循環コースを運行	日田市が日田バスに委託して市内中心部を循環運行するコミュニティバスひたはしり号は、近年、運行エリアに近い地域住民からコースの延伸を希望する声が多いため、利用者数の増及び利便性のさらなる向上を目指して、令和3年度、運行内容の見直し検討を開始。現在、令和4年秋以降のダイヤ改正を目的に、日田バスと協議を進めている。 なお、例年9月20日の「バスの日」に合わせ、公共交通利用促進の目的で日田バスと共催により日田バスターミナルで実施している1日バス無料乗車体験等のイベントについては、コロナの影響により2年連続で開催できなかった。	A	B	コミュニティバスひたはしり号は、H28.6の運賃100円開始以降認知度が高まり、さらにH30.7.1にダイヤ改正及びコース延伸を行った結果、利用者数は下記のとおり、底上げとなった。 【H27】71,868人【H28】76,181人【H29】88,235人【H30】83,489人【R1】85,499人 しかしR2年度以降はコロナの影響で大きく減少している。 【R2】71,075人【R3】68,469人 R3年度の利用者数はコロナ前のR1年度と比較して8割程度となっているが、その中においても、ひたはしり号Dコースのように利用者数がコロナ前と比較して大きく減少していない系統もあることから、今後、地域からの乗入要望や利用者の需要を日田バスと連携して把握の上、R4秋以降を目的に再編(ルート変更、ダイヤ改正)を行い、利用者の増及び利便性のさらなる向上を図っていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) 五馬線	日田～小瀬～花香～近原～中村～五馬入口のコースを運行	日田バスが日田バスターミナルから日田市天瀬町五馬地区までを運行する五馬線は、H31.4.11にダイヤ改正を行い、現在平日1日2.5往復、土曜日1日2往復の運行を実施中である。令和3年度は、送迎・輸送に関する勉強会を五馬地区住民と市が一緒になって開催し、当該地区を運行する公共交通(五馬線、乗合デマンドタクシー)や地域主体による運送を実施するための条件等について、話し合いを行った。特に五馬線についてはダイヤや運賃のあり方について、路線のさらなる利用促進を図るため積極的な意見交換を行った。	A	A	今後も地域座談会等で住民、交通事業者等と随時意見交換を行い、ニーズに応じたダイヤの設定を行うなど利用促進に努めていく。あわせて、利用状況についても住民等に情報提供し、地域の利用実態に応じた適正な交通モードのあり方を住民等と一緒に検討していく。		
臼杵市地域公共交通活性化協議会	臼津交通(株) 臼杵タクシー(株) 富士タクシー(株)	既存コミュニティバス利用者数【城崎線、白岩線、上松線、佐志生線、東神野線、西神野線、市内循環線、南野津・東谷線】	利用者ニーズを確認するため、乗降調査結果を基に利用促進及び路線見直しのための協議を行った。	B	C	引き続きジャンボタクシー路線の見直し及び中型バス路線の小型化の検討を行うことに加え、公共交通の安全性を訴える等、利用者増にむけたモビリティマネジメントを行う。	・評価の指標は、利用者数・利用率。 ・利用者ニーズを確認するため、乗降調査結果を基に利用促進を図り、利用者に路線毎の路線図、時刻表を作成し、地域説明会等で配布するなど利用促進に取り組まれていることを評価します。	
臼杵市地域公共交通活性化協議会	臼津交通(株) 臼杵タクシー(株) 富士タクシー(株)	既存コミュニティバス利用率	利用者ニーズを確認するため、乗降調査結果を基に利用促進及び路線見直しのための協議を行った。	B	C	引き続きジャンボタクシー路線の見直し及び中型バス路線の小型化の検討を行うことに加え、公共交通の安全性を訴える等、利用者増にむけたモビリティマネジメントを行う。	・目標値を下回っていることから、利用者のニーズを把握し、公共交通を利用して欲しい方にアプローチされることを期待します。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	
臼杵市地域公共交通活性化協議会	臼津交通(株)	民間路線バス利用者数【中津浦線、泊ヶ内線、割後場線】	バス事業者と利用促進について随時検討を行った。利用者に路線毎の路線図、時刻表を作成し、市のホームページに掲載した。	B	C	引き続きバス事業者と利用促進について検討をしていくとともに地域説明会でも意見聴取を行い、路線の見直しの検討を行うことに加え、公共交通の安全性を訴える等、利用者増にむけたモビリティマネジメントを行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
臼杵市地域公共交通活性化協議会	臼津交通(株)	民間路線バス利用率	バス事業者と利用促進について随時検討を行った。利用者に路線毎の路線図、時刻表を作成し、市のホームページに掲載した。	B	C	引き続きバス事業者と利用促進について検討をしていくとともに地域説明会でも意見聴取を行い、路線の見直しの検討を行うことに加え、公共交通の安全性を訴える等、利用者増にむけたモビリティマネジメントを行う。		
臼杵市地域公共交通活性化協議会	臼杵タクシー(株) 富士タクシー(株)	デマンドタクシー利用者数	利用者ニーズを確認するため、乗降調査結果を基に利用促進及び路線見直しのための協議を行った。	B	C	地域の実情に合った運行の見直し及び車を持っても公共交通を利用する機運を高めるモビリティマネジメントを行う。		
臼杵市地域公共交通活性化協議会	臼杵タクシー(株) 富士タクシー(株)	デマンドタクシー利用率	利用者ニーズを確認するため、乗降調査結果を基に利用促進及び路線見直しのための協議を行った。	B	C	地域の実情に合った運行の見直し及び車を持っても公共交通を利用する機運を高めるモビリティマネジメントを行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
杵築市地域公共交通活性化協議会	三光タクシー(株)	八坂線	市ホームページや広報誌に掲載し市内外に周知を行うとともに高齢者の身近にいるケアマネージャーや地域のサロン責任者に、乗合タクシーへの登録の声掛けをお願いした。また、免許返納者に対しても乗合タクシーへの登録をお願いした。	A	B	目標達成にあと一歩届かなかったが、制度は順調に浸透していていると思われる。ホームページ、ケーブルテレビや市広報誌「きつき」等を活用し利用促進の周知を行い、目標値3.0人/便を達成できるように努めたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、1便当たりの利用者数。 ・市ホームページを活用し、市内外への周知、高齢者の身近にいるケアマネージャー等を通じた高齢者への乗合タクシー登録の声掛けなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 ・目標値を下回っていることから、利用者のニーズを把握し、公共交通を利用して欲しい方にアプローチされることを期待します。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
杵築市地域公共交通活性化協議会	三光タクシー(株)	北杵築線	市ホームページや広報誌に掲載し市内外に周知を行うとともに高齢者の身近にいるケアマネージャーや地域のサロン責任者に、乗合タクシーへの登録の声掛けをお願いした。また、免許返納者に対しても乗合タクシーへの登録をお願いした。	A	C	目標達成は叶わなかったが、人口減少が進む地域ではあるがコロナ禍でも稼働率は伸びている。稼働率の伸びが乗車率の伸びに繋がるように、ホームページ、ケーブルテレビや市広報誌「きつき」等を活用し利用促進の周知を行い目標値2.5人/便を達成できるように努めたい。		
杵築市地域公共交通活性化協議会	杵築国東合同タクシー(株)	東線	市ホームページや広報誌に掲載し市内外に周知を行うとともに高齢者の身近にいるケアマネージャーや地域のサロン責任者に、乗合タクシーへの登録の声掛けをお願いした。また、免許返納者に対しても乗合タクシーへの登録をお願いした。	A	C	目標達成は叶わなかったが、コロナ禍でも稼働率は伸びている。稼働率とともに乗車率も上昇に転じるように、ホームページ、ケーブルテレビや市広報誌「きつき」等を活用し利用促進の周知を行い、目標値2.0人/便を達成できるように努めたい。		
杵築市地域公共交通活性化協議会	杵築国東合同タクシー(株)	大内線	市ホームページや広報誌に掲載し市内外に周知を行うとともに高齢者の身近にいるケアマネージャーや地域のサロン責任者に、乗合タクシーへの登録の声掛けをお願いした。また、免許返納者に対しても乗合タクシーへの登録をお願いした。	A	A	目標は達成することはできたが、さらなる利用者の増加を目指し、ホームページ、ケーブルテレビや市広報誌「きつき」等を活用し利用促進の周知に努めたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
杵築市地域公共交通活性化協議会	杵築市	大田線	令和3年4月から運行開始	A	C	目標達成にあと一歩届かなかったが、制度は順調に浸透していていると思われる。ホームページ、ケーブルテレビや市広報誌「きつき」等を活用し利用促進の周知を行い、目標値2.5人/便を達成できるように努めたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
玖珠町地域公共交通活性化協議会	系統名:まちなか循環バス 事業者名:玖珠観光バス(株)	わらべの館を起点として、市街地の主要施設(役場、商店、医療機関、金融機関等々)を循環 1日8便(西回り4便東回り4便)運行	運行計画とおりの運行を実施した。事故等もなく、適切に事業実施をされた。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外出自粛の影響もあったが概ね目標値に近い実績があった。車を所有しない高齢者や高校生等をターゲットとした利便性の高い取組を今後検討する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、利用者数。 ・適切に事業が実施されていることを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
玖珠町地域公共交通活性化協議会	系統名:小型乗合バス(岩室線) 事業者名:大交タクシー(有)	書曲三から下長野間の運行(毎週水曜日に運行)	運行計画とおりの運行を実施した。事故等もなく、適切に事業実施をされた。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外出自粛の影響も多少あったと考えられる。路線の距離が長い為、バス停の乗降者数を把握し、ルート最適化を図っていく。令和3年10月からは小野原線の一部を追加し、路線の延長を実施した。		
玖珠町地域公共交通活性化協議会	系統名:ふれあい福祉バス(伐株線) 事業者名:玖珠町	唐杉から福祉センター間の運行(毎週火曜日の運行)	運行計画とおりの運行を実施した。事故等もなく、適切に事業実施をされた。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による、外出自粛の影響も多少あったと思われるが目標を大幅に達成できなかった。要因として、固定客の減少や、比較的市街地に近いことから、自家用車を含めた他の移動手段を利用することが多いことも目標値を達成できなかった要因のひとつと考えられる。バス停や路線の見直し、他の路線との統一など、大幅な改善を行っていく必要がある。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
玖珠町地域公共交通活性化協議会	系統名:ふれあい福祉バス(小田線) 事業者名:玖珠町	小田小学校入口から福祉センター間の運行(毎週金曜日の運行)	運行計画とおりの運行を実施した。事故等もなく、適切に事業実施をされた。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による、外出自粛の影響も多少あったと思われるが目標を大幅に達成できなかった。要因として、固定客の減少や、比較的市街地に近いことから、自家用車を含めた他の移動手段を利用することが多いことも北票地を達成できなかった要因のひとつと考えられる。バス停や路線の見直し、他の路線との統一など、大幅な改善を行っていく必要がある。		
玖珠町地域公共交通活性化協議会	系統名:ふれあい福祉バス(山浦線通学便) 事業者名:玖珠町	古園からJR豊後森駅間の運行(平日運行)	運行計画とおりの運行を実施した。事故等もなく、適切に事業実施をされた。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響もあったと思われるが、休校等の措置がなかったため、前年度より輸送人員が増えた。児童と混乗ができるため、北小山田小学校以降の路線については一般の方の利用ができる旨の啓発を行っていきたい。		
玖珠町地域公共交通活性化協議会	系統名:ふれあい福祉バス(山浦線ふれあい便) 事業者名:玖珠町	古園から福祉センター間の運行(毎週火・金曜日の運行)	運行計画とおりの運行を実施した。事故等もなく、適切に事業実施をされた。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外出自粛の影響もあったが、目標値を達成することができなかった。高齢者が多い地域であるため、自家用車を持たない高齢者をターゲットとした取組を考えていく必要がある。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
玖珠町地域公共交通活性化協議会	系統名:ふれあい福祉バス(日出生線通学便) 事業者名:玖珠町	日出生公民館前から豊後森駅間の運行(平日運行)	運行計画とおりの運行を実施した。事故等もなく、適切に事業実施をされた。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響もあったと思われるが、休校等の措置がなかったため、前年度より輸送人員が増えた。高校生や児童の利用者が多いため、通学者が利用しやすい路線としていきたい。		
玖珠町地域公共交通活性化協議会	系統名:ふれあい福祉バス(日出生線ふれあい便) 事業者名:玖珠町	尾内公民館から福祉センター間の運行(毎週水曜日の運行)	運行計画とおりの運行を実施した。事故等もなく、適切に事業実施をされた。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外出自粛の影響もあったと思われるが目標値を達成できなかった。令和3年10月からは小野原線と統一路線とし、週2回(毎週月、木)の運行としている。当該地区の高齢化は進んでいるため、高齢者が利用しやすい環境を整備する必要がある。		
玖珠町地域公共交通活性化協議会	系統名:ふれあい福祉バス(小野原線) 事業者名:玖珠町	小野原給水施設前から福祉センター間を運行(毎週木曜日の運行)	運行計画とおりの運行を実施した。事故等もなく、適切に事業実施をされた。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外出自粛の影響もあったと思われるが目標値を達成できなかった。令和3年10月からは日出生線と統一路線とし、週2回(毎週月、木)の運行としている。当該地区の高齢化は進んでいるため、高齢者が利用しやすい環境を整備する必要がある。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
豊後大野市地域公共交通 活性化協議会	豊後大野市	(コミュニティバスの運 行) <三重町> 山田線、小坂線、菅尾 線、川辺・向野線、内田 線の運行	地元自治会からの要望に伴うルート変更、停留所の新設及び発 車時刻の変更などを行い、利用促進に努めた。	A	B	アフターコロナを見据え、婦人会や老人会と連携したバスの利用促進策 について、大分大学と連携し取組む。 また、利用が長い間ほとんどない区間、バス停等については、トリガー 制度に基づく区間廃止、バス停廃止、運行形態の変更(デマンドへの移 行)等を地元との協議・合意の上、検討・推進する。	・評価の指標は、1人当たり運行 コスト、利用者満足度調査、利 用者数。 ・地元自治体からの要望を反映 し、利用促進に取り組まれてい ることを評価します。 ・目標の一部が未達成であるも の、新型コロナウイルス感染症 の影響の中であることを踏ま えれば、一定の評価ができるも のと考えます。 ・引き続き、協議会が設定する 今後の改善点が着実に解決さ れることを期待します。	
豊後大野市地域公共交通 活性化協議会	豊後大野市	(コミュニティバスの運 行) <清川町> 通学東小線、通学西小 線、清川・市民病院線の 運行	地元自治会からの要望に伴うルート変更、停留所の新設及び発 車時刻の変更などを行い、利用促進に努めた。	A	B	アフターコロナを見据え、婦人会や老人会と連携したバスの利用促進策 について、大分大学と連携し取組む。 また、利用が長い間ほとんどない区間、バス停等については、トリガー 制度に基づく区間廃止、バス停廃止、運行形態の変更(デマンドへの移 行)等を地元との協議・合意の上、検討・推進する。		
豊後大野市地域公共交通 活性化協議会	豊後大野市	(コミュニティバスの運 行) <緒方町> 小富士線、上緒方・小富 士線、上緒方線、長谷 川・南部線、長谷川線、 南部東線、南部西線の 運行	地元自治会からの要望に伴うルート変更、停留所の新設及び発 車時刻の変更などを行い、利用促進に努めた。	A	B	アフターコロナを見据え、婦人会や老人会と連携したバスの利用促進策 について、大分大学と連携し取組む。 また、利用が長い間ほとんどない区間、バス停等については、トリガー 制度に基づく区間廃止、バス停廃止、運行形態の変更(デマンドへの移 行)等を地元との協議・合意の上、検討・推進する。		
豊後大野市地域公共交通 活性化協議会	豊後大野市	(コミュニティバスの運 行) <朝地町> 朝地・市民病院線、近 地・普光寺線、北部幹 線、鳥屋線、綿田線、臼 木線、小川野・志屋線、 梨原線、南部幹線、田夫 時線の運行	地元自治会からの要望に伴うルート変更、停留所の新設及び発 車時刻の変更などを行い、利用促進に努めた。	A	B	アフターコロナを見据え、婦人会や老人会と連携したバスの利用促進策 について、大分大学と連携し取組む。 また、利用が長い間ほとんどない区間、バス停等については、トリガー 制度に基づく区間廃止、バス停廃止、運行形態の変更(デマンドへの移 行)等を地元との協議・合意の上、検討・推進する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
豊後大野市地域公共交通 活性化協議会	豊後大野市	(コミュニティバスの運 行) ＜大野町＞ 貫原線、岩杉線、古殿 線、藤浪線、沢田線、牧 原・広戸線、木浦畑線、 田中・市民病院線の運 行	地元自治会からの要望に伴うルート変更、停留所の新設及び発 車時刻の変更などを行い、利用促進に努めた。	A	B	アフターコロナを見据え、婦人会や老人会と連携したバスの利用促進策 について、大分大学と連携し取り組む。 また、利用が長い間ほとんどない区間、バス停等については、トリガー 制度に基づく区間廃止、バス停廃止、運行形態の変更(デマンドへの移 行)等を地元との協議・合意の上、検討・推進する。		
豊後大野市地域公共交通 活性化協議会	豊後大野市	(コミュニティバスの運 行) ＜千歳町＞ 下山・前田線、高柴線、 石田・大高線、船田線の 運行	地元自治会からの要望に伴うルート変更、停留所の新設及び発 車時刻の変更などを行い、利用促進に努めた。	A	B	アフターコロナを見据え、婦人会や老人会と連携したバスの利用促進策 について、大分大学と連携し取り組む。 また、利用が長い間ほとんどない区間、バス停等については、トリガー 制度に基づく区間廃止、バス停廃止、運行形態の変更(デマンドへの移 行)等を地元との協議・合意の上、検討・推進する。		
豊後大野市地域公共交通 活性化協議会	豊後大野市	(コミュニティバスの運 行) ＜犬飼町＞ 宇津尾木線、高津原線、 西寒田線、田原・戸上線 の運行	地元自治会からの要望に伴うルート変更、停留所の新設及び発 車時刻の変更などを行い、利用促進に努めた。	A	B	アフターコロナを見据え、婦人会や老人会と連携したバスの利用促進策 について、大分大学と連携し取り組む。 また、利用が長い間ほとんどない区間、バス停等については、トリガー 制度に基づく区間廃止、バス停廃止、運行形態の変更(デマンドへの移 行)等を地元との協議・合意の上、検討・推進する。		
豊後大野市地域公共交通 活性化協議会	豊後大野市	(あいのりタクシーの運 行) ＜三重町＞ 南部線、東部線、西部・ 白山線の運行 ＜清川町＞ 牧口線、合川線の運行	モニタリングの継続実施により利用状況の把握に努めた。	A	B	新たな利用者を取り込むため、利用促進を積極的に行っていく。(各地 域のコミュニティカフェ等との連携) 分かりやすい公共交通の情報提供として、地域別にきめ細かく具体的 利用方法を紹介したチラシの作成等を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 岐部線 [申請番号1]	伊美～上岐部 (国見中経由)	地域協働推進事業(計画期間:平成25～27年度)の一環である利用助成券制度が好評であったため、取り組みを引き続き実施し、平成31年4月からは利用可能な事業者を拡大した。 また、市内路線図と時刻表が一体となった総合時刻表を作成・配布したり、市の広報誌やホームページで、担当者による地元ケーブルテレビへの出演など、市内の交通施策に関する広報活動を繰り返し行った。 一部地域を対象にアンケート調査も実施した。	A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。 (特記事項)R4年度から国見町内小学校が1校に統合される。	・評価の指標は、年間輸送人員。 ・市内の路線図と時刻表が一体となった総合時刻表を作成・配布したり、市の広報誌やホームページ、担当者による地元ケーブルテレビへの出演など、市内の交通施策に関する広報活動を繰り返し実施していることを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。	
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 竹田津線 [申請番号2]	国東～竹田津港 (伊美経由)	地域協働推進事業(計画期間:平成25～27年度)の一環である利用助成券制度が好評であったため、取り組みを引き続き実施し、平成31年4月からは利用可能な事業者を拡大した。 また、市内路線図と時刻表が一体となった総合時刻表を作成・配布したり、市の広報誌やホームページで、担当者による地元ケーブルテレビへの出演など、市内の交通施策に関する広報活動を繰り返し行った。 一部地域を対象にアンケート調査も実施した。	A	A	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。 (特記事項)R3年度末にて国東高校双国校の廃止。	・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 竹田津線 [申請番号3]	国東～伊美 (国見中経由)	地域協働推進事業(計画期間:平成25～27年度)の一環である利用助成券制度が好評であったため、取り組みを引き続き実施し、平成31年4月からは利用可能な事業者を拡大した。 また、市内路線図と時刻表が一体となった総合時刻表を作成・配布したり、市の広報誌やホームページで、担当者による地元ケーブルテレビへの出演など、市内の交通施策に関する広報活動を繰り返し行った。 一部地域を対象にアンケート調査も実施した。	A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 竹田津線 [申請番号4]	中の迫～伊美小 (岐部経由)	地域協働推進事業(計画期間:平成25～27年度)の一環である利用助成券制度が好評であったため、取り組みを引き続き実施し、平成31年4月からは利用可能な事業者を拡大した。 また、市内路線図と時刻表が一体となった総合時刻表を作成・配布したり、市の広報誌やホームページで、担当者による地元ケーブルテレビへの出演など、市内の交通施策に関する広報活動を繰り返し行った。 一部地域を対象にアンケート調査も実施した。	A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。 (特記事項)R4年度からの国見町内小学校の統合により、スクールバスの兼ね合いから一つ早い便に統合予定。		
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 竹田津線 [申請番号5]	国東～伊美 (小原経由)	地域協働推進事業(計画期間:平成25～27年度)の一環である利用助成券制度が好評であったため、取り組みを引き続き実施し、平成31年4月からは利用可能な事業者を拡大した。 また、市内路線図と時刻表が一体となった総合時刻表を作成・配布したり、市の広報誌やホームページで、担当者による地元ケーブルテレビへの出演など、市内の交通施策に関する広報活動を繰り返し行った。 一部地域を対象にアンケート調査も実施した。	A	C	利用者のニーズを調査するなどし、ダイヤ調整を事業者と協議検討する。地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 竹田津線 [申請番号6]	国東～伊美 (伊美港経由)	地域協働推進事業(計画期間:平成25～27年度)の一環である利用助成券制度が好評であったため、取り組みを引き続き実施し、平成31年4月からは利用可能な事業者を拡大した。 また、市内路線図と時刻表が一体となった総合時刻表を作成・配布したり、市の広報誌やホームページで、担当者による地元ケーブルテレビへの出演など、市内の交通施策に関する広報活動を繰り返し行った。 一部地域を対象にアンケート調査も実施した。	A	A	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 赤根線 [申請番号7]	伊美～赤根 (国見中町経由)	地域協働推進事業(計画期間:平成25～27年度)の一環である利用助成券制度が好評であったため、取り組みを引き続き実施し、平成31年4月からは利用可能な事業者を拡大した。 また、市内路線図と時刻表が一体となった総合時刻表を作成・配布したり、市の広報誌やホームページで、担当者による地元ケーブルテレビへの出演など、市内の交通施策に関する広報活動を繰り返し行った。 一部地域を対象にアンケート調査も実施した。	A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。 (特記事項)R4年度から国見町内小学校が1校に統合される。		
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 西方寺線 [申請番号8]	伊美～西方寺 (国見中町経由)	地域協働推進事業(計画期間:平成25～27年度)の一環である利用助成券制度が好評であったため、取り組みを引き続き実施し、平成31年4月からは利用可能な事業者を拡大した。 また、市内路線図と時刻表が一体となった総合時刻表を作成・配布したり、市の広報誌やホームページで、担当者による地元ケーブルテレビへの出演など、市内の交通施策に関する広報活動を繰り返し行った。 一部地域を対象にアンケート調査も実施した。	A	A	利用者の低迷から、R4年3月末にて路線廃止申し入れあり。R4年4月よりデマンド型乗合タクシーの実証運行を予定している。地元説明会実施済み、事業者、運輸支局と内容について協議中。		
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 豊崎線 [申請番号9]	国東～福川 (国中・小原経由)	地域協働推進事業(計画期間:平成25～27年度)の一環である利用助成券制度が好評であったため、取り組みを引き続き実施し、平成31年4月からは利用可能な事業者を拡大した。 また、市内路線図と時刻表が一体となった総合時刻表を作成・配布したり、市の広報誌やホームページで、担当者による地元ケーブルテレビへの出演など、市内の交通施策に関する広報活動を繰り返し行った。 一部地域を対象にアンケート調査も実施した。	A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)**

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 豊崎線 [申請番号10]	国東～稲川 (小原経由)	地域協働推進事業(計画期間:平成25～27年度)の一環である利用助成券制度が好評であったため、取り組みを引き続き実施し、平成31年4月からは利用可能な事業者を拡大した。 また、市内路線図と時刻表が一体となった総合時刻表を作成・配布したり、市の広報誌やホームページで、担当者による地元ケーブルテレビへの出演など、市内の交通施策に関する広報活動を繰り返し行った。 一部地域を対象にアンケート調査も実施した。	A	C	地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ コミュニティバス 上国崎線(R3.4～) [申請番号11]	国東～上成仏 (田深上町経由)	地域協働推進事業(計画期間:平成25～27年度)の一環である利用助成券制度が好評であったため、取り組みを引き続き実施し、平成31年4月からは利用可能な事業者を拡大した。 また、市内路線図と時刻表が一体となった総合時刻表を作成・配布したり、市の広報誌やホームページで、担当者による地元ケーブルテレビへの出演など、市内の交通施策に関する広報活動を繰り返し行った。 一部地域を対象にアンケート調査も実施した。	A	A	令和3年4月より運行開始。地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、広報周知をより一層図っていく。		
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 文珠線 [申請番号12]	国東～文珠 (小原経由)	地域協働推進事業(計画期間:平成25～27年度)の一環である利用助成券制度が好評であったため、取り組みを引き続き実施し、平成31年4月からは利用可能な事業者を拡大した。 また、市内路線図と時刻表が一体となった総合時刻表を作成・配布したり、市の広報誌やホームページで、担当者による地元ケーブルテレビへの出演など、市内の交通施策に関する広報活動を繰り返し行った。 一部地域を対象にアンケート調査も実施した。	A	A	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 文珠線 [申請番号13]	国東～文珠 (国中・小原経由)	地域協働推進事業(計画期間:平成25～27年度)の一環である利用助成券制度が好評であったため、取り組みを引き続き実施し、平成31年4月からは利用可能な事業者を拡大した。 また、市内路線図と時刻表が一体となった総合時刻表を作成・配布したり、市の広報誌やホームページで、担当者による地元ケーブルテレビへの出演など、市内の交通施策に関する広報活動を繰り返し行った。 一部地域を対象にアンケート調査も実施した。	A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。学生利用に合わせたダイヤの調整を事業者と協議する。		
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 岩戸寺線 [申請番号14]	国東～岩戸寺上 (国中・小原経由)	地域協働推進事業(計画期間:平成25～27年度)の一環である利用助成券制度が好評であったため、取り組みを引き続き実施し、平成31年4月からは利用可能な事業者を拡大した。 また、市内路線図と時刻表が一体となった総合時刻表を作成・配布したり、市の広報誌やホームページで、担当者による地元ケーブルテレビへの出演など、市内の交通施策に関する広報活動を繰り返し行った。 一部地域を対象にアンケート調査も実施した。	A	A	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 岩戸寺線 [申請番号15]	国東～岩戸寺上 (小原経由)	地域協働推進事業(計画期間:平成25～27年度)の一環である利用助成券制度が好評であったため、取り組みを引き続き実施し、平成31年4月からは利用可能な事業者を拡大した。 また、市内路線図と時刻表が一体となった総合時刻表を作成・配布したり、市の広報誌やホームページで、担当者による地元ケーブルテレビへの出演など、市内の交通施策に関する広報活動を繰り返し行った。 一部地域を対象にアンケート調査も実施した。	A	A	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日出町生活交通確保維持協議会	日出町	豊岡線	<p>(九州運輸局評価結果)</p> <p>評価の指数は、1便当たりの利用者数。毎年3月に町内全自治区長に要望調査を実施し、路線再編、バス停の新設など利用促進に取り組まれていることを評価します。自己評価については、公共交通の利用促進に取り組まれ、豊岡線他8系統が目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進められるとともに、協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。</p> <p>(反映状況)</p> <p>評価の指標を1便当たりの利用者数(平均値)とし、目標達成したものについても、引き続きニーズ調査や利用実態調査を行うとともに、協議会において積極的に情報共有・情報交換を行います。</p>	A	C	<p>新型コロナウイルス感染症の流行以後、利用者が減少している。感染症収束後には元の水準以上の利用に戻せるよう、利用状況の把握・分析や周知活動を行っていく。</p>	<p>・評価の指標は、1便当たりの利用者数。</p> <p>・目標達成したものについても、引き続きニーズ調査や利用実態調査を行うとともに、協議会において積極的に情報共有・情報交換を実施していることを評価します。</p> <p>・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。</p> <p>・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日出町生活交通確保維持協議会	日出町	川崎線	<p>(九州運輸局評価結果) 評価の指数は、1便当たりの利用者数。毎年3月に町内全自治区長に要望調査を実施し、路線再編、バス停の新設など利用促進に取り組まれていることを評価します。自己評価については、公共交通の利用促進に取り組まれ、豊岡線他8系統が目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進められるとともに、協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 評価の指標を1便当たりの利用者数(平均値)とし、目標達成したものについても、引き続きニーズ調査や利用実態調査を行うとともに、協議会において積極的に情報共有・情報交換を行います。</p>	A	B	<p>目標は達成できたものの昨年度からは利用者が減少する結果となった。利用者のニーズ等を分析するとともに、地区への周知活動なども行いながら、さらに利用しやすい公共交通網を目指す。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日出町生活交通確保維持協議会	日出町	南端線	<p>(九州運輸局評価結果)</p> <p>評価の指数は、1便当たりの利用者数。毎年3月に町内全自治区長に要望調査を実施し、路線再編、バス停の新設など利用促進に取り組まれていることを評価します。自己評価については、公共交通の利用促進に取り組まれ、豊岡線他8系統が目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進められるとともに、協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。</p> <p>(反映状況)</p> <p>評価の指標を1便当たりの利用者数(平均値)とし、目標達成したものについても、引き続きニーズ調査や利用実態調査を行うとともに、協議会において積極的に情報共有・情報交換を行います。</p>	A	C	<p>令和元年10月より廃校となった南端小中学校の利用児童・生徒の乗車を無料としたことにより、児童・生徒の利用も多い。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による休校等もあり利用者が減少したが、感染症収束後を見据え、通学利用も想定しつつ、より利用しやすい運行を目指す。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日出町生活交通確保維持協議会	日出町	大神線	<p>(九州運輸局評価結果) 評価の指数は、1便当たりの利用者数。毎年3月に町内全自治区長に要望調査を実施し、路線再編、バス停の新設など利用促進に取り組まれていることを評価します。自己評価については、公共交通の利用促進に取り組まれ、豊岡線他8系統が目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進められるとともに、協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 評価の指標を1便当たりの利用者数(平均値)とし、目標達成したものについても、引き続きニーズ調査や利用実態調査を行うとともに、協議会において積極的に情報共有・情報交換を行います。</p>	A	A	<p>広報誌や町HPでの周知活動の結果、目標は達成できた。引き続き、利用者のニーズ等を分析するとともに、地区への周知活動なども継続しながら、さらに利用しやすい公共交通網を目指す。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日出町生活交通確保維持協議会	国東観光バス	牧の内線	<p>(九州運輸局評価結果) 評価の指数は、1便当たりの利用者数。毎年3月に町内全自治区長に要望調査を実施し、路線再編、バス停の新設など利用促進に取り組まれていることを評価します。自己評価については、公共交通の利用促進に取り組まれ、豊岡線他8系統が目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進められるとともに、協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 評価の指標を1便当たりの利用者数(平均値)とし、目標達成したものについても、引き続きニーズ調査や利用実態調査を行うとともに、協議会において積極的に情報共有・情報交換を行います。</p>	A	A	新型コロナウイルス感染症の流行以後、利用者が伸び悩んでいる。感染症収束後には利用者の増加が図れるよう、利用状況の把握・分析や周知活動を行っていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日出町生活交通確保維持協議会	国東観光バス	平原線	<p>(九州運輸局評価結果) 評価の指数は、1便当たりの利用者数。毎年3月に町内全自治区長に要望調査を実施し、路線再編、バス停の新設など利用促進に取り組まれていることを評価します。自己評価については、公共交通の利用促進に取り組まれ、豊岡線他8系統が目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進められるとともに、協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 評価の指標を1便当たりの利用者数(平均値)とし、目標達成したものについても、引き続きニーズ調査や利用実態調査を行うとともに、協議会において積極的に情報共有・情報交換を行います。</p>	A	A	新型コロナウイルス感染症の流行以後、利用者が減少している。感染症収束後には元の水準以上の利用に戻せるよう、利用状況の把握・分析や周知活動を行っていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日出町生活交通確保維持協議会	国東観光バス	軒の井線	<p>(九州運輸局評価結果)</p> <p>評価の指数は、1便当たりの利用者数。毎年3月に町内全自治区長に要望調査を実施し、路線再編、バス停の新設など利用促進に取り組まれていることを評価します。自己評価については、公共交通の利用促進に取り組まれ、豊岡線他8系統が目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進められるとともに、協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。</p> <p>(反映状況)</p> <p>評価の指標を1便当たりの利用者数(平均値)とし、目標達成したものについても、引き続きニーズ調査や利用実態調査を行うとともに、協議会において積極的に情報共有・情報交換を行います。</p>	A	B	<p>新型コロナウイルス感染症の流行以後、利用者が伸びやなんている。感染症収束後には利用者を増加できるよう、利用状況の把握・分析や周知活動を行っていく。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日出町生活交通確保維持協議会	国東観光バス	深江線	<p>(九州運輸局評価結果) 評価の指数は、1便当たりの利用者数。毎年3月に町内全自治区長に要望調査を実施し、路線再編、バス停の新設など利用促進に取り組まれていることを評価します。自己評価については、公共交通の利用促進に取り組まれ、豊岡線他8系統が目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進められるとともに、協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 評価の指標を1便当たりの利用者数(平均値)とし、目標達成したものについても、引き続きニーズ調査や利用実態調査を行うとともに、協議会において積極的に情報共有・情報交換を行います。</p>	A	B	新型コロナウイルス感染症の流行以後、利用者が減少している。感染症収束後には元の水準以上の利用に戻せるよう、利用状況の把握・分析や周知活動を行っていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日出町生活交通確保維持協議会	国東観光バス	小深江線	<p>(九州運輸局評価結果) 評価の指数は、1便当たりの利用者数。毎年3月に町内全自治区長に要望調査を実施し、路線再編、バス停の新設など利用促進に取り組まれていることを評価します。自己評価については、公共交通の利用促進に取り組まれ、豊岡線他8系統が目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進められるとともに、協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 評価の指標を1便当たりの利用者数(平均値)とし、目標達成したのものについても、引き続きニーズ調査や利用実態調査を行うとともに、協議会において積極的に情報共有・情報交換を行います。</p>	A	C	新型コロナウイルス感染症の流行以後、利用者が減少している。感染症収束後には元の水準以上の利用に戻せるよう、利用状況の把握・分析や周知活動を行っていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日出町生活交通確保維持協議会	国東観光バス	真那井線	<p>(九州運輸局評価結果) 評価の指数は、1便当たりの利用者数。毎年3月に町内全自治区長に要望調査を実施し、路線再編、バス停の新設など利用促進に取り組まれていることを評価します。自己評価については、公共交通の利用促進に取り組まれ、豊岡線他8系統が目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進められるとともに、協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 評価の指標を1便当たりの利用者数(平均値)とし、目標達成したのものについても、引き続きニーズ調査や利用実態調査を行うとともに、協議会において積極的に情報共有・情報交換を行います。</p>	A	B	新型コロナウイルス感染症の流行以後、利用者が減少している。感染症収束後には元の水準以上の利用に戻せるよう、利用状況の把握・分析や周知活動を行っていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大分市地域公共交通協議会	大分はとタクシー株式会社 大分シティタクシー株式会社 (1)弓立ルート(通常便:戸次)	弓立～戸次の運行	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。 毎年、実際に利用している利用者が参加する「地域検討会」を開催し、利用状況の確認及び運行ルート・時刻の見直しを行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 ②目標稼働率の目標が達成できなかったため事業評価は4項目の目標を達成できなかったため事業評価はBとなっているが、他の目標値(①年間利用者数、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数)は目標を達成している。 引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めていくことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 利用者ニーズや利用実態の把握のために、引き続き地域検討会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルート・運行時刻表の見直しを行い、利便性の向上及び利用促進に努めた。</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続する中で、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行いながら、利用者・交通事業者・行政の協働で、以下の事項に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズの把握 ・次年度の運行計画の検討 ・利用促進 ●市内の新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、前年度中断していた「運行説明会」を再開するとし、登録者に向けて運行計画を周知するとともに、事業内容や利用方法等について地区全体に周知することで新規利用者の拡大を図る。 ●引き続き、停留所に標柱・ベンチを設置し、利用環境の整備を進めるとともに、地域内における運行実態の認識を高める。 ●引き続き、自治会等へのチラシ配布、自治会長を通じた地域への事業説明を行うほか、市報等を活用した事業紹介を行うことで新規利用者の拡大に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、年間利用者数・稼働率・地域検討会の開催状況・検討会等への参加者数。 ・利用者ニーズや利用実態の把握のために、地域検討会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルート・運行時刻表の見直しを行い、利便性の向上及び利用促進に努めていることや、沿線住民へバス時刻表を回覧、配付し、住民の利便性向上や周知を行っていることを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
大分市地域公共交通協議会	大分はとタクシー株式会社 大分シティタクシー株式会社 (2)弓立ルート(通常便:戸次)	弓立～戸次の運行	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。 毎年、実際に利用している利用者が参加する「地域検討会」を開催し、利用状況の確認及び運行ルート・時刻の見直しを行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 ②目標稼働率の目標が達成できなかったため事業評価はBとなっているが、他の目標値(①年間利用者数、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数)は目標を達成している。 引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めていくことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 利用者ニーズや利用実態の把握のために、引き続き地域検討会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルート・運行時刻表の見直しを行い、利便性の向上及び利用促進に努めた。</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続する中で、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行いながら、利用者・交通事業者・行政の協働で、以下の事項に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズの把握 ・次年度の運行計画の検討 ・利用促進 ●市内の新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、前年度中断していた「運行説明会」を再開するとし、登録者に向けて運行計画を周知するとともに、事業内容や利用方法等について地区全体に周知することで新規利用者の拡大を図る。 ●引き続き、停留所に標柱・ベンチを設置し、利用環境の整備を進めるとともに、地域内における運行実態の認識を高める。 ●引き続き、自治会等へのチラシ配布、自治会長を通じた地域への事業説明を行うほか、市報等を活用した事業紹介を行うことで新規利用者の拡大に繋げる。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大分市地域公共交通協議会	大分はとタクシー株式会社 大分シティタクシー株式会社 (3)弓立ルート(通常便:判田)	弓立～判田局前の運行	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。 毎年、実際に利用している利用者が参加する「地域検討会」を開催し、利用状況の確認及び運行ルート・時刻の見直しを行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 ②目標稼働率の目標が達成できなかったため事業評価は4項目の目標を達成できなかったため事業評価はBとなっているが、他の目標値(①年間利用者数、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数)は目標を達成している。 引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めていくことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 利用者ニーズや利用実態の把握のために、引き続き地域検討会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルート・運行時刻表の見直しを行い、利便性の向上及び利用促進に努めた。</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続する中で、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行いながら、利用者・交通事業者・行政の協働で、以下の事項に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズの把握 ・次年度の運行計画の検討 ・利用促進 市内の新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、前年度中断していた「運行説明会」を再開するとし、登録者に向けて運行計画を周知するとともに、事業内容や利用方法等について地区全体に周知することで新規利用者の拡大を図る。 引き続き、停留所に標柱・ベンチを設置し、利用環境の整備を進めるとともに、地域内における運行実態の認識を高める。 引き続き、自治会等へのチラシ配布、自治会長を通じた地域への事業説明を行うほか、市報等を活用した事業紹介を行うことで新規利用者の拡大に繋げる。 		
大分市地域公共交通協議会	オーケーはとタクシー株式会社 大分タクシー株式会社 (4)赤仁田ルート	赤仁田～判田局前の運行	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。 毎年、実際に利用している利用者が参加する「地域検討会」を開催し、利用状況の確認及び運行ルート・時刻の見直しを行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 ②目標稼働率の目標が達成できなかったため事業評価は4項目の目標を達成できなかったため事業評価はBとなっているが、他の目標値(①年間利用者数、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数)は目標を達成している。 引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めていくことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 利用者ニーズや利用実態の把握のために、引き続き地域検討会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルート・運行時刻表の見直しを行い、利便性の向上及び利用促進に努めた。</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続する中で、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行いながら、利用者・交通事業者・行政の協働で、以下の事項に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズの把握 ・次年度の運行計画の検討 ・利用促進 市内の新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、前年度中断していた「運行説明会」を再開するとし、登録者に向けて運行計画を周知するとともに、事業内容や利用方法等について地区全体に周知することで新規利用者の拡大を図る。 引き続き、停留所に標柱・ベンチを設置し、利用環境の整備を進めるとともに、地域内における運行実態の認識を高める。 引き続き、自治会等へのチラシ配布、自治会長を通じた地域への事業説明を行うほか、市報等を活用した事業紹介を行うことで新規利用者の拡大に繋げる。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大分市地域公共交通協議会	大分タクシー株式会社 オーケーはとタクシー株式会社 (5) 桜原ルート	桜原～判田局前の運行	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。 毎年、実際に利用している利用者が参加する「地域検討会」を開催し、利用状況の確認及び運行ルート・時刻の見直しを行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 ②目標稼働率の目標が達成できなかったため事業評価は4項目の目標を達成できなかったため事業評価はBとなっているが、他の目標値(①年間利用者数、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数)は目標を達成している。 引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めていくことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 利用者ニーズや利用実態の把握のために、引き続き地域検討会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルート・運行時刻表の見直しを行い、利便性の向上及び利用促進に努めた。</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続する中で、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行いながら、利用者・交通事業者・行政の協働で、以下の事項に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズの把握 ・次年度の運行計画の検討 ・利用促進 ●市内の新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、前年度中断していた「運行説明会」を再開するとし、登録者に向けて運行計画を周知するとともに、事業内容や利用方法等について地区全体に周知することで新規利用者の拡大を図る。 ●引き続き、停留所に標柱・ベンチを設置し、利用環境の整備を進めるとともに、地域内における運行実態の認識を高める。 ●引き続き、自治会等へのチラシ配布、自治会長を通じた地域への事業説明を行うほか、市報等を活用した事業紹介を行うことで新規利用者の拡大に繋げる。 		
大分市地域公共交通協議会	大分タクシー株式会社 オーケーはとタクシー株式会社 (6) 中野ルート	中野～戸次の運行	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。 毎年、実際に利用している利用者が参加する「地域検討会」を開催し、利用状況の確認及び運行ルート・時刻の見直しを行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 ②目標稼働率の目標が達成できなかったため事業評価は4項目の目標を達成できなかったため事業評価はBとなっているが、他の目標値(①年間利用者数、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数)は目標を達成している。 引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めていくことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 利用者ニーズや利用実態の把握のために、引き続き地域検討会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルート・運行時刻表の見直しを行い、利便性の向上及び利用促進に努めた。</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続する中で、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行いながら、利用者・交通事業者・行政の協働で、以下の事項に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズの把握 ・次年度の運行計画の検討 ・利用促進 ●市内の新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、前年度中断していた「運行説明会」を再開するとし、登録者に向けて運行計画を周知するとともに、事業内容や利用方法等について地区全体に周知することで新規利用者の拡大を図る。 ●引き続き、停留所に標柱・ベンチを設置し、利用環境の整備を進めるとともに、地域内における運行実態の認識を高める。 ●引き続き、自治会等へのチラシ配布、自治会長を通じた地域への事業説明を行うほか、市報等を活用した事業紹介を行うことで新規利用者の拡大に繋げる。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大分市地域公共交通協議会	大分シティタクシー株式会社 (7)延命寺ルート	延命寺～坂ノ市の運行	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。 毎年、実際に利用している利用者が参加する「地域検討会」を開催し、利用状況の確認及び運行ルート・時刻の見直しを行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 ②目標稼働率の目標が達成できなかったため事業評価は4項目の目標を達成できなかったため事業評価はBとなっているが、他の目標値(①年間利用者数、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数)は目標を達成している。 引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めていくことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 利用者ニーズや利用実態の把握のために、引き続き地域検討会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルート・運行時刻表の見直しを行い、利便性の向上及び利用促進に努めた。</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続する中で、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行いながら、利用者・交通事業者・行政の協働で、以下の事項に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズの把握 ・次年度の運行計画の検討 ・利用促進 ●市内の新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、前年度中断していた「運行説明会」を再開するとし、登録者に向けて運行計画を周知するとともに、事業内容や利用方法等について地区全体に周知することで新規利用者の拡大を図る。 ●引き続き、停留所に標柱・ベンチを設置し、利用環境の整備を進めるとともに、地域内における運行実態の認識を高める。 ●引き続き、自治会等へのチラシ配布、自治会長を通じた地域への事業説明を行うほか、市報等を活用した事業紹介を行うことで新規利用者の拡大に繋げる。 		
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー株式会社 (8)市尾ルート	木田南部～坂ノ市の運行	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。 毎年、実際に利用している利用者が参加する「地域検討会」を開催し、利用状況の確認及び運行ルート・時刻の見直しを行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 ②目標稼働率の目標が達成できなかったため事業評価は4項目の目標を達成できなかったため事業評価はBとなっているが、他の目標値(①年間利用者数、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数)は目標を達成している。 引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めていくことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 利用者ニーズや利用実態の把握のために、引き続き地域検討会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルート・運行時刻表の見直しを行い、利便性の向上及び利用促進に努めた。</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続する中で、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行いながら、利用者・交通事業者・行政の協働で、以下の事項に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズの把握 ・次年度の運行計画の検討 ・利用促進 ●市内の新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、前年度中断していた「運行説明会」を再開するとし、登録者に向けて運行計画を周知するとともに、事業内容や利用方法等について地区全体に周知することで新規利用者の拡大を図る。 ●引き続き、停留所に標柱・ベンチを設置し、利用環境の整備を進めるとともに、地域内における運行実態の認識を高める。 ●引き続き、自治会等へのチラシ配布、自治会長を通じた地域への事業説明を行うほか、市報等を活用した事業紹介を行うことで新規利用者の拡大に繋げる。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー株式会社 (9)屋山ルート	屋山～坂ノ市の運行	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。 毎年、実際に利用している利用者が参加する「地域検討会」を開催し、利用状況の確認及び運行ルート・時刻の見直しを行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 ②目標稼働率の目標が達成できなかったため事業評価は4項目の目標を達成できなかったため事業評価はBとなっているが、他の目標値(①年間利用者数、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数)は目標を達成している。 引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めていくことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 利用者ニーズや利用実態の把握のために、引き続き地域検討会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルート・運行時刻表の見直しを行い、利便性の向上及び利用促進に努めた。</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続する中で、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行いながら、利用者・交通事業者・行政の協働で、以下の事項に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズの把握 ・次年度の運行計画の検討 ・利用促進 ●市内の新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、前年度中断していた「運行説明会」を再開するとし、登録者に向けて運行計画を周知するとともに、事業内容や利用方法等について地区全体に周知することで新規利用者の拡大を図る。 ●引き続き、停留所に標柱・ベンチを設置し、利用環境の整備を進めるとともに、地域内における運行実態の認識を高める。 ●引き続き、自治会等へのチラシ配布、自治会長を通じた地域への事業説明を行うほか、市報等を活用した事業紹介を行うことで新規利用者の拡大に繋げる。 		
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー株式会社 (10)折立ルート	折立～坂の市小学校前の運行	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。 毎年、実際に利用している利用者が参加する「地域検討会」を開催し、利用状況の確認及び運行ルート・時刻の見直しを行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 ②目標稼働率の目標が達成できなかったため事業評価は4項目の目標を達成できなかったため事業評価はBとなっているが、他の目標値(①年間利用者数、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数)は目標を達成している。 引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めていくことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 利用者ニーズや利用実態の把握のために、引き続き地域検討会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルート・運行時刻表の見直しを行い、利便性の向上及び利用促進に努めた。</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続する中で、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行いながら、利用者・交通事業者・行政の協働で、以下の事項に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズの把握 ・次年度の運行計画の検討 ・利用促進 ●市内の新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、前年度中断していた「運行説明会」を再開するとし、登録者に向けて運行計画を周知するとともに、事業内容や利用方法等について地区全体に周知することで新規利用者の拡大を図る。 ●引き続き、停留所に標柱・ベンチを設置し、利用環境の整備を進めるとともに、地域内における運行実態の認識を高める。 ●引き続き、自治会等へのチラシ配布、自治会長を通じた地域への事業説明を行うほか、市報等を活用した事業紹介を行うことで新規利用者の拡大に繋げる。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー株式会社 (11)道尻ルート	道尻～坂の市小学校前の運行	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。 毎年、実際に利用している利用者が参加する「地域検討会」を開催し、利用状況の確認及び運行ルート・時刻の見直しを行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 ②目標稼働率の目標が達成できなかったため事業評価は4項目の目標を達成できなかったため事業評価はBとなっているが、他の目標値(①年間利用者数、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数)は目標を達成している。 引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めていくことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 利用者ニーズや利用実態の把握のために、引き続き地域検討会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルート・運行時刻表の見直しを行い、利便性の向上及び利用促進に努めた。</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続する中で、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行いながら、利用者・交通事業者・行政の協働で、以下の事項に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズの把握 ・次年度の運行計画の検討 ・利用促進 市内の新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、前年度中断していた「運行説明会」を再開するとし、登録者に向けて運行計画を周知するとともに、事業内容や利用方法等について地区全体に周知することで新規利用者の拡大を図る。 引き続き、停留所に標柱・ベンチを設置し、利用環境の整備を進めるとともに、地域内における運行実態の認識を高める。 引き続き、自治会等へのチラシ配布、自治会長を通じた地域への事業説明を行うほか、市報等を活用した事業紹介を行うことで新規利用者の拡大に繋げる。 		
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー株式会社 (12)一木ルート	一木～中向・浜入口の運行	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。 毎年、実際に利用している利用者が参加する「地域検討会」を開催し、利用状況の確認及び運行ルート・時刻の見直しを行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 ②目標稼働率の目標が達成できなかったため事業評価は4項目の目標を達成できなかったため事業評価はBとなっているが、他の目標値(①年間利用者数、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数)は目標を達成している。 引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めていくことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 利用者ニーズや利用実態の把握のために、引き続き地域検討会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルート・運行時刻表の見直しを行い、利便性の向上及び利用促進に努めた。</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続する中で、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行いながら、利用者・交通事業者・行政の協働で、以下の事項に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズの把握 ・次年度の運行計画の検討 ・利用促進 市内の新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、前年度中断していた「運行説明会」を再開するとし、登録者に向けて運行計画を周知するとともに、事業内容や利用方法等について地区全体に周知することで新規利用者の拡大を図る。 引き続き、停留所に標柱・ベンチを設置し、利用環境の整備を進めるとともに、地域内における運行実態の認識を高める。 引き続き、自治会等へのチラシ配布、自治会長を通じた地域への事業説明を行うほか、市報等を活用した事業紹介を行うことで新規利用者の拡大に繋げる。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大分市地域公共交通協議会	ワーカーズコーポクシー有限会社 (13)木佐上ルート (馬場:往路)	木佐上～馬場の運行	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。 毎年、実際に利用している利用者が参加する「地域検討会」を開催し、利用状況の確認及び運行ルート・時刻の見直しを行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 ②目標稼働率の目標が達成できなかったため事業評価は4項目の目標を達成できなかったため事業評価はBとなっているが、他の目標値(①年間利用者数、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数)は目標を達成している。 引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めていくことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 利用者ニーズや利用実態の把握のために、引き続き地域検討会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルート・運行時刻表の見直しを行い、利便性の向上及び利用促進に努めた。</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続する中で、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行いながら、利用者・交通事業者・行政の協働で、以下の事項に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズの把握 ・次年度の運行計画の検討 ・利用促進 ●市内の新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、前年度中断していた「運行説明会」を再開するとし、登録者に向けて運行計画を周知するとともに、事業内容や利用方法等について地区全体に周知することで新規利用者の拡大を図る。 ●引き続き、停留所に標柱・ベンチを設置し、利用環境の整備を進めるとともに、地域内における運行実態の認識を高める。 ●引き続き、自治会等へのチラシ配布、自治会長を通じた地域への事業説明を行うほか、市報等を活用した事業紹介を行うことで新規利用者の拡大に繋げる。 		
大分市地域公共交通協議会	ワーカーズコーポクシー有限会社 (14)木佐上ルート (馬場:復路)	木佐上～馬場の運行	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。 毎年、実際に利用している利用者が参加する「地域検討会」を開催し、利用状況の確認及び運行ルート・時刻の見直しを行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 ②目標稼働率の目標が達成できなかったため事業評価は4項目の目標を達成できなかったため事業評価はBとなっているが、他の目標値(①年間利用者数、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数)は目標を達成している。 引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めていくことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 利用者ニーズや利用実態の把握のために、引き続き地域検討会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルート・運行時刻表の見直しを行い、利便性の向上及び利用促進に努めた。</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続する中で、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行いながら、利用者・交通事業者・行政の協働で、以下の事項に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズの把握 ・次年度の運行計画の検討 ・利用促進 ●市内の新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、前年度中断していた「運行説明会」を再開するとし、登録者に向けて運行計画を周知するとともに、事業内容や利用方法等について地区全体に周知することで新規利用者の拡大を図る。 ●引き続き、停留所に標柱・ベンチを設置し、利用環境の整備を進めるとともに、地域内における運行実態の認識を高める。 ●引き続き、自治会等へのチラシ配布、自治会長を通じた地域への事業説明を行うほか、市報等を活用した事業紹介を行うことで新規利用者の拡大に繋げる。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大分市地域公共交通協議会	ワーカーズコープタクシー有限会社 (15)木佐上ルート (神崎中学校前:往路)	木佐上～神崎中学校前の運行	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。 毎年、実際に利用している利用者が参加する「地域検討会」を開催し、利用状況の確認及び運行ルート・時刻の見直しを行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 ②目標稼働率の目標が達成できなかったため事業評価は4項目の目標を達成できなかったため事業評価はBとなっているが、他の目標値(①年間利用者数、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数)は目標を達成している。 引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めていくことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 利用者ニーズや利用実態の把握のために、引き続き地域検討会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルート・運行時刻表の見直しを行い、利便性の向上及び利用促進に努めた。</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続する中で、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行いながら、利用者・交通事業者・行政の協働で、以下の事項に取り組む。 ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズの把握 ・次年度の運行計画の検討 ・利用促進 ●市内の新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、前年度中断していた「運行説明会」を再開するとし、登録者に向けて運行計画を周知するとともに、事業内容や利用方法等について地区全体に周知することで新規利用者の拡大を図る。 ●引き続き、停留所に標柱・ベンチを設置し、利用環境の整備を進めるとともに、地域内における運行実態の認識を高める。 ●引き続き、自治会等へのチラシ配布、自治会長を通じた地域への事業説明を行うほか、市報等を活用した事業紹介を行うことで新規利用者の拡大に繋げる。 		
大分市地域公共交通協議会	ワーカーズコープタクシー有限会社 (16)木佐上ルート (神崎中学校前:復路)	木佐上～神崎中学校前の運行	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。 毎年、実際に利用している利用者が参加する「地域検討会」を開催し、利用状況の確認及び運行ルート・時刻の見直しを行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 ②目標稼働率の目標が達成できなかったため事業評価は4項目の目標を達成できなかったため事業評価はBとなっているが、他の目標値(①年間利用者数、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数)は目標を達成している。 引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めていくことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 利用者ニーズや利用実態の把握のために、引き続き地域検討会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルート・運行時刻表の見直しを行い、利便性の向上及び利用促進に努めた。</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続する中で、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行いながら、利用者・交通事業者・行政の協働で、以下の事項に取り組む。 ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズの把握 ・次年度の運行計画の検討 ・利用促進 ●市内の新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、前年度中断していた「運行説明会」を再開するとし、登録者に向けて運行計画を周知するとともに、事業内容や利用方法等について地区全体に周知することで新規利用者の拡大を図る。 ●引き続き、停留所に標柱・ベンチを設置し、利用環境の整備を進めるとともに、地域内における運行実態の認識を高める。 ●引き続き、自治会等へのチラシ配布、自治会長を通じた地域への事業説明を行うほか、市報等を活用した事業紹介を行うことで新規利用者の拡大に繋げる。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大分市地域公共交通協議会	ワーカーズコーポ クシー株式会社 (17)大志生木ルート	大志生木1~大志生木 の運行	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。 毎年、実際に利用している利用者が参加する「地域検討会」を開催し、利用状況の確認及び運行ルート・時刻の見直しを行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 ②目標稼働率の目標が達成できなかったため事業評価は4項目の目標を達成できなかったため事業評価はBとなっているが、他の目標値(①年間利用者数、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数)は目標を達成している。 引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めていくことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 利用者ニーズや利用実態の把握のために、引き続き地域検討会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルート・運行時刻表の見直しを行い、利便性の向上及び利用促進に努めた。</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続する中で、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行いながら、利用者・交通事業者・行政の協働で、以下の事項に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズの把握 ・次年度の運行計画の検討 ・利用促進 ●市内の新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、前年度中断していた「運行説明会」を再開するとし、登録者に向けて運行計画を周知するとともに、事業内容や利用方法等について地区全体に周知することで新規利用者の拡大を図る。 ●引き続き、停留所に標柱・ベンチを設置し、利用環境の整備を進めるとともに、地域内における運行実態の認識を高める。 ●引き続き、自治会等へのチラシ配布、自治会長を通じた地域への事業説明を行うほか、市報等を活用した事業紹介を行うことで新規利用者の拡大に繋げる。 		
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタ クシー株式会社 (18)大黒ルート	大黒~佐賀間の運行	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。 毎年、実際に利用している利用者が参加する「地域検討会」を開催し、利用状況の確認及び運行ルート・時刻の見直しを行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 ②目標稼働率の目標が達成できなかったため事業評価は4項目の目標を達成できなかったため事業評価はBとなっているが、他の目標値(①年間利用者数、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数)は目標を達成している。 引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めていくことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 利用者ニーズや利用実態の把握のために、引き続き地域検討会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルート・運行時刻表の見直しを行い、利便性の向上及び利用促進に努めた。</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続する中で、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行いながら、利用者・交通事業者・行政の協働で、以下の事項に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズの把握 ・次年度の運行計画の検討 ・利用促進 ●市内の新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、前年度中断していた「運行説明会」を再開するとし、登録者に向けて運行計画を周知するとともに、事業内容や利用方法等について地区全体に周知することで新規利用者の拡大を図る。 ●引き続き、停留所に標柱・ベンチを設置し、利用環境の整備を進めるとともに、地域内における運行実態の認識を高める。 ●引き続き、自治会等へのチラシ配布、自治会長を通じた地域への事業説明を行うほか、市報等を活用した事業紹介を行うことで新規利用者の拡大に繋げる。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大分市地域公共交通協議会	野津原タクシー有限公司 (19)上石合ルート	屋形木～野津原支所の 運行	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。 毎年、実際に利用している利用者が参加する「地域検討会」を開催し、利用状況の確認及び運行ルート・時刻の見直しを行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 ②目標稼働率の目標が達成できなかったため事業評価は4項目の目標を達成できなかったため事業評価はBとなっているが、他の目標値(①年間利用者数、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数)は目標を達成している。 引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めていくことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 利用者ニーズや利用実態の把握のために、引き続き地域検討会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルート・運行時刻表の見直しを行い、利便性の向上及び利用促進に努めた。</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続する中で、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行いながら、利用者・交通事業者・行政の協働で、以下の事項に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズの把握 ・次年度の運行計画の検討 ・利用促進 ●市内の新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、前年度中断していた「運行説明会」を再開するとし、登録者に向けて運行計画を周知するとともに、事業内容や利用方法等について地区全体に周知することで新規利用者の拡大を図る。 ●引き続き、停留所に欄干・ベンチを設置し、利用環境の整備を進めるとともに、地域内における運行実態の認識を高める。 ●引き続き、自治会等へのチラシ配布、自治会長を通じた地域への事業説明を行うほか、市報等を活用した事業紹介を行うことで新規利用者の拡大に繋げる。 		
大分市地域公共交通協議会	臼津交通株式会社 (20)臼関線	佐賀関～臼杵 (補助対象: 大分市内のみ)	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、年間利用者数。バス事業者とのワーキング会議において時刻表を作成し、沿線住民への周知、観光施設等への設置を行い利用促進に取り組まれていることを評価します。公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めて行くことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 引き続き沿線住民へバス時刻表を回覧、配付し、住民の利便性向上や周知を行った。</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ●沿線住民への意識づけ バスの乗り方教室や意見交換会を開催し、バス利用を増加させる取り組みや、利用しやすい時刻表の調整等を検討する。また、現在のバスの利用状況を説明し、路線維持のためのバス利用の意識づけを行う。 ●沿線施設との連携、利便性向上 バス利用を促進するため沿線施設(商業施設や病院)にバス時刻表を常備する。 		
大分市地域公共交通協議会	臼津交通株式会社 (21)臼関線	佐賀関～下浦	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、年間利用者数。バス事業者とのワーキング会議において時刻表を作成し、沿線住民への周知、観光施設等への設置を行い利用促進に取り組まれていることを評価します。公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めて行くことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 引き続き沿線住民へバス時刻表を回覧、配付し、住民の利便性向上や周知を行った。</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ●沿線住民への意識づけ バスの乗り方教室や意見交換会を開催し、バス利用を増加させる取り組みや、利用しやすい時刻表の調整等を検討する。また、現在のバスの利用状況を説明し、路線維持のためのバス利用の意識づけを行う。 ●沿線施設との連携、利便性向上 バス利用を促進するため沿線施設(商業施設や病院)にバス時刻表を常備する。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大分市地域公共交通協議会	大分交通株式会社 (22)机張原線	5号地大交車庫前～田 室町～机張原	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、年間利用者数。バス事業者とのワーキング会議において時刻表を作成し、沿線住民への周知、観光施設等への設置を行い利用促進に取り組まれていることを評価します。公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めて行くことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 引き続き沿線住民へバス時刻表を回覧、配付し、住民の利便性向上や周知を行った。</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ●沿線住民への意識づけ バスの乗り方教室や意見交換会を開催し、バス利用を増加させる取り組みや、利用しやすい時刻表の調整等を検討する。また、現在のバスの利用状況を説明し、路線維持のためのバス利用の意識づけを行う。 ●沿線施設との連携、利便性向上 バス利用を促進するため沿線施設(商業施設や病院)にバス時刻表を常備する。 		
大分市地域公共交通協議会	大分交通株式会社 (23)柞原線	5号地大交車庫前～田 室町～柞原	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、年間利用者数。バス事業者とのワーキング会議において時刻表を作成し、沿線住民への周知、観光施設等への設置を行い利用促進に取り組まれていることを評価します。公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めて行くことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 引き続き沿線住民へバス時刻表を回覧、配付し、住民の利便性向上や周知を行った。</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ●沿線住民への意識づけ バスの乗り方教室や意見交換会を開催し、バス利用を増加させる取り組みや、利用しやすい時刻表の調整等を検討する。また、現在のバスの利用状況を説明し、路線維持のためのバス利用の意識づけを行う。 ●沿線施設との連携、利便性向上 バス利用を促進するため沿線施設(商業施設や病院)にバス時刻表を常備する。 		
大分市地域公共交通協議会	大分交通株式会社 (24)机張原線	5号地大交車庫前～西 春日町～机張原	<p>(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、年間利用者数。バス事業者とのワーキング会議において時刻表を作成し、沿線住民への周知、観光施設等への設置を行い利用促進に取り組まれていることを評価します。公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めて行くことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>(反映状況) 引き続き沿線住民へバス時刻表を回覧、配付し、住民の利便性向上や周知を行った。</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ●沿線住民への意識づけ バスの乗り方教室や意見交換会を開催し、バス利用を増加させる取り組みや、利用しやすい時刻表の調整等を検討する。また、現在のバスの利用状況を説明し、路線維持のためのバス利用の意識づけを行う。 ●沿線施設との連携、利便性向上 バス利用を促進するため沿線施設(商業施設や病院)にバス時刻表を常備する。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大分市地域公共交通協議会	大分交通株式会社 (25)柞原線	5号地大交車庫前～西 春日町～柞原	(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、年間利用者数。バス事業者とのワーキング会議において時刻表を作成し、沿線住民への周知、観光施設等への設置を行い利用促進に取り組まれていることを評価します。公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めて行くことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。 (反映状況) 引き続き沿線住民へバス時刻表を回覧、配付し、住民の利便性向上や周知を行った。	A	A	●沿線住民への意識づけ バスの乗り方教室や意見交換会を開催し、バス利用を増加させる取り組みや、利用しやすい時刻表の調整等を検討する。また、現在のバスの利用状況を説明し、路線維持のためのバス利用の意識づけを行う。 ●沿線施設との連携、利便性向上 バス利用を促進するため沿線施設(商業施設や病院)にバス時刻表を常備する。		
大分市地域公共交通協議会	大分交通株式会社 (28)柞原線	大分駅前～新川～中大 山	(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、年間利用者数。バス事業者とのワーキング会議において時刻表を作成し、沿線住民への周知、観光施設等への設置を行い利用促進に取り組まれていることを評価します。公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めて行くことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。 (反映状況) 引き続き沿線住民へバス時刻表を回覧、配付し、住民の利便性向上や周知を行った。	A	A	●沿線住民への意識づけ バスの乗り方教室や意見交換会を開催し、バス利用を増加させる取り組みや、利用しやすい時刻表の調整等を検討する。また、現在のバスの利用状況を説明し、路線維持のためのバス利用の意識づけを行う。 ●沿線施設との連携、利便性向上 バス利用を促進するため沿線施設(商業施設や病院)にバス時刻表を常備する。		
大分市地域公共交通協議会	大分交通株式会社 (29)机張原線	大分駅前～西春日町～ 下坂本	(令和元年度の事業評価結果) 評価の指標は、年間利用者数。バス事業者とのワーキング会議において時刻表を作成し、沿線住民への周知、観光施設等への設置を行い利用促進に取り組まれていることを評価します。公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めて行くことにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。 (反映状況) 引き続き沿線住民へバス時刻表を回覧、配付し、住民の利便性	A	A	●沿線住民への意識づけ バスの乗り方教室や意見交換会を開催し、バス利用を増加させる取り組みや、利用しやすい時刻表の調整等を検討する。また、現在のバスの利用状況を説明し、路線維持のためのバス利用の意識づけを行う。 ●沿線施設との連携、利便性向上 バス利用を促進するため沿線施設(商業施設や病院)にバス時刻表を常備する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	申請番号1 路線バス事業 【永添線】 中津駅前～万田～大貞 車庫前	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	B	乗車人数が低下している路線については、引き続きバスの乗り方教室やマイ時刻表の作成などの利用促進を行っていくが、伸び悩む場合は、路線の見直し等を事業者とともに検討する。	・評価の指標は、系統毎の輸送人員。 ・市報やホームページ等を利用したPRやバスの乗り方教室を実施し、また、乗降調査を行い利用者の意見募集を行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。	
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	申請番号2 路線バス事業 【耶馬溪線】 中津駅前～沖代町～野路	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	B	乗車人数が回復傾向にある路線については、引き続きバスの乗り方教室やマイ時刻表の作成などの利用促進を行い、事業者とともに維持に努めていく。	・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。	
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	申請番号3 路線バス事業 【耶馬溪線】 中津駅前～沖代町～大貞車庫前	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	C	乗車人数が著しく低下しているため、引き続きバスの乗り方教室やマイ時刻表の作成などの利用促進を行っていくが、伸び悩む場合は、路線の見直し等を事業者とともに検討する。	・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	申請番号4 路線バス事業 【耶馬溪線】 中津駅前～中津北高～大貞車庫前	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	B	乗車人数が回復傾向にある路線については、引き続きバスの乗り方教室やマイ時刻表の作成などの利用促進を行い、事業者とともに維持に努めていく。		
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	申請番号5 路線バス事業 【深株線】 中津駅～アメリティタウンかみまきさ	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。 乗込調査を行い、実際の利用者の声を聴く取組を行った。	A	B	乗車人数が低下している路線については、引き続きバスの乗り方教室やマイ時刻表の作成などの利用促進を行っていくが、伸び悩む場合は、路線の見直し等を事業者とともに検討する。		
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	申請番号6 路線バス事業 【海岸中高線】 さ蔭前～鍋島～中津駅前	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。 乗込調査を行い、実際の利用者の声を聴く取組を行った。	A	B	乗車人数が低下している路線については、引き続きバスの乗り方教室やマイ時刻表の作成などの利用促進を行っていくが、伸び悩む場合は、路線の見直し等を事業者とともに検討する。		
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	申請番号7 路線バス事業 【田口線】 中津駅前～イオン～八面山荘前	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。 乗込調査を行い、実際の利用者の声を聴く取組を行った。	A	A	1片道あたり輸送人員が9.3人と1運行当たりの乗車人員は安定しているが、目標値の達成できている。引き続きバスの乗り方教室やマイ時刻表の作成などの利用促進やニーズに対応していくとともに、利用者の傾向をつかみ、維持確保に努めていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	申請番号8 コミュニティバス 【城井線】 旬菜館～本中氏宅前～ 旬菜館	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	1運行あたりの輸送人員は2.1で目標人数も達成できているので今後も、利用促進のPRや沿線住民の利便性向上に即した路線の見直し等を定期的に行っていく。		
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	申請番号9 コミュニティバス 【城井線】 平田診療所～本中氏宅 前～平田診療所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	B	1運行あたりの輸送人員は2.8であったが、目標人数を達成することができなかった。今後は、沿線住民に対し、定着化を図るための利用促進のPRを行っていく。		
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	申請番号10 コミュニティバス 【川原口線】 旬菜館～津民診療所～ 旬菜館	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	1運行あたりの輸送人員は4.4で目標人数も達成できているので今後も、利用促進のPRや沿線住民の利便性向上に即した路線の見直し等を定期的に行っていく。		
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	申請番号11 コミュニティバス 【上ノ川内榎木線】 旬菜館～津民診療所～ 旬菜館	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	B	1運行あたりの輸送人員は2.6であったが、目標人数を達成することはできなかった。今後は、沿線住民で利用されていない方へPRやニーズの調査を行い、利用促進を図っていく。		
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	申請番号12 コミュニティバス 【大島台金吉線】 耶馬溪支所～下郷診療 所～耶馬溪支所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	B	1運行あたりの輸送人員は2.0であったが、目標人数を達成することはできなかった。今後は、沿線住民で利用されていない方へPRやニーズの調査を行い、利用促進を図っていく。		
中津市公共交通会議	大交北部バス株式会社	申請番号13 コミュニティバス 【大島伊福線】 耶馬溪支所～下郷診療 所～耶馬溪支所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	B	1運行あたりの輸送人員は2.2であったが、目標人数を達成することはできなかった。今後は、沿線住民で利用されていない方へPRやニーズの調査を行い、利用促進を図っていく。また、運行日での診療再開の目処が立たない場合は、路線及び運行日の見直し等を事業者とも検討したい。		
中津市公共交通会議	耶馬溪交通有限会社	申請番号14 コミュニティバス 【榎山路鎌城線】 耶馬溪支所～下郷診療 所～耶馬溪支所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ主知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	B	1運行あたりの輸送人員は3.0であったが、目標人数を達成することはできなかった。今後は、沿線住民で利用されていない方へPRやニーズの調査を行い、利用促進を図っていく。また、運行日での診療再開の目処が立たない場合は、路線及び運行日の見直し等を事業者とも検討したい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宇佐市地域公共交通会議	大交北部バス㈱	路線バス (1)乙女	運転手不足の影響から地域公共交通ネットワークの再構築を図るため、路線の再編を行った。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。 新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、利用者数。 ・利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上を図るように努めたことを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
宇佐市地域公共交通会議	大交北部バス㈱	路線バス (2)豊州	運転手不足の影響から地域公共交通ネットワークの再構築を図るため、路線の再編を行った。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。 新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
宇佐市地域公共交通会議	大交北部バス㈱	路線バス (3)津房	運転手不足の影響から地域公共交通ネットワークの再構築を図るため、路線の再編を行った。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。 新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
宇佐市地域公共交通会議	大交北部バス㈱	路線バス (4)明治	運転手不足の影響から地域公共交通ネットワークの再構築を図るため、路線の再編を行った。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。 新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宇佐市地域公共交通会議	大交北部バス㈱	路線バス (5)宇佐参宮	運転手不足の影響から地域公共交通ネットワークの再構築を図るため、路線の再編を行った。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。 新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
宇佐市地域公共交通会議	大交北部バス㈱	コミュニティバス (6)中山・新貝	コミュニティバスについては、利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。 新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
宇佐市地域公共交通会議	大交北部バス㈱	コミュニティバス (7)大内・広谷	コミュニティバスについては、利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。	A	A	新型コロナウイルスの影響を受けながらも安定した利用者があり、またHPその他による利用促進の効果が実を結び、目標を上回ることができたと思われる。 新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の更なる増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
宇佐市地域公共交通会議	大交北部バス㈱	コミュニティバス (8)長洲・金屋	コミュニティバスについては、利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。 新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宇佐市地域公共交通会議	清瀬タクシー(有) 中津太陽交通㈱	コミュニティバス (9)上麻生	コミュニティバスについては、利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。 新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
宇佐市地域公共交通会議	清瀬タクシー(有) 中津太陽交通㈱	コミュニティバス (10)麻生・横山	コミュニティバスについては、利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。 新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
宇佐市地域公共交通会議	清瀬タクシー(有) 中津太陽交通㈱	コミュニティバス (11)高家・天津	コミュニティバスについては、利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。 新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
宇佐市地域公共交通会議	清瀬タクシー(有) 中津太陽交通㈱	コミュニティバス (12)西馬城	コミュニティバスについては、利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。 新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宇佐市地域公共交通会議	清瀬タクシー(有) 中津太陽交通(株)	コミュニティバス (13)柳ヶ浦	コミュニティバスについては、利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。 新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
宇佐市地域公共交通会議	院内タクシー(有)	コミュニティバス (14)南毛	コミュニティバスについては、利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。 新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
宇佐市地域公共交通会議	院内タクシー(有)	コミュニティバス (15)古川・平ヶ倉	コミュニティバスについては、利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。 新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
宇佐市地域公共交通会議	院内タクシー(有)	コミュニティバス (16)大見尾・熊	コミュニティバスについては、利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。	A	A	経路の見直しを行ったことで、利便性が増し利用者の増加につながったと思われる。またHPその他による利用促進の効果が実を結び、目標を上回ることができたと思われる。 新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の更なる増加に向けた取り組みを行っていききたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宇佐市地域公共交通会議	院内タクシー(有)	コミュニティバス (17)福貴野・上内河野	コミュニティバスについては、利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。 新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
宇佐市地域公共交通会議	院内タクシー(有)	コミュニティバス (18)萱籠・釜ノ口	コミュニティバスについては、利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。 新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
宇佐市地域公共交通会議	院内タクシー(有)	コミュニティバス (19)松本・上ノ原	コミュニティバスについては、利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。 新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
宇佐市地域公共交通会議	院内タクシー(有)	コミュニティバス (20)高並	コミュニティバスについては、利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。	A	A	新型コロナウイルスの影響を受けながらも安定した利用者があり、またHPその他による利用促進の効果が実を結び、目標を上回ることができたと思われる。 新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の更なる増加に向けた取り組みを行っていききたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宇佐市地域公共交通会議	院内タクシー(有)	コミュニティバス (21)田所	コミュニティバスについては、利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。	A	A	新型コロナウイルスの影響を受けながらも安定した利用者があり、またHPその他による利用促進の効果が実を結び、目標を上回ることができたと思われる。 新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の更なる増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
宇佐市地域公共交通会議	大交北部バス(株)	コミュニティバス (22)和気・佐野	—	A	A	高校生の安定した利用があること、また高校側も積極的に周知してくれていることから目標を大きく上回ることができた。 新型コロナウイルスの収束について十分に見極め、高校とも連携しながら、利用者の更なる増加に向けた取り組みを行っていききたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
豊後高田市地域公共交通 会議	宇佐参宮タクシー (有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	上野線 上野～健康交流セン ター花いろ～商工会議 所	<ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施した。 ・路線バス、市民乗合タクシー時刻表を作成し、市内全戸に配布。 ・個人向けの乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表を作成し、利用率向上に努めた。 ・利用促進を図るために、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用した情報発信を行った。 	A	B	医療機関の送迎サービスが普及した地域であり、利用者数は減少傾向である。 自治会や地域住民、運行事業者からの意見聴取を行いながら、効果的な運行を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、1便当たりの利用者数 ・運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施。また、路線バス、市民乗合タクシー時刻表を作成し、市内全戸に配布。さらには、個人向けの乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表を作成し、利用率向上に努められ、利用促進を図るために、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用した情報発信を行われていることを評価します。 	
豊後高田市地域公共交通 会議	宇佐参宮タクシー (有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	並石線 大日大橋～健康交流セ ンター花いろ～商工会議 所	<ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施した。 ・路線バス、市民乗合タクシー時刻表を作成し、市内全戸に配布。 ・個人向けの乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表を作成し、利用率向上に努めた。 ・利用促進を図るために、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用した情報発信を行った。 	A	B	利用者数が多い路線であるが、新型コロナの影響もあり、利用率は目標値を下回った。今後も地域住民の意見を反映しながら、さらなる利用拡大と効果的な運行に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
豊後高田市地域公共交通 会議	宇佐参宮タクシー (有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	長岩屋線 三畑公民館～健康交流 センター花いろ～商工会 議所	<ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施した。 ・路線バス、市民乗合タクシー時刻表を作成し、市内全戸に配布。 ・個人向けの乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表を作成し、利用率向上に努めた。 ・利用促進を図るために、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用した情報発信を行った。 	A	C	人口減が進んでいる地域であるが、運転免許を持たない高齢者の貴重な生活交通手段となっている。利用実態の把握に努めるとともに、利用者の意向調査等を行い効果的な運行を検討していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
豊後高田市地域公共交通 会議	宇佐参宮タクシー (有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	草地線 長添～スーパーあさの ～商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施した。 ・路線バス、市民乗合タクシー時刻表を作成し、市内全戸に配布。 ・個人向けの乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表を作成し、利用率向上に努めた。 ・利用促進を図るために、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用した情報発信を行った。 	A	B	利用者数は減少傾向にあるが、運転免許を持たない高齢者の生活に欠かせない交通手段であるため、利用実態の把握に努め、効果的な運行を検討していく。また、路線バスと接続を考慮した運行となるよう調整していく。		
豊後高田市地域公共交通 会議	宇佐参宮タクシー (有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	黒土線 小河内～スバランド真玉 ～スーパーまたま	<ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施した。 ・路線バス、市民乗合タクシー時刻表を作成し、市内全戸に配布。 ・個人向けの乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表を作成し、利用率向上に努めた。 ・利用促進を図るために、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用した情報発信を行った。 	A	B	利用者数は減少傾向にあるが、高齢者の生活に欠かせない交通手段である。今後も地域住民の意見を聴き取り反映しながら、さらなる利用拡大と効果的な運行に努める。		
豊後高田市地域公共交通 会議	宇佐参宮タクシー (有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	臼野線 山畑～臼野公民館～ スーパーまたま	<ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施した。 ・路線バス、市民乗合タクシー時刻表を作成し、市内全戸に配布。 ・個人向けの乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表を作成し、利用率向上に努めた。 ・利用促進を図るために、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用した情報発信を行った。 	A	A	人口が少ない地域であるが、目標値は達成できた。市中心部へ移動する路線バスへの乗り継ぎも多く、今後も利用促進に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
豊後高田市地域公共交通 会議	香国タクシー	熊野線 田染平野～健康交流セ ンター花いろ～商工会議 所	<ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施した。 ・路線バス、市民乗合タクシー時刻表を作成し、市内全戸に配布。 ・個人向けの乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表を作成し、利用率向上に努めた。 ・利用促進を図るために、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用した情報発信を行った。 	A	A	利用者の多い路線であり、コロナ禍の影響もありながら目標値どおりの利用があった。今後も地域住民の意見を反映しながら、さらなる利用拡大と効果的な運行に努める。		
豊後高田市地域公共交通 会議	香国タクシー	夷線 夷谷温泉～西夷公民館 ～10-1構造改善セン ター	<ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施した。 ・路線バス、市民乗合タクシー時刻表を作成し、市内全戸に配布。 ・個人向けの乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表を作成し、利用率向上に努めた。 ・利用促進を図るために、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用した情報発信を行った。 	A	A	例年並みの利用があり、一人あたりの財政負担額も減少した。利用者数少ない地域であるが、市中心部へ移動する路線バスへの乗り継ぎや温泉施設への利用等に必要な系統であるため、今後も利用促進に努める。		
豊後高田市地域公共交通 会議	香国タクシー	小畑線 夷谷温泉～三浦郵便局 ～サンククリニック	<ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施した。 ・路線バス、市民乗合タクシー時刻表を作成し、市内全戸に配布。 ・個人向けの乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表を作成し、利用率向上に努めた。 ・利用促進を図るために、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用した情報発信を行った。 	A	A	利用率については目標値を達成することができた。利用者数は少ないが、市中心部へ移動する路線バスへの乗り継ぎや温泉施設への利用等に必要な系統であるため、今後も利用促進に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
豊後高田市地域公共交通 会議	香国タクシー	羽根線 夷谷温泉～羽根上公民 館～サンクリニック	<ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施した。 ・路線バス、市民乗合タクシー時刻表を作成し、市内全戸に配布。 ・個人向けの乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表を作成し、利用率向上に努めた。 ・利用促進を図るために、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用した情報発信を行った。 	A	A	前年を上回る利用があり、一人あたりの財政負担額も減少した。人口の少ない地域であるが、市中心部へ移動する路線バスへの乗り継ぎや温泉施設への利用等に必要な系統であるため、今後も利用促進に努める。		
豊後高田市地域公共交通 会議	宇佐参宮タクシー (有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	呉崎線(デマンド型) 呉崎11・12～呉崎地域 ～商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施した。 ・路線バス、市民乗合タクシー時刻表を作成し、市内全戸に配布。 ・個人向けの乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表を作成し、利用率向上に努めた。 ・利用促進を図るために、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用した情報発信を行った。 	A	A	利用者数の減少により路線定期運行からデマンド運行に移行した系統である。 今後も利用実績、利用者の意向調査などを実施し利用促進を図る。		
豊後高田市地域公共交通 会議	宇佐参宮タクシー (有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	西真玉線(デマンド型) 湯原上～西真玉地域～ スーパーまたま	<ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施した。 ・路線バス、市民乗合タクシー時刻表を作成し、市内全戸に配布。 ・個人向けの乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表を作成し、利用率向上に努めた。 ・利用促進を図るために、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用した情報発信を行った。 	A	A	利用者数の減少により路線定期運行からデマンド運行に移行した系統である。 利用者はわずかであるため、運行効率を考慮し、運行方法の見直しを検討している。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
由布市地域公共交通活性化協議会	大分バス株式会社	阿蘇野コース	本系統の利用地域は地元商店もなく、高齢化率が55%以上と高齢化が進行している地域である。地域の足を確保維持するために利用促進のための周知や利便性向上のための検討を行った。	A	B	昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受け、利用者数が減少した結果となったが、アフターコロナを見据え、利用者の少ない地域(路線)への聞き取り調査等を行い、正確な利用者ニーズの把握に努めるとともに、時刻表や利用案内の紙媒体での全戸配布やオープンデータを活用した周知活動を継続し、目標達成に向けた取組を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、年間輸送人員。 ・無料乗車券の交付を行うなど、利用促進に取り組まれていることを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
由布市地域公共交通活性化協議会	大分バス株式会社	シャトル (大学病院⇄庄内庁舎)	シャトルについては、毎週水曜日の水中運動利用者へ無料乗車券の交付を行うことで利用促進を行った。	A	B	昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受け、利用者数が減少した結果となったが、アフターコロナを見据え、利用者の少ない地域(路線)への聞き取り調査等を行い、正確な利用者ニーズの把握に努めるとともに、時刻表や利用案内の紙媒体での全戸配布やオープンデータを活用した周知活動を継続し、目標達成に向けた取組を進める。		
由布市地域公共交通活性化協議会	大分バス株式会社	スクールバス阿蘇野コース	スクールバスについては、入学予定の児童へ利用に関するお知らせを各小学校で行うことで利用の呼びかけを行った。	A	B	昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受け、利用者数が減少した結果となったが、アフターコロナを見据え、利用者の少ない地域(路線)への聞き取り調査等を行い、正確な利用者ニーズの把握に努めるとともに、時刻表や利用案内の紙媒体での全戸配布やオープンデータを活用した周知活動を継続し、目標達成に向けた取組を進める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
由布市地域公共交通活性化協議会	大分バス株式会社	スクールバス大津留コース	スクールバスについては、入学予定の児童へ利用に関するお知らせを各小学校で行うことで利用の呼びかけを行った。	A	B	昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受け、利用者が減少した結果となったが、アフターコロナを見据え、利用者の少ない地域(路線)への聞き取り調査等を行い、正確な利用者ニーズの把握に努めるとともに、時刻表や利用案内の紙媒体での全戸配布やオープンデータを活用した周知活動を継続し、目標達成に向けた取組を進める。		

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)**

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
竹田市地域公共交通確保維持協議会	大野竹田バス株式会社	高伏・上町線	アフターコロナを見据えてJR九州・阿蘇市との連携事業で二次交通に関する実証運行を行い、合わせて市内路線バスの利用促進を行った。 引き続き、観光との連携を検討しながら路線維持、利用促進に取り組む。	A	A	市の主要観光地である長湯温泉に最短で接続する路線である。アフターコロナを見据えた利用促進を検討するとともに、観光事業者と協力して路線維持に向け協力する取り組みを検討したい。	・評価の指標は、輸送人員。 ・アフターコロナを見据えてJR九州・阿蘇市との連携事業で二次交通に関する実証運行を行い、利用促進に取り組まれていることを評価します。	
竹田市地域公共交通確保維持協議会	大野竹田バス株式会社	甘椽線	依然としてコロナの影響はあるが、休校はなく通学の足として安定して運行することができた。 アフターコロナを見据えてJR九州・阿蘇市との連携事業で二次交通に関する実証運行を行い、合わせて市内路線バスの利用促進を行った。	A	A	市内の主要商業施設へ接続する路線であり、枝線となっている渡瀬線との複線化を含めて、ダイヤ、経路の見直しを検討する。アフターコロナを見据えた利用促進を検討するとともに、都市間の循環についても検討していく。 (沿線、小中学校の統廃合が検討されている。)	・公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことを評価します。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	
竹田市地域公共交通確保維持協議会	中央タクシー株式会社 竹田合同タクシー株式会社	姫岳コース・宮砥コース	自治会を訪問しての説明はコロナのため中止したが、地区社協代表者会議などを利用し、カモシカ号の再説明や利用促進を行った。 また乗降データについて、分析を行い事業に反映した。	B	C	アフターコロナを見据えた利用促進を検討する。コロナの状況次第ではあるが、自治会単位や地域単位での説明会を検討する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
別府市公共交通活性化協議会	大分交通株式会社	関の江団地線 亀川駅～亀川新川～関 の江車庫前	運行ルートやダイヤの見直し、便数の増減に向けて検討した。	B	C	フィーダー系統維持のため、利用者の増加に向け、コロナ対策等新しい生活様式に向けた施策及び利用者向けコロナ対策実施の告知、運行ルートやダイヤの見直し、便数の増減について検討し改善を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、年間輸送人員。 ・運行ルートやダイヤの見直し、便数の増減に向けて検討することで、利用促進に取り組まれていることを評価します。 ・目標値を下回っていることから、利用者のニーズを把握し、公共交通を利用して欲しい方にアプローチされることを期待します。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日向市地域公共交通会議	日向市	東1コース (イオンタウン日向・櫛の山)	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図ったが、コロナ禍により、高齢者に向けた対面での積極的な利用促進活動はできなかった。 ・小学生を対象に乗り方教室を開き、市民バスの周知を図った。 ・東2コースについて、経路変更を行い、通院利用者の利便性向上を図った。 ・車載モニターにて感染防止啓発内容を放映し、消毒液の設置、座席の消毒、換気を行い、安心して利用できる環境づくりに努めた。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・百歳体操等の場に出向き、市民バスの周知や無料乗車券を配布により体験乗車をさせていただくことで、新規利用者の獲得を図る。 ・運転免許証の自主返納者に対して市民バス利用を促す。 ・利用促進を図るために、ダイヤや路線の見直しを検討する。 ・コロナ禍において、今後も消毒の徹底など安心して利用できる環境を整えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、各系統ごとの年間利用者数。 ・後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し利用促進に取り組まれていることを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
日向市地域公共交通会議	日向市	東2コース1(イオンタウン日向・水ヶ浦公園・幡浦)	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図ったが、コロナ禍により、高齢者に向けた対面での積極的な利用促進活動はできなかった。 ・小学生を対象に乗り方教室を開き、市民バスの周知を図った。 ・東2コースについて、経路変更を行い、通院利用者の利便性向上を図った。 ・車載モニターにて感染防止啓発内容を放映し、消毒液の設置、座席の消毒、換気を行い、安心して利用できる環境づくりに努めた。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・百歳体操等の場に出向き、市民バスの周知や無料乗車券を配布により体験乗車をさせていただくことで、新規利用者の獲得を図る。 ・運転免許証の自主返納者に対して市民バス利用を促す。 ・利用促進を図るために、ダイヤや路線の見直しを検討する。 ・コロナ禍において、今後も消毒の徹底など安心して利用できる環境を整えていく。 		
日向市地域公共交通会議	日向市	東2コース2(イオンタウン日向・幡浦)	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図ったが、コロナ禍により、高齢者に向けた対面での積極的な利用促進活動はできなかった。 ・小学生を対象に乗り方教室を開き、市民バスの周知を図った。 ・東2コースについて、経路変更を行い、通院利用者の利便性向上を図った。 ・車載モニターにて感染防止啓発内容を放映し、消毒液の設置、座席の消毒、換気を行い、安心して利用できる環境づくりに努めた。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・百歳体操等の場に出向き、市民バスの周知や無料乗車券を配布により体験乗車をさせていただくことで、新規利用者の獲得を図る。 ・運転免許証の自主返納者に対して市民バス利用を促す。 ・利用促進を図るために、ダイヤや路線の見直しを検討する。 ・コロナ禍において、今後も消毒の徹底など安心して利用できる環境を整えていく。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日向市地域公共交通会議	日向市	西1コース1 (比良町・小原)	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図ったが、コロナ禍により、高齢者に向けた対面での積極的な利用促進活動はできなかった。 ・小学生を対象に乗り方教室を開き、市民バスの周知を図った。 ・東2コースについて、経路変更を行い、通院利用者の利便性向上を図った。 ・車載モニターにて感染防止啓発内容を放映し、消毒液の設置、座席の消毒、換気を行い、安心して利用できる環境づくりに努めた。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・百歳体操等の場に出向き、市民バスの周知や無料乗車券を配布により体験乗車をしていただくことで、新規利用者の獲得を図る。 ・運転免許証の自主返納者に対して市民バス利用を促す。 ・利用促進を図るために、ダイヤや路線の見直しを検討する。 ・コロナ禍において、今後も消毒の徹底など安心して利用できる環境を整えていく。 		
日向市地域公共交通会議	日向市	西1コース1 (比良町・奥野)	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図ったが、コロナ禍により、高齢者に向けた対面での積極的な利用促進活動はできなかった。 ・小学生を対象に乗り方教室を開き、市民バスの周知を図った。 ・東2コースについて、経路変更を行い、通院利用者の利便性向上を図った。 ・車載モニターにて感染防止啓発内容を放映し、消毒液の設置、座席の消毒、換気を行い、安心して利用できる環境づくりに努めた。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・百歳体操等の場に出向き、市民バスの周知や無料乗車券を配布により体験乗車をしていただくことで、新規利用者の獲得を図る。 ・運転免許証の自主返納者に対して市民バス利用を促す。 ・利用促進を図るために、ダイヤや路線の見直しを検討する。 ・コロナ禍において、今後も消毒の徹底など安心して利用できる環境を整えていく。 		
日向市地域公共交通会議	日向市	西2コース (本谷・新財市)	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図ったが、コロナ禍により、高齢者に向けた対面での積極的な利用促進活動はできなかった。 ・小学生を対象に乗り方教室を開き、市民バスの周知を図った。 ・東2コースについて、経路変更を行い、通院利用者の利便性向上を図った。 ・車載モニターにて感染防止啓発内容を放映し、消毒液の設置、座席の消毒、換気を行い、安心して利用できる環境づくりに努めた。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・百歳体操等の場に出向き、市民バスの周知や無料乗車券を配布により体験乗車をしていただくことで、新規利用者の獲得を図る。 ・運転免許証の自主返納者に対して市民バス利用を促す。 ・利用促進を図るために、ダイヤや路線の見直しを検討する。 ・コロナ禍において、今後も消毒の徹底など安心して利用できる環境を整えていく。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日向市地域公共交通会議	日向市	南1コース (比良町・向洋台)	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図ったが、コロナ禍により、高齢者に向けた対面での積極的な利用促進活動はできなかった。 ・小学生を対象に乗り方教室を開き、市民バスの周知を図った。 ・東2コースについて、経路変更を行い、通院利用者の利便性向上を図った。 ・車載モニターにて感染防止啓発内容を放映し、消毒液の設置、座席の消毒、換気を行い、安心して利用できる環境づくりに努めた。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・百歳体操等の場に出向き、市民バスの周知や無料乗車券を配布により体験乗車をしていただくことで、新規利用者の獲得を図る。 ・運転免許証の自主返納者に対して市民バス利用を促す。 ・利用促進を図るために、ダイヤや路線の見直しを検討する。 ・コロナ禍において、今後も消毒の徹底など安心して利用できる環境を整えていく。 		
日向市地域公共交通会議	日向市	南2コース (長江団地入口・往還)	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図ったが、コロナ禍により、高齢者に向けた対面での積極的な利用促進活動はできなかった。 ・小学生を対象に乗り方教室を開き、市民バスの周知を図った。 ・東2コースについて、経路変更を行い、通院利用者の利便性向上を図った。 ・車載モニターにて感染防止啓発内容を放映し、消毒液の設置、座席の消毒、換気を行い、安心して利用できる環境づくりに努めた。 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・百歳体操等の場に出向き、市民バスの周知や無料乗車券を配布により体験乗車をしていただくことで、新規利用者の獲得を図る。 ・運転免許証の自主返納者に対して市民バス利用を促す。 ・利用促進を図るために、ダイヤや路線の見直しを検討する。 ・コロナ禍において、今後も消毒の徹底など安心して利用できる環境を整えていく。 		
日向市地域公共交通会議	日向市	北1コース (花ヶ丘・日向台・亀崎)	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図ったが、コロナ禍により、高齢者に向けた対面での積極的な利用促進活動はできなかった。 ・小学生を対象に乗り方教室を開き、市民バスの周知を図った。 ・東2コースについて、経路変更を行い、通院利用者の利便性向上を図った。 ・車載モニターにて感染防止啓発内容を放映し、消毒液の設置、座席の消毒、換気を行い、安心して利用できる環境づくりに努めた。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・百歳体操等の場に出向き、市民バスの周知や無料乗車券を配布により体験乗車をしていただくことで、新規利用者の獲得を図る。 ・運転免許証の自主返納者に対して市民バス利用を促す。 ・利用促進を図るために、ダイヤや路線の見直しを検討する。 ・コロナ禍において、今後も消毒の徹底など安心して利用できる環境を整えていく。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日向市地域公共交通会議	日向市	北2コース (大王谷・梶木)	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図ったが、コロナ禍により、高齢者に向けた対面での積極的な利用促進活動はできなかった。 ・小学生を対象に乗り方教室を開き、市民バスの周知を図った。 ・東2コースについて、経路変更を行い、通院利用者の利便性向上を図った。 ・車載モニターにて感染防止啓発内容を放映し、消毒液の設置、座席の消毒、換気を行い、安心して利用できる環境づくりに努めた。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・百歳体操等の場に出向き、市民バスの周知や無料乗車券を配布により体験乗車をしていただくことで、新規利用者の獲得を図る。 ・運転免許証の自主返納者に対して市民バス利用を促す。 ・利用促進を図るために、ダイヤや路線の見直しを検討する。 ・コロナ禍において、今後も消毒の徹底など安心して利用できる環境を整えていく。 		
日向市地域公共交通会議	日向市	美々津日向市駅線コース1	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図ったが、コロナ禍により、高齢者に向けた対面での積極的な利用促進活動はできなかった。 ・小学生を対象に乗り方教室を開き、市民バスの周知を図った。 ・東2コースについて、経路変更を行い、通院利用者の利便性向上を図った。 ・車載モニターにて感染防止啓発内容を放映し、消毒液の設置、座席の消毒、換気を行い、安心して利用できる環境づくりに努めた。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・百歳体操等の場に出向き、市民バスの周知や無料乗車券を配布により体験乗車をしていただくことで、新規利用者の獲得を図る。 ・運転免許証の自主返納者に対して市民バス利用を促す。 ・利用促進を図るために、ダイヤや路線の見直しを検討する。 ・コロナ禍において、今後も消毒の徹底など安心して利用できる環境を整えていく。 		
日向市地域公共交通会議	日向市	美々津日向市駅線コース2	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図ったが、コロナ禍により、高齢者に向けた対面での積極的な利用促進活動はできなかった。 ・小学生を対象に乗り方教室を開き、市民バスの周知を図った。 ・東2コースについて、経路変更を行い、通院利用者の利便性向上を図った。 ・車載モニターにて感染防止啓発内容を放映し、消毒液の設置、座席の消毒、換気を行い、安心して利用できる環境づくりに努めた。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・百歳体操等の場に出向き、市民バスの周知や無料乗車券を配布により体験乗車をしていただくことで、新規利用者の獲得を図る。 ・運転免許証の自主返納者に対して市民バス利用を促す。 ・利用促進を図るために、ダイヤや路線の見直しを検討する。 ・コロナ禍において、今後も消毒の徹底など安心して利用できる環境を整えていく。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日向市地域公共交通会議	日向市	美々津日向市駅線コース3	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図ったが、コロナ禍により、高齢者に向けた対面での積極的な利用促進活動はできなかった。 ・小学生を対象に乗り方教室を開き、市民バスの周知を図った。 ・東2コースについて、経路変更を行い、通院利用者の利便性向上を図った。 ・車載モニターにて感染防止啓発内容を放映し、消毒液の設置、座席の消毒、換気を行い、安心して利用できる環境づくりに努めた。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・百歳体操等の場に出向き、市民バスの周知や無料乗車券を配布により体験乗車をさせていただくことで、新規利用者の獲得を図る。 ・運転免許証の自主返納者に対して市民バス利用を促す。 ・利用促進を図るために、ダイヤや路線の見直しを検討する。 ・コロナ禍において、今後も消毒の徹底など安心して利用できる環境を整えていく。 		
日向市地域公共交通会議	日向市	田野羽坂線	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図ったが、コロナ禍により、高齢者に向けた対面での積極的な利用促進活動はできなかった。 ・まちづくり協議会と時刻表を作成し世帯配布にて利用促進を図った。 ・公民館掲示用の時刻表配布を行った。 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・百歳体操等の場に出向き、市民バスの周知や無料乗車券を配布により体験乗車をさせていただくことで、新規利用者の獲得を図る。 ・引き続き、地域と連携しながら利用促進活動に取り組む。 ・運転免許証の自主返納者に対して市民バス利用を促す。 ・コロナ禍において、今後も消毒の徹底など安心して利用できる環境を整えていく。 		
日向市地域公共交通会議	日向市	仲深坪谷越表線	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図ったが、コロナ禍により、高齢者に向けた対面での積極的な利用促進活動はできなかった。 ・まちづくり協議会と時刻表を作成し世帯配布にて利用促進を図った。 ・公民館掲示用の時刻表配布を行った。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・百歳体操等の場に出向き、市民バスの周知や無料乗車券を配布により体験乗車をさせていただくことで、新規利用者の獲得を図る。 ・引き続き、地域と連携しながら利用促進活動に取り組む。 ・運転免許証の自主返納者に対して市民バス利用を促す。 ・コロナ禍において、今後も消毒の徹底など安心して利用できる環境を整えていく。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日向市地域公共交通会議	日向市	福瀬小野田線	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図ったが、コロナ禍により、高齢者に向けた対面での積極的な利用促進活動はできなかった。 ・まちづくり協議会と時刻表を作成し世帯配布にて利用促進を図った。 ・公民館掲示用の時刻表配布を行った。 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・百歳体操等の場に出向き、市民バスの周知や無料乗車券を配布により体験乗車をさせていただくことで、新規利用者の獲得を図る。 ・引き続き、地域と連携しながら利用促進活動に取り組む。 ・運転免許証の自主返納者に対して市民バス利用を促す。 ・コロナ禍において、今後も消毒の徹底など安心して利用できる環境を整えていく。 		
日向市地域公共交通会議	日向市	仲深坪谷線	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図ったが、コロナ禍により、高齢者に向けた対面での積極的な利用促進活動はできなかった。 ・まちづくり協議会と時刻表を作成し世帯配布にて利用促進を図った。 ・公民館掲示用の時刻表配布を行った。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・百歳体操等の場に出向き、市民バスの周知や無料乗車券を配布により体験乗車をさせていただくことで、新規利用者の獲得を図る。 ・引き続き、地域と連携しながら利用促進活動に取り組む。 ・運転免許証の自主返納者に対して市民バス利用を促す。 ・コロナ禍において、今後も消毒の徹底など安心して利用できる環境を整えていく。 		
日向市地域公共交通会議	日向市	鶴野内迫野内八重原線	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図ったが、コロナ禍により、高齢者に向けた対面での積極的な利用促進活動はできなかった。 ・まちづくり協議会と時刻表を作成し世帯配布にて利用促進を図った。 ・公民館掲示用の時刻表配布を行った。 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・百歳体操等の場に出向き、市民バスの周知や無料乗車券を配布により体験乗車をさせていただくことで、新規利用者の獲得を図る。 ・引き続き、地域と連携しながら利用促進活動に取り組む。 ・運転免許証の自主返納者に対して市民バス利用を促す。 ・コロナ禍において、今後も消毒の徹底など安心して利用できる環境を整えていく。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日向市地域公共交通会議	日向市	寺迫庭田線	<ul style="list-style-type: none"> 後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図ったが、コロナ禍により、高齢者に向けた対面での積極的な利用促進活動はできなかった。 公民館掲示用の時刻表配布を行った。 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 百歳体操等の場に出向き、市民バスの周知や無料乗車券を配布により体験乗車をさせていただくことで、新規利用者の獲得を図る。 引き続き、地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。 運転免許証の自主返納者に対して市民バス利用を促す。 コロナ禍において、今後も消毒の徹底など安心して利用できる環境を整えていく。 		
日向市地域公共交通会議	日向市	飯谷田の原線	<ul style="list-style-type: none"> 後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図ったが、コロナ禍により、高齢者に向けた対面での積極的な利用促進活動はできなかった。 公民館掲示用の時刻表配布を行った。 	B	C	<ul style="list-style-type: none"> 百歳体操等の場に出向き、市民バスの周知や無料乗車券を配布により体験乗車をさせていただくことで、新規利用者の獲得を図る。 引き続き、地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。 運転免許証の自主返納者に対して市民バス利用を促す。 コロナ禍において、今後も消毒の徹底など安心して利用できる環境を整えていく。 		
日向市地域公共交通会議	日向市	鵜毛杵木線	<ul style="list-style-type: none"> 後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの紹介チラシを同封し周知を図ったが、コロナ禍により、高齢者に向けた対面での積極的な利用促進活動はできなかった。 公民館掲示用の時刻表配布を行った。 	B	C	<ul style="list-style-type: none"> 百歳体操等の場に出向き、市民バスの周知や無料乗車券を配布により体験乗車をさせていただくことで、新規利用者の獲得を図る。 引き続き、地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。 運転免許証の自主返納者に対して市民バス利用を促す。 コロナ禍において、今後も消毒の徹底など安心して利用できる環境を整えていく。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス ○北方線9系統	①美々地線	<ul style="list-style-type: none"> 協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 路線⑧においては地域住民からの要望によりR3年9月から経路変更を行った。 	A	C	<ul style="list-style-type: none"> 特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会(新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価の指標は、各系統の1便当たりの乗車人数。 計画どおりに乗合タクシー・コミュニティバスの運行を実施し、路線の維持・確保を図られていることを評価します。 目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
延岡市地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス ○北方線9系統	②鹿川線	<ul style="list-style-type: none"> 協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 路線⑧においては地域住民からの要望によりR3年9月から経路変更を行った。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会(新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス ○北方線9系統	③二股線	<ul style="list-style-type: none"> 協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 路線⑧においては地域住民からの要望によりR3年9月から経路変更を行った。 	A	C	<ul style="list-style-type: none"> 特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会(新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。 		
延岡市地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス ○北方線9系統	④猿渡線	<ul style="list-style-type: none"> 協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 路線⑧においては地域住民からの要望によりR3年9月から経路変更を行った。 	A	C	<ul style="list-style-type: none"> 特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会(新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス ○北方線9系統	⑤三ヶ村線	<ul style="list-style-type: none"> 協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 路線⑨においては地域住民からの要望によりR3年9月から経路変更を行った。 	A	C	<ul style="list-style-type: none"> 特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会(新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。 		
延岡市地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス ○北方線9系統	⑥大保下線	<ul style="list-style-type: none"> 協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 路線⑨においては地域住民からの要望によりR3年9月から経路変更を行った。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会(新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス ○北方線9系統	⑦下崎・笠下黒原線	<ul style="list-style-type: none"> 協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 路線⑦においては地域住民からの要望によりR3年9月から経路変更を行った。 	A	C	<ul style="list-style-type: none"> 特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会(新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。 		
延岡市地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス ○北方線9系統	⑧片内・菅原線	<ul style="list-style-type: none"> 協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 路線⑧においては地域住民からの要望によりR3年9月から経路変更を行った。 	A	C	<ul style="list-style-type: none"> 特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会(新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス ○北方線9系統	⑨上中尾線	<ul style="list-style-type: none"> 協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 路線⑨においては地域住民からの要望によりR3年9月から経路変更を行った。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会(新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。 		
延岡市地域公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 〈共同運行〉 宮崎第一交通(株) 延岡グリーンタクシー(株) 宮交タクシー(株) (株)扇興タクシー ○北浦線3系統 ○旧延岡線4系統 	⑩下塚線	<ul style="list-style-type: none"> 協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会(新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 路線⑬⑭⑯は令和3年11月～12月に意見交換会を実施し、移動需要の把握を行った。令和4年4月から経路・時刻表の見直しを行う。 市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市地域公共交通活性化協議会	〈共同運行〉 宮崎第一交通(株) 延岡グリーンタクシー(株) 宮交タクシー(株) (株)扇興タクシー ○北浦線3系統 ○旧延岡線4系統	①市尾内線	・協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。	A	C	・特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会(新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 ・路線⑬⑭⑯は令和3年11月～12月に意見交換会を実施し、移動需要の把握を行った。令和4年4月から経路・時刻表の見直しを行う。 ・市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。		
延岡市地域公共交通活性化協議会	〈共同運行〉 宮崎第一交通(株) 延岡グリーンタクシー(株) 宮交タクシー(株) (株)扇興タクシー ○北浦線3系統 ○旧延岡線4系統	②三川内線	・協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。	A	C	・特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会(新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 ・路線⑬⑭⑯は令和3年11月～12月に意見交換会を実施し、移動需要の把握を行った。令和4年4月から経路・時刻表の見直しを行う。 ・市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市地域公共交通活性化協議会	〈共同運行〉 宮崎第一交通(株) 延岡グリーンタクシー(株) 宮交タクシー(株) (株)扇興タクシー ○北浦線3系統 ○旧延岡線4系統	⑬上三輪・貝の畑～岡 富線	・協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画ど おりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。	A	A	・特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会 (新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経 路・時刻表に見直しを行っていく。 ・路線⑬⑭⑯は令和3年11月～12月に意見交換会を実施し、移動需要 の把握を行った。令和4年4月から経路・時刻表の見直しを行う。 ・市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢 者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介 護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方 も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時 間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により 利用を促す。		
延岡市地域公共交通活性化協議会	〈共同運行〉 宮崎第一交通(株) 延岡グリーンタクシー(株) 宮交タクシー(株) (株)扇興タクシー ○北浦線3系統 ○旧延岡線4系統	⑭安井・神戸～レーヨ ン線	・協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画ど おりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。	A	C	・特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会 (新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経 路・時刻表に見直しを行っていく。 ・路線⑬⑭⑯は令和3年11月～12月に意見交換会を実施し、移動需要 の把握を行った。令和4年4月から経路・時刻表の見直しを行う。 ・市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢 者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介 護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方 も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時 間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により 利用を促す。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市地域公共交通活性化協議会	〈共同運行〉 宮崎第一交通(株) 延岡グリーンタクシー(株) 宮交タクシー(株) (株)扇興タクシー ○北浦線3系統 ○旧延岡線4系統	⑮須佐～大武線	・協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。	A	A	・特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会(新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 ・路線⑬⑭⑯は令和3年11月～12月に意見交換会を実施し、移動需要の把握を行った。令和4年4月から経路・時刻表の見直しを行う。 ・市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。		
延岡市地域公共交通活性化協議会	〈共同運行〉 宮崎第一交通(株) 延岡グリーンタクシー(株) 宮交タクシー(株) (株)扇興タクシー ○北浦線3系統 ○旧延岡線4系統	⑯小川～平田線	・協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。	A	C	・特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会(新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 ・路線⑬⑭⑯は令和3年11月～12月に意見交換会を実施し、移動需要の把握を行った。令和4年4月から経路・時刻表の見直しを行う。 ・市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市地域公共交通活性化協議会	延岡市 ※自家用有償旅客 運送 ○北川線4系統	⑰上赤線	・協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりにコミュニティバスの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。	A	B	・特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会(新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 ・路線⑱⑳は地域住民の要望により令和4年4月から停留所の追加や経路の見直しを行う。 ・市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。		
延岡市地域公共交通活性化協議会	延岡市 ※自家用有償旅客 運送 ○北川線4系統	⑱下塚線	・協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりにコミュニティバスの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。	A	B	・特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会(新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 ・路線⑱⑳は地域住民の要望により令和4年4月から停留所の追加や経路の見直しを行う。 ・市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。		

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)**

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市地域公共交通活性化協議会	延岡市 ※自家用有償旅客 運送 ○北川線4系統	⑱瀬口線	・協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画ど おりにコミュニティバスの運行を実施し、路線の維持・確保を図っ た。	A	C	・特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会 (新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経 路・時刻表に見直しを行っていく。 ・路線⑱⑳は地域住民の要望により令和4年4月から停留所の追加や 経路の見直しを行う。 ・市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢 者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介 護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方 も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時 間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により 利用を促す。		
延岡市地域公共交通活性化協議会	延岡市 ※自家用有償旅客 運送 ○北川線4系統	⑳家田線	・協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画ど おりにコミュニティバスの運行を実施し、路線の維持・確保を図っ た。	A	B	・特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会 (新型コロナの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経 路・時刻表に見直しを行っていく。 ・路線⑱⑳は地域住民の要望により令和4年4月から停留所の追加や 経路の見直しを行う。 ・市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢 者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介 護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方 も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時 間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により 利用を促す。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱ 〇1系統	⑦まちなか循環バス	<p>・協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりにまちなか循環バスの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。</p> <p>・8月の小学生運賃無料期間に合わせ、乗車するとプレゼントが当たるキャンペーンを実施した。</p>	A	C	<p>・小学生の運賃無料期間に合わせたキャンペーンを引き続き実施する。</p> <p>・自治会、高齢者クラブ等を対象としたバスでの「お出かけ企画」にてまちなか循環バスを活用する。</p> <p>・路線バスの観光モデルコースを掲載したガイドブックにまちなか循環バスの沿線店舗や施設を掲載しPRする。</p> <p>・市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 平野・石尾線	西都ショッピングセン ター～石尾の運行(専門 学校経由あり)	乗り込み調査を実施し、運行日や経路等の見直しについて検討を行った。なお、新庁舎完成に伴い、8月から経路の変更を行った。	A	C	利用者の声を受けて10月から一部の便について商業施設を経由するよう経路を変更したほか、運行曜日を変更した。定期的に意見聴取を行い状況を見ながら、継続的に見直しを検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、各系統ごとの年間利用者数。 ・乗り込み調査を実施し、運行日や経路等の見直しを検討されていることを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 長谷線	西都ショッピングセン ター～上長谷の運行	乗り込み調査を実施し、運行日や経路等の見直しについて、検討を行った。なお、新庁舎完成に伴い、8月から経路の変更を行った。	A	B	利用者の声を受けて10月から一部の便について商業施設を経由するよう経路を変更したほか、運行曜日を変更した。定期的に意見聴取を行い状況を見ながら、継続的に見直しを検討する。		
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 山田・上沖線	西都ショッピングセン ター～中山の運行	乗り込み調査を実施し経路、ダイヤ等の見直しについて検討を行った。なお、新庁舎完成に伴い、8月から経路の変更を行った。	A	B	利用者の声を受けて10月から一部の便について商業施設を経由するよう経路を変更した。定期的に意見聴取を行い状況を見ながら、継続的に見直しを検討する。		
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 岩爪線	西都ショッピングセン ター～岩爪の運行	乗り込み調査を実施し経路、ダイヤ等の見直しについて検討を行った。なお、新庁舎完成に伴い、8月から経路の変更を行った。	A	C	利用者の声を受けて10月から一部の便について商業施設を経由するよう経路を変更した。定期的に意見聴取を行い状況を見ながら、継続的に見直しを検討する。		
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 長園線	西都ショッピングセン ター～長園の運行	乗り込み調査を実施し経路、ダイヤ等の見直しについて検討を行った。なお、新庁舎完成に伴い、8月から経路の変更を行った。	A	B	利用者の声を受けて10月から一部の便について商業施設を経由するよう経路を変更した。定期的に意見聴取を行い状況を見ながら、継続的に見直しを検討する。		
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 岩井谷・並木線	並木～西都ショッピング センターの運行	乗り込み調査を実施し経路、ダイヤ等の見直しについて検討を行った。なお、新庁舎完成に伴い、8月から経路の変更を行った。	A	A	定期的に意見聴取を行い状況を見ながら、継続的に見直しを検討する。		
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 穂北線	西都ショッピングセン ター～尾吐の運行	利用の少ない便を減便し、路線の効率化を図ったが、利用者の声を受けて、減便した便を不定期運行として運行することとした。なお、新庁舎完成に伴い、8月から経路の変更を行った。	A	B	10月から利用状況に合わせて運行日を変更し、路線の効率化を図っている。7月からは住民による互助輸送も運行されているため、利用状況に応じて見直しを検討する。		
西都市地域公共交通会議	宮崎タクシー株式会 社 竹尾・平原線	平原公民館～西都バス センターの運行	利用者に聞き取り調査を実施し、ダイヤの見直しに向けて検討を行った。	A	B	10月から利用の少なかったダイヤを見直し、利便性の向上を図っている。定期的に意見聴取を行い状況を見ながら、継続的に見直しを検討する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
 九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
西都市地域公共交通会議	宮崎タクシー株式会社 加勢・小豆野線	小豆野～西都バスセン ターの運行	利用者に聞き取り調査を実施し、ダイヤの見直しに向けて検討を行った。なお、新庁舎完成に伴い、8月から経路の変更を行った。	A	B	10月から利用の少なかったダイヤを見直し、利便性の向上を図っている。定期的に意見聴取を行い状況を見ながら、継続的に見直しを検討する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
都城市地域公共交通会議	有限会社 銀星タクシー	○運行区間: 都城市山之口町 北東部⇄中心部 ○運行日: 火・金曜日 ○運行回数: 1日往復3回※デマ ンド運行	○ 新規利用者の開拓や既存利用者の利用回数を増やすため、定期運賃の導入を決定した。 ○ 路線バスとの接続強化のため、山之口総合支所への路線バス乗入れを検討中。	A	B	○ 定期運賃の導入、宮交路線バスの一部区間の廃止に伴う温泉便の創設で、新規利用者が増加しているため、非利用者への周知により、更なる新規利用者の開拓を進める。	・評価の指標は、各系統の運行日1日当たりの利用者数。 ・新規利用者の開拓や既存利用者の利用回数を増やすため、定期運賃の導入を決定したことを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	
都城市地域公共交通会議	有限会社 銀星タクシー	○運行区間: 都城市山之口町 南部⇄中心部 ○運行日: 月・水・木曜日 ○運行回数: 1日往復3回※デマ ンド運行	○ 新規利用者の開拓や既存利用者の利用回数を増やすため、定期運賃の導入を決定した。 ○ 路線バスとの接続強化のため、山之口総合支所への路線バス乗入れを検討中。	A	B	○ 定期運賃の導入、宮交路線バスの一部区間の廃止に伴う温泉便の創設で、新規利用者が増加しているため、非利用者への周知により、更なる新規利用者の開拓を進める。	・評価の指標は、各系統の運行日1日当たりの利用者数。 ・新規利用者の開拓や既存利用者の利用回数を増やすため、定期運賃の導入を決定したことを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	
都城市地域公共交通会議	都城市	○運行区間: 都城市庄内地区 東西町平田乙房線 ○運行日: 月・火・木・金曜日 ○運行回数: 1日往復2回 ※路線 定期	○ 新規利用者開拓のための経路変更を行った。 ○ 路線バスとの接続強化のため、庄内地区公民館に路線バスのバス停を設置し、待合環境も向上した。	A	B	○ 新規利用者開拓のため、温泉施設と連動した利用促進策を検討する。 ○ 地域の包括支援センターと連携した、高齢者のリハビリ利用を促進する。		
都城市地域公共交通会議	都城市	○運行区間: 都城市庄内地区 関之尾川崎菓子野線 ○運行日: 月・火・木・金曜日 ○運行回数: 1日往復2回 ※路線 定期	○ 新規利用者開拓のための経路変更を行った。 ○ 路線バスとの接続強化のため、庄内地区公民館に路線バスのバス停を設置し、待合環境も向上した。	A	B	○ 新規利用者開拓のため、温泉施設と連動した利用促進策を検討する。 ○ 地域の包括支援センターと連携した、高齢者のリハビリ利用を促進する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
都城市地域公共交通会議	都城市	○運行区間: 都城市夏尾町及び山 田町 Aコース ○運行日: 月・水・金曜日 ○運行回数: 1日往復2.5回※デマ ンド運行	○ 地区内の温泉施設と連動した利用促進を実施した。 ○ チランの全戸配布、高齢者クラブ等に向いての意見交換を実施した。	A	B	○ 継続利用者を開拓するため、地域内の対象者との意見交換を増やすなどして利用促進を強化する。 ○ 温泉施設、商業施設と連動した企画便の運行を検討する。		
都城市地域公共交通会議	都城市	○運行区間: 都城市夏尾町及び山 田町 Bコース ○運行日: 火・木・土曜日 ○運行回数: 1日往復2.5回※デマ ンド運行	○ 地区内の温泉施設と連動した利用促進を実施した。 ○ チランの全戸配布、高齢者クラブ等に向いての意見交換を実施した。	A	B	○ 継続利用者を開拓するため、地域内の対象者との意見交換を増やすなどして利用促進を強化する。 ○ 温泉施設、商業施設と連動した企画便の運行を検討する。		
都城市地域公共交通会議	都城市	○運行区間: 都城市夏尾町及び山 田町 Cコース ○運行日: 水・金曜日 ○運行回数: 1日往復2.5回※デマ ンド運行	○ 地区内の温泉施設と連動した利用促進を実施した。 ○ チランの全戸配布、高齢者クラブ等に向いての意見交換を実施した。	A	A	○ 継続利用者を開拓するため、地域内の対象者との意見交換を増やすなどして利用促進を強化する。 ○ 温泉施設、商業施設と連動した企画便の運行を検討する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
高鍋町地域公共交通会議	宮交タクシー株式会社	竹鳩線 (竹鳩～めいりんの湯)	公共交通マップの更新や、町のお知らせ文書やホームページでの運行状況の周知を継続して実施した。コロナ禍ではあったが、前事業年度には実施できなかったバスの乗り方教室を実施することができ、新規利用者の増加につなげる取り組みを行うことができた。	A	C	利用者・利用目的が固定化されているため、新規利用者の増加を目指し、バスの乗り方教室や出前講座を行うことで、これまでバスに乗ることがなかった人たちにも、バスを身近に感じてもらえるような取り組みを行う。また、なでしこバスの運行形態の見直しを検討し、住民の利用ニーズに即したデマンド交通等新たな交通手段や情報の周知方法等を検討していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、各系統ごとの年間利用者数。 ・コロナ禍でありながら、前事業年度には実施できなかったバスの乗り方教室を実施し、新規利用者の増加につなげる取り組みを行われたことを評価します。 ・目標値を下回っていることから、利用者のニーズを把握し、公共交通を利用して欲しい方にアプローチされることを期待します。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
高鍋町地域公共交通会議	宮交タクシー株式会社	老瀬線 (老瀬～めいりんの湯)	公共交通マップの更新や、町のお知らせ文書やホームページでの運行状況の周知を継続して実施した。コロナ禍ではあったが、前事業年度には実施できなかったバスの乗り方教室を実施することができ、新規利用者の増加につなげる取り組みを行うことができた。	A	C	利用者・利用目的が固定化されているため、新規利用者の増加を目指し、バスの乗り方教室や出前講座を行うことで、これまでバスに乗ることがなかった人たちにも、バスを身近に感じてもらえるような取り組みを行う。また、なでしこバスの運行形態の見直しを検討し、住民の利用ニーズに即したデマンド交通等新たな交通手段や情報の周知方法等を検討していく。		
高鍋町地域公共交通会議	宮交タクシー株式会社	蚊口浜線 (蚊口浜～めいりんの湯)	公共交通マップの更新や、町のお知らせ文書やホームページでの運行状況の周知を継続して実施した。コロナ禍ではあったが、前事業年度には実施できなかったバスの乗り方教室を実施することができ、新規利用者の増加につなげる取り組みを行うことができた。	A	C	利用者・利用目的が固定化されているため、新規利用者の増加を目指し、バスの乗り方教室や出前講座を行うことで、これまでバスに乗ることがなかった人たちにも、バスを身近に感じてもらえるような取り組みを行う。また、なでしこバスの運行形態の見直しを検討し、住民の利用ニーズに即したデマンド交通等新たな交通手段や情報の周知方法等を検討していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
高鍋町地域公共交通会議	宮交タクシー株式会社	堀の内団地線 (堀の内団地～めいりんの湯)	公共交通マップの更新や、町のお知らせ文書やホームページでの運行状況の周知を継続して実施した。コロナ禍ではあったが、前事業年度には実施できなかったバスの乗り方教室を実施することができ、新規利用者の増加につなげる取り組みを行うことができた。	A	C	利用者・利用目的が固定化されているため、新規利用者の増加を目指し、バスの乗り方教室や出前講座を行うことで、これまでバスに乗ることがなかった人たちにも、バスを身近に感じてもらえるような取り組みを行う。 また、なでしこバスの運行形態の見直しを検討し、住民の利用ニーズに即したデマンド交通等新たな交通手段や情報の周知方法等を検討していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
川南町地域公共交通会議	三和交通株式会社	(1)(2)定期路線運行:尾鈴 通浜線 (運行時間7:30~8:3 0) R02. 10~R03. 9	バス停へ設置していた時刻表の更新を行った。定期路線乗降場 付近住民ヘリーフレットによる周知を行った。	A	C	新型コロナウイルスの影響を受け、利用者が減少した。今後は、利用者 ヘウイルス感染防止対策を実施してもらった上で、利用者の利用状況 や意見等を継続的に検討を行い、ダイヤ等の見直し・検討を行うととも に、利用促進や定着にむけた取組を行っていく。	・評価の指標は、路線定期運行 全体での月間利用者数、区域運 行全体での月間利用者数及び 利用登録者数。 ・リーフレットによる周知やトロ ンバス利用方法等の説明 を実施するなど、利用促進に取 り組まれていることを評価しま す。 ・目標の一部が未達成であるも の、新型コロナウイルス感染 症の影響の中であることを踏ま えれば、一定の評価ができると 考えます。 ・引き続き、協議会が設定する 今後の改善点が着実に解決さ れることを期待します。	
川南町地域公共交通会議	三和交通株式会社	(3)オンデマンド運行:町 内全域 (運行時間8:40~18: 00) R02. 10~ R03. 9	町立小学校(5校)及び川南中央保育所に対し、トロンバス を活用した利用方法等の説明を行った。	A	A	新型コロナウイルスの影響もあったが、利用者が若干増加した。今後 は、利用者ヘウイルス感染防止対策を実施してもらった上で、利用者の 利用状況や意見等を継続的に検討を行い、ダイヤ等の見直し・検討を 行うとともに、利用促進や定着にむけた取組を行っていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
高原町地域公共交通会議	事業者名: 宮交タクシー株式会社	定期路線運行:小久保線 [月・木] 8:30から11:47まで	利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえたダイヤによる運行を継続し、利用者の利便性の向上、定着に努めた。住民に対し、運行状況等の説明、利用の呼びかけを行った。	A	C	<p>コロナ禍の厳しい状況でありながら、令和2年度と比べてA評価の路線が増えており、路線改良の効果が見られるところである。</p> <p>今後も利用状況の把握、利用者や事業者等への意見聴取を継続的にしながら、必要に応じた、ルート・ダイヤ等の見直し、検討を進めていく。</p> <p>また、公共交通に対する町民への関心を高めるため、広報紙への情報掲載(利用実績等)も継続して行っていく。</p> <p>一方で、改良後も効果が見られず、利用者数が著しく低い路線は、事前予約制の導入や休廃止等も含めて運行形態の見直しを検討していくこととする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、各系統ごとの年間利用者数。 ・利用者、事業者への意見聴取内容を踏まえた運行を継続し、利用者の利便性向上に努められたことを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
高原町地域公共交通会議	事業者名: 宮交タクシー株式会社	定期路線運行:後川内線 [火・金・土] 8:15から15:25まで	利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえたダイヤ・ルートによる運行を継続し、利用者の利便性の向上、定着に努めた。住民に対し、運行状況等の説明、利用の呼びかけを行った。	A	A	<p>コロナ禍の厳しい状況でありながら、令和2年度と比べてA評価の路線が増えており、路線改良の効果が見られるところである。</p> <p>今後も利用状況の把握、利用者や事業者等への意見聴取を継続的にしながら、必要に応じた、ルート・ダイヤ等の見直し、検討を進めていく。</p> <p>また、公共交通に対する町民への関心を高めるため、広報紙への情報掲載(利用実績等)も継続して行っていく。</p> <p>一方で、改良後も効果が見られず、利用者数が著しく低い路線は、事前予約制の導入や休廃止等も含めて運行形態の見直しを検討していくこととする。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
高原町地域公共交通会議	事業者名: 宮交タクシー株式会社	定期路線運行:湯之元 蒲牟田線 [水・土] 8:20から11:58まで	利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえたダイヤ・ルートによる運行を継続し、利用者の利便性の向上、定着に努めた。住民に対し、運行状況等の説明、利用の呼びかけを行った。	A	A	<p>コロナ禍の厳しい状況でありながら、令和2年度と比べてA評価の路線が増えており、路線改良の効果が見られるところである。</p> <p>今後も利用状況の把握、利用者や事業者等への意見聴取を継続的にを行いながら、必要に応じた、ルート・ダイヤ等の見直し、検討を進めていく。</p> <p>また、公共交通に対する町民への関心を高めるため、広報紙への情報掲載(利用実績等)も継続して行っていく。</p> <p>一方で、改良後も効果が見られず、利用者数が著しく低い路線は、事前予約制の導入や休廃止等も含めて運行形態の見直しを検討していくこととする。</p>		
高原町地域公共交通会議	事業者名: 宮交タクシー株式会社	不定期路線運行:常盤 台線 [月・木] 8:29から11:43まで	利用者・事業者への意見聴取内容や現状の利用状況を踏まえて、不定期路線として運行を継続した。住民に対し、運行状況等の説明、利用の呼びかけを行った。	A	C	<p>コロナ禍の厳しい状況でありながら、令和2年度と比べてA評価の路線が増えており、路線改良の効果が見られるところである。</p> <p>今後も利用状況の把握、利用者や事業者等への意見聴取を継続的にを行いながら、必要に応じた、ルート・ダイヤ等の見直し、検討を進めていく。</p> <p>また、公共交通に対する町民への関心を高めるため、広報紙への情報掲載(利用実績等)も継続して行っていく。</p> <p>一方で、改良後も効果が見られず、利用者数が著しく低い路線は、事前予約制の導入や休廃止等も含めて運行形態の見直しを検討していくこととする。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
門川町地域公共交通会議	宮崎県タクシー協会 日向支部	①牧山線	<p>門川町役場庁舎の移転と住民からの要望により、停留所を2か所(門川町役場、白石病院)追加した。ただし、運行距離が延びたため委託料が増加した。</p> <p>牧山線における追加便が常に運行されていることを受け、利用時間の分散を計画するため、乗合タクシーに乗車し、乗客への聞き取りを実施した。</p> <p>町の広報誌に、毎月1路線ごとの記事を掲載し、乗合タクシーの周知と利用促進を図った。</p>	A	B	他の路線と比べ利用者が多いが、昨年度より利用者が減少した。新型コロナウイルス感染症の影響もあると思うが、周知活動を積極的にやっていく。	<p>・評価の指標は、各系統の1便当たり利用者数及び各系統の収支率。</p> <p>・町の広報誌に、毎月1路線ごとの記事を掲載し、乗合タクシーの周知と利用促進を図られていることを評価します。</p> <p>・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。</p> <p>・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。</p>	
門川町地域公共交通会議	宮崎県タクシー協会 日向支部	②大迫・庵川線	<p>門川町役場庁舎の移転と住民からの要望により、停留所を2か所(門川町役場、白石病院)追加した。ただし、運行距離が延びたため委託料が増加した。</p> <p>牧山線における追加便が常に運行されていることを受け、利用時間の分散を計画するため、乗合タクシーに乗車し、乗客への聞き取りを実施した。</p> <p>町の広報誌に、毎月1路線ごとの記事を掲載し、乗合タクシーの周知と利用促進を図った。</p>	A	B	利用者が多い便と少ない便が明確に分かれているため、広報誌や地区の回覧板等を活用した周知活動を行い、新規利用者を増やす。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
門川町地域公共交通会議	宮崎県タクシー協会 日向支部	③竹名・中村線	<p>門川町役場庁舎の移転と住民からの要望により、停留所を2か所(門川町役場、白石病院)追加した。ただし、運行距離が延びたため委託料が増加した。</p> <p>牧山線における追加便が常に運行されていることを受け、利用時間の分散を計画するため、乗合タクシーに乗車し、乗客への聞き取りを実施した。</p> <p>町の広報誌に、毎月1路線ごとの記事を掲載し、乗合タクシーの周知と利用促進を図った。</p>	A	B	一定の利用者は定着しているが、新規利用者を増やすため広報誌や地区の回覧板等を活用し、広く周知活動を行う。		
門川町地域公共交通会議	宮崎県タクシー協会 日向支部	④中山・五十鈴線	<p>門川町役場庁舎の移転と住民からの要望により、停留所を2か所(門川町役場、白石病院)追加した。ただし、運行距離が延びたため委託料が増加した。</p> <p>牧山線における追加便が常に運行されていることを受け、利用時間の分散を計画するため、乗合タクシーに乗車し、乗客への聞き取りを実施した。</p> <p>町の広報誌に、毎月1路線ごとの記事を掲載し、乗合タクシーの周知と利用促進を図った。</p>	A	B	10～11月の利用者数は増加していたが、その後の新型コロナの影響により利用数が低迷した。利用者の呼び戻しと新規利用者を増やすための周知活動を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
門川町地域公共交通会議	宮崎県タクシー協会 日向支部	⑤大池・中山線	<p>門川町役場庁舎の移転と住民からの要望により、停留所を2か所(門川町役場、白石病院)追加した。ただし、運行距離が延びたため委託料が増加した。</p> <p>牧山線における追加便が常に運行されていることを受け、利用時間の分散を計画するため、乗合タクシーに乗車し、乗客への聞き取りを実施した。</p> <p>町の広報誌に、毎月1路線ごとの記事を掲載し、乗合タクシーの周知と利用促進を図った。</p>	A	B	10~12月や2月、7月は利用者が増加していたが、新型コロナの影響により、低迷した。利用者の呼び戻しと新規利用者を増やすための周知活動を行う。		
門川町地域公共交通会議	宮崎県タクシー協会 日向支部	⑥本町巡回線	<p>門川町役場庁舎の移転と住民からの要望により、停留所を2か所(門川町役場、白石病院)追加した。ただし、運行距離が延びたため委託料が増加した。</p> <p>牧山線における追加便が常に運行されていることを受け、利用時間の分散を計画するため、乗合タクシーに乗車し、乗客への聞き取りを実施した。</p> <p>町の広報誌に、毎月1路線ごとの記事を掲載し、乗合タクシーの周知と利用促進を図った。</p>	A	B	今年度から路線変更により門川町役場が追加されているが、周知不足のため、広報誌や地区の回覧板を活用し、広く周知活動を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
門川町地域公共交通会議	宮崎県タクシー協会 日向支部	⑦三ヶ瀬線(町内行き コース)	<p>門川町役場庁舎の移転と住民からの要望により、停留所を2か所(門川町役場、白石病院)追加した。ただし、運行距離が延びたため委託料が増加した。</p> <p>牧山線における追加便が常に運行されていることを受け、利用時間の分散を計画するため、乗合タクシーに乗車し、乗客への聞き取りを実施した。</p> <p>町の広報誌に、毎月1路線ごとの記事を掲載し、乗合タクシーの周知と利用促進を図った。</p>	C	C	予約制の路線であり、現状では利用はないが、将来的には利用が見込まれる。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
木城町地域公共交通会議	エムアール交通株式会社	<p>○デマンド型乗合タクシー「あおぼと号」</p> <p>事業者名:エムアール交通株式会社</p> <p>運行区域:木城町全域</p> <p>運行日:月・水・金(祝日及び年末年始運休) ※大字中之又区域については、隔週水曜日</p> <p>運行時間:8時～18時</p> <p>運行車両:セダン型車両</p> <p>運賃:1乗車200円(小学生以下100円、未就学児無料)</p> <p>※令和元年10月～試験運行 令和2年10月～本格運行</p>	<p>※初めての事業評価のため、前回事業評価なし</p> <p>○運行開始にあたっては全町民のニーズ調査を実施し制度設計を行った</p> <p>○町広報誌及びSNS、新聞などのメディア媒体を活用して事業の認知度向上と制度の理解促進を図った</p> <p>○地域の自治会や老人会等の協力を得ながら説明会(制度の周知)等を行った</p> <p>○利用者のアンケートを実施し、利用動向等の調査等を行い、令和2年10月からの本格運行に向けて、利便性の向上を図った(乗降場の追加)</p>	A	B	<p>広報誌やSNS、新聞媒体を活用した広報活動、福祉・交通安全担当部署との連携強化については引き続き実施しながら、高齢者集会等での利用登録推進のための取組を強化する。</p>	<p>・評価の指標は、利用登録者数・実利用者数・月平均利用件数。</p> <p>・町広報誌及びSNS、新聞などのメディア媒体を活用し事業の認知度向上と制度の理解促進を図られていることを評価します。</p> <p>・公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことを評価します。</p> <p>・引き続き、利用者のニーズや利用実態を把握した上で、継続的な協議が進められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
木城町地域公共交通会議	エムアール交通株式会社	<p>○デマンド型乗合タクシー「あおぼと号」</p> <p>事業者名:エムアール交通株式会社</p> <p>運行区域:木城町全域</p> <p>運行日:月・水・金(祝日及び年末年始運休) ※大字中之又区域については、隔週水曜日</p> <p>運行時間:8時～18時</p> <p>運行車両:セダン型車両</p> <p>運賃:1乗車200円(小学生以下100円、未就学児無料)</p> <p>※令和元年10月～試験運行 令和2年10月～本格運行</p>	<p>※初めての事業評価のため、前回事業評価なし</p> <p>○運行開始にあたっては全町民のニーズ調査を実施し制度設計を行った</p> <p>○町広報誌及びSNS、新聞などのメディア媒体を活用して事業の認知度向上と制度の理解促進を図った</p> <p>○地域の自治会や老人会等の協力を得ながら説明会(制度の周知)等を行った</p> <p>○利用者のアンケートを実施し、利用動向等の調査等を行い、令和2年10月からの本格運行に向けて、利便性の向上を図った(乗降場の追加)</p>	A	A	<p>利用登録者(実利用者含む)を対象に、アンケート等を実施し利用促進に向けたニーズの把握を行う。</p> <p>比較的利用の少ない午後の便について、小学生などの利用促進を図るなど制度の利用を全世代に広く周知を行う。</p> <p>中之又地区については、利用頻度低いため、系統としての存続の可否と併せて、他の支援方法についても検討する必要がある。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
木城町地域公共交通会議	エムアール交通株式会社	<p>○デマンド型乗合タクシー「あおぼと号」</p> <p>事業者名:エムアール交通株式会社</p> <p>運行区域:木城町全域</p> <p>運行日:月・水・金(祝日及び年末年始運休) ※大学中之又区域については、隔週水曜日</p> <p>運行時間:8時～18時</p> <p>運行車両:セダン型車両</p> <p>運賃:1乗車200円(小学生以下100円、未就学児無料)</p> <p>※令和元年10月～試験運行 令和2年10月～本格運行</p>	<p>※初めての事業評価のため、前回事業評価なし</p> <p>○運行開始にあたっては全町民のニーズ調査を実施し制度設計を行った</p> <p>○町広報誌及びSNS、新聞などのメディア媒体を活用して事業の認知度向上と制度の理解促進を図った</p> <p>○地域の自治会や老人会等の協力を得ながら説明会(制度の周知)等を行った</p> <p>○利用者のアンケートを実施し、利用動向等の調査等を行い、令和2年10月からの本格運行に向けて、利便性の向上を図った(乗降場の追加)</p>	A	A	<p>利用登録者(実利用者含む)を対象に、アンケート等を実施し利用促進に向けたニーズの把握を行う。</p> <p>比較的利用の少ない午後の便について、小学生などの利用促進を図るなど制度の利用を全世代に広く周知を行う。</p> <p>中之又地区については、利用頻度低いため、系統としての存続の可否と併せて、他の支援方法についても検討する必要がある。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
串間市地域公共交通会議	串間市	①道の駅くしま～北方～ニシムタ～市役所～、道の駅くしま ②道の駅くしま～ニシムタ～串間保育園～道の駅くしま ③道の駅くしま～マリンタウン1～マリンタウン2～市役所～道の駅くしま ④道の駅くしま～マリンタウン1～マリンタウン2～イルカランド～道の駅くしま ⑤道の駅くしま～マリンタウン1～マリンタウン2～市役所～串間保育園～道の駅くしま ⑥道の駅くしま～イルカランド ⑦道の駅くしま～有明～イルカランド ⑧道の駅くしま～上田口～古竹 ⑨道の駅くしま～上田口～奴久見～古竹 ⑩道の駅くしま～市役所～下平～都井岬 ⑪道の駅くしま～黒仁田～黒井～名谷 ⑫道の駅くしま～名谷 ⑬道の駅くしま～谷ノ口～鶴取 ⑭道の駅くしま～霧島～射場地野 ⑮道の駅くしま～射場地野 ⑯道の駅くしま～徳間～仲別府～奈留 ⑰道の駅くしま～奈留 ⑱道の駅くしま～三幸ヶ野～上大矢取 ⑲道の駅くしま～上大矢取 ⑳道の駅くしま～胡絨ヶ野～大平 ㉑道の駅くしま～中千野～串間温泉～永田 ㉒串間駅～永田 ㉓道の駅くしま～吾社～串間温泉～上運保ヶ野 ㉔串間駅～上運保ヶ野 ㉕道の駅くしま～幸島～藤公民館 ㉖串間駅～郡司部～幸島 ㉗道の駅くしま～串間温泉～郡司部～幸島 ㉘道の駅くしま～串間温泉～幸島	-	A	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による新しい生活様式の標準化等を鑑み、利用者の目標値を見直すとともに、乗り込みアンケート等を通じて利用者ニーズを把握し、適宜ダイヤを改正する等、利便性の向上に努める必要がある。 また、高低差等の地理的要因により実質的な交通不便地域が多く存在する大東地区において、地元タクシー事業者と連携したデマンド型運行への転換も検討する必要がある。	・評価の指標は、年間利用者数。 ・外出行動に適した運行ダイヤへの改善、鉄道とよかバスとの接続性の確保など、利用促進に取り組まれていることを評価します。 ・目標が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
薩摩川内市地域公共交通 活性化協議会	南国交通(株) 鹿児島交通(株)	祁答院～川内駅 (東郷・祁答院コース) (市内横断シャトルバス)	<ul style="list-style-type: none"> 各地区コミュニティセンターや公共施設へバスの時刻表等を設置、市HPへの時刻表の掲載によりコミュニティ交通の利用を促した。 市HP等で各種割引制度、バス乗車ICカードの案内を行い、周知・利用促進を図った。 公共交通等感染防止対策支援事業を実施し交通事業者等の安全な運行を促した。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 市HP等で各種割引制度や路線紹介等の利用啓発・利用促進に努める。 各地区コミュニティセンターや公共施設等へのバス時刻表の設置を継続し、コミュニティ交通の積極的な利用を促す。 路線の固有の施策が見いだせるよう、地域での意見交換会や、出前講座の実施に努める。 量的目標の設定については人口減少のみならず、新型コロナウイルス感染症による減少を踏まえたものの設定に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価の指標は、路線別の1便あたりの利用者数。 市HP等へ時刻表・各種割引制度・バス乗車ICカードの案内を行いコミュニティ交通の利用促進を図られたことを評価します。 目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
薩摩川内市地域公共交通 活性化協議会	鹿児島交通(株)	外輪山北口～川内駅 (樋脇・入来コース) (市内横断シャトルバス)	<ul style="list-style-type: none"> 各地区コミュニティセンターや公共施設へバスの時刻表等を設置、市HPへの時刻表の掲載によりコミュニティ交通の利用を促した。 市HP等で各種割引制度、バス乗車ICカードの案内を行い、周知・利用促進を図った。 公共交通等感染防止対策支援事業を実施し交通事業者等の安全な運行を促した。 	A	C	<ul style="list-style-type: none"> 市HP等で各種割引制度や路線紹介等の利用啓発・利用促進に努める。 各地区コミュニティセンターや公共施設等、観光物産協会等へのバス時刻表の設置を継続し、地域住民だけでなく来薩武家屋敷群等の景勝地への観光客の利用回復を目指す。 路線の固有の施策が見いだせるよう、地域での意見交換会や、出前講座の実施に努める。 量的目標の設定については人口減少のみならず、新型コロナウイルス感染症による減少を踏まえたものの設定に努める。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
薩摩川内市地域公共交通 活性化協議会	南国交通(株)	湯田・西方循環線 (西回り) (北部循環バス)	<ul style="list-style-type: none"> 各地区コミュニティセンターや公共施設へバスの時刻表等を設置、市HPへの時刻表の掲載によりコミュニティ交通の利用を促した。 市HP等で各種割引制度、バス乗車ICカードの案内を行い、周知・利用促進を図った。 公共交通等感染防止対策支援事業を実施し交通事業者等の安全な運行を促した。 	A	C	<ul style="list-style-type: none"> 市HP等で各種割引制度や路線紹介等の利用啓発・利用促進に努める。 各地区コミュニティセンターや公共施設等、観光物産協会等へのバス時刻表の設置を継続し、地域住民だけでなく川内高城温泉等への観光客の利用回復を目指す。 路線の固有の施策が見いだせるよう、地域での意見交換会や、出前講座の実施に努める。 量的目標の設定については人口減少のみならず、新型コロナウイルス感染症による減少を踏まえたもの設定に努める。 		
薩摩川内市地域公共交通 活性化協議会	南国交通(株)	湯田・西方循環線 (東回り) (北部循環バス)	<ul style="list-style-type: none"> 各地区コミュニティセンターや公共施設へバスの時刻表等を設置、市HPへの時刻表の掲載によりコミュニティ交通の利用を促した。 市HP等で各種割引制度、バス乗車ICカードの案内を行い、周知・利用促進を図った。 公共交通等感染防止対策支援事業を実施し交通事業者等の安全な運行を促した。 	A	C	<ul style="list-style-type: none"> 市HP等で各種割引制度や路線紹介等の利用啓発・利用促進に努める。 各地区コミュニティセンターや公共施設等、観光物産協会等へのバス時刻表の設置を継続し、地域住民だけでなく川内高城温泉等への観光客の利用回復を目指す。 路線の固有の施策が見いだせるよう、地域での意見交換会や、出前講座の実施に努める。 量的目標の設定については人口減少のみならず、新型コロナウイルス感染症による減少を踏まえたもの設定に努める。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
薩摩川内市地域公共交通 活性化協議会	南国交通(株)	城上・吉川循環線 (西回り) (北部循環バス)	<ul style="list-style-type: none"> 各地区コミュニティセンターや公共施設へバスの時刻表等を設置、市HPへの時刻表の掲載によりコミュニティ交通の利用を促した。 市HP等で各種割引制度、バス乗車ICカードの案内を行い、周知・利用促進を図った。 公共交通等感染防止対策支援事業を実施し交通事業者等の安全な運行を促した。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 市HP等で各種割引制度や路線紹介等の利用啓発・利用促進に努める。 各地区コミュニティセンターや公共施設等へのバス時刻表の設置を継続し、コミュニティ交通の積極的な利用を促す。 路線の固有の施策が見いだせるよう、地域での意見交換会や、出前講座の実施に努める。 量的目標の設定については人口減少のみならず、新型コロナウイルス感染症による減少を踏まえたもの設定に努める。 		
薩摩川内市地域公共交通 活性化協議会	南国交通(株)	城上・吉川循環線 (東回り) (北部循環バス)	<ul style="list-style-type: none"> 各地区コミュニティセンターや公共施設へバスの時刻表等を設置、市HPへの時刻表の掲載によりコミュニティ交通の利用を促した。 市HP等で各種割引制度、バス乗車ICカードの案内を行い、周知・利用促進を図った。 公共交通等感染防止対策支援事業を実施し交通事業者等の安全な運行を促した。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 市HP等で各種割引制度や路線紹介等の利用啓発・利用促進に努める。 各地区コミュニティセンターや公共施設等へのバス時刻表の設置を継続し、コミュニティ交通の積極的な利用を促す。 路線の固有の施策が見いだせるよう、地域での意見交換会や、出前講座の実施に努める。 量的目標の設定については人口減少のみならず、新型コロナウイルス感染症による減少を踏まえたもの設定に努める。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
薩摩川内市地域公共交通 活性化協議会	南国交通(株)	川内駅～川内港ターミナル(国道回り) (川内港シャトルバス)	<ul style="list-style-type: none"> ・市HP等で各種割引制度、バス乗車ICカードの案内を行い、周知・利用促進を図った。 ・甌島地域コミュニティ交通時刻表や甌島航路時刻表、観光パンフレットにシャトルバスの情報を掲載しており、他機関と連携して観光客等に周知・利用促進を行った。 ・川内港シャトルバスと高速船甌島のダイヤ等についてGTFS-JPの作成及び経路検索事業者へのデータ提供を引き続き実施した。 	A	C	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、他の交通機関との接続を考慮し、経路検索事業者へのデータ提供を行う。 ・他機関と連携し、甌島航路時刻表や観光パンフレット等にシャトルバスの情報を掲載してもらい、観光客及び地域住民へ周知・利用促進に努める。 ・路線の固有の施策が見いだせるよう、地域での意見交換会や、出前講座の実施に努める。 ・量的目標の設定については人口減少のみならず、新型コロナウイルス感染症による減少を踏まえたもの設定に努める。 		
薩摩川内市地域公共交通 活性化協議会	南国交通(株)	川内駅～川内港ターミナル(県道回り) (川内港シャトルバス)	<ul style="list-style-type: none"> ・市HP等で各種割引制度、バス乗車ICカードの案内を行い、周知・利用促進を図った。 ・甌島地域コミュニティ交通時刻表や甌島航路時刻表、観光パンフレットにシャトルバスの情報を掲載しており、他機関と連携して観光客等に周知・利用促進を行った。 ・川内港シャトルバスと高速船甌島のダイヤ等についてGTFS-JPの作成及び経路検索事業者へのデータ提供を引き続き実施した。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、他の交通機関との接続を考慮し、経路検索事業者へのデータ提供を行う。 ・他機関と連携し、甌島航路時刻表や観光パンフレット等にシャトルバスの情報を掲載してもらい、観光客及び地域住民へ周知・利用促進に努める。 ・路線の固有の施策が見いだせるよう、地域での意見交換会や、出前講座の実施に努める。 ・量的目標の設定については人口減少のみならず、新型コロナウイルス感染症による減少を踏まえたもの設定に努める。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
霧島市地域公共交通会議	南国交通株式会社	(1) 竹子・三縄・横川線	<p>①住民座談会を開催し、霧島市の公共交通の現状等の情報共有や、地域における公共交通のあり方等についての意見交換を行った。</p> <p>②地域の方の要望に応じ、運行ルートや時刻の一部変更を行った。</p>	A	A	<p>■霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 ①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用</p> <p>②出前講座や住民座談会等を通じて、利用促進の働きかけを行う。</p> <p>③地域の方の要望に応じ、「私の時刻表(依頼のあった方の自宅から、普段よく行く場所までのバス時刻表)」を随時作成し、提供する。</p> <p>④地域の方の要望に応じ、随時、運行ルートの変更等を行う。</p> <p>⑤利用者数が少なく、今後も改善が見込めないバス路線については、デマンド交通などの他の移動手段への移行について検討する。</p>	<p>・評価の指標は、1便あたりの乗車人数、年間利用者数。 ・住民座談会の開催や地域の要望に応える運行計画の変更など、利用促進に取り組みされていることを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。</p>	
霧島市地域公共交通会議	南国交通株式会社	(2) 麓線	<p>①住民座談会を開催し、霧島市の公共交通の現状等の情報共有や、地域における公共交通のあり方等についての意見交換を行った。</p> <p>②地域の方の要望に応じ、運行ルートや時刻の一部変更を行った。</p>	A	C	<p>■霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 ①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用</p> <p>②出前講座や住民座談会等を通じて、利用促進の働きかけを行う。</p> <p>③地域の方の要望に応じ、「私の時刻表(依頼のあった方の自宅から、普段よく行く場所までのバス時刻表)」を随時作成し、提供する。</p> <p>④地域の方の要望に応じ、随時、運行ルートの変更等を行う。</p> <p>⑤利用者数が少なく、今後も改善が見込めないバス路線については、デマンド交通などの他の移動手段への移行について検討する。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
霧島市地域公共交通会議	南国交通株式会社	(3)空港崎森線	①住民座談会を開催し、霧島市の公共交通の現状等の情報共有や、地域における公共交通のあり方等についての意見交換を行った。 ②地域の方の要望に応じ、運行ルートや時刻の一部変更を行った。	A	C	<p>■霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 ①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用</p> <p>②出前講座や住民座談会等を通じて、利用促進の働きかけを行う。</p> <p>③地域の方の要望に応じ、「私の時刻表(依頼のあった方の自宅から、普段よく行く場所までのバス時刻表)」を随時作成し、提供する。</p> <p>④地域の方の要望に応じ、随時、運行ルートの変更等を行う。</p> <p>⑤利用者数が少なく、今後も改善が見込めないバス路線については、デマンド交通などの他の移動手段への移行について検討する。</p>		
霧島市地域公共交通会議	鹿児島交通株式会社	牧園地区におけるふれあいバスの運行 (1)霧島牧園線	①住民座談会を開催し、霧島市の公共交通の現状等の情報共有や、地域における公共交通のあり方等についての意見交換を行った。 ②地域の方の要望に応じ、運行ルートや時刻の一部変更を行った。	A	C	<p>■霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 ①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用</p> <p>②出前講座や住民座談会等を通じて、利用促進の働きかけを行う。</p> <p>③地域の方の要望に応じ、「私の時刻表(依頼のあった方の自宅から、普段よく行く場所までのバス時刻表)」を随時作成し、提供する。</p> <p>④地域の方の要望に応じ、随時、運行ルートの変更等を行う。</p> <p>⑤利用者数が少なく、今後も改善が見込めないバス路線については、デマンド交通などの他の移動手段への移行について検討する。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
霧島市地域公共交通会議	鹿児島交通株式会社	(1)福沢線	<p>①住民座談会を開催し、霧島市の公共交通の現状等の情報共有や、地域における公共交通のあり方等についての意見交換を行った。</p> <p>②地域の方の要望に応じ、運行ルートや時刻の一部変更を行った。</p>	A	C	<p>■霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 ①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用</p> <p>②出前講座や住民座談会等を通じて、利用促進の働きかけを行う。</p> <p>③地域の方の要望に応じ、「私の時刻表(依頼のあった方の自宅から、普段よく行く場所までのバス時刻表)」を随時作成し、提供する。</p> <p>④地域の方の要望に応じ、随時、運行ルートの変更等を行う。</p> <p>⑤利用者が少なく、今後も改善が見込めないバス路線については、デマンド交通などの他の移動手段への移行について検討する。</p>		
霧島市地域公共交通会議	鹿児島交通株式会社	(2)福地・池之谷線	<p>①住民座談会を開催し、霧島市の公共交通の現状等の情報共有や、地域における公共交通のあり方等についての意見交換を行った。</p> <p>②地域の方の要望に応じ、運行ルートや時刻の一部変更を行った。</p>	A	C	<p>■霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 ①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用</p> <p>②出前講座や住民座談会等を通じて、利用促進の働きかけを行う。</p> <p>③地域の方の要望に応じ、「私の時刻表(依頼のあった方の自宅から、普段よく行く場所までのバス時刻表)」を随時作成し、提供する。</p> <p>④地域の方の要望に応じ、随時、運行ルートの変更等を行う。</p> <p>⑤利用者が少なく、今後も改善が見込めないバス路線については、デマンド交通などの他の移動手段への移行について検討する。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
霧島市地域公共交通会議	鹿児島交通株式会社	(3)比曾木野線	①住民座談会を開催し、霧島市の公共交通の現状等の情報共有や、地域における公共交通のあり方等についての意見交換を行った。 ②地域の方の要望に応じ、運行ルートや時刻の一部変更を行った。	A	A	<p>■霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 ①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用</p> <p>②出前講座や住民座談会等を通じて、利用促進の働きかけを行う。</p> <p>③地域の方の要望に応じ、「私の時刻表(依頼のあった方の自宅から、普段よく行く場所までのバス時刻表)」を随時作成し、提供する。</p> <p>④地域の方の要望に応じ、随時、運行ルートの変更等を行う。</p> <p>⑤利用者数が少なく、今後も改善が見込めないバス路線については、デマンド交通などの他の移動手段への移行について検討する。</p>		
霧島市地域公共交通会議	鹿児島交通株式会社	(4)福地線(スクール対応)登校便	①住民座談会を開催し、霧島市の公共交通の現状等の情報共有や、地域における公共交通のあり方等についての意見交換を行った。 ②地域の方の要望に応じ、運行ルートや時刻の一部変更を行った。	A	A	<p>■霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 ①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用</p> <p>②出前講座や住民座談会等を通じて、利用促進の働きかけを行う。</p> <p>③地域の方の要望に応じ、「私の時刻表(依頼のあった方の自宅から、普段よく行く場所までのバス時刻表)」を随時作成し、提供する。</p> <p>④地域の方の要望に応じ、随時、運行ルートの変更等を行う。</p> <p>⑤利用者数が少なく、今後も改善が見込めないバス路線については、デマンド交通などの他の移動手段への移行について検討する。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
霧島市地域公共交通会議	鹿児島交通株式会社	(5)福地線(スクール対応)下校便	①住民座談会を開催し、霧島市の公共交通の現状等の情報共有や、地域における公共交通のあり方等についての意見交換を行った。 ②地域の方の要望に応じ、運行ルートや時刻の一部変更を行った。	A	C	■霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。 ■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 ①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用 ②出前講座や住民座談会等を通じて、利用促進の働きかけを行う。 ③地域の方の要望に応じ、「私の時刻表(依頼のあった方の自宅から、普段よく行く場所までのバス時刻表)」を随時作成し、提供する。 ④地域の方の要望に応じ、随時、運行ルートの変更等を行う。 ⑤利用者が少なく、今後も改善が見込めないバス路線については、デマンド交通などの他の移動手段への移行について検討する。		
霧島市地域公共交通会議	鹿児島交通株式会社	(6)福沢線(スクール対応)登校便	①住民座談会を開催し、霧島市の公共交通の現状等の情報共有や、地域における公共交通のあり方等についての意見交換を行った。 ②地域の方の要望に応じ、運行ルートや時刻の一部変更を行った。	A	C	■霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。 ■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 ①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用 ②出前講座や住民座談会等を通じて、利用促進の働きかけを行う。 ③地域の方の要望に応じ、「私の時刻表(依頼のあった方の自宅から、普段よく行く場所までのバス時刻表)」を随時作成し、提供する。 ④地域の方の要望に応じ、随時、運行ルートの変更等を行う。 ⑤利用者が少なく、今後も改善が見込めないバス路線については、デマンド交通などの他の移動手段への移行について検討する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
霧島市地域公共交通会議	鹿児島交通株式会社	(7)福沢線(スクール対応)下校便	<p>①住民座談会を開催し、霧島市の公共交通の現状等の情報共有や、地域における公共交通のあり方等についての意見交換を行った。</p> <p>②地域の方の要望に応じ、運行ルートや時刻の一部変更を行った。</p>	A	A	<p>■霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 ①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用</p> <p>②出前講座や住民座談会等を通じて、利用促進の働きかけを行う。</p> <p>③地域の方の要望に応じ、「私の時刻表(依頼のあった方の自宅から、普段よく行く場所までのバス時刻表)」を随時作成し、提供する。</p> <p>④地域の方の要望に応じ、随時、運行ルートの変更等を行う。</p> <p>⑤利用者が少なく、今後も改善が見込めないバス路線については、デマンド交通などの他の移動手段への移行について検討する。</p>		
霧島市地域公共交通会議	株式会社有村観光	霧島地区永水・向田地域におけるデマンド交通の運行 (1)永水・向田線	<p>①住民座談会を開催し、霧島市の公共交通の現状等の情報共有や、地域における公共交通のあり方等についての意見交換を行った。</p> <p>②地域の方の要望に応じ、運行ルートや時刻の一部変更を行った。</p>	A	A	<p>■霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 ①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用</p> <p>②出前講座や住民座談会等を通じて、利用促進の働きかけを行う。</p> <p>③地域の方の要望に応じ、「私の時刻表(依頼のあった方の自宅から、普段よく行く場所までのバス時刻表)」を随時作成し、提供する。</p> <p>④地域の方の要望に応じ、随時、運行ルートの変更等を行う。</p> <p>⑤利用者が少なく、今後も改善が見込めないバス路線については、デマンド交通などの他の移動手段への移行について検討する。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
霧島市地域公共交通会議	有限会社中村タクシー	(1)佳例川線	<p>①住民座談会を開催し、霧島市の公共交通の現状等の情報共有や、地域における公共交通のあり方等についての意見交換を行った。</p> <p>②地域の方の要望に応じ、運行ルートや時刻の一部変更を行った。</p>	A	C	<p>■霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 ①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用</p> <p>②出前講座や住民座談会等を通じて、利用促進の働きかけを行う。</p> <p>③地域の方の要望に応じ、「私の時刻表(依頼のあった方の自宅から、普段よく行く場所までのバス時刻表)」を随時作成し、提供する。</p> <p>④地域の方の要望に応じ、随時、運行ルートの変更等を行う。</p> <p>⑤利用者数が少なく、今後も改善が見込めないバス路線については、デマンド交通などの他の移動手段への移行について検討する。</p>		
霧島市地域公共交通会議	有限会社中村タクシー	(2)福山線	<p>①住民座談会を開催し、霧島市の公共交通の現状等の情報共有や、地域における公共交通のあり方等についての意見交換を行った。</p> <p>②地域の方の要望に応じ、運行ルートや時刻の一部変更を行った。</p>	A	C	<p>■霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 ①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用</p> <p>②出前講座や住民座談会等を通じて、利用促進の働きかけを行う。</p> <p>③地域の方の要望に応じ、「私の時刻表(依頼のあった方の自宅から、普段よく行く場所までのバス時刻表)」を随時作成し、提供する。</p> <p>④地域の方の要望に応じ、随時、運行ルートの変更等を行う。</p> <p>⑤利用者数が少なく、今後も改善が見込めないバス路線については、デマンド交通などの他の移動手段への移行について検討する。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
霧島市地域公共交通会議	第一交通株式会社	霧島地区狭名田・野上 地域におけるデマンド交 通の運行 (1)狭名田・野上線	①住民座談会を開催し、霧島市の公共交通の現状等の情報共有 や、地域における公共交通のあり方等についての意見交換を 行った。 ②地域の方の要望に応じ、運行ルートや時刻の一部変更を行っ た。	A	A	<p>■霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、目標達成に向けたマネ ジメントの強化を図る。</p> <p>■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 ①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用 ②出前講座や住民座談会等を通じて、利用促進の働きかけを行う。 ③地域の方の要望に応じ、「私の時刻表(依頼のあった方の自宅から、 普段よく行く場所までのバス時刻表)」を随時作成し、提供する。 ④地域の方の要望に応じ、随時、運行ルートの変更等を行う。 ⑤利用者が少なく、今後も改善が見込めないバス路線については、 デマンド交通などの他の移動手段への移行について検討する。</p>		
霧島市地域公共交通会議	旭交通株式会社	福山地区福沢地域にお けるデマンド交通の運行 (1)福沢線	①住民座談会を開催し、霧島市の公共交通の現状等の情報共有 や、地域における公共交通のあり方等についての意見交換を 行った。 ②地域の方の要望に応じ、運行ルートや時刻の一部変更を行っ た。	A	C	<p>■霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、目標達成に向けたマネ ジメントの強化を図る。</p> <p>■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 ①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用 ②出前講座や住民座談会等を通じて、利用促進の働きかけを行う。 ③地域の方の要望に応じ、「私の時刻表(依頼のあった方の自宅から、 普段よく行く場所までのバス時刻表)」を随時作成し、提供する。 ④地域の方の要望に応じ、随時、運行ルートの変更等を行う。 ⑤利用者が少なく、今後も改善が見込めないバス路線については、 デマンド交通などの他の移動手段への移行について検討する。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
霧島市地域公共交通会議	株式会社タクシー国際	横川地区山ノ口・今村植村地域におけるデマンド交通の運行 (1)山ノ口・今村植村線	①住民座談会を開催し、霧島市の公共交通の現状等の情報共有や、地域における公共交通のあり方等についての意見交換を行った。 ②地域の方の要望に応じ、運行ルートや時刻の一部変更を行った。	A	C	<p>■霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 ①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用</p> <p>②出前講座や住民座談会等を通じて、利用促進の働きかけを行う。</p> <p>③地域の方の要望に応じ、「私の時刻表(依頼のあった方の自宅から、普段よく行く場所までのバス時刻表)」を随時作成し、提供する。</p> <p>④地域の方の要望に応じ、随時、運行ルートの変更等を行う。</p> <p>⑤利用者が少なく、今後も改善が見込めないバス路線については、デマンド交通などの他の移動手段への移行について検討する。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿児島市地域公共交通会議	鹿児島交通(株)	谷山地域あいばすの運行	<ul style="list-style-type: none"> 市ホームページ等により、引き続き、運行ルートやダイヤ等についての周知広報を行っている。 路線沿線の町内会に対し、誰でも利用できることなどを記載した利用案内チラシの回覧を実施した。 ツイッターやフェイスブックを利用し、利用促進のための広報を行った。 地域の利用者等から寄せられた意見や要望については、現場確認や事業者との情報共有を行い、運行計画見直しを検討した。(なお、令和4年3月1日付けで、利用者等からの意見や要望を反映した運行計画を実施することとしている。) 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き地域の利用者の意見や要望を聞きながら、需要に応じた運行計画づくりに努める。 潜在的な利用者の掘り起こしのための分かりやすい情報提供に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価の指標は、路線別の1日あたりの利用者数。 市HP等により運行計画について周知広報を行い、利用促進に取り組まれていることを評価します。 公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことを評価します。 引き続き、利用者のニーズや利用実態を把握した上で、継続的な協議が進められることを期待します。 	
鹿児島市地域公共交通会議	鹿児島交通(株)	喜入地域あいばすの運行	<ul style="list-style-type: none"> 市ホームページ等により、引き続き、運行ルートやダイヤ等についての周知広報を行っている。 路線沿線の町内会に対し、誰でも利用できることなどを記載した利用案内チラシの回覧を実施した。 ツイッターやフェイスブックを利用し、利用促進のための広報を行った。 地域の利用者等から寄せられた意見や要望については、現場確認や事業者との情報共有を行い、運行計画見直しを検討した。(なお、令和4年2月1日付けで、利用者等からの意見や要望を反映した運行計画を実施することとしている。) 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き地域の利用者の意見や要望を聞きながら、需要に応じた運行計画づくりに努める。 潜在的な利用者の掘り起こしのための分かりやすい情報提供に努める。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通株式会社	平山線 浜田入口～河内温泉間の運行	町広報紙や町ホームページ、公共施設等での周知や情報提供を行った。 また、各地区の地域支え合い推進委員へ無料券申請書の受付業務の協力を依頼した。	A	A	町広報紙や町ホームページ、公共施設等での周知に加え、各地区地域支え合い推進委員へ周知の協力を依頼し、新規利用者確保に向けた取り組みを進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、路線別の年間利用者数。 ・町広報紙やホームページ、公共施設等で周知や情報提供を実施し、利用促進に取り組まれていることを評価します。 ・新型コロナウイルス感染症の影響が目標を大きく下回った原因とされていることから、その後を見据えた対策が検討されることを期待します。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通株式会社	釜永線 Aコープ前～河内温泉間の運行	町広報紙や町ホームページ、公共施設等での周知や情報提供を行った。 また、各地区の地域支え合い推進委員へ無料券申請書の受付業務の協力を依頼した。	A	C	町広報紙や町ホームページ、公共施設等での周知に加え、各地区地域支え合い推進委員へ周知の協力を依頼し、新規利用者確保に向けた取り組みを進める。		
南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通株式会社	西之線 役場～河内温泉間の運行	町広報紙や町ホームページ、公共施設等での周知や情報提供を行った。 また、各地区の地域支え合い推進委員へ無料券申請書の受付業務の協力を依頼した。	A	C	町広報紙や町ホームページ、公共施設等での周知に加え、各地区地域支え合い推進委員へ周知の協力を依頼し、新規利用者確保に向けた取り組みを進める。		
南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通株式会社	島間線 牛野～河内温泉間の運行	町広報紙や町ホームページ、公共施設等での周知や情報提供を行った。 また、各地区の地域支え合い推進委員へ無料券申請書の受付業務の協力を依頼した。	A	C	町広報紙や町ホームページ、公共施設等での周知に加え、各地区地域支え合い推進委員へ周知の協力を依頼し、新規利用者確保に向けた取り組みを進める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 拠点間バス	拠点間バス 瀬娃・川辺線 (瀬娃～霜出～川辺)	市ホームページや広報紙等で周知を行ったほか、市の事業における移動手段としての周知を図った。また、利用者に対するアンケート調査を行った。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、2便(8:24 川辺文化会館発)の利用が少ないなど、便ごとに利用状況が異なることから、それを精査し、必要に応じて運行計画の変更を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、系統ごとの1便あたりの平均乗車人数。 ・市ホームページや広報紙等での周知のほか、利用者アンケートを実施するなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 拠点間バス	拠点間バス 番所鼻公園・知覧線 (番所鼻公園～霜出～知覧)	市ホームページや広報紙等で周知を行ったほか、市の事業における移動手段としての周知を図った。また、利用者に対するアンケート調査を行った。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、2便(8:31 知覧発)の利用が少ないなど、便ごとに利用状況が異なることから、それを精査し、必要に応じて運行計画の変更を検討する。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	川辺系統①瀬戸山・下里線 (瀬戸山～下里～文化会館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	川辺系統⑥東木場・大久保線 (屋敷平～本別府大久保～文化会館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	川辺系統⑦田の頭・勝目西線 (田の頭～勝目西～文化会館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	川辺系統⑧君野・下山田東線 (君野西～大山入口～文化会館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	川辺系統⑨打木谷・大谷線 (打木谷～上之口～文化会館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	川辺系統⑭市街地周回線 (文化会館～病院前～文化会館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査等を基にニーズの高い場所をルートに加える等の変更を検討する。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	知覧系統②後岳・手藁線 (栢川三叉路～市役所～保健センター)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	知覧系統⑧加治佐・松村線 加治佐～保健センター～知覧)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画の見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	川辺系統②市崎野・野間大久保線 (市崎野～横手町～文化会館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、対象地域住民への広報周知を強化して、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	川辺系統③八瀬尾・野崎線 (滝の前～野崎公民館～文化会館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	川辺系統④山添・六丁線 (山添～平山六丁～文化会館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	川辺系統⑤西の原・高田線 (西の原～高田下～文化会館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	川辺系統⑩馬立・神殿線 (火之河原～中服良～文化会館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	川辺系統⑪松尾城・野間里線 (松尾城橋～野間里～文化会館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	川辺系統⑫荒多・越原線 (荒田～越原～文化会館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画の見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	川辺系統⑬本別府・宮線 (川原～宮～文化会館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	知覧系統①木床・上郡 上線 (木床～上郡上～保健セ ンター)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	A	今後も継続した運行を行うと共に、広報周知を進め、更なる新規利用者の掘り起こしを図る。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	知覧系統③厚地・河上 線 (寺園～河上～保健セ ンター)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	知覧系統④下郡・打出 口線 (小金園～打越～保健セ ンター)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	知覧系統⑤峯苦・平久 保線 (峯苦～平久保～知覧)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	知覧系統⑥二ツ谷・堤之 原線 (二ツ谷～堤之原～知 覧)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	C	今後も継続した運行を行うと共に、対象地域住民への広報周知を強化して、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	知覧系統⑦高星・林川 線 (高星～林川～知覧)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	知覧系統⑨飯野・横峯 線 (高吉～中福良～知覧)	数年に渡り利用が少ない状況であったため、令和3年10月より、自宅と市街地バス停間を運行する予約型乗合タクシーへ変更した。	A	B	令和3年10月より予約型乗合タクシーへ変更しており、対象地域への広報周知を進めるとともに、運行計画の更なる見直し等を検討し、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	知覧系統⑩大隣・松久 保線 (大隣南～松久保～霜 上げんき館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	知覧系統⑪竹迫・立山 線 (竹迫北～立山～霜出 げんき館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、地域住民への広報周知や、アンケート等によるニーズ調査を行い、必要に応じた見直しを検討する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	知覧系統⑭中渡瀬・木原線 (中渡瀬～上木原～松山)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	現在の運行が、住民のニーズに適していないことが考えられるため、運行形態やルート等の見直しを検討する。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通 生活交通バス	顛娃系統②浦芝原・麓線 (浦芝原～麓南～顛娃図書館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	現在の運行が住民のニーズに適していないことが考えられるため、運行形態やルート等の見直しを検討する。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通 生活交通バス	顛娃系統④佃・奥園線 (佃～奥園～顛娃図書館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通 生活交通バス	顛娃系統⑥矢越・山下線 (矢越～御領山下～顛娃図書館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	広報周知を進めるとともに、運行計画の見直しを行うなどの利便性向上を検討して、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通 生活交通バス	顛娃系統⑦蓮子・水成川線 (蓮子～水成川～顛娃図書館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通 生活交通バス	顛娃系統⑧青戸・福留線 (青戸農村公園～福留～顛娃図書館)	数年に渡り利用が少ない状況であったため、令和3年10月より、自宅と市街地バス停間を運行する予約型乗合タクシーへ変更した。	A	B	令和3年10月より予約型乗合タクシーへ変更しており、対象地域への広報周知を進めるとともに、運行計画の更なる見直し等も検討し、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通 生活交通バス	顛娃系統⑨源川・小原線 (加治佐～小原～顛娃図書館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	A	今後も継続した運行を行うと共に、沿線でも利用のない地域もあることから広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通 生活交通バス	顛娃系統⑩曲谷・赤崎線 (曲谷～赤崎～顛娃図書館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通 生活交通バス	顛娃系統⑪種子尾・一氏線 (種子尾～一氏～顛娃図書館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通生活交通バス	顕娃系統⑮永谷・粟ヶ窪線(永谷～粟ヶ窪～アグリ温泉)	アグリ温泉の休館により利用がない状況であったことから、令和3年9月末で廃止とした。	A	C	令和3年9月末をもって廃止した。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通生活交通バス	顕娃系統⑯源川・耳原線(加治佐～耳原～別府温泉)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通生活交通バス	顕娃系統⑰青戸・石垣線(青戸農村公園～石垣～別府温泉)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	顕娃系統①長崎・前原線(長崎～前原～顕娃図書館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	顕娃系統③永谷・春向線(永谷～春向～顕娃図書館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	利用が特定の方に限られるため、広報周知による新規利用者の獲得を目指すとともに、アンケート踏査等による利便性改善の検討を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	顕娃系統⑤下出・木之元線(下出～木之元～顕娃図書館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	顕娃系統⑱熊ヶ谷・栴山線(アグリ温泉～栴山～顕娃図書館)	アグリ温泉の休館により一部利用のない区間があることから、令和3年9月末で当該区間を廃止した。	A	B	令和3年10月より、利用のない区間を廃止し、また1日1.5往復だったものを2往復に変更した。今後利用状況を見ながら、更なる改善を図る。		
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	顕娃系統⑲上淵・雪丸線(上淵～雪丸～アグリ温泉)	アグリ温泉の休館により利用がない状況であったことから、令和3年9月末で廃止とした。	A	C	令和3年9月末をもって廃止した。		
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	顕娃系統⑳曲谷・新牧線(曲谷～新牧～アグリ温泉)	アグリ温泉の休館により利用がない状況であったことから、令和3年9月末で廃止とした。	A	C	令和3年9月末をもって廃止した。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	輝北西ルート (市成出張所～歌丸～輝北総合支所)	・小中高校生や高齢者向けのキャンペーンを実施し、バスに乗るきっかけづくりと利用促進を行った。 ・運転免許返納者に限り運賃無料としている。(R2.4～R5.3) ・市ホームページやスマートフォンアプリに、運行ルートやダイヤ等を掲載し情報発信に努めた。	A	A	・利用者が高齢固定客であるため、町内会や地域の活動での利用を促すなど、新たな利用者の掘り起こしを行う。	・評価の指標は、系統ごとの1便あたりの利用者数。 ・小中高生や高齢者向けのキャンペーンを実施し、バスに乗るきっかけづくりと利用促進に取り組まれていることを評価します。	
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	輝北東ルート (有村三文字～中平房～輝北総合支所)	・小中高校生や高齢者向けのキャンペーンを実施し、バスに乗るきっかけづくりと利用促進を行った。 ・運転免許返納者に限り運賃無料としている。(R2.4～R5.3) ・市ホームページやスマートフォンアプリに、運行ルートやダイヤ等を掲載し情報発信に努めた。	A	B	・利用者が高齢固定客であるため、町内会や地域の活動での利用を促すなど、新たな利用者の掘り起こしを行う。 ・地域との意見交換や乗降調査等により利用実態を把握し、ニーズに応じた運行内容への見直しを行う。	・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。	
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	輝北中央ルート (輝北ふれあいセンター～百引～輝北ふれあいセンター)	・小中高校生や高齢者向けのキャンペーンを実施し、バスに乗るきっかけづくりと利用促進を行った。 ・運転免許返納者に限り運賃無料としている。(R2.4～R5.3) ・市ホームページやスマートフォンアプリに、運行ルートやダイヤ等を掲載し情報発信に努めた。	A	C	・地域との意見交換や乗降調査等により利用実態を把握し、ニーズに応じた運行内容への見直しを行う。 ・利用回復が見込めない場合は、路線の縮小(運行日数、減便等)を検討する。	・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	輝北堂平ルート (荒平橋～百引～輝北ふれあいセンター)	・小中高校生や高齢者向けのキャンペーンを実施し、バスに乗るきっかけづくりと利用促進を行った。 ・運転免許返納者に限り運賃無料としている。(R2.4～R5.3) ・市ホームページやスマートフォンアプリに、運行ルートやダイヤ等を掲載し情報発信に努めた。	A	B	・利用者が高齢固定客であるため、町内会や地域の活動での利用を促すなど、新たな利用者の掘り起こしを行う。 ・地域との意見交換や乗降調査等により利用実態を把握し、ニーズに応じた運行内容への見直しを行う。		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	吾平東ルート (吾平振興会館～湯遊ランドあいら永野牧～吾平振興会館)	・小中高校生や高齢者向けのキャンペーンを実施し、バスに乗るきっかけづくりと利用促進を行った。 ・運転免許返納者に限り運賃無料としている。(R2.4～R5.3) ・市ホームページやスマートフォンアプリに、運行ルートやダイヤ等を掲載し情報発信に努めた。 ・乗降調査を実施し、利用実態とニーズ把握に努めた。	A	C	・地域との意見交換や乗降調査等により利用実態を把握し、他の輸送形態への転換も含め、ニーズに応じた運行内容への見直しを検討する。		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	吾平西ルート (真戸原～坂元湯遊ランドあいら～吾平振興会館)	・小中高校生や高齢者向けのキャンペーンを実施し、バスに乗るきっかけづくりと利用促進を行った。 ・運転免許返納者に限り運賃無料としている。(R2.4～R5.3) ・市ホームページやスマートフォンアプリに、運行ルートやダイヤ等を掲載し情報発信に努めた。 ・乗降調査を実施し、利用実態とニーズ把握に努めた。	A	A	・地域との意見交換や乗降調査等により利用実態を把握し、他の輸送形態への転換も含め、ニーズに応じた運行内容への見直しを検討する。		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	市街地巡回バス (鹿屋～西原寿中央～鹿屋) ・西まわり ・東まわり	・小中高校生や高齢者向けのキャンペーンを実施し、バスに乗るきっかけづくりと利用促進を行った。 ・運転免許返納者に限り運賃無料としている。(R2.4～R5.3) ・市ホームページやスマートフォンアプリに、運行ルートやダイヤ等を掲載し情報発信に努めた。	A	B	・利用者や地域からのニーズに応じた運行内容への見直しを行う。		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	串良馬掛ルート (馬掛公民館～永和～串良さくら温泉)	・小中高校生や高齢者向けのキャンペーンを実施し、バスに乗るきっかけづくりと利用促進を行った。 ・運転免許返納者に限り運賃無料としている。(R2.4～R5.3) ・市ホームページやスマートフォンアプリに、運行ルートやダイヤ等を掲載し情報発信に努めた。 ・地域住民と乗務員ヒアリングを実施し、一分ルート変更と停留所廃止(1ヶ所)、フリー乗降区間設定により効率化を図った。(R2.10)	A	C	・利用者が高齢固定客であるため、町内会や地域の活動での利用を促すなど、新たな利用者の掘り起こしを行う。 ・地域との意見交換や乗降調査等により利用実態を把握し、ニーズに応じた運行内容への見直しを行う。 ・利用回復が見込めない場合は、路線の縮小(減便等)を検討する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	串良新堀ルート (新堀公民館～永和～串良さくら温泉)	・小中高校生や高齢者向けのキャンペーンを実施し、バスに乗るきっかけづくりと利用促進を行った。 ・運転免許返納者に限り運賃無料としている。(R2.4～R5.3) ・市ホームページやスマートフォンアプリに、運行ルートやダイヤ等を掲載し情報発信に努めた。	A	B	・利用者が高齢固定客であるため、町内会や地域の活動での利用を促すなど、新たな利用者の掘り起こしを行う。 ・地域との意見交換や乗降調査等により利用実態を把握し、ニーズに応じた運行内容への見直しを行う。		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	串良市街地・堅田ルート (串良さくら温泉～堅田永和～串良さくら温泉) ・上り ・下り	・小中高校生や高齢者向けのキャンペーンを実施し、バスに乗るきっかけづくりと利用促進を行った。 ・運転免許返納者に限り運賃無料としている。(R2.4～R5.3) ・市ホームページやスマートフォンアプリに、運行ルートやダイヤ等を掲載し情報発信に努めた。	A	C	・地域との意見交換や乗降調査等により利用実態を把握し、ニーズに応じた運行内容への見直しを行う。 ・利用回復が見込めない場合は、廃止も含め、路線の縮小(減便等)を検討する。		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	串良市街地ルート (串良さくら温泉～永和～串良さくら温泉)	・小中高校生や高齢者向けのキャンペーンを実施し、バスに乗るきっかけづくりと利用促進を行った。 ・運転免許返納者に限り運賃無料としている。(R2.4～R5.3) ・市ホームページやスマートフォンアプリに、運行ルートやダイヤ等を掲載し情報発信に努めた。	A	C	・地域との意見交換や乗降調査等により利用実態を把握し、ニーズに応じた運行内容への見直しを行う。 ・利用回復が見込めない場合は、廃止も含め、路線の縮小(運行日数、減便等)を検討する。		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島第一交通㈱ 鹿屋営業所	天神 船間 花岡 西原	・市ホームページや町内会を通し、運行ルートやダイヤ等について周知広報を行い、また利用ニーズや要望等の収集に努めた。 ・新規で4名の利用者登録あった。	A	A	・利用者が高齢固定客であるため、町内会や地域の活動での利用を促すなど、新たな利用者の掘り起こしを行う。		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	市街地巡回バス・北ルート (鹿屋～茅場旭原～鹿屋) ・右まわり ・東まわり	・小中高校生や高齢者向けのキャンペーンを実施し、バスに乗るきっかけづくりと利用促進を行った。 ・運転免許返納者に限り運賃無料としている。(R2.4～R5.3) ・市ホームページやスマートフォンアプリに、運行ルートやダイヤ等を掲載し情報発信に努めた。 ・実証運行での改善点を踏まえ、本格運行を開始(R2.10)した。	A	A	・利用者や地域からのニーズに応じた運行内容への見直しを行う。		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	大始良ルート (鹿屋～川西南～鹿屋) ・右まわり ・東まわり	・小中高校生や高齢者向けのキャンペーンを実施し、バスに乗るきっかけづくりと利用促進を行った。 ・運転免許返納者に限り運賃無料としている。(R2.4～R5.3) ・市ホームページやスマートフォンアプリに、運行ルートやダイヤ等を掲載し情報発信に努めた。 ・実証運行での改善点を踏まえ、本格運行を開始(R2.10)した。	A	A	・利用者や地域からのニーズに応じた運行内容への見直しを行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
垂水市地域公共交通活性化協議会	小森 勇 (協和タクシー)	事前予約型乗合タクシー 運行 (市木地区～中央地区)	利便性向上のため、令和元、2年に実施したアンケート調査結果をもとに、令和2年10月から増便(4便→7便)及び時間変更実施 変更内容及び制度等を周知するチラシを対象地区に配布	A	A	利用者の声を反映させた増便及び時間変更が目標達成につながったと考える。 利用状況や令和3年10月実施のアンケート調査結果、今後実施するヒアリング調査を踏まえ、利便性向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、路線別の年間利用者数。 ・アンケート結果をもとに運行計画を変更し、利用促進に取り組まれていることを評価します。 ・公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことを評価します。 ・引き続き、利用者のニーズや利用実態を把握した上で、継続的な協議が進められることを期待します。 	
垂水市地域公共交通活性化協議会	有限会社オダ	事前予約型乗合タクシー 運行 (大野地区～中央地区)	利便性向上のため、令和元、2年に実施したアンケート調査結果をもとに、令和2年10月から増便(4便→5便)及び時間変更実施 変更内容及び制度等を周知するチラシを対象地区に配布 利用者からの要望を踏まえ、令和3年7月から5便中4便の時間	A	A	利用者の声を反映させた増便及び時間変更が目標達成につながったと考える。 利用状況や令和3年10月実施のアンケート調査結果、今後実施するヒアリング調査を踏まえ、利便性向上に努める。		
垂水市地域公共交通活性化協議会	南海交通株式会社	事前予約型乗合タクシー 運行 (水之上地区～中央地区) ※内ノ野ルート	利便性向上のため、令和元、2年に実施したアンケート調査結果をもとに、令和2年10月から増便(4便→5便)及び時間変更を実施 変更内容及び制度等を周知するチラシを対象地区に配布	A	A	利用者の声を反映させた増便及び時間変更が目標達成につながったと考える。 利用状況や令和3年10月実施のアンケート調査結果、今後実施するヒアリング調査を踏まえ、利便性向上に努める。		
垂水市地域公共交通活性化協議会	南海交通株式会社	事前予約型乗合タクシー 運行 (水之上地区～中央地区) ※小谷ルート	利便性向上のため、令和元、2年に実施したアンケート調査結果をもとに、令和2年10月から増便(4便→5便)及び時間変更を実施 変更内容及び制度等を周知するチラシを対象地区に配布	A	C	目標未達の要因として、対象地域75歳以上の人口が前年度より3人減少しており、免許証返納割引利用者が前年度より250人減少していることから、自然減や施設入所等が考えられる。 増便分の運行割合は約37%と低い状況にあり、想定より利用されていないことも影響していると考えられる。 利用状況やアンケート調査結果等を踏まえ、地域状況に合わせた運行を検討したい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団 (新空港線)	知名～沖永良部空港間の路線バスの運行	新型コロナウイルス感染症の影響による航空機の減便等により、航空便と接続した運行ダイヤの検討は進まなかったが、新型コロナウイルス感染症対策と障害者等の利便性向上のため座席の間隔が広くとれる新型のノンステップ車両を導入した。	A	B	目標には達していないが、車両の更新、役場や病院、大型商業施設への乗り入れなど、利便性向上の取り組みを継続し、島内公共交通の基幹路線として他の路線との接続や航空ダイヤとの接続に配慮した運行ダイヤ設定について、利用者アンケート調査等を実施して検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、路線別の年間利用者数。 ・新型車両を導入し感染症対策に取り組みされるなど、利便性向上に取り組みされていることを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団 (知名・国頭線)	知名～国頭間の路線定期バスの運行	新型コロナウイルス感染症対策と障害者等の利便性向上のため座席の間隔が広くとれる新型のノンステップ車両を導入した。また、貨客混載の実証実験を実施し、路線バス利用促進策の検討を行った。	A	B	目標には達していないが、車両の更新、役場や病院、大型商業施設への乗り入れなど、利便性向上の取り組みを継続し、他の路線との接続に配慮した運行ダイヤ設定について検討する。また、貨客混載の実証実験を引き続き実施し、本格導入に向けた事業手法について検討する。		
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団 (新永嶺線)	知名～永嶺～和泊間の路線定期バスの運行	一部の地域において時間限定での集落内運行を開始したが、一定数の利用があり路線の維持確保に効果が見られた。土日祝日の中学生以下割引運賃の導入や1日乗車券の割引などの利用促進策を実施した。	A	C	利用者数が減少傾向にあることから、利用者アンケート調査等を実施し、利用者ニーズに合った全体的な路線の統廃合について検討する必要がある。		
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団 (新後蘭線)	知名～後蘭～和泊間の路線定期バスの運行	土日祝日の中学生以下割引運賃の導入や1日乗車券の割引などの利用促進策を実施した。	A	A	目標を上回っているが、ほぼ同じ区間を運行する新永嶺線との合計利用者数は減少傾向にあることから、利用者アンケート調査等を実施し、利用者ニーズに合った全体的な路線の統廃合について検討する必要がある。		
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団 (ガジマル線)	知名～下平川～和泊間の路線定期バスの運行	土日祝日の中学生以下割引運賃の導入や1日乗車券の割引などの利用促進策を実施した。	A	A	前年度に引き続き目標を上回っており、総合病院への乗り入れなどの利便性向上の取り組みの成果であると考えられる。利用者アンケート調査等を実施し、運行ダイヤの見直しや路線の統廃合を検討する。		
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団 (伊延港線、和泊港・伊延港線、知名港線)	和泊～伊延港間、和泊～和泊港・伊延港間、知名～知名港間の路線不定期バスの運行	船内へのポスターの掲示や船内アナウンスなどを行い、船便利利用者に対する周知を行った。	A	C	港までの移動手段のない高齢者や障害者、観光客等にとっては必要な路線であることから、今後も確保維持していくことが重要である。島民のみならず観光客等への路線の周知を図るため、町HPやおきのえらぶ、島観光協会HP、沖永良部バス企業団HPなどを利用した情報発信を強化する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	㈱下小園タクシー川西	曾木バス停～川西地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	C	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、運行エリアの見直しも視野に入れながら、利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、利用者発掘に努める。	・評価の指標は、計画運行回数に対する実績運行回数。 ・警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組まれていることを評価します。	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	㈱下小園タクシー西山	針持バス停～西山地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	C	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、運行エリアの見直しも視野に入れながら、利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、利用者発掘に努める。	・警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組まれていることを評価します。	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	㈱下小園タクシー田原	針持バス停～田原地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	C	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、運行エリアの見直しも視野に入れながら、利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、利用者発掘に努める。	・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると思います。	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	㈱下小園タクシー高塚	針持バス停～高塚地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	C	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、運行エリアの見直しも視野に入れながら、利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、利用者発掘に努める。	・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	㈱下小園タクシー市山花北	菱刈中心地～市山花北地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光田中重留	菱刈中心地～田中重留地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	㈱下小園タクシー永池楠原	菱刈中心地～永池楠原地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	㈱下小園タクシー野池小川添	菱刈中心地～野池小川添地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	㈱下小園タクシー荒田	菱刈中心地～荒田地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光絨布計	山野中心地～布計地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光絨小川内	山野中心地～小川内地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	C	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、運行エリアの見直しも視野に入れながら、利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光絨平出水	山野中心地～平出水地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	B	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光絨五色徳辺下	菱刈中心地～五色徳辺下地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	B	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光絨山徳辺	菱刈中心地～山徳辺地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光絨下手	菱刈中心地～下手地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	B	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光絨湯之尾	菱刈中心地～湯之尾地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株)青木循環線	大口中心地～青木篠原地区循環運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と福祉関係者等への説明会等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)鶴田タクシー	神子線(乗合タクシー) 大野～旧宮之城駅の運行	医療機関等が集まる宮之城地区への接続要望が説明会等で多く出されていた。宮之城地区への接続は、地域間幹線系統等への乗り継ぎの利便性も向上することから、運行事業者、関係機関との協議・調整を行い、令和3年7月から運行区間を変更した。	A	B	令和3年7月以降、利用者の約75%が変更(拡大)した地域に移動していることから、ニーズを捉えた対応であったと分析している。これらを軸とした利用啓発活動に引き続き取り組んでいく。 また、地域間幹線系統への乗り継ぎ利用例も示し、広域移動での利用も呼びかけていく。	・評価の指標は、系統ごとの年間利用者数。 ・住民説明会や出前講座の実施など、利用促進に取り組まれていることを評価します。 ・評価の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)鶴田タクシー	鶴田線(乗合タクシー) 上場～旧宮之城駅の運行	医療機関等が集まる宮之城地区への接続要望が説明会等で多く出されていた。宮之城地区への接続は、地域間幹線系統等への乗り継ぎの利便性も向上することから、運行事業者、関係機関との協議・調整を行い、令和3年7月から運行区間を変更した。	A	B	定期的にご利用される高齢者が多い路線であり、長期入院などの理由が、年間利用者数に影響を与えている。 令和3年7月以降、利用者の約67%が変更(拡大)した地域に移動していることから、ニーズを捉えた対応であったと分析している。これらを軸とした利用啓発活動に引き続き取り組んでいく。 また、地域間幹線系統への乗り継ぎ利用例も示し、広域移動での利用も呼びかけていく。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)鶴田タクシー	上狩宿・熊田線(乗合タクシー) 上狩宿～旧宮之城駅の運行	医療機関等が集まる宮之城地区への接続要望が説明会等で多く出されていた。宮之城地区への接続は、地域間幹線系統等への乗り継ぎの利便性も向上することから、運行事業者、関係機関との協議・調整を行い、令和3年7月から運行区間を変更した。	A	B	令和3年7月以降、利用者の約60%が変更(拡大)した地域に移動していることから、ニーズを捉えた対応であったと分析している。 前年は運賃助成事業により大幅に利用者が伸びた反面、助成事業終了後は緩やかに減少してきている。定期的な利用者に繋がるよう、運行区間変更による利便性向上を軸とした利用啓発活動に引き続き取り組んでいく。 また、地域間幹線系統への乗り継ぎ利用例も示し、広域移動での利用も呼びかけていく。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)鶴田タクシー	段・薬師線(乗合タクシー) 段～旧宮之城駅の運行	医療機関等が集まる宮之城地区への接続要望が説明会等で多く出されていた。宮之城地区への接続は、地域間幹線系統等への乗り継ぎの利便性も向上することから、運行事業者、関係機関との協議・調整を行い、令和3年7月から運行区間を変更した。	A	B	令和3年7月以降、利用者の約37%が変更(拡大)した地域に移動している。他の路線と比較すると効果が小さいが、利用人数とともに緩やかな増加傾向にある。 人口も少ないことから、大幅な利用人数増には繋がりにくい、定期的な利用により経済的負担の軽減も図れるなど、様々な視点での利用啓発活動に取り組んでいく。 また、地域間幹線系統への乗り継ぎ利用例も示し、広域移動での利用も呼びかけていく。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)宮都タクシー	金山線(乗合タクシー) 金山～旧宮之城駅の運行	医療機関等が集まる宮之城地区への接続要望が説明会等で多く出されていた。宮之城地区への接続は、地域間幹線系統等への乗り継ぎの利便性も向上することから、運行事業者、関係機関との協議・調整を行い、令和3年7月から運行区間を変更した。	A	A	令和3年7月以降、利用者が増えてきており、その利用者うち約70%が変更(拡大)した地域に移動している。 運行区間変更による利便性向上がその要因と考えられることから、これらを軸とした利用啓発活動を展開し、利用の定着、定期的利用者の獲得に繋げていく。 また、地域間幹線系統への乗り継ぎ利用例も示し、広域移動での利用も呼びかけていく。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)宮都タクシー	中津川・白猿線(乗合タクシー) 中津川～旧宮之城駅の運行	医療機関等が集まる宮之城地区への接続要望が説明会等で多く出されていた。宮之城地区への接続は、地域間幹線系統等への乗り継ぎの利便性も向上することから、運行事業者、関係機関との協議・調整を行い、令和3年7月から運行区間を変更した。	A	A	前年に実施した乗車運賃助成事業をきっかけに利用を始めた方が定期的に利用されるようになってきているが、運行区間変更前の旧区域内での移動割合が多い。区間変更の周知により更なる利用増が見込めることから、これらを軸とした利用啓発活動に取り組んでいく。 また、地域間幹線系統への乗り継ぎ利用例も示し、広域移動での利用も呼びかけていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)宮都タクシー	湯田・佐志線(乗合タクシー) 湯田～旧宮之城駅の運行	出前講座を活用した利用啓発活動に取り組んだ。説明会の地域を発着地とした具体的な利用例や地域間幹線系統への乗り継ぎ例なども示し、乗合タクシーだけでなく交通政策全体の啓発活動に努めた。	A	A	引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)宮都タクシー	泊野・白男川線(乗合タクシー) 泊野～旧宮之城駅の運行	啓発活動に取り組むため、「乗合タクシーのはなし」と題し、出前講座のメニューとして登録していたが、当該路線の地域にあるサロン等からの申し込みは無く、説明会の開催には至らなかった。	A	C	地域サロンなどの個別団体での説明会が実施できるよう、代表者等へ直接開催依頼を行うなど、啓発活動の機会を得るための活動に取り組んでいく。 説明会では、グループでの利用や地域幹線系統への乗り継ぎなど、説明を行う地域を発着地とした具体例を示しながら取り組んでいく。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)神園サービス	山崎線(乗合タクシー) 山崎～旧宮之城駅の運行	出前講座を活用した利用啓発活動に取り組んだ。説明会の地域を発着地とした具体的な利用例や地域間幹線系統への乗り継ぎ例なども示し、乗合タクシーだけでなく交通政策全体の啓発活動に努めた。	A	A	引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)神園サービス	登尾線(乗合タクシー) 登尾～旧宮之城駅の運行	出前講座を活用した利用啓発活動に取り組んだ。説明会の地域を発着地とした具体的な利用例や地域間幹線系統への乗り継ぎ例なども示し、乗合タクシーだけでなく交通政策全体の啓発活動に努めた。	A	A	引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)神園サービス	椋野・紫尾線(乗合タクシー) 椋野～旧宮之城駅の運行	啓発活動に取り組むため、「乗合タクシーのはなし」と題し、出前講座のメニューとして登録していたが、当該路線の地域にあるサロン等からの申し込みは無く、説明会の開催には至らなかった。	A	A	引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)宮都タクシー	中津川線(コミュニティバス) 北方町自治公民館前～屋地仲町の運行	安全対策検討対象バス停に関して、具体的な対応には至らなかった。 地域説明会において本線の活用を呼びかけた。	A	C	一般利用者(大人)が少ない。地域サロンなど高齢者が多い個別団体での説明会では、乗合タクシーを中心とした説明になりがちであった。コミュニティバスの運行時間帯での活用例を示し、一般(大人)利用の普及に努めていく。 安全対策検討対象となっているバス停への対応に向けた検討を進める。対象となっているバス停では、通学利用の中学生が乗降していることから、撤去ではなく移設を基本に検討していく。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)神園サービス	登尾線(コミュニティバス) 登尾～屋地仲町の運行	安全対策検討対象バス停に関して、具体的な対応には至らなかった。 地域説明会において本線の活用を呼びかけた。	A	A	一般利用者(大人)が少ない。地域サロンなど高齢者が多い個別団体での説明会では、乗合タクシーを中心とした説明になりがちであった。コミュニティバスの運行時間帯での活用例を示し、一般(大人)利用の普及に努めていく。 安全対策検討対象となっているバス停への対応に向けた検討を進める。対象となっているバス停では、通学利用の中学生が乗降していることから、撤去ではなく移設を基本に検討していく。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)神園サービス	椋野・紫尾線(コミュニティバス) 市野～屋地仲町の運行	安全対策検討対象バス停に関して、具体的な対応には至らなかった。 地域説明会において本線の活用を呼びかけた。	A	C	一般利用者(大人)が少ない。地域サロンなど高齢者が多い個別団体での説明会では、乗合タクシーを中心とした説明になりがちであった。コミュニティバスの運行時間帯での活用例を示し、一般(大人)利用の普及に努めていく。 安全対策検討対象となっているバス停への対応に向けた検討を進める。対象となっているバス停では、通学利用の中学生が乗降していることから、撤去ではなく移設を基本に検討していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)神園サービス	北原線(コミュニティバス) 牧之峰～屋地仲町の運行	安全対策検討対象バス停に関して、具体的な対応には至らなかった。 地域説明会において本線の活用を呼びかけた。	A	C	一般利用者(大人)が少ない。地域サロンなど高齢者が多い個別団体での説明会では、乗合タクシーを中心とした説明になりがちであった。コミュニティバスの運行時間帯での活用例を示し、一般(大人)利用の普及に努めていく。 安全対策検討対象となっているバス停への対応に向けた検討を進める。対象となっているバス停では、通学利用の中学生が乗降していることから、撤去ではなく移設を基本に検討していく。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)鶴田タクシー	栗野線(コミュニティバス) あじさい団地入口～屋地仲町の運行	安全対策検討対象バス停に関して、具体的な対応には至らなかった。 地域説明会において本線の活用を呼びかけた。	A	A	一般利用者(大人)が少ない。地域サロンなど高齢者が多い個別団体での説明会では、乗合タクシーを中心とした説明になりがちであった。コミュニティバスの運行時間帯での活用例を示し、一般(大人)利用の普及に努めていく。 安全対策検討対象となっているバス停への対応に向けた検討を進める。対象となっているバス停では、通学利用の中学生が乗降していることから、撤去ではなく移設を基本に検討していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
西之表市地域公共交通活性化協議会	はやしタクシー(柳原線)	伊関～市内～西之表港	利用者の利便性を高めるべく実証運行を行った。 ①路線途中の郵便局、ホームセンターで「途中下車」を行う実証。 ②「種子島高校バス停」を新設し、通学利用ができる実証。 実証期間は令和2年10月～令和3年9月末。 新規利用者獲得に向けて、市広報紙へ特集記事を掲載し、特に免許返納者の運賃割引について、周知を行った。 車両の更新時期を迎え、車両修繕費が増えている。車両の更新も視野に入れ、公共交通へのEV導入について検討を行った。 R4年2月から実証運行を開始することとしており、CO2削減や燃料費の低減につながることを期待される。また、車両更新について、車両小型化の可能性についても検証したい。	A	C	どんがタクシーの利用者満足度については、「市民アンケート」結果によると、満足している方の割合は低下した(市民全体からの抽出)。 どんがタクシーの利用者は、令和2年4月以降、前年比を大きく下回ることが多いという状況が続いている。 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う外出機会・意欲の減少(病院・買い物等)が主な理由と考えられる。特に買い物については、地元企業が行う移動販売が定着してきており、どんがタクシー利用者が買い物のために乗車することが少なくなっていると考えられる。 これまで「大字に住む住民」を基本利用者としてきたが、今後は、「大字と市街地を移動したい人」として利用対象者を拡大する実証を行う。 また、R4年2月の実証運行に向けて、EVの導入を進めている。CO2削減や燃料費の低減効果が期待されるとともに、車両小型化の可能性についても検証し、適切な規模でのサービス提供を目指し、安定的で持続可能な公共交通の在り方を検討していきたい。	・評価の指標は、系統ごとの年間利用者数、満足度及び1運行当たりの輸送人員。 ・市広報紙へ特集記事を掲載するなど、利用促進に取り組みされていることを評価します。 ・新型コロナウイルス感染症の影響が目標を大きく下回った原因とされていることから、その後を見据えた対策が検討されることを期待します。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	
西之表市地域公共交通活性化協議会	はやしタクシー(立山線)	立山～市内～西之表港	利用者の利便性を高めるべく実証運行を行った。 ①路線途中の郵便局、ホームセンターで「途中下車」を行う実証。 ②「種子島高校バス停」を新設し、通学利用ができる実証。 実証期間は令和2年10月～令和3年9月末。 新規利用者獲得に向けて、市広報紙へ特集記事を掲載し、特に免許返納者の運賃割引について、周知を行った。 車両の更新時期を迎え、車両修繕費が増えている。車両の更新も視野に入れ、公共交通へのEV導入について検討を行った。 R4年2月から実証運行を開始することとしており、CO2削減や燃料費の低減につながることを期待される。また、車両更新について、車両小型化の可能性についても検証したい。	A	C	どんがタクシーの利用者満足度については、「市民アンケート」結果によると、満足している方の割合は低下した(市民全体からの抽出)。 どんがタクシーの利用者は、令和2年4月以降、前年比を大きく下回ることが多いという状況が続いている。 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う外出機会・意欲の減少(病院・買い物等)が主な理由と考えられる。特に買い物については、地元企業が行う移動販売が定着してきており、どんがタクシー利用者が買い物のために乗車することが少なくなっていると考えられる。 これまで「大字に住む住民」を基本利用者としてきたが、今後は、「大字と市街地を移動したい人」として利用対象者を拡大する実証を行う。 また、R4年2月の実証運行に向けて、EVの導入を進めている。CO2削減や燃料費の低減効果が期待されるとともに、車両小型化の可能性についても検証し、適切な規模でのサービス提供を目指し、安定的で持続可能な公共交通の在り方を検討していきたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
西之表市地域公共交通活性化協議会	はやしタクシー(古田線)	中割～市内～西之表港	利用者の利便性を高めるべく実証運行を行った。 ①路線途中の郵便局、ホームセンターで「途中下車」を行う実証。 ②「種子島高校バス停」を新設し、通学利用ができる実証。 実証期間は令和2年10月～令和3年9月末。 新規利用者獲得に向けて、市広報紙へ特集記事を掲載し、特に免許返納者の運賃割引について、周知を行った。 車両の更新時期を迎え、車両修繕費が増えている。車両の更新も視野に入れ、公共交通へのEV導入について検討を行った。 R4年2月から実証運行を開始することとしており、CO2削減や燃料費の低減につながることを期待される。また、車両更新について、車両小型化の可能性についても検証したい。	A	C	どんがタクシーの利用者満足度については、「市民アンケート」結果によると、満足している方の割合は低下した(市民全体からの抽出)。どんがタクシーの利用者は、令和2年4月以降、前年比を大きく下回ることが多いという状況が続いている。 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う外出機会・意欲の減少(病院・買い物等)が主な理由と考えられる。特に買い物については、地元企業が行う移動販売が定着してきており、どんがタクシー利用者が買い物のために乗車することが少なくなっていると考えられる。 これまで「大字に住む住民」を基本利用者としてきたが、今後は、「大字と市街地を移動したい人」として利用対象者を拡大する実証を行う。 また、R4年2月の実証運行に向けて、EVの導入を進めている。CO2削減や燃料費の低減効果が期待されるとともに、車両小型化の可能性についても検証し、適切な規模でのサービス提供を目指し、安定的で持続可能な公共交通の在り方を検討していきたい。		
西之表市地域公共交通活性化協議会	(株)市丸タクシー(国上線)	国上～市内～西之表港	利用者の利便性を高めるべく実証運行を行った。 ①路線途中の郵便局、ホームセンターで「途中下車」を行う実証。 ②「種子島高校バス停」を新設し、通学利用ができる実証。 実証期間は令和2年10月～令和3年9月末。 新規利用者獲得に向けて、市広報紙へ特集記事を掲載し、特に免許返納者の運賃割引について、周知を行った。 車両の更新時期を迎え、車両修繕費が増えている。車両の更新も視野に入れ、公共交通へのEV導入について検討を行った。 R4年2月から実証運行を開始することとしており、CO2削減や燃料費の低減につながることを期待される。また、車両更新について、車両小型化の可能性についても検証したい。	A	C	どんがタクシーの利用者満足度については、「市民アンケート」結果によると、満足している方の割合は低下した(市民全体からの抽出)。どんがタクシーの利用者は、令和2年4月以降、前年比を大きく下回ることが多いという状況が続いている。 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う外出機会・意欲の減少(病院・買い物等)が主な理由と考えられる。特に買い物については、地元企業が行う移動販売が定着してきており、どんがタクシー利用者が買い物のために乗車することが少なくなっていると考えられる。 これまで「大字に住む住民」を基本利用者としてきたが、今後は、「大字と市街地を移動したい人」として利用対象者を拡大する実証を行う。 また、R4年2月の実証運行に向けて、EVの導入を進めている。CO2削減や燃料費の低減効果が期待されるとともに、車両小型化の可能性についても検証し、適切な規模でのサービス提供を目指し、安定的で持続可能な公共交通の在り方を検討していきたい。		
西之表市地域公共交通活性化協議会	(株)市丸タクシー(住吉線)	住吉～市内～西之表港	利用者の利便性を高めるべく実証運行を行った。 ①路線途中の郵便局、ホームセンターで「途中下車」を行う実証。 ②「種子島高校バス停」を新設し、通学利用ができる実証。 実証期間は令和2年10月～令和3年9月末。 新規利用者獲得に向けて、市広報紙へ特集記事を掲載し、特に免許返納者の運賃割引について、周知を行った。 車両の更新時期を迎え、車両修繕費が増えている。車両の更新も視野に入れ、公共交通へのEV導入について検討を行った。 R4年2月から実証運行を開始することとしており、CO2削減や燃料費の低減につながることを期待される。また、車両更新について、車両小型化の可能性についても検証したい。	A	C	どんがタクシーの利用者満足度については、「市民アンケート」結果によると、満足している方の割合は低下した(市民全体からの抽出)。どんがタクシーの利用者は、令和2年4月以降、前年比を大きく下回ることが多いという状況が続いている。 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う外出機会・意欲の減少(病院・買い物等)が主な理由と考えられる。特に買い物については、地元企業が行う移動販売が定着してきており、どんがタクシー利用者が買い物のために乗車することが少なくなっていると考えられる。 これまで「大字に住む住民」を基本利用者としてきたが、今後は、「大字と市街地を移動したい人」として利用対象者を拡大する実証を行う。 また、R4年2月の実証運行に向けて、EVの導入を進めている。CO2削減や燃料費の低減効果が期待されるとともに、車両小型化の可能性についても検証し、適切な規模でのサービス提供を目指し、安定的で持続可能な公共交通の在り方を検討していきたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
西之表地域公共交通活性化協議会	種子島・屋久島交通(株)(市街地巡回バス)	西之表港～市役所・松島～西之表港	市広報紙へ特集記事を掲載し、周知を行った。 利用者利便の向上のため、バス停へのベンチを新設した。 公共交通へのEV導入について検討を行った。R4年2月からどんがタクシーにおいてEV車両による実証運行を開始することとしている。CO2削減、燃料費の低減、車両更新の観点から引き続き検討を行う。	A	C	市街地巡回バスの利用者は、令和2年4月以降令和3年8月まで、前年比を下回る状況が続いた。 主な理由としては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用者の外出機会・意欲の減少(病院・買い物・観光・ビジネス等)が考えられる。継続して広報紙やHP等による周知を行うことや、利用者意見を把握し、利便性の向上に努めることで、利用者数の維持、増加につなげたい。 また、わかさ姫車両についても更新時期となっており、同車両においてもEVの導入を検討した。しかし、車両サイズ等の問題から導入の方向には至っていない。車両の小型化についても検討し、適切な規模でのサービス提供を目指し、安定的で持続可能な公共交通の在り方を検討していきたい。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	合資会社阿久根タクシー	多田・桑原城系統 丸内～市役所間の区域内運行	制度の周知を図るため、市ホームページ及び広報紙への掲載や必要に応じたチラシ配布、また、介護長寿課や福祉課、社会福祉協議会との情報交換等の連携を行った。	A	C	目標達成状況が60.4%と、コロナ感染拡大による外出自粛等による利用者減少が大きいため、収束後にこのまま利用者の事業離れが進まないよう、事業者と協力し、安全性の確保についても努めたい。また、新たな利用者確保のために引き続き周知活動についても努めたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、路線別の年間輸送人員数。 ・市ホームページ及び広報紙への掲載や必要に応じたチラシ配布など、利用促進に取り組まれていることを評価します。 ・新型コロナウイルス感染症の影響が目標を大きく下回った原因とされていることから、その後を見据えた対策が検討されることを期待します。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	合資会社阿久根タクシー	西目・遠見ヶ岡・倉津系統 落～市民病院間の区域内運行	制度の周知を図るため、市ホームページ及び広報紙への掲載や必要に応じたチラシ配布、また、介護長寿課や福祉課、社会福祉協議会との情報交換等の連携を行った。	A	C	目標達成状況が65.4%とコロナ感染拡大による外出自粛等による利用者減少が大きいため、収束後にこのまま利用者の事業離れが進まないよう、事業者と協力し、安全性の確保についても努めたい。また、新たな利用者確保のために引き続き周知活動についても努めたい。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	合資会社阿久根タクシー	脇本北部系統 八郷～脇本地区公民館間の区域内運行	制度の周知を図るため、市ホームページ及び広報紙への掲載や必要に応じたチラシ配布、また、介護長寿課や福祉課、社会福祉協議会との情報交換等の連携を行った。	A	C	昨年度と比較し利用者は大きく減少したが、目標達成状況は77.9%とコロナによる外出自粛制限の影響はあるものの、既存利用者の利用はそこまで減少していない。新たな利用者確保のために引き続き周知活動についても努めたい。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	合資会社阿久根タクシー	脇本西部系統 深田～脇本地区公民館間の区域内運行	制度の周知を図るため、市ホームページ及び広報紙への掲載や必要に応じたチラシ配布、また、介護長寿課や福祉課、社会福祉協議会との情報交換等の連携を行った。	A	C	利用がなされていないことから、利用者ニーズを把握しながら市広報をはじめ、様々な広報媒体での情報提供の実施及び説明会を開催し、利用促進に努める。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	合資会社阿久根タクシー	脇本東部(瀬之浦)系統 大淵川～脇本地区公民館間の区域内運行	制度の周知を図るため、市ホームページ及び広報紙への掲載や必要に応じたチラシ配布、また、介護長寿課や福祉課、社会福祉協議会との情報交換等の連携を行った。	A	A	他区域と比較すると、利用者の少ない運行区域であるため、利用者ニーズ把握のほか、新たな利用者確保のための周知活動を行い、利用促進に努める。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	合資会社阿久根タクシー	脇本東部(桐野)系統 桐野上～脇本地区公民館間の区域内運行	制度の周知を図るため、市ホームページ及び広報紙への掲載や必要に応じたチラシ配布、また、介護長寿課や福祉課、社会福祉協議会との情報交換等の連携を行った。	A	C	実利用人数及び利用頻度の減少が見られることから、利用者ニーズを把握しながら周知活動に努めたい。また、リピーター以外の利用者確保にも努めたい。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	合資会社阿久根タクシー	山下系統 尾崎～市役所間の区域内運行	制度の周知を図るため、市ホームページ及び広報紙への掲載や必要に応じたチラシ配布、また、介護長寿課や福祉課、社会福祉協議会との情報交換等の連携を行った。	A	C	目標達成状況が93.9%と、年々利用者が増加している区域である。コロナ収束後も継続して事業を利用してもらうため、事業者と協力し安全性の確保に努める。 また、利用者ニーズの把握、本事業の情報提供に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	第一交通株式会社	田代系統 米次～市役所間の区域 内運行	制度の周知を図るため、市ホームページ及び広報誌への掲載や必要に応じたチラシ配布、また、介護長寿課や福祉課、社会福祉協議会との情報交換等の連携を行った。	A	C	目標達成状況は74.6%とコロナによる外出自粛要請の影響がみられた。 田代地区は高齢化率も高く、交通弱者に当たる方も多いため、今後も引き続き地域住民への周知活動等に努めたい。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	第一交通株式会社	鶴川内系統 木佐木野～市役所間の 区域内運行	制度の周知を図るため、市ホームページ及び広報誌への掲載や必要に応じたチラシ配布、また、介護長寿課や福祉課、社会福祉協議会との情報交換等の連携を行った。	A	C	目標達成状況は54.4%とコロナによる外出自粛要請の影響により大、利用者が大きく減少した区域である。 収束後にこのまま利用者の事業離れが進まないよう、事業者と協力し、安全性の確保についても努めたい。また、新たな利用者確保のために引き続き周知活動についても努めたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
いちき串木野市地域公共交通会議	第一交通(株)	いきいきタクシー 川上線の運行	前年の実績見込みを568人とし、地区人口は減少で推移しているが、利用者数は現状維持とし、目標値568人(前年比100%)以上とする。	A	B	<p>平成30年度策定の地域公共交通網形成計画に基づき、住民の利便性向上のため、左記の地域内フィーダー系統路線の4路線を見直しており、川上線、大里線については増便、また冠岳・生福・上名線、旭線についてはいきいきタクシーの導入などを実施してきた。</p> <p>しかし、長引く新型コロナウイルス感染症の影響などもあり、利用者の減少となり、目標達成が出来なかった。</p> <p>来年度以降は、実績を基に評価を行うが、出前講座、セミナーなどを実施し、路線のPRや利便性の向上を図り、事業の目標設定また達成に努める。</p>	<p>・評価の指標は、路線別の年間輸送人員数。</p> <p>・平成30年度策定の地域公共交通網形成計画に基づき路線の見直しを実施するなど、利用促進に取り組まれていることを評価します。</p> <p>・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると思います。</p> <p>・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。</p>	
いちき串木野市地域公共交通会議	第一交通(株)	いきいきタクシー 大里線の運行	前年の実績見込みを272人とし、地区人口は減少で推移しているが、利用者数は現状維持とし、目標値269人(前年比99%)以上とする。	A	C	<p>平成30年度策定の地域公共交通網形成計画に基づき、住民の利便性向上のため、左記の地域内フィーダー系統路線の4路線を見直しており、川上線、大里線については増便、また冠岳・生福・上名線、旭線についてはいきいきタクシーの導入などを実施してきた。</p> <p>しかし、長引く新型コロナウイルス感染症の影響などもあり、利用者の減少となり、目標達成が出来なかった。</p> <p>来年度以降は、実績を基に評価を行うが、出前講座、セミナーなどを実施し、路線のPRや利便性の向上を図り、事業の目標設定また達成に努める。</p>		
いちき串木野市地域公共交通会議	第一交通(株)	いきいきタクシー 冠岳・生福・上名線の運行	前年の実績見込みを1,632人とし、地区人口は減少で推移しているが、利用者数は現状維持とし、目標値1,599人(前年比98%)以上とする。	A	B	<p>平成30年度策定の地域公共交通網形成計画に基づき、住民の利便性向上のため、左記の地域内フィーダー系統路線の4路線を見直しており、川上線、大里線については増便、また冠岳・生福・上名線、旭線についてはいきいきタクシーの導入などを実施してきた。</p> <p>しかし、長引く新型コロナウイルス感染症の影響などもあり、利用者の減少となり、目標達成が出来なかった。</p> <p>来年度以降は、実績を基に評価を行うが、出前講座、セミナーなどを実施し、路線のPRや利便性の向上を図り、事業の目標設定また達成に努める。</p>		
いちき串木野市地域公共交通会議	第一交通(株)	いきいきタクシー 旭線の運行	前年の実績見込みを122人(R2.4~9)とし、地区人口は減少で推移しているが、利用者数は現状維持とし、目標値244人(前年比100%)以上とする。	A	C	<p>平成30年度策定の地域公共交通網形成計画に基づき、住民の利便性向上のため、左記の地域内フィーダー系統路線の4路線を見直しており、川上線、大里線については増便、また冠岳・生福・上名線、旭線についてはいきいきタクシーの導入などを実施してきた。</p> <p>しかし、長引く新型コロナウイルス感染症の影響などもあり、利用者の減少となり、目標達成が出来なかった。</p> <p>来年度以降は、実績を基に評価を行うが、出前講座、セミナーなどを実施し、路線のPRや利便性の向上を図り、事業の目標設定また達成に努める。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
肝付町地域公共交通会議	株式会社 銀河タクシー	辺塚～岸良～内之浦市街地 内之浦市街地	【辺塚～岸良～内之浦市街地】 町広報紙による周知を行った。 【内之浦市街地】 町広報紙の掲載や町HPへの掲載を行った。また、利用者ニーズに合わせ停留所を追加し利用促進に取り組んだ。	A	B	今後も、広報紙・チラシ等の配布し、高齢者等を中心とした利用方法の説明会を行うことで利用促進を図る。また、令和4年度中に地域公共交通計画を策定予定であり、アンケート調査を通して利用者ニーズを把握し、公共交通空白地域の解消や不足している運転者の確保など地域内の公共交通体制の見直しに取り組む。	・評価の指標は、路線ごとの月間利用者数。 ・町広報紙による周知を実施するなど、利用促進に取り組みられていることを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	
肝付町地域公共交通会議	有限会社 鶴丸タクシー	岸良～高山	町広報紙による周知を行った。	A	C	今後も、広報紙・チラシ等の配布し、高齢者等を中心とした利用方法の説明会を行うことで利用促進を図る。また、令和4年度中に地域公共交通計画を策定予定であり、アンケート調査を通して利用者ニーズを把握し、公共交通空白地域の解消や不足している運転者の確保など地域内の公共交通体制の見直しに取り組む。		
肝付町地域公共交通会議	有限会社 鶴丸タクシー 有限会社 立石タクシー	高山市街地 有明エリア 川上エリア	【高山市街地・有明エリア・川上エリア】 町広報紙の掲載や町HPへの掲載を行った。また、利用者ニーズに合わせ停留所を追加し利用促進に取り組んだ。	A	A	今後も、広報紙・チラシ等の配布し、高齢者等を中心とした利用方法の説明会を行うことで利用促進を図る。また、令和4年度中に地域公共交通計画を策定予定であり、アンケート調査を通して利用者ニーズを把握し、公共交通空白地域の解消や不足している運転者の確保など地域内の公共交通体制の見直しに取り組む。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	上神殿線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	A	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、系統別の1日当たりの平均運行回数。 ・市文書発送による情報提供など、利用促進に取り組みられていることを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	中川・郡線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	竹之山・土橋線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	A	さらに多い運行回数を目指し、新規利用者の獲得に向けて、チラシやマップ等の情報啓発に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	上・下方限線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	A	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	恋之原線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	A	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	久木野々線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	平鹿倉・湯之元線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	日添・田之尻線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	A	さらに多い運行回数を目指し、新規利用者の獲得に向けて、チラシやマップ等の情報啓発に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	和田線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	A	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	藤元・野首線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	さらに多い運行回数を目指し、新規利用者の獲得に向けて、チラシやマップ等の情報啓発に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	坊野・田尻	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	A	さらに多い運行回数を目指し、新規利用者の獲得に向けて、チラシやマップ等の情報啓発に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	日新線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	日置線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	吉利線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	扇尾線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	住吉線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日置市地域公共交通会議	第一交通㈱	上野・皆田線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	A	さらに多い運行回数を目指し、新規利用者の獲得に向けて、チラシやマップ等の情報啓発に努める。		
日置市地域公共交通会議	第一交通㈱	高山・上市来(東市来)線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
日置市地域公共交通会議	㈱吉村タクシー ひまわり交通㈱ ㈱伊集院タクシー	高山・上市来(伊集院)線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南さつま市地域公共交通協議会	㈱鹿児島交通	坊津から加世田市街地の運行(中山線)	市内路線を含むバス時刻表を作成配布、バス時刻表のGooglemaps上検索データの更新、広報活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	B	利用者のほとんどが高齢者のため、車両及び目的地が安全でなくてはならない。市内や近傍市にて感染者が出れば、一気に外出自粛され、利用減少となる傾向。また、乗務員の聞取りによれば、施設入所や利用者の死亡等人口及び利用者の自然減少も重なり、新規利用者の促進に力を入れる必要もある。新型コロナウイルスの影響を加味した目標の見直しを含め、適正な目標達成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、系統別の年間輸送人員。 ・市内路線を含むバス時刻表を作成配布するなど、利用促進に取り組まれていることを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
南さつま市地域公共交通協議会	㈱鹿児島交通	池辺から加世田市街地の運行(高橋線)	市内路線を含むバス時刻表を作成配布、バス時刻表のGooglemaps上検索データの更新、広報活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	A			
南さつま市地域公共交通協議会	㈱鹿児島交通	大木場から加世田市街地の運行(大木場線)	市内路線を含むバス時刻表を作成配布、バス時刻表のGooglemaps上検索データの更新、広報活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	B	利用者のほとんどが高齢者のため、車両及び目的地が安全でなくてはならない。市内や近傍市にて感染者が出れば、一気に外出自粛され、利用減少となる傾向。また、乗務員の聞取りによれば、施設入所や利用者の死亡等人口及び利用者の自然減少も重なり、新規利用者の促進に力を入れる必要もある。新型コロナウイルスの影響を加味した目標の見直しを含め、適正な目標達成に努める。		
南さつま市地域公共交通協議会	㈱鹿児島交通	池辺門前からゆうらくの運行(池辺線)	市内路線を含むバス時刻表を作成配布、バス時刻表のGooglemaps上検索データの更新、広報活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	B	利用者のほとんどが高齢者のため、車両及び目的地が安全でなくてはならない。市内や近傍市にて感染者が出れば、一気に外出自粛され、利用減少となる傾向。また、人口及び利用者の自然減少も重なり、新規利用者の促進に力を入れる必要もある。新型コロナウイルスの影響を加味した目標の見直しを含め、適正な目標達成に努める。		
南さつま市地域公共交通協議会	㈱森田タクシー	内山田から加世田市街地の運行(鉄山線)	市内路線を含むバス時刻表を作成配布、広報活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	B	利用者のほとんどが高齢者のため、車両及び目的地が安全でなくてはならない。市内や近傍市にて感染者が出れば、一気に外出自粛され、利用減少となる傾向。また、人口及び利用者の自然減少も重なり、新規利用者の促進に力を入れる必要もある。新型コロナウイルスの影響を加味した目標の見直しを含め、適正な目標達成に努める。		
南さつま市地域公共交通協議会	南海交通㈱	白川・大田・阿多・大坂から金峰市街地の運行(白川線)	市内路線を含むバス時刻表を作成配布、広報活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	B	利用者のほとんどが高齢者のため、車両及び目的地が安全でなくてはならない。市内や近傍市にて感染者が出れば、一気に外出自粛され、利用減少となる傾向。また、乗務員の聞取りによると、利用者の自然減少もあるが、対象集落自体の人口も減少している。他路線同様、新規利用者の促進に力を入れる必要もある。新型コロナウイルスの影響を加味した目標の見直しを含め、適正な目標達成に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(有)和人組	上牧川～市街地～田上診療所の運行	町民への時刻表の配布、広報紙を活用した周知を行ったが、対象期間目標数を達成できず、前年度比の総利用者数も減少した。	A	B	今後も地域住民に対し、広報・周知を行い利用促進を促す。別ルートを運行してほしいという、地元住民の声もあるので、運行事業者等と十分に調査・検討を行う。	<p>・評価の指標は、路線ごとの年間輸送人員数。</p> <p>・町民への時刻表の配布、広報紙を活用した周知を実施されるなど、利用促進に取り組みられていることを評価します。</p> <p>・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。</p> <p>・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。</p>	
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(有)和人組	上牧川～上宝来～市街地～田上診療所の運行	町民への時刻表の配布、広報紙を活用した周知を行ったが、対象期間目標数を達成できず、前年度比の総利用者数も減少した。	A	B	今後も地域住民に対し、広報・周知を行い利用促進を促す。上段の經由線であるが、この路線の存続について、運行事業者等と十分に調査・検討を行う。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(有)和人組	浜津脇入口～増田～市街地～田上診療所の運行	町民への時刻表の配布、広報紙を活用した周知を行ったが、対象期間目標数を達成できず、前年度比の総利用者数も減少した。	A	B	利用者増を目指した取組として、広報・周知活動を推進していく。地域住民の利便性も含め、デマンドタクシーとの関係性と路線の見直しも含め、運行事業者と協議していきたい。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(有)和人組	今熊野～坂井～油久～市街地～田上診療所の運行	町民への時刻表の配布、広報紙を活用した周知を行ったが、対象期間目標数を達成できず、前年度比の総利用者数も減少した。	A	B	広報・周知の機会を増やし、利用者増へ向けた取組を行う。利便性の向上に向けて、運行事業者と協議していきたい。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(有)和人組	長谷～原尾～岩岡～市街地～田上診療所の運行	町民への時刻表の配布、広報紙を活用した周知を行ったが、対象期間目標数を達成できず、前年度比の総利用者数も減少した。	A	B	地域公共交通を利用するメリット等も含め、利用を考えている方々への周知・広報を推進する。デマンドタクシーとの関係性も考慮し、各事業者と調査・研究を行う。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	林 辰男(はやしタクシー)	岩岡・南界地域～公立種子島病院の運行	利用可能な地域への配布、広報紙を活用した周知を行ったが、対象期間目標数を達成できず、前年度比の総利用者数も大きく減少した。	A	B	病院受診がしやすい利用時間の設定を再検討するなどして、地域住民の利便性を最優先課題とし、また広く広報していきたい。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	林 辰男(はやしタクシー)	三浜地区(大牟礼・伊原・下田・阿保)～市街地の運行	目標利用者数を上回ることができた。	A	A	概ね買い物目的また隣接市への通院目的での利用が多いと推測される。幹線バスとの関係性を考慮した枠組みで事業を展開していく必要がある。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(株)市丸タクシー	秋佐野・向井町・戸畑～市街地の運行	利用可能な地域住民へ、広報紙・チラシを配布し周知を行った。しかし、年間利用者目標を達成できず、前年度比も大きく減少した。	A	B	デマンドタクシーの中ではかつては一番利用者の多い系統であったが、昨年に続き大幅な減少となった。対象範囲の拡大等の検討や今後利用考えている方々への周知・広報を行っていく。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(株)市丸タクシー	女州・竹屋野～市街地の運行	利用可能な地域住民へ、広報紙・チラシを配布し周知を行った。前年度比は減少し、年間利用者目標は達成できなかった。	A	B	廃止もしくは代替路線への検討を運行事業者と行っていきたい。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(株)市丸タクシー	油久・南界地域～公立種子島病院の運行	利用可能な地域住民へ、広報紙・チラシを配布し周知を行った。年間利用者目標は達成できなかったが、前年度比は増加した。	A	B	病院受診がしやすい利用時間の設定を再検討するなどして、地域住民の利便性を最優先課題とし、また広く広報していきたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年3月31日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効 果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
始良市地域公共交通会議	(有)あいら交通	ふるさとバス(蒲生・春花線)	前回は目標達成したが、今回はコロナの影響があり未達成だった。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が目標に達しなかったが、路線の見直し等を行い、利用促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、系統ごとの1便あたりの平均利用者数。 ・適切に事業が実施されたことを評価します。 ・新型コロナウイルス感染症の影響が目標を大きく下回った原因とされていることから、その後を見据えた対策が検討されることを期待します。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
始良市地域公共交通会議	(有)あいら交通	永原校区地区予約型乗合タクシー(辺川方面)	今回が初年度となる。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が目標に達しなかったが、広報紙等にて乗合タクシーの利便性の周知を図り利用促進に繋げる。		
始良市地域公共交通会議	南国交通㈱	蒲生地区巡回バス(蒲生・山田・帖佐線)	今回が初年度となる。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が目標に達しなかったが、バス停の追加等を行い、利用促進に繋げる。		
始良市地域公共交通会議	鹿児島交通㈱	加治木地区循環バス	今回が初年度となる。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が目標に達しなかった。利用促進の為にルート見直し等を検討する。		
始良市地域公共交通会議	第一交通㈱	新留地区予約型乗合タクシー	前回は目標達成したが、今回はコロナの影響があり未達成だった。	A	C	新川タクシーの廃業(R3.3.31)に伴いR3.4.1から第一交通に運行事業者が変更。引継ぎもスムーズにできたが、利用者の増には至らなかったため、広報誌等により乗合タクシーの利便性の周知を図る。		
始良市地域公共交通会議	第一交通㈱	大山地区予約型乗合タクシー	前回は目標達成したが、今回はコロナの影響があり未達成だった。	A	C	新川タクシーの廃業(R3.3.31)に伴いR3.4.1から第一交通に運行事業者が変更。引継ぎもスムーズにできたが、利用者の増には至らなかったため、広報誌等により乗合タクシー交通の利便性の周知を図る。		
始良市地域公共交通会議	第一交通㈱	久末地区高牧集落予約型乗合タクシー	前日も目標達成できなく、今回もコロナの影響があり未達成だった。	A	C	新川タクシーの廃業(R3.3.31)に伴いR3.4.1から第一交通に運行事業者が変更。引継ぎもスムーズにできたが、利用者の増には至らなかったため、広報誌等により乗合タクシー交通の利便性の周知を図る。		
始良市地域公共交通会議	第一交通㈱	永原校区地区予約型乗合タクシー(菖蒲谷・嶽方面)	今回が初年度となる。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が目標に達しなかったが、広報紙等にて乗合タクシーの利便性の周知を図り利用促進に繋げる。		
始良市地域公共交通会議	第一交通㈱	竜門校区予約型乗合タクシー(市来原・迫・西浦方面)	今回が初年度となる。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が目標に達しなかったが、広報紙等にて乗合タクシーの利便性の周知を図り利用促進に繋げる。		
始良市地域公共交通会議	第一交通㈱	中野地区予約型乗合タクシー	今回が初年度となる。	A	C	新川タクシーの廃業(R3.3.31)に伴いR3.4.1から第一交通に運行事業者が変更。引継ぎもスムーズにできたが、利用者の増には至らなかったため、広報誌等により乗合タクシーの利便性の周知を図る。		
始良市地域公共交通会議	(有)安田タクシー	上名地区予約型乗合タクシー	今回が初年度となる。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が目標に達しなかったが、広報紙等にて乗合タクシーの利便性の周知を図り利用促進に繋げる。		